# 第1編 総 則

第1章	総 則······ I - 1-①-1
第2章	工事費の積算I - 2-①-1
第3章	一般管理費等及び消費税相当額······· I - 3-①-1
第4章	設計積算上の注意······ I - 4-①-1
第5章	随意契約方式により工事を発注する場合等の
	共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の
	調整について I - 5-①-1
第6章	数值基準等····· I - 6-①-1
第7章	建設機械運転労務等 I - 7-①-1
第8章	土木請負工事の特許使用料の積算 I - 8-①-1
第9章	時間的制約を受ける公共土木工事の積算
	I - 9-11-1
第10章	土木請負工事における現場環境改善費の積算
	I -10-1)-1
第11章	工事における工期の延長等に伴う増加費用等の
	積算······ I -11-①-1
第12章	施工箇所が点在する工事の積算 I -12-①-1
第13章	1日未満で完了する作業の積算 ······ I -13-①-1
第14章	その他····· I -14-①-1

# 第1章 総 則

1)	適用範囲等 I -1-①- 1	② 請負工事の工事費構成······ I -1-②- 1
1	適用範囲・・・・・・ I -1-①- 1	1 工事費の基本構成······ I -1-②- 1
2	基準の適用····· I -1-①- 1	
3	設計書の作成······ I -1-①- 1	

# 第1章 総 則(建地-I)

# ① 適用範囲等

# 1. 適用範囲

この基準書は、愛知県建設局及び都市・交通局の土木工事を請負施工に付する場合における工事費の積算に適用する。

ただし、この基準書によることが著しく不適当又は困難であると認められるものについては、適用除外とすることができる。

電気通信工事及び機械工事については、国土交通省の「土木工事標準積算基準書(電気通信編)(機械編)」によることとする。

# 2. 基準の適用

工事費の積算における基準は、原則として、単価適用日における最新の基準を適用する。

#### 3. 設計書の作成

設計書の作成にあたっては、目的とする工事を最も合理的に施工及び監督できるよう施工条件、施工管理、安全施工等に十分留意し、工法歩掛及び単価などについて調査研究をおこない、明確に作成しなければならない。

# ② 請負工事の工事費構成

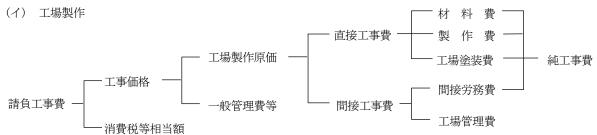
# 1. 工事費の基本構成

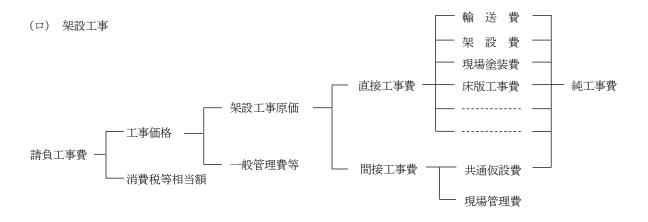
1-1 請負工事費の構成は、次のとおりとする。

(1) 一般土木



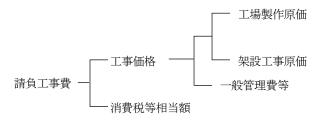
# (2) 鋼橋製作





# (ハ) 一括請負の場合

工場製作から現場架設まで、一括請負とする場合には次のとおりとする。



# 第 [編 総則

工種別工事費內訳分類表

⑥下水道用 機械・電気設備 工事積算基準 機器費・工事費 一般管理費等 直接工事費 共通仮設費 現場管理費 据付間接費 設計技術費 機器費 一般建築・設備 ⑤公共建築 工事費積算基準 一般管理費等 直接工事費 現場管理費 共通仮設 現場管理費、一般管理費)は下表のとおりとする。 機器単体費・工事費 機器間接費】 技術者間接費 一般管理費等 機器単体費 直接工事費 共通仮設費 機器管理費 現場管理費 ④電気通信 工事積算基 準 共通仮設費 現場管理費 据付間接費 据付工事 直接経費 輸送費 材料費 塗装費 仮設費 労務費 ③機械設備 工事積算基準 一般管理費等 設計技術費 機器単体費 曹 工場管理費 直接経費 労務費 鍂装費 間接労務 材料費 製作 基準価格算定等に用いる、各工種毎の工事費内訳(機器単体費、直接工事費、共通仮設費、 ij 床版工事費 共通仮設費 現場管理費 現場塗装費 架設工事 輸送費 架設費 ②鋼橋積算基準 一般管理費 工場塗装費 間接労務費 工場管理費 工場製作 材料費 製作費 一般管理費等 直接工事費 共通仮設費 現場管理費 ①土木工事 積算基準 一般土木 \_\_\_\_\_\_ 一般管理費 五事費 內罚 華存費 直接 工事費 朱通 仮設費 現場 管理費

# 1-2 請負工事費の費目は、次の各号に掲げるものとする。

(1) 直接工事費

直接工事費は、箇所又は工事種類により各工事部門を工種、種別、細別及び名称に区分し、それぞれの区分ごとに材料費、労務費及び直接経費の3要素について積算するものとし、「第2章 工事費の積算」の「①直接工事費」による。

- (2) 間接工事費
  - 1) 間接工事費は、各工事部門共通の前号以外の工事費及び経費とし、共通仮設費及び現場管理費に分類し、それぞれの構成する費目について積算するものとする。
  - 2) 共通仮設費は、工事施工にあたって、工事目的物の施工に間接的に係る費用とし、「第2章 工事費の積算」の「② 間接工事費」の「2. 共通仮設費」による。
    - (イ) 運搬費
    - (口) 準備費
    - (ハ) 事業損失防止施設費
    - (二) 安全費
    - (ホ) 役務費
    - (へ) 技術管理費
    - (ト) 営繕費
  - 3) 現場管理費は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の経費とし、「第2章 工事費の積算」の「② 間接工事費」 の「3. 現場管理費」による。

ただし、純工事費=直接工事費+共通仮設費

- (3) 一般管理費等
  - 一般管理費等は、工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用をいい、一般管理費及び付加利益からなり、次の一般管理費等率を用いて積算するものとし、「第3章 一般管理費等及び消費税等相当額」の「①一般管理費等」による。

(4) 消費稅等相当額

消費税等相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとし、「第3章 一般管理費等及び消費税等相当額」の「②消費税等相当額」による。

# 第2章 工事費の積算

_			
1	直扎	妾工事費······ I −2-①- 1	3 £
	1 柞	才料費······I -2-①- 1	1
	2 1	歩 掛······ I −2−①− 1	2
	3	<b>労務費······I −2−①−</b> 2	
	4 Ī	直接経費 I -2-①- 3	
	5	者雑費I -2-①- 3	
	6 %	主意事項I-2-①- 3	
	7 ±	#数処理····· I -2-①- 3	
2	間担	妾工事費······ I −2−②− 1	
	1 🕺	総 則······ I -2-②- 1	
	2	共通仮設費······I -2-②- 1	
	2-1	共通仮設費の率分······I -2-2-6	
	2-2	運搬費 I -2-②- 9	
	2-3	準備費······ I -2-②-18	
	2-4	事業損失防止施設費······ I -2-2-18	
	2-5	安全費······ I -2-②-19	
	2-6	役務費······ I -2-②-20	
	2-7	技術管理費······ I -2-②-21	
	2-8	営繕費······I −2−②−22	
	3 ₹	見場管理費······I -2-②-24	

)	玙	思 場発生品及び支給品運搬	I -2-(3)-	1
	1	適用範囲	I -2-3)-	1
	2	施工パッケージ	I -2-(3)-	1

# 第2章 工事費の積算

# ① 直接工事費(建地一1)

#### 1. 材料費

材料費は、工事を施工するために必要な材料の費用とし、その算定は次の(1)及び(2)によるものとする。

(1) 数 量

数量は、標準使用量に運搬、貯蔵及び施工中の損失量を実状に即して加算するものとする。

(9) 無 枚

価格は、原則として、単価適用日における市場価格とし、消費税相当分は含まないものとする。設計書に計上する材料の単位あたりの価格を設計単価といい、設計単価は、物価資料等を参考とし、買入価格、買入れに要する費用及び購入場所から現場までの運賃の合計額とするものとする。

当初の支給品の価格決定については、官側において購入した資材を支給する場合、現場発生資材を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、単価適用日における市場価格または類似品価格とする。

なお、設計単価は、物価資料(「Web 建設物価」、「積算資料電子版」をいう)、個別特別調査又は見積等をもとに、原則として下記により決定するものとする。

1)「設計単価表」による。

設計単価表に単価が設定されている場合は、これを積算に用いる単価とする。

- 2) 1) の方法により難い場合、「物価資料」による。
- (イ) 単価の決定は、物価資料(「Web 建設物価」、「積算資料電子版」)に掲載されている実勢価格を平均し、単価の有効桁の多い方の桁を決定額の有効桁とする。ただし、多い方の有効桁が3桁未満のときは、決定額の有効桁は3桁とする。また、一方の資料にしか掲載のないものについては、その価格とする。
  - 〈例〉1) 単価の有効桁数の大きい方を有効桁とする場合

建設物価 33,500円 (有効桁3桁) 積算資料 34,000円 (有効桁2桁)

平均額 33,750円

決定額 33,700円(有効桁3桁、4桁以降切り捨て)

〈例〉2) 単価の有効桁数が3桁未満のために3桁を有効桁とする場合

建設物価 560円 (有効桁2桁) 積算資料 570円 (有効桁2桁)

平均額 565円

決定額 565円 (最小有効桁3桁、4桁以降切り捨て)

(ロ)公表価格として掲載されている資材価格は、メーカー等が一般に公表している販売希望価格であり、実 勢価格と異なるため、積算に用いる単価としない。

ただし、公表価格で、割引率(額)の表示がある資材は、その割引率(額)を乗じた(減じた)価格を 積算に用いる単価とする。

- 3) 1) 及び2) の方法により難い場合は、個別特別調査によって決定することを原則とする。
- 4) 1)、2) 及び3) の方法により難い場合は、見積りによって決定するものとする。
- (イ)見積りを徴収する場合は、形状寸法、品質、規格、数量及び納入場所、見積り有効期限等の条件を必ず提示 し、見積り依頼を行う。

なお、見積価格は実勢取引価格であることを確認する。

- (ロ) 見積りは、原則として3社以上から徴収する。
- (ハ) 積算に用いる材料単価の決定方法は、異常値を除いた価格の平均価格とする。 ただし、見積書の数が多い場合は、最頻度価格を採用する。

#### 2. 歩掛

歩掛は、工事を施工するために必要な機械・労務・材料に係る費用とし、その算定は積算基準及び歩掛表及び物価資料によるものとする。

積算基準及び歩掛表にない歩掛や物価資料にない単価については、特別調査又は見積りの取得により歩掛の構成を決定する。

見積りの場合は、原則として3社以上から徴収し、歩掛の決定方法は、最頻度又は平均直下位の歩掛を採用する。 ただし、変更積算時は施工者より見積りを徴収し、妥当性を確認した上で採用する。

なお、単価等については、「1. 材料費」、「3. 労務費」及び「4. 直接経費」によるものとする。

## 3. 労務費

労務費は、工事を施工するに必要な労務の費用とし、その算定は次の(1)から(4)によるものとする。

(1) 所要人員

所要人員は、原則として、現場条件及び工事規模を考慮して工事ごとに査定するが、一般に過去の実績及び検討により得られた標準的な歩掛りを使用するものとする。

(2) 労務賃金

労務賃金は、労働者に支払われる賃金であって、直接作業に従事した時間の労務費の基本給をいい、基本給は、「設計単価表」の労務単価等を使用するものとする。

基準作業時間外の作業及び特殊条件により作業に従事して支払われる賃金を割増賃金といい、割増賃金は、従事した時間及び条件によって加算するものとする。

(3) 夜間工事の労務単価

次に掲げる場合は、以下の通り労務単価の割増しを行うものとする。

- 1) 通常勤務すべき時間帯 (8h~17h) を越えて、作業を計画する場合は以下とする。
- (イ) 深夜時間(22h~5h)については、深夜時間外割増し(基準額×割増対象賃金比×1.50)とする。
- (ロ) 上記(イ)以外の通常勤務すべき時間帯(8h~17h)を超えた時間帯は時間外割増し(基準額×割増対象賃金比×1.25)とする。

なお、休憩は超過勤務4時間を超えるごとに30分の休憩を与えるものとする。

2) 2 交替、3 交替を計画する場合、所定労働時間(8h) + 休息時間(1h) 内は、基準額とする。その内、深夜部分(22h~5h) にかかる時間帯は、深夜割増し(基準額×割増対象賃金比×0.25) を加算するものとする。

ただし、2 交替の場合にあって、所定労働時間を越える場合は、時間外割増し(基準額×割増対象賃金比×1.25)、及び深夜時間外割増し(基準額×割増対象賃金比×1.50)を加算する。 [例-1]、 [例-2]

- 3) 現場条件により、やむを得ず、通常勤務すべき時間帯  $(8h\sim17h)$  をはずして作業を計画する場合は、次による。 [M-3]
  - (イ) 所定労働時間内で17h~20h及び、6h~8hにかかる時間帯は、基準額とする。
  - (ロ) 所定労働時間内で 20h~6h にかかる時間帯は基準額に 1.5 を乗ずる。

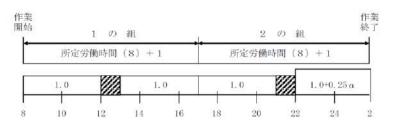
ただし、作業開始から所定労働時間内までとし、所定労働時間を越えた時間帯については、前の1)項による。

(4) 休日作業の労働単価

緊急時等、やむを得ず法定休日に作業を行う場合には、休日割増(基準額×割増対象賃金比×1.35)を計上するものとする。その内、深夜部分(22h~5h)にかかる時間帯は、深夜割増(基準額×割増対象賃金比×0.25)を加算するものとする。

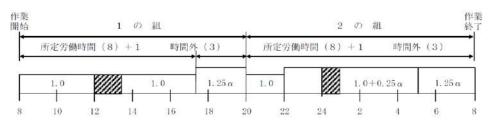
法定休日とは、使用者の定める週一回、もしくは4週間のうち4日の休日とする。

[例-1]

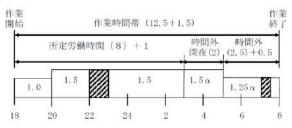


α : 構成比 : 休 憩

[例-2]



[例-3]



※構成比(職種別割増対象賃金比)は「設計単価表」を参照。

## 4. 直接経費

直接経費は、工事を施工するために直接必要とするに経費とし、その算定は次の(1)から(3)までによるものとする。

(1) 特許使用料

特許使用料は、契約に基づき使用する特許の使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とするものとする。

(2) 水道光熱電力料

水道光熱電力料は、工事を施工するために必要な電力、電灯使用料、用水使用料及び投棄料等とするものとする。

(3) 機械経費

機械経費は、工事を施工するために必要な機械の使用に要する経費(材料費、労務費を除く。)で、その算定は請負工事機械経費積算要領に基づいて積算するものとする。

#### 5. 諸雑費

- (1) 諸雑費
  - 1) 諸雑費の定義

当該作業で必要な労務、機械損料及び材料等でその金額が全体の費用に比べて著しく小さい場合に、積算の合理化及び端数処理を兼ねて一括計上する。

- 2) 単価表(代価表)
  - (イ) 単価表(歩掛表に諸雑費率があるもの)

単位数量当りの単価表の合計金額が、有効数字 4 桁になるように原則として所定の諸雑費率以内で端数 を計上する。

- (ロ) 単価表(歩掛表に諸雑費率がなく、端数処理のみの場合) 単位数量当りの単価表の合計金額が、有効数字4桁になるように原則として端数を計上する。
- (ハ) 金額は「諸雑費」の名称で計上する。
- 3) 内訳書 (明細表)

諸雑費は計上しない。

#### 6. 注意事項

(1) 歩掛の中で率計上となっている諸雑費について

諸雑費は、雑材料、小器材の費用等について、積算の繁雑さを避けるため率計上するとともに、単価表作成にあたっての端数処理を兼ねたものである。

計上にあたっては、所定の諸雑費率の上限とし、当該金額を越えない範囲で端数処理を行うものである。

(2) 常設作業帯の設置が困難な地域での路上工事において、現場条件により資機材等の日々回送が発生することで作業時間に影響を及ぼす恐れがある場合の積算ついては、別途考慮すること。

#### 7. 端数処理

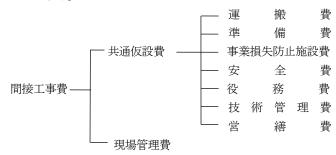
- 1) 直接工事費
  - (イ) 単価表の各構成要素の数量×単価=金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。
  - (ロ) 代価表の各構成要素の数量×単価=金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。
  - (ハ) 明細表の各構成要素の数量×単価=金額は1円までとし、1円未満は切り捨てる。
- 2) 間接工事費
  - (イ) 共通仮設費の率計上の金額は1,000円単位(1,000円未満切り捨て)とする。
  - (ロ) 現場管理費の金額は1,000円単位(1,000円未満切り捨て)とする。
- 3) 一般管理費等及び工事価格
  - (イ) 工事価格の金額は1,000円単位とする。
  - (ロ) 工事価格の1,000 円単位での調整は、一般管理費等で行うものとし、「第3章 一般管理費及び消費税等額」で算出された一般管理費等の計算額より、端数処理前の工事価格の1,000 円未満の金額を除いた額を計上する。

# 第 I 編 総則

# ② 間接工事費 (建地-I)、(運I)、(県)

#### 1. 総則

この算定基準は、間接工事費の算定に係る必要な事項を定めたものである。間接工事費の構成は、下記のとおりとする。



# 2. 共通仮設費

(1) 工種区分

共通仮設費は、表-1に掲げる区分ごとに算定するものとする。

- 1) 工種区分は、工事名にとらわれることなく、工種内容によって適切に選定するものとする。
- 2) 2 種以上の工種内容からなる工事については、その主たる工種区分を適用するものとする。なお、主たる工種とは、(2)の1)に定める対象額の大きい方の工種をいう。ただし、対象額で判断しがたい場合は直接工事費で判断してよい。
- 3) 変更設計時に数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。
- (2) 算定方法

共通仮設費の算定は、別表第 1 の工種区分にしたがって所定の率計算による額と積上げ計算による額とを加算しておこなうものとする。

1) 率計算による部分

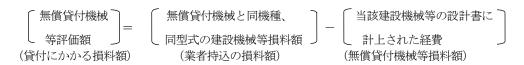
下記に定める対象額ごとに求めた率に、当該対象額を乗じて得た額の範囲内とする。

対象額 (P) =直接工事費+ (支給品費+無償貸付機械等評価額)+事業損失防止施設費+準備費に含まれる 処分費

- (イ) 下記に掲げる費用は対象額に含めない。
- a. 簡易組立式橋梁、プレキャストPC 桁、プレキャストPC 床版、グレーチング床版、合成床版製品費、ポンプ、大型遊具、光ケーブルの購入費
- b. 上記 a を支給する場合の支給品費
- c. 鋼桁、門扉等の工場製作に係る費用のうちの工場原価(工場製作品を含む)
- d. 大型標識柱 [オーバーハング式 (F型、T型、逆L型、WF型)、オーバーヘッド式]、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等の材料費(製作費を含む。)
- (ロ) 支給品費及び無償貸付機械等評価額は「直接工事費+事業損失防止施設費」に含まれるものに限るものとする。

ただし、コンクリートダム工事・フィルダム工事については、支給電力料を対象額に含めないものとする。 また、別途製作工事等で製作し、架設及び据付工事等を分離して発注する場合は、当該製作費は対象額に含めない。

(ハ) 無償貸付機械等評価額の算定は次式によりおこなうものとする。



(二) 鋼橋桁等の輸送に係る間接費(対象額に対する率計算の場合)の積算は、発注形態別に次表による ものとする。

工 種 形 態	共通仮設費	現場管理費	一般管理費等
製作+輸送+架設等	0	0	0
製作+輸送	×	0	0
輸送+架設等	0	0	0
輸送	×	0	0
架 設 等	0	0	0

○対象とする ×対象としない

- (注) 購入桁については、製作を購入と読み替える。
- 2) 積上げ計算による部分

現場条件等を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

3) 条件明示

安全対策上、重要な仮設物等については設計図書に条件明示し、極力指定仮設とするものとする。

4) 適用除外

この算定基準によることが困難又は不適当であると認められるものについては、適用除外とすることができる。

5) 間接工事費等の項目別対象表

間接工事費等		共 通 仮 設 費	現 場 管 理 費	一般管理費等
対象額 項 目		対 象 額	直接工事費+共通 仮設費=純工事費	純工事費+現 場 管理費=工事原価
桁	等 購 入 費	×	0	0
処	分 費 等		棄料・上下水道料金・有数 扱いは、(注)(ト)参照	—
支	桁 等 購 入 費	×	0	×
給品	一 般 材 料 費	0	0	×
費	別途製作の製作費	×	×	×
等	電力	0	0	×
無償貸付機械評価額		0	0	×
鋼	橋門扉等工場原価	×	×	0
現	場 発 生 品	×	×	×
ダムエ	支 給 電 力 料 (基本料金含む)	×	×	×
事	無償貸付機械評価額	0	×	×

○対象とする ×対象としない

(注) スクラップの間接工事費は、現場発生品と同等とする。

- (注) (イ) 共通仮設費対象額とは、直接工事費+支給品費+無償貸付機械等評価額+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費である。
  - (ロ) 桁等購入費とは、簡易組立式橋梁、プレキャストPC桁、プレキャストPC床版、グレーチング床版、合成 床版製品費、ポンプ、大型遊具(※a,b)、光ケーブルの購入費をいう。
    - a. 大型遊具の定義は、「施工現場の状況に合わせて工事製作される大型遊具(実施設計等でコンサルタント等に設計させた①オリジナル製品、及び②カタログ製品を複数直接組み合わせたもの)」とし、カタログ製品単体のものは含まない。
    - b. 大型遊具の現場での加工・組立・設置等の工事費用については、共通仮設費の対象とする。
  - (ハ) 無償貸付機械評価額とは、無償貸付機械と同機種同型式の建設機械等損料額から当該建設機械等の設計書に 計上された額を控除した額をいう。
  - (二) 別途製作する標識柱(オーバーハング式(F型、T型、逆L型、WF型)、オーバーヘッド式)、しゃ音壁支柱、別途製作する鋼製砂防堰堤の鋼製部材、鋼橋製作工の支承や排水装置等、工場製作品単価の場合の扱いは、鋼橋・門扉等工場原価の取扱いに準ずるものとする。(t 当り製作単価として取扱う場合)
  - (ホ) 現場発生品とは、同一現場で発生した資材を物品管理法で規定する処理を行わず再使用する場合をいう。
  - (へ)別途製作したものを一度現場に設置した後に発生品となり再度支給する場合の扱いは、別途製作の製作費(材料費含む)と同じ扱いとする。
  - (ト)「処分費等」の取扱い

「処分費等」とは、下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は、表のとおりとする。

- a. 処分費(再資源化施設の受入費を含む)
- b. 上下水道料金
- c. 有料道路利用料

区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」 の3%以下でかつ処分費等が3千万円 以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の 3%を超 える場合又は処分費等が 3 千万円を超える場合
共 通 仮 設 費	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一般管理費等	処分費等は率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の 3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

- (注) 1. 上表の処分費等は、準備費に含まれる処分費を含む。 なお、準備費に含まれる処分費は伐開、除根等に伴うものである。
  - 2. 処分費を計上する場合は、「第 I 編第 2 章②間接工事費 2. 共通仮設費 2-3 準備費」により 単価登録すること。
  - 3. 上表により難い場合は別途考慮するものとする。

# 表-1 工 種 区 分

	表-1 エ 種 区 分			
工種区分	工種内容			
河川工事	河川工事にあって、次に掲げる工事 筑堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防 地盤処理工、河川構造物グラウト工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする			
河川・道路 構造物工事	河川における構造物工事及び道路における構造物工事にあって、次に掲げる工事  1. 樋門(管)工、水(閘)門工、サイフォン工、床止(固)工、堰、揚排水機場、ロックシェッド(RC構造)、スノーシェッド(RC構造)、防音(吸音・遮音)壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮桟橋、PC橋(プレキャストセグメントを除く工場製作桁の場合)等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門(管)工、水(閘)門工については「海岸工事」とする  2. 橋梁下部工(RC構造)、床版工(RC構造及びプレキャストPC構造)  3. ゴム伸縮継手、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承、高欄設置工(コンクリート、石材等)、旧橋撤去工(コンクリート橋上下部)、トンネル内装工(新設トンネル)  4. 1・2 及び3 に類する工事 ただし、工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。また、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く			
海岸工事	海岸工事にあって、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸護壁工、護岸工、樋門(管)工、河口浚渫、水(閘) 門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 河川高潮対策区間の河川工事にあって、次に揚げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処 理工、河川構造物グラウト工、樋門(管)工、水(閘)門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事			
道路改良工事	道路改良工事にあって、次に揚げる工事 土工、擁壁工、函(管)渠工、側溝工、山止工、法面工、落石防止柵工、雪崩防止柵工、道路地盤処理工、 標識工、防護柵工及びこれらに類する工事			
鋼橋架設工事	鋼橋等の運搬架設に関する工事にあって、次に掲げる工事  1. 鋼橋架設工、鋼橋塗装工、鋼橋塗替工、橋梁検査路設置工、高欄設置工(鋼製・ アルミ等)、スノーシェッド(鋼構造)、ロックシェッド(鋼構造)、道路付属物を除く鋼構造物塗替工(水門、樋門、樋管、排水機場等)、床版工(RC構造及びプレキャストPC構造を除く)、橋梁下部工(鋼製)  2. 簡易組立橋の塗装工事及びこれらに類する工事  3. 鋼橋撤去工(鋼橋に伴う床版撤去含む) ただし、工種区分の橋梁保全工事に該当するものは除く。			
PC橋工事	PC橋に関する工事にあって、次に掲げる工事 1. 工事現場におけるPC桁の製作(工場製作桁は除く)、架設及び製作架設に関する工事 2. プレキャストセグメント構造のPC橋工事			
舗装工事	舗装の新設、修繕工事にあって、次に掲げる工事 セメントコンクリート舗装工、アルファルト舗装工、セメント安定処理路盤工、アスファルト 安定処理路盤工、砕石路盤工、凍上抑制層工、コンクリートブロック舗装工、路上再生処理工、 切削オーバーレイ工及びこれらに類する工事、 ただし、小規模 (パッチング等) な工事で施工箇所が点在する工事は除く			
橋梁保全工事	橋梁 (上部工、下部工) に関するすべての保全、補修、補強工事及び既設橋梁の橋梁付属物工の修繕工事 (塗装、舗装打ち替え等は除く)			

工種区分		工種内容
共同溝等	(1)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事
工事	(2)	共同溝及び地下立体交差工事(地下駐車場、地下横断歩道等)にあって、次に掲げる工事 施工方法が開削工法による工事
トンネル工事		トンネルに関する工事にあって、次に掲げる工事 1. トンネル工事 2. 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による工事 ただし、本体工を完成後別件で照明設備、舗装、側溝等を発注する場合、又は供用開始後の 照明設備、吹付け、舗装、修繕工事等は除く
砂防・地すべり工事	) 等	砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事にあって、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石なだれ防止工、集水井工、 集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
道路維持工事		道路にあって、次に掲げる工事 1. 管理を目的とした維持的工事 2. 道路附属物塗替工、防雪柵設置撤去工※1、トンネル漏水防止工、トンネル内装工(供用トンネル)、路面切削工、路面工、法面工等の維持・補修※2に関する工事 3. 道路標識※1、道路情報施設、電気通信設備、防護柵※1、樹木等及び区画線等の設置 4. 除草、除雪、清掃及び植栽等の緑地管理に関する作業 5. 1、2、3 及び 4 に類する工事 ※1:局部的新設、復旧・更新を主とする場合に適用 ※2:法面工の補修については局部的な場合に適用
河川維持工事		河川維持工事(河川高潮対策区間の工事を含む)にあって、次に揚げる工事 1. 管理を目的とした維持的工事 2. 堤防天端・法面等の補修工事 3. 標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置 4. 道路における電気通信設備以外の当該設備工事 5. 河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 6. 1、2、3、4 及び 5 に類する工事
	(1)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工方法がシールド工法又は作業員が内部で作業する推進工法による管渠工事
下水道工事	(2)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 施工工方法が開削工法又は小口径の推進工法による管渠工事
一小坦工事	(3)	下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 ポンプ場工事、処理工事及びこれらに類する工事
(4)		下水道に関する工事にあって、次に掲げる工事 下水道の更生工法工事
公園工事		公園及び緑地の造成整備に関する工事にあって、次に掲げる工事 敷地造成工、園路広場工、植樹工、除草工、芝付工、花壇工、日陰棚工、ベンチ工、池工、 遊戯施設工、運動施設工、標識工及びこれらに類する工事
コンクリート	ダム工事	コンクリートダム本体を主体とする工事
フィルダム工	<b></b>	フィルタイプでダム本体を主体とする工事
電線共同溝工事	<b></b>	電線共同溝に関する工事
情報ボックス工事		情報ボックスに関する工事 (耐火防護も含む)

# 2-1 共通仮設費の率分

- (1) 共通仮設費の率分の積算
  - 1) 共通仮設費の率分の算定は、別表第1(第1表~第5表)の工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率を、当該対象額に乗じて得た額の範囲内とする。
  - 2) 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費(2) 算定方法 1)率計算による部分」及び「2. 共通仮設費(2) 算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。
- (2) 共通仮設費率の補正
  - 1) 施工地域を考慮した共通仮設費率の補正及び計算
    - イ)表-2の適用条件に該当する場合、別表第1(第1表~第5表)の共通仮設費率に補正係数を乗じるものとする。

表-2 地域補正の適用

適用条件				適用優先	
施工地域区分	工種区分	対象	補正係数	週用懓允	
大都市	鋼橋架設工事 舗装工事 電線共同溝工事 道路維持工事 下水道工事 (1)、(2)、(4)	名古屋市の市街地部が施工箇所に 含まれる場合。	1. 5	1	
市街地(DID 補正)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	市街地部が施工場所に含まれる場合。			
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	2 車線以上(片側1 車線以上)かつ交通量(上下合計)が5,000台/日以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。	1. 4	2	
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変更を促す規制を伴う場合。(常時全面通行止めの場合を含む。)			
市街地(DID 補正)	鋼橋架設工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1. 3	3	
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事、道 路維持工事、舗装工 事、橋梁保全工事以 外の工種(※)	2 車線以上(片側1車線以上)かつ交通量(上下合計)が5,000台/日以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。	1. 3	4	
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事、道 路維持工事、舗装工 事、橋梁保全工事以 外の工種(※)	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。(常時全面通行止めの場合を含む。)	1. 2	5	
市街地(DID 補正)	鋼橋架設工事、電線 共同溝工事、道路維 持工事、舗装工事、 橋梁保全工事以外の 工種(※)	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1. 2	6	
山間僻地及び離島	全ての工種(※)	人事院規則における特地勤務手当を支 給するために指定した地区、及びこれに 準ずる地区の場合。	1. 3	7	

※コンクリートダム及びフィルダム工事は適用しない。

- 第 [編 総則
- 1. 市街地とは、施工地域が人口集中地区 (DID 地区) 及びこれに準ずる地区をいう。 なお、DID 地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密が 4,000 人/km²以上でその全体が 5,000 人以上となっている地域をいう。
- 2. 山間僻地及び離島:施工地域が人事委員会規則における特地勤務手当・へき地手当を支給するために指定した地区、 及びこれに準ずる地区をいう。(県)

#### <山間僻地該当地区>

- ・西三河建設事務所管内:岡崎市のうち旧額田町
- ・豊田加茂建設事務所管内:豊田市のうち 旧旭町、旧足助町、旧稲武町、旧小原村、旧下山村
- ・新城設楽建設事務所管内: 設楽町、東栄町、豊根村、新城市のうち旧鳳来町、旧作手村
- 3. 適用条件の複数に該当する場合は、適用優先順に従い決定するものとする。
  - ロ) 共通仮設費(率分)の計算

共通仮設費(率分)=対象額(P)×共通仮設費率(Kr)×施工地域を考慮した補正係数ただし、共通仮設費率は別表第1(第1表~第5表)による。なお、補正係数を乗じる場合は、krの端数処理後に係数を乗じ、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

#### 2) その他

- イ) 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記 1) の他、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設定することができるものとする。
- ロ) 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。

# 別表第1

## 共 通 仮 設 費 率

#### 第1表

対象額	600 万円	600 万円を超え 10 億円		10 億円を
	以 下	以	下	超えるもの
適用区分	下記の率とする	(3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
工種区分		A	b	
河川工事	12. 53	238.6	<b>−</b> 0. 1888	4. 77
河川・道路構造物工事	20. 77	1, 228. 3	-0.2614	5. 45
海岸工事	13. 08	407.9	-0. 2204	4. 24
道路改良工事	12. 78	57.0	-0.0958	7.83
鋼橋架設工事	38. 36	10, 668. 4	<b>−</b> 0. 3606	6.06
P・C橋工事	27. 04	1, 636. 8	-0. 2629	7. 05
舗装工事	17. 09	435. 1	-0.2074	5. 92
砂防・地すべり等工事	15. 19	624. 5	<b>−</b> 0. 2381	4. 49
公園工事	10.80	48. 0	-0.0956	6.62
電線共同溝工事	9. 96	40. 0	-0.0891	6. 31
情報ボックス工事	18. 93	494. 9	-0. 2091	6. 50
下水道(4)工事	10. 24	330. 0	<b>−</b> 0. 2225	3. 28

# 第2表

対象額	600 万円 以 下	600 万円を 以	超え3億円 下	3 億円を 超えるもの
適用区分	下記の率とする	(3)の算定式により 算出された率とする。 ただし、変数値は下記による		下記の率とする
工種区分		A	b	
橋梁保全工事	27. 32	7, 050. 2	<b>−</b> 0. 3558	6. 79

# 第3表

対象額	200 万円 以 下	200 万円を 以	超え1億円 下	1 億円を 超えるもの
適用区分	下記の率とする	(3)の算定 算出された ただし、変数(	下記の率とする	
工種区分		A	b	
道路維持工事	23. 94	4, 118. 1	<b>−</b> 0. 3548	5. 97
河川維持工事	9. 05	26. 8	-0.0748	6. 76

# 第4表

	対象額	1,000 万円	1,000 万円	]を超え 20 億円	20 億円を	
		以 下	以	下	超えるもの	
	適用区分	下記の 率	(3)の算定式により算出され た率とする。ただし、変数値は 下記による		下記の 率	
工種区分		とする	A	b	とする	
<b>北日港位工車</b>	(1)	8.86	68. 3	<b>−</b> 0. 1267	4. 53	
共同溝等工事	(2)	13. 79	92. 5	<b>−</b> 0. 1181	7. 37	
トンネル工事		28. 71	4, 164. 9	-0.3088	5. 59	
	(1)	12.85	422. 4	<b>−</b> 0. 2167	4. 08	
下水道工事	(2)	13. 32	485. 4	<b>−</b> 0. 2231	4. 08	
	(3)	7. 64	13. 5	<b>−</b> 0. 0353	6. 34	

# 第5表

J	114					
	対象額			50 億円を		
		以 下	以	٢	超えるもの	
	適用区分	下記の率	(3)の算定式により算出され た率とする。ただし、変数値は 下記による		下記の率	
	工種区分	とする	A	b	とする	
	コンクリートダム	13. 77	3, 064. 8	-0.2769	6. 32	
	フィルダム	7. 57	43. 7	-0.0898	5. 88	

# (3) 算 定 式

 $K_r = A \cdot P^b$ 

ただしK<sub>r</sub>: 共通仮設費率 (%)

P:対象額(円)

A・b:変数値

注) 1. K<sub>r</sub>の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

2. 対象額の算定にあたっては、「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分」及び

「2. 共通仮設費(2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

# 2-2 運搬費((1)、(2)は港湾浚渫工事・港湾構造物工事を除く)

(1) 運搬費の積算

運搬費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 建設機械器具の運搬等に要する費用
  - (イ) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬
  - (ロ) 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬
  - (ハ) 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用
  - (二) 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬
  - (ホ)器材等の搬入、搬出及び現場内小運搬 ただし、支給品及び現場発生品については、積上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。
  - (へ) 建設機械の自走による運搬
  - (ト) 建設機械等の日々回送(分解・組立,輸送)に要する費用
  - (チ) 質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬
- 2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬(直接工事費に計上)
- 3) 1) ~2) に掲げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用
- 4) 建設機械等の運搬基地

運搬基地は、建設機械等の所在場所等を勘案のうえ決定するものとする。(表2.2 参照)

#### (2) 積算方法

- 1) 共通仮設費に計上される運搬費
  - (イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費
    - a. 質量 20t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬(分解・組立を含む)
    - b. 器材等(型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板、(敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く)、作業車 (PC橋片持ち架設工)、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、 トンネル用スライドセントル等)の搬入、搬出並びに現場内小運搬
    - c. 建設機械の自走による運搬(トラッククレーン油圧伸縮ジブ型80t 吊以上は、積上げるものとする。)
    - d. 建設機械等(重建設機械を含む)の日々回送(分解・組立・輸送)に要する費用
    - e. 質量 20t 以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とする場合は別途加算できるものとする。
    - f. 上記(1)、1)、(ハ)の中で、トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型 20~50t 吊)・ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型 20~70t 吊)の分解・組立及び輸送に要する費用
  - (ロ) 積上げ項目による運搬費
    - a. 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 なお、運搬される建設機械の運搬中の賃料又は損料についても積上げるものとする。 建設機械の日々回送の場合は、共通仮設費率に含む。
    - b. 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置・撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。
    - c. 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用 (運搬中の本体賃料・損料および分解・組立時の本体賃料を含む。)
    - d. 上記(イ)及び(ロ) a ~ c における自動車航送船使用料に要する費用 (運搬中の本体賃料・損料を含む)
- 2) 直接工事費に計上される運搬費
  - a. 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬
  - b. 支給品及び現場発生品の運搬
- (3) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬
  - 1) 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費用

質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等の運搬は次式により行うものとする。

ただし、Uk:質量20t以上の建設機械の貨物自動車等の運搬費

A1:基本運賃料金(円)

表 2.1 によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、運賃は下表に掲げてある基本運賃は、運搬割増(特大品,悪路,冬期,深夜早朝,地区等)の有無にかかわらず適用できる。

ただし、陸上輸送以外が必要な場合は、これに要する費用を別途計上すること。

M : その他の諸料金(円)

1) 組立、解体に要する費用

重建設機械の組立、解体に要する費用は別途加算する。

- 2) その他下記事項の料金を必要により計上する。
  - a 荷役機械使用料
  - b 自動車航送船使用料
  - c 有料道路利用料
  - d その他

K:運搬される建設機械の運搬中の賃料(円)

K': 運搬される建設機械の運搬中の損料(円)

運搬される建設機械(被運搬建設機械)の運搬中の賃料又は損料を計上する。 積算方法は、「2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料および損料」による。

※建設機械運搬方法等は表 2.3 による。

2) 運搬される建設機械の運搬中の賃料(K)及び損料(K')

運搬される建設機械の片道分の運搬中の賃料及び損料は次式により計上する。

運搬中の賃料=運搬される機械の供用1日当り賃料 (円) ×運搬に要する日数 (日)

K=運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り賃料(円)×L/(輸送速度×8)

運搬中の損料=運搬される機械の供用1日当り損料(円)×運搬に要する日数(日)

K'=運搬される建設機械の運搬中の供用1日当り損料(円)×L/(輸送速度×8)

L:運搬距離(km)基地から現場までの片道距離とする。

輸送速度: (30km/h)

- (注)1. 運搬に要する日数の端数処理は小数第2位を四捨五入し、小数第1位止めとする。
  - 2. 運搬に要する日数は運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速 30km/h を標準とする。
  - 3. 分解・組立を要する重建設機械の積算にあたっては、重建設機械分解組立により積算すること。 なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料(K)が考慮されている。
  - 4. 油圧式杭圧入引抜機(鋼矢板 V L・VI L・II w・III w・IV w型用)の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。
  - 5. 輸送費の算定において、機械の所在場所は表 2.2 を標準とする。(県)

#### 表 2.1 基本運賃表

			衣	2.   本个理員	[衣			
貨物自動車規格	機械名	規 格	20km まで (円)	50km まで (円)	100km まで (円)	150km まで (円)	200km まで (円)	200km を超 え 20km ま でを増す 毎に(円)
20t 車以上 30t 車まで	路機スイスイ自砕油圧機バウ切 ビ ビ 式式引 クロが を	2. 0m 深 0. 6m 幅 2. 0m 深 1. 2m 幅 2. 0m ク ラ ッシャイチション オ 450mm 幅 925mm 鋼矢板 II・IV型用 山積 0. 4m³/平積 0. 3m³	62, 500	76, 000	98, 000	120, 500	142, 500	毎に(円) 8,900
	グアーム 型) 各種	_						

- (注) 1. 450km を超える場合は別途考慮する。
  - 2. 誘導車、誘導員の費用は含んでいる。

# 表 2.2 建設機械の所在地(県)

27 CHANADA-17/1 E-U 1/13/								
機	械	所 在 場 所						
場所打杭施工機械、トラック	)、杭打機(4t 以上 45kw 以上)、 クレーン及びクローラークレーン ク(13. 5t 以上)、コンクリートプ	名古屋市、豊橋市、一宮市、豊田市、岡崎市、 津島市、安城市						
橋梁エレクション機械	鋼橋	県庁、知多建設事務所、東三河建設事務所						
間朱上レクション機械	PC橋	岐阜市、掛川市						
その他機械		工事現場のある市町村役場						

# 表 2.3 建設機械運搬方法

		車	載	
機械名	規格	車種	機械質量 (t)	備考
路 面 切 削 機 (ホイール式・廃材積込装置付)	2. Om	R	28. 50	
スタビライザ(路床改良用)	深 0.6m 幅 2.0m	R	23. 00	
ス タ ビ ラ イ ザ ( 路 床 改 良 用 )	深1.2m 幅2.0m	R	24. 70	
自 走 式 破 砕 機	クラッシャー寸法 開 450mm 幅 925mm	R	30. 00	
油圧式杭圧入引抜機(硬質地専用)	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29. 70	
バ ッ ク ホ ウ (超ロングアーム型)	山積 0. 4m³/平積 0. 3m³	R	22. 00	

- (注) 1. 貨物自動車による運搬は、別途計上する。 2. 車載のRはトレーラである。 3. 本表に掲載のある建設機械については、分解組立の必要はない。

## (4) 仮設材等の運搬

1) 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬費用 仮設材の運搬は次式によりおこなうものとする。

 $U = [E \cdot (1+F)] \cdot G + H$  ただし U : 仮設材の運搬費 E : 基本運賃 (円/t)

下表によるものとする。

なお、運搬距離は運搬基地より現場までの距離とする。

また、運賃は下表に揚げてある基本運賃に、必要に応じ深夜早朝割増を行うものとし、車両留置料、 長大品割増、休日割増、特別割引は適用しない。

基本運賃表

(単位:円/t)

	I		理 頁 衣		l	(単位:円/t)
製品長 難 離		n以内	12mi 15ml	超~ 以内	151	m超
10kmまで	4, 350	(3, 410)	4, 800	(4, 030)	7, 010	(5, 180)
20 "	4, 660	(3, 570)	5, 170	(4, 240)	7, 470	(5, 510)
30 "	5, 000	(3, 850)	5, 480	(4, 510)	7, 990	(5, 860)
40 "	5, 380	(4, 070)	5, 900	(4, 760)	8, 490	(6, 190)
50 "	5, 750	(4, 420)	6, 310	(5, 140)	9, 040	(6, 630)
60 "	6, 120	(4, 700)	6, 760	(5, 490)	9, 590	(7, 060)
70 "	6, 540	(5, 070)	7, 180	(5, 890)	10, 100	(7, 520)
80 "	6, 900	(5, 330)	7, 570	(6, 190)	10, 600	(7, 900)
90 "	7, 220	(5, 610)	7, 940	(6, 520)	11, 100	(8, 310)
100 "	7, 620	(5, 900)	8, 380	(6, 840)	11, 700	(8, 750)
110 "	7, 960	(6, 250)	8, 730	(7, 200)	12, 200	(9, 180)
120 "	8, 300	(6, 490)	9, 080	(7, 470)	12, 700	(9, 550)
130 "	8, 700	(6, 780)	9, 510	(7, 790)	13, 300	(9, 940)
140 "	9, 040	(7, 020)	9, 850	(8, 060)	13, 800	(10, 300)
150 "	9, 370	(7, 290)	10, 200	(8, 360)	14, 400	(10, 700)
160 "	9, 820	(7, 530)	10,600	(8, 630)	14, 900	(11, 000)
170 "	10, 000	(7, 790)	10, 900	(8, 910)	15, 400	(11, 400)
180 "	10, 300	(8, 020)	11, 200	(9, 180)	15, 800	(11, 700)
190 "	10, 700	(8, 290)	11,800	(9, 470)	16, 800	(12, 100)
200 "	11, 100	(8, 560)	12, 100	(9, 780)	17, 300	(12, 500)
200kmを超え 20kmまでを増すごとに	677	( 447)	802	( 558)	1080	( 738)

- (注)1. 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄の7地方整備局等は( )内の運賃を適用する。 ただし、沖縄については100km以下のみ適用とし、100kmを超える場合は別途考慮する。
  - 2. 発地・着地で地方整備局が異なる場合は、発注機関の存在する整備局を適用する。
  - 3. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。
  - 4. 誘導車,誘導員が必要な場合については別途計上する。

# F:深夜·早朝割増

運搬時間を「22 時~5 時」に指定する場合 3 割増

G:運搬質量(t)

H:その他の諸料金(円)

その他、下記事項の料金を必要により計上する。

- a. 有料道路利用料
- b. 自動車航送船利用料
- c . その他
- \* 端数の処理

運賃及びその他の諸料金は当該輸送トン数ごとに計算し、円未満の金額については切り捨てる。

2) 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の積込み、取卸しに要する費用 仮設材等 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) の積込み・取卸し費

場所	作業	費	用 (円/t)		
基地	積 込 み	750	1 500		
TH (H	取卸し	750	1, 500	2 000	
現場	積込み	750	1 500	3, 000	
基地	取卸し	750	1, 500		

- (注) 1. 橋梁ベント、橋梁架設用タワーは率に含まれるため適用しない。
  - 2. 敷鉄板については敷鉄板設置撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。

# (5) 重建設機械分解·組立

# 1) 適用範囲

本資料は、工事現場に搬入搬出する標準的な重建設機械の分解・組立及び輸送に適用し、適用する建設機械 は次表を標準とする。

表2.4 適用建設機械

機械区分	適用建設機械
ブルドーザ	ブルドーザ(リッパ装置付を含む) 普通 21t級以上〜44t級以下 湿地 20t級以上〜28t級以下
バ ッ ク ホ ウ 系	バックホウ (超ロングアーム型は除く) 山積1.0m <sup>3</sup> 以上〜2.1m <sup>3</sup> 以下 (平積0.7m <sup>3</sup> 以上〜1.5m <sup>3</sup> 以下) 油圧クラムシェル・テレスコピック 平積0.4m <sup>3</sup> 以上〜0.6m <sup>3</sup> 以下
クローラクレーン系	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 吊能力 16t以上〜300t以下 クラムシェル [油圧ロープ式] 平積0.6m³以上〜3.0m³以下 バイブロハンマ [クローラクレーン・油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・50〜55t吊]
トラッククレーン系	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 オールテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 吊能力 100t以上~550t以下
クローラ式杭打機	ディーゼルハンマ 油 圧 ハ ン マ アースオーガ (二軸同軸式を含む) ディーゼルハンマ・アースオーガ併用 モンケン・アースオーガ併用 鋼管ソイルセメント杭打機 アースオーガ併用圧入杭打機 アースオーガ中掘式 機械質量 20t以上~150t以下
オールケーシング 掘 削 機	オールケーシング掘削機〔クローラ式〕 掘削径 2,000mm以下 オールケーシング掘削機〔スキッド式〕 掘削径 2,000mm以下
地盤改良機械	中層混合処理機 機械質量20t以上~120t以下 サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 (付属機器除く) 深層混合処理機 プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機 機械質量 20t以上~180t以下
トンネル用機械	自由断面トンネル掘削機 ドリルジャンボ コンクリート吹付機 機械質量 20t以上~60t以下

# 2) 施工歩掛

# (イ) 使用機械の規格選定

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表2.5 クレーンの規格選定

/\ \tau 4.4 \\\	4B 46	分解組立用クレー	ン
機械区分	規格	機械名	規格
バ ッ ク ホ ウ 系 オールケーシング掘削機 [ ク ロ ー ラ 式 ] ト ン ネ ル 用 機 械	表2.4 参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t吊
ブ ル ド ー ザ	21t級以下 44t級以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	25t 吊
	質量60t以下	(河道火盘干尶)	25t 吊
地中層混合処理機	質量120t以下	ラフテレーンクレーン	
盤 サンドパイル打機 粉 体 噴 射 撹 拌 機	質量60t以下	[油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型	60t 吊
機   深 層 混 合 処 理 機   ポ レファファリケイティット   バーチカルト・レーン 打機	質量120t以下 質量180t以下	(第2次基準値)] 	
クローラクレーン系	35t 吊以下 (クラムシェル平積0.6m³含む) 80t 吊以下 (クラムシェル平積2.0m³以下含む)	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型	25t吊
	150t 吊以下 (クラムシェル平積 3.0m³以下含む) 300t吊以下	(第2次基準値)]	60t吊
トラッククレーン系	表2.4 参照	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	70t吊
	200t 吊以上 360t 吊以下 550t 吊以下	リフター[せり上げ能力]	50t
クローラ式杭打機	質量60t以下 質量100t以下 質量150t以下	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型 排出ガス対策型 (第2次基準値)]	60t 吊
	表2.4 参照	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第1次基準値)]	60~65t吊
オールケーシング掘削機	表2.4 参照 本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 70t吊を使用する場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	70t吊
[スキッド式]	表2.4 参照 (本体工事でクローラクレーン [油圧 駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)] 100t吊を使用する場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値)]	- 100t吊
	表2.4 参照 (本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 100t吊を使用する場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制)]	

- 第1編 総則
- (注) 1. ラフテレーンクレーン, リフターは, 賃料とし, クローラクレーンは損料とする。 なお, リフター (せり上げ能力50t) の併用1日あたり賃料は224,000円を標準とする。 (オペレーター, 燃料油脂費を含み, 回送, 運搬費は含まない。)
  - 2. 現道上および高架下等のラフテレーンクレーンによる分解組立作業が困難な場合は、リフターを使用する事ができる。
  - 3. 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

# (口) 歩掛

分解・組立1台1回当り歩掛は、次表を標準とする。

表2.6 分解・組立1台1回当り歩掛

機械区分	規格	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) 〔分解+組立〕	運搬費 等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
ブルドーザ	21t級以下	2.8	2. 1	155	21
	44t級以下	4. 6	3. 4	153	21
バックホウ系	山積1. 4m <sup>3</sup> 以下 油圧クラムシェル ・テレスコピック 0. 4m <sup>3</sup> 以上 0. 6m <sup>3</sup> 以下含む	2. 7	1. 4	250	24
	山積2.1m³以下	4. 5	2. 3	256	25
	35t吊以下 (クラムシェル) 平積0.6m³含む)	3. 0	0.8	444	22
クローラクレーン系	80t 吊以下 (クラムシェル) 平積2.0m <sup>3</sup> 以下含む	5. 5	1. 5	434	21
	150t吊以下 (クラムシェル) 平積3.0m³以下含む	11. 3	3. 1	315	15
	300t吊以下	20. 5	5. 7	313	15
	120t吊以下	4. 3	1.5	394	75
	160t吊以下	5. 7	1. 9	409	78
	360t吊以下	11. 7	4. 0	399	75
トラッククレーン系	550t吊以下	20. 9	7. 1	401	76
	200t吊以上 360t吊以下 (リフターを 使用する場合)	11. 0	2. 7	392	83
	550t吊以下 (リフターを 使用する場合)	19. 4	4. 9	390	83
	60t以下	8. 6	2. 1	163	2
クローラ式杭打機	100t以下	15. 5	3. 7	164	2
	150t以下	23. 5	5. 6	163	2
オールケーシング掘削機 〔クローラ式〕	_	3. 9	3. 4	595	5

	機	械	区	分	規	格	労務歩掛 特殊作業員 (人) [分解+組立]	クレーン 運転歩掛 (日) [分解+組立]	運搬費等 率 (%)	諸 雑 費 率 (%)
					-	_	4. 9	11.9 (h)	558	4
オールケー					ーラク [油圧馬 インチ型 ジブ型 対策型	区動式ウ ・ラチス 非出ガス (第3次基 70t吊を	4. 9	11. 9 (h)	490	4
			インチ・ ジブ型技	レーン 逐動式ウ ・ラガス 非出が表 (第3次基 100t吊を	4. 9	11. 9 (h)	370	3		
オールケーシング振 [スキッド式]		式〕	ーラク 「油ン型 インブ策型 規制)]	区動式ウ ・ラチス 非出ガス (2011年	4. 9	11. 9 (h)	361	3		
	rft li	星 沪	<i>△ t</i>	処理機	60t	以下	16. 0	2. 4	265	4
地	т Л	百化	<b>п</b> 2	世生版	120t	以下	41. 2	6. 3	211	3
盤改		サンドパイル打機 粉体噴射撹拌機 深層混合処理機		60t	以下	16. 0	2. 4	213	3	
良機						41. 2	6. 3	211	3	
械	プレファフ゛リケイバーチカルト゛レ	イティット゛	180t	以下	64. 6	9. 9	210	3		
<u>۲</u>	ンネ	・ル	用機	人械	=	=	5. 4	2.0	582	8

- (注) 1. 分解・組立の合計であり、内訳は分解 50%、組立 50%である。
  - 2. 標準的作業に必要な装備品・専用部品が含まれている。
  - 3. 運搬費等には下記①~⑤の費用が含まれており、労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じて計上する。
    - ①トラック及びトレーラによる運搬費〔往復〕(誘導車,誘導員含む)
    - ②自走による本体賃料・損料
    - ③運搬中の本体賃料・損料
    - ④分解・組立時の本体賃料
    - ⑤ウエス,洗浄油,グリス,油圧作動油等の費用
  - 4. 諸雑費は分解・組立のみを計上する際に適用し、下記①~②の費用が含まれており、 労務費・クレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
    - ①分解・組立時の本体賃料
    - ②ウエス,洗浄油,グリス,油圧作動油等の費用

## 3) その他

- (1) 深層混合処理機 (二軸式90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量180t 以下) を適用する。
- (2) 粉体噴射撹拌機 (単軸式19.6kN・m×1) は、地盤改良機械 (機械質量60t以下) を適用する。
- (3) 粉体噴射撹拌機(二軸式55kW×2)は、地盤改良機械(機械質量120t以下)を適用する。
- (4) 粉体噴射撹拌機 (二軸式90kW×2) は、地盤改良機械 (機械質量120t 以下) を適用する。

# 4) 単価表

(1) 重建設機械分解組立輸送1回当り単価表

名 称	規格	単 位	数量	摘 要
特殊作業員		人		表2.6
分解組立用クレーン		日 (h)		表2.5, 2.6
運 搬 費 等		式	1	表2.6
諸雑費		"	1	
計				

(2) 重建設機械分解組立1回当り単価表

名 称	規格	単 位	数量	摘要
特殊作業員		人		表2.6
分解組立用クレーン		日 (h)		表2.5, 2.6
諸雄費		式	1	表2.6
計				

#### 2-3 準備費

(1) 準備費の積算

準備費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 準備及び後片付けに要する費用
- イ 着手時の準備費用
- ロ 施工期間中における準備、後片付け費用
- ハ 完成時の後片付け費用
- 2) 調査・測量、丁張等に要する費用
- イ 工事着手前の基準測量等の費用
- ロ 縦、横断面図の照査等の費用
- ハ 用地幅杭等の仮移設等の費用
- ニ 丁張の設置等の費用
- 3) 準備として行う以下に要する費用

イ ブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹等などを除去する費用(樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)

- ロ 除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用 なお、伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込み作業を含む。(伐採作業に伴う現場内の集積・積込作業 は含まない。)
- 4) 1) から 3) に掲げるもののほか、伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する費用、及び当該建設副産物等の処理費用等、工事の施工上必要な準備に要する費用。
- 5) 準備に伴い発生する交通誘導員の費用については、直接工事費に積上げ計上する。
- (2) 積算方法

準備費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の(1)、(2)、(3) とし、積上げ計上する項目は前記(1)の(1)0 とし、現場条件を適確に把握することにより必要額を適正に積上げるものとする。

# 2-4 事業損失防止施設費

(1) 事業損失防止施設費の積算

事業損失防止施設費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するため の仮施設の設置費、撤去費、及び当該仮施設の維持管理等に要する費用
- 2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用
- (2) 積算方法(県)

事業損失防止施設費の積算は、平成22年9月28日付22 用地第170号「事業損失の防止対策について(通知)」 によるものとする。

(3) 施工箇所(県)

工事施工にあたって事業損失の発生の恐れがあると判断した箇所とする。

#### 2-5 安全費

(1) 安全費の積算

安全費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 安全施設等に要する費用
- 2) 安全管理等に要する費用
- 3) 1) ~2) に掲げるもののほか、工事施工上必要な安全対策等に要する費用
- (2) 積算方法
  - 1) 安全費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、下記の項目とする。
    - ① 工事地域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要する費用
    - ② 不稼働日の保安要員等の費用
    - ③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、架空線等事故防止対策簡易ゲート、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要する費用及び使用期間中の損料
    - ④ 夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要する費用(大規模な照明設備を必要とする 広範な工事(ダム・トンネル本体工事、トンネル内舗装等工事)は除く)
    - ⑤ 河川、海岸工事における救命艇に要する費用
    - ⑥ 長大トンネルにおける防火安全対策に要する費用(工事用連絡設備含む)
    - ⑦ 酸素欠乏症の予防に要する費用
    - ⑧ 粉塵作業の予防に要する費用(但し、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備、「鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に伴う各ばく露防止対策は、仮設工に計上する)
    - ⑨ 安全用品等の費用 (墜落制止用器具 (フルハーネス型) を含む)
    - ⑩ 安全委員会等に要する費用
    - ① 「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要する費用
  - 2) 上記以外で積上げ計上する項目は、次の各項に要する費用とする。
    - ① 鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入口等に配置する安全管理員等に要する費用
    - ② バリケード、転落防止柵、工事標識、照明等の現場環境改善費の積算(積算方法は、第10章「土木請負工事における現場環境改善費の積算」による)
    - ③ 高圧作業の予防に要する費用
    - ④ 河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要する費用
    - ⑤ ダム工事における岩石掘削時に必要な発破・監視のための費用
    - ⑥ トンネル工事における呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等)に要する費用
    - ① 鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における呼吸用防護具(電動ファン付粉塵用呼吸用防護具等) に要する費用
    - ⑧ 「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における切羽変位計測に要する費用(トンネル(NATM)の計測Aに要する費用については除く)
    - ⑨ その他現場条件等により積上げを要する費用
- 3) トンネル工事における呼吸用保護具の積算

トンネル建設工事における掘削及び支保工に使用する呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用保護具等)の費用として、1工事当り次式により「呼吸用保護具等費用」を計上するものとする。

呼吸用保護具等費用=1,660,000+総労務費×0.5%(円)

なお、上記計算式は呼吸用保護具の規格がB級(半面形面体)の場合に適用する。

上記以外の規格を適用する場合は別途考慮するものとする。

なお、総労務費とは、1 工事当りのトンネル世話役、トンネル特殊工、トンネル作業員の労務費(鏡吹付施工労 務費を含む)合計額とする。

(注) B級とは濡れ率の性能等級を示す。

#### 2-6 役務費 (建地·県)

- (1) 役務費として積算する内容は次のとおりとする。
  - 1) 土地の借り上げ等に要する費用
  - 2) 電力、用水等の基本料
  - 3) 電力設備用工事負担金
- (2) 役務費の積算

役務費の積算は、現場条件を的確に把握し、必要額を適正に積み上げるものとする。

1) 雷力基本料金

料金は、負荷設備、使用条件に応じて異なるため、個々に電力会社の「電気供給規程」により積算する。

2) 電力設備用工事負担金

電力設備用工事負担金とは、臨時電力(1年未満の契約の契約期間の場合に適用)の臨時工事費及び高圧電力甲等(1年以上の契約期間で1年間までは負荷を増減しない場合に適用)の、工事負担金を総称するものである。

工事負担金は、使用する設備容量、電気供給契約種別、電力会社が施設する配電線路の延長等によって異なるので設備容量、使用期間、使用場所等を定めて負担金を計上する。

- (3) 借地料及び立木補償費の積算
  - 1)請工事に必要な借地料は民有地に設置するコンクリートプラント、アスファルトプラント定置 式コンプレッサー、ケーブルクレーン設備、仮運搬路、給水設備等である。
  - 2) コンプレッサー、ケーブルクレーン、仮運搬路、給水設備、その他工事設備として必要な敷地 はその都度求積して積算すること。ただし労務者宿舎、現場事務所、倉庫及び材料保管場は営繕 費にて計上されているので役務費の借地料には計上しないこと。
  - 3) 借 地 料

請負工事に必要な土地の借上料は次のとおりとする。但し計上は役務費又は補償費とするが その扱いについては必要に応じて主管課と協議する。

イ 近傍類地に賃借りの事例がある場合

100 事例の契約条件等の上妥当額に――を乗じて決定する。

ロ 近傍類地に賃借りの事例がない場合

$$1m^2$$
当り借地料=  $\frac{A \cdot a}{12} \times B \times \frac{100}{110}$ 

A=借地の正常な取引価格 (m²当り)

- a =年間の地代又は賃借相当額+公租公課等相当額
  - (イ) 宅地・宅地見込地および農地 6%
  - (ロ) 山林およびその他の土地 5%

B=工 期 (月数)

30日未満は借上返還日数を勘案して切上げとする。

上記算出額を参考の上、決定する。

- ハ 工期延長の場合は設計変更において処理する。
  - 但し、業者の責任に属する期間延長は除く。
- ニ 立木、物件等の補償を要するものは借上料のほかに計上する。
- 4) 工事用敷地の借上げ及び補償

営繕損料に属せず工事施工上特に必要な用地の借上げ及び補償に要する費用は計上することができる。但し計上は役務費又は補償費とするが、その扱いについては必要に応じて主管課と協議する。

- イ 埋戻土砂の仮置場に適当な場所がなく附近地の借上げを必要とする場合
- ロ 含水が大きく特に軟弱で直接盛土又は搬入作業ができず脱水のため一時仮置場敷地の必要な場合
- ハ 仮設道路用敷地、機械搬入用敷地の必要な場合
- ニ 多量の土砂をブルドーザー掘削仮置して他に搬出する場合
- ホ 支給土の適当な荷渡し場所がなく、かつ、工程上止むなく集積場を必要とする場合
- へ その他工事施工上特に必要と認められる場合
  - ※ 用地補償費については工事費の構成外である。
- (4) 買収用地内のみで工事を遂行することが困難と判断される工事にあっては踏荒し料を計上することができる。

平地部(田、畑等)工事延長×1.0m

山地部(山林) 工事延長×2.0m

上記により難い場合は別途積算すること。

(5) 踏荒し料単価は上記(3)と同じとする。

#### 2-7 技術管理費 (建地・県)

(1) 技術管理費の積算

技術管理費として積算する内容は次のとおりとする。

- 1) 品質管理のための試験等に要する費用
- 2) 出来形管理のための測量等に要する費用
- 3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用
- 4) 1) ~3) に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用
- (2) 積算方法

技術管理費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)のうち下記項目とする。

- ①品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用
- ②出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用
- ③工程管理のための資料の作成等に要する費用
- ④完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に 要する費用
- ⑤建設材料の品質記録保存に要する費用
- ⑥コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用
- ⑦コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用
- ⑧非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定に要する費用
- ⑨微破壊、非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用
- ⑩PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用
- ⑪トンネルエ(NATM) の計測Aに要する費用
- ⑫塗装膜厚施工管理に要する費用
- ③溶接工の品質管理のための試験等に要する費用 (現場溶接部の検査費用を含む)
- ⑭施工管理で使用するOA機器の費用(情報共有システムに係る費用(登録料及び利用料)を含む)
- ⑤品質証明に係る費用(品質証明費)
- 16建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用

上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。

- (イ) 特殊な品質管理に要する費用
  - ・ 土質等試験: 品質管理基準に記載されている項目以外の試験
  - ・地質調査:平板載荷試験、ボーリング、サウンディング、その他原位置試験
- (ロ) 現場条件等により積上げを要する費用
  - ・軟弱地盤等における計器の設置・撤去及び測定・とりまとめに要する費用
  - ・試験盛士等の工事に要する費用、トンネル (NATM) の計測 B に要する費用
  - ・下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要する費用
  - ・施工前に既設構造物の配筋状況の確認を目的とした特別な機器(鉄筋探査器等)を用いた調査に要する費用
  - ・防護柵の出来型管理のための非破壊試験に要する費用
- (ハ) 施工合理化調査、施工形態動向調査及び諸経費動向調査に要する費用
  - ・調査に要する費用とし、その費用については、間接工事費、一般管理費等の対象とする。
- (二) ICT建設機械に要する以下の費用
  - 保守点検

(施工箇所が点在する工事においては、施工箇所毎の施工数量によるものとするため、箇所毎に必要額を計上するものとする。)

・システム初期費

(1 工事当り使用機種毎に一式計上とする。施工箇所が点在する工事の場合は、箇所毎に計上するのではなく、1 工事当り使用機種毎に一式計上とする。)

- ・3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用
- (ホ) その他、前記イ、ロ、ハ、ニに含まれない項目で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要する費用

#### 2-8 営繕費

- (1) 営繕費として積算する内容は次のとおりとする。
  - 1) 現場事務所、試験室等の営繕(設置・撤去、維持・修繕)に要する費用
  - 2) 労働者宿舎の営繕(設置・撤去、維持・修繕)に要する費用
  - 3) 倉庫及び材料保管場の営繕(設置・撤去、維持・修繕) に要する費用
  - 4) 労務者の輸送に要する費用
  - 5) 上記1)、2)、3) に係る土地・建物の借上げに要する費用
  - 6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修) に要する費用
  - 7) 1) ~6) に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕等に要する費用
- (2) 積算方法

営繕費として積算する内容で共通仮設費率に含まれる部分は、前記(1)の1)、2)、3)、4)、5)及び6)の内以下の項目とする。

・コンクリートダム、フィルダム工事では、監督員詰所及び火薬庫等の設置・撤去、維持・補修に要する費用を 含む。

上記以外で積上げする項目は、次の各項に要する費用とする。

1) 監督員詰所及び火薬庫等の営繕に要する費用

監督員詰所及び火薬庫等の設置は工事期間、工事場所、施工時期、工事規模、監督体制等を考慮して必要な費用を積上げるものとする。

- イ. 監督員詰所
  - ・設置撤去する場合 Ek=A(500・M+14,150)+t・M
  - ・設置のみの場合 Ek=A(500・M+10,600)+t・M
  - ・撤去のみの場合 Ek=A(500・M+3,550)+t・M
  - ・損料のみの場合 Ek=A(500・M)+t・M
  - 但し、Ek:監督員詰所に係る営繕費

(Ek には、建物の設置・撤去・損料に要する費用、電気・水道・ガス設備の設置・撤去に要する費用、下記tの費用が含まれる。)

A:建物面積 (m²)

(建物面積は人員 2 名までは 25m² を標準とする。ただし、現場条件及び夜間作業を伴い宿泊施設を要する場合等により、詰所の規模は別途考慮することができる。)

- M:月数(必要日数を30日で除し、小数第2位を四捨五入し、第1位とする。)
- t:次の項目に要する費用
  - a. 備品(机、いす、黒板、温度計、書籍、時計、エアコン、消火器、湯沸器、ロッカー、応接セット)に要する費用

備品は損料として13,800円/月を計上する。

- b. その他、現場条件等により積上げを要する費用。
- (注) 1. 備品及び車庫を計上する場合は、特約事項又は特記仕様書に明示するものとする。
  - 2. 上記の Ek については、電気、水道、ガスに係る基本料及び使用料は含まれていない。
  - 3. 電気、水道、ガスに係る既設の供給管(線)と監督員詰所が離れている場合は、別途考慮することができる。
  - 4. 監督員詰所の設置にあたり土地等の借上げが必要な場合は、別途考慮することができる。

## 口. 火薬庫類

#### (イ) 火薬庫類の計上区分

(a) 大規模工事(1工事の火薬使用料が、20t以上の工事)

表 2.1 火薬庫類等の計上区分及び規格

表 2.1 八条库赖寺 2 时 工 区 万 次 U 元 H					
火薬庫類等		等		規	格
火	薬	庫	2級火薬庫 鋼製移動式	2t 庫	5. 0m <sup>2</sup>
火	工 品	庫	鋼製移動式	1t 3.	$2m^2$
取	扱	所	鋼製移動式	$3.2 \text{m}^2$	
火	工	所	組立テント式	1. 9m <sup>2</sup>	

(注)各都道府県等の条例、現場条件等により現場に火薬庫を設置することが 不適当と判断される場合は小規模工事に準ずる。

# (b) 小規模工事 (大規模以外の工事)

表 2.2 火薬庫類等の計上区分及び規格

火	薬 庫	類 等	規	格	適用
取	扱	所	鋼製移動式	3. 2m <sup>2</sup>	1日の使用料が 25kg 以下の場合は計上 しない。
火	エ	所	組立テント式	1.9m <sup>2</sup>	

(注) 交通不便な箇所において火薬庫を設置して火薬類を保管する必要があると判断される場合、又は各 都道府県等で条例、その他別途定められている場合においては必要に応じて火薬庫を計上するものと する。

#### (ロ) 火薬庫類の営繕損料

表 2.3 1 現場当り火薬庫類損料

火	薬 庫 類	等	規格	損料(2年以下一律)(円)
火	薬	庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0m <sup>2</sup>	620, 000
火	工 品	庫	鋼製移動式 1t 3.2m <sup>2</sup>	523, 000
取	扱	所	鋼製移動式 3.2m <sup>2</sup>	459, 000
火	エ	所	組立テント式 1.9m2	54, 000

- (注) 1. 1 現場当りの使用期間が 2 年を超える場合は下記のとおりとする。
  - a. 2年を超え4年以下の場合は、上表損料の40%増とする。
  - b. 4年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。
  - 2. 火薬庫類損料には、火薬庫類の設置・撤去、立入防止柵、警報装置等の費用を含む。

#### (ハ) 保安管理費

火薬庫、火工品庫を設置する工事にあたっては、火薬類盗難防止の万全を期するため、必要に応じて 夜間巡回等の見張人を安全費に計上するものとする。ただし、上記の場合は特記仕様書にその旨を記載 するものとし、次式により算定する。

保安管理費=火薬庫類設置期間(月)×30日/月×普通作業員単価(昼間単価)

- (注) 火薬庫類設置期間は火薬を使用する工種の設計工程から求めるものとし、
  - 0.5ヶ月単位(2 捨3入)とする。
- (二) 火薬庫類の設置にあたり土地の借上げが必要な場合は別途計上することができる。
- 2) 現場事務所、監督員詰所等の美装化、シャワーの設置、トイレの水洗化等に要する費用とし、積算方法は第10章[土木請負工事における現場環境改善費の積算]による。
- 3) その他、現場条件等により積上げを要する費用

#### 3. 現場管理費

- (1) 現場管理費の項目及び内容
  - 1) 労務管理費

現場労働者に係る次の費用とする。

- イ. 募集及び解散に要する費用(赴任旅費及び解散手当を含む。)
- ロ. 慰安, 娯楽及び厚生に要する費用
- ハ. 直接工事費及び共通仮設費に含まれない作業用具及び作業用被服の費用
- 二. 賃金以外の食事, 通勤等に要する費用
- ホ. 労災保険法等による給付以外に災害時には事業主が負担する費用
- 2) 安全訓練等に要する費用

現場労働者の安全・衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用

3) 租税公課

固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課。ただし、機械経費の機械器具等損料に計上された租税公課は除く。

4) 保険料

自動車保険(機械器具等損料に計上された保険料は除く。)工事保険,組立保険,法定外の労災保険,火災保険, その他の損害保険の保険料

5) 従業員給料手当

現場従業員の給料,諸手当(危険手当,通勤手当,火薬手当等)及び賞与 ただし、本店及び支店で経理される派遣会社役員等の報酬及び運転者、世話役等で純工事費に含まれる現場従業 員の給料等は除く。

6) 退職金

現場従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰入額

7) 法定福利費

現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額並びに建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額

8) 福利厚生費

現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用

9) 事務用品費

事務用消耗品,新聞,参考図書等の購入費

10) 通信交通費

通信費,交通費及び旅費

11) 交際費

現場への来客等の応対に要する費用

12) 補償費

工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音,振動,濁水,交通騒音等による事業損失に係る 補償費

ただし、臨時にして巨額なものは除く。

13) 外注経費

工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要となる経費

14) 工事登録等に要する費用

工事実績等の登録に要する費用

15) 動力・用水光熱費

現場事務所, 試験室, 労働者宿舎, 倉庫及び材料保管庫で使用する電力, 用水, ガス等の費用(基本料金を含む。)

- 16) 公共事業労務費調査に要する費用
- 17) 雑費

1)から16)までに属さない諸費用

## (2) 現場管理費の算定

1) 現場管理費は別表第2(第1表~第5表)の工種区分に従って純工事費ごとに求めた現場管理費率を,当該純工事費に乗じて得た額の範囲内とする。

なお、現場管理費の算定上、対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1)率計算による 部分の (二)」及び「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

- 2) 2種以上の工種からなる工事については、その主たる工種の現場管理費率を適用するものとし、また、工事条件によっては、工事名にとらわれることなく工種を選定するものとする。
- 3) 設計変更で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。
- (3) 現場管理費率の補正
  - 1) 緊急工事は 2.0%の補正値を加算するものとする。緊急工事とは、昼夜間連続作業が前提となる工事で直轄河川災 害復旧事業等事務取扱要綱第 9 条に示す緊急復旧事業及び直轄道路災害復旧事業事務取扱要綱第 10 条に示す緊急 復旧事業並びにこれと同等の緊急を要する事業とする。
  - 2) 施工地域を考慮した現場管理費率の補正及び計算
    - イ) 表-3の適用条件に該当する場合,別表第2(第1表~第4表)の現場管理費率に下表の補正係数を乗じるものとする。

表-3 地域補正の適用

適用条件						
施工地域区分	工種区分	対象	係数	優先		
大都市	鋼橋架設工事 舗装工事 電線共同溝工事 道路維持工事 下水道工事 (1)、(2)、(4)	名古屋市の市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1. 2	1		
市街地(DID 補正)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。				
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	2 車線以上(片側1車線以上)かつ交通量(上下合計)が5,000台/日以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。	1. 2	2		
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事 道路維持工事 舗装工事 橋梁保全工事	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変更を促す規制を伴う場合。(常時全面通行止めの場合を含む。)				
市街地(DID 補正)	鋼橋架設工事	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1. 1	3		
一般交通影響有り (1)	電線共同溝工事、 道路維持工事、舗 装工事、橋梁保全 工事以外の工種 (※)	2 車線以上 (片側 1 車線以上) かつ交通量 (上下合計)が 5,000 台/日以上の車道において、車線変更を促す規制を行う場合。ただし、常時全面通行止めの場合は対象外とする。	1. 1	4		
一般交通影響有り (2)	電線共同溝工事、 道路維持工事、舗 装工事、橋梁保全 工事以外の工種 (※)	一般交通影響有り(1)以外の車道において、車線変 更を促す規制を行う場合。(常時全面通行止めの場合 を含む。)	1. 1	5		
市街地(DID 補正)	鋼橋架設工事、 電線共同溝工事、 道路維持工事、舗 装工事、橋梁保全 工事以外の工種 (※)	市街地部が施工箇所に含まれる場合。	1.1	6		
山間僻地及び離島	全ての工種(※)	人事院規則における特地勤務手当を支給するために 指定した地区、及びこれに準ずる地区の場合。	1. 0	7		

※コンクリートダム及びフィルダム工事は適用しない

- (注) 1. 市街地とは、施工地域が人口集中地区 (DID 地区) 及びこれに準ずる地区をいう。 なお、DID 地区とは、総務省統計局国勢調査による地域別人口密度が 4,000 人/km²以上でその全体が 5,000 人以上となっている地域をいう。
  - 2. 山間僻地及び離島とは、施工地域が人事委員会規則における特地勤務手当・へき地手当を支給するために 指定した地区、及びこれに準ずる地区をいう。(県)

#### <山間僻地該当地区>

- ・西三河建設事務所管内:岡崎市のうち旧額田町
- ・豊田加茂建設事務所管内:豊田市のうち 旧旭町、旧足助町、旧稲武町、旧小原村、旧下山村
- ・新城設楽建設事務所管内: 設楽町、東栄町、豊根村、新城市のうち旧鳳来町、旧作手村
- 3. 適用条件の複数に該当する場合は、適用優先によるが、共通仮設費で決定した施工地域区分と同じものを適用すること。

#### 3) その他

- イ) 災害の発生等により、本基準において想定している状況と実態が乖離している場合などについては、上記1) 及び2) のほか、必要に応じて実態等を踏まえた補正係数を設定することができるものとする。
- ロ) 設計変更時における現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により当初計上 した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できるこ ととなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。
- (4) 支給品の取扱い
  - 1) 資材等を支給するときは、当該支給品費を純工事費に加算した額を現場管理費算定の対象となる純工事費とする。
- (5) 現場管理費の積算において支給品、貸付機械がある場合は、次により積算する。
- 1) 別途製作工事で製作し、架設(据付)のみを分離して発注する場合は、当該製作費は積算の対象とする純工事費には含めない。
- 2) 当初の支給品の価格決定については、官側において購入した資材を支給する場合、現場発生資材を官側において保管し再使用品として支給する場合とも、入札時における市場価格又は類似品価格とする。
- 3) コンクリートダム工事、フィルダム工事については、無償貸付機械等評価額及び支給電力料(基本料金含む)は、 積算の対象となる純工事費には含めない。
- (6) 「処分費等」の取扱い

「処分費等」とは、下記のものとし、「処分費等」を含む工事の積算は、当該処分費等を直接工事費に計上し、間接工事費等の積算は、表のとおりとする。

- 1) 処分費(再資源化施設の受入費を含む)
- 2) 上下水道料金
- 3) 有料道路利用料

区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%以下 でかつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」の3%を超 える場合又は処分費等が3千万円を超える場合
共 通 仮設費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
現場管理費	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。
一般管理費等	処分費等は全額を率計算の対象とする。	処分費等は「共通仮設費対象額(P)」の3%の金額を率計算の対象とし、3%を超える金額は率計算の対象としない。 ただし、対象とする金額は3千万円を上限とする。

- (注) 1. 上表の処分費等は、準備費に含まれる処分費を含む。 なお、準備費に含まれる処分費は伐開、除根等に伴うものである。
  - 2. 処分費を計上する場合は、「第 I 編第 2 章②間接工事費 2. 共通仮設費 2-3 準備費」により計上すること。
  - 3. 上表により難い場合は別途考慮するものとする。

#### (7) 現場管理費の計算

1) 施工時期, 工事期間, 施工地域を考慮した計算

現場管理費=対象純工事費×{(現場管理費率×補正係数)+補正値}

対象純工事費:純工事費+支給品費+無償貸付機械等評価額

ただし、現場管理費率は、別表第1(第1表~第5表)による。

補正係数は、(3)2) 施工地域を考慮した現場管理費率の補正による。

補正値は、(3)1) 施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正による。

なお,補正係数を乗じる場合は,現場管理費率 J o の端数処理後に係数を乗じて,小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

#### 別表第2

#### 現場管理費率

#### 第1表

対象額	700万円 以 下	700万円を超え10億円 以 下		10億円を 超えるも <i>の</i>
適用区分	下記の 率 とする (2)の算定式により算出された率と する。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする	
工種区分	3	A	b	
河 川 工 事	43. 43	1, 276. 7	<b>-</b> 0. 2145	14. 98
河川・道路構造物工事	42. 54	458. 2	<b>−</b> 0. 1508	20. 13
海岸工事	27. 79	113. 9	<b>−</b> 0. 0895	17.82
道路改良工事	33. 69	87. 0	-0.0602	24. 99
鋼橋架設工事	48. 24	303. 1	<b>−</b> 0. 1166	27. 05
P C 橋 工 事	30. 78	120. 9	-0.0868	20.01
舗 装 工 事	40. 38	668.7	<b>−</b> 0. 1781	16. 69
砂防・地すべり等工事	45. 75	1, 370. 6	<b>−</b> 0. 2157	15. 69
公 園 工 事	42. 63	387. 3	<b>−</b> 0. 1400	21. 28
電線共同溝工事	60. 36	2, 408. 8	<b>−</b> 0. 2339	18. 91
情報ボックス工事	54. 04	1, 692. 0	<b>−</b> 0. 2185	18. 28
下水道(4)工事	35. 05	204. 8	<b>−</b> 0. 1120	20. 11

<sup>(</sup>注) 基礎地盤から堤頂までの高さが20m以上の砂防堰堤は、砂防・地すべり等工事に2%加算する。

### 第2表

K.				
対象額	700万円 以 下	700万円を 以	と超え3億円 下	3億円を 超えるも <i>の</i>
適用区分	下記の 率 とする	(2)の算定式により算出された率と する。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
工種区分		A	b	
橋梁保全工事	64. 97	1, 623. 7	<b>−</b> 0. 2042	30. 16

# 第3表

対象額	200万円 以 下	200万円を超え1億円 以 下		1億円を 超えるもの
適用区分	下記の 率 とする	(2)の算定式により算出された率と する。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
工種区分	3	A	b	
道路維持工事	60.00	631. 2	<b>−0.</b> 1622	31. 81
河川維持工事	42. 12	172. 3	-0.0971	28. 81

#### 第4表

771X					
	対象額	1,000万円 以 下			20億円を 超えるもの
適用区分		下記の 率 とする	(2)の算定式により算出された率と する。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
工種区分		,	A	b	C 7 W
共同溝等工事	(1)	50. 01	397. 4	<b>−</b> 0. 1286	25. 30
共   円   併   守   上   争	(2)	38. 33	119.6	<b>−</b> 0. 0706	26. 37
トンネルエ	事	44. 97	220. 0	<b>−</b> 0. 0985	26. 69
	(1)	34. 56	56. 6	<b>−</b> 0. 0306	29. 39
下 水 道 工 事	(2)	37. 79	229. 8	<b>−</b> 0. 1120	20. 88
	(3)	32. 44	52. 7	-0.0301	27. 66

### 第5表

対象額	3億円 以 下	3億円を超え50億円 以 下		50億円を 超えるもの
適用区分	下記の 率 とする	(2)の算定式により算出された率と する。 ただし、変数値は下記による。		下記の 率 とする
工種区分		A	b	
コンクリートダム	30. 41	41. 0	<b>−</b> 0. 0153	29. 13
フィルダム	33. 56	184. 8	-0.0874	26. 24

#### (8) 算定式

Jo=A・Np<sup>b</sup> ただし, Jo:現場管理費率 (%)

N p : 純工事費(円)

A, b:変数値

(注) 1. Joの値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする

2. 対象とする純工事費については、「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 1)率計算による部分 の (二)」及び「2. 共通仮設費 (2) 算定方法 5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

# ③ 現場発生品及び支給品運搬

#### 1. 適用範囲

本資料は、現場発生品・支給品運搬に適用する。

- 1-1 適用できる範囲
  - (1) 防護柵, コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積込み, 荷卸し及び指定箇所までの運搬
- 1-2 適用できない範囲は、以下のいずれかの条件に該当する場合
  - (1) 4t 積車を超える車種を使用する場合
  - (2) 現場発生品又は支給品以外の積込み, 運搬
  - (3) 自動車専用道路を利用する場合
  - (4)「第Ⅱ編第2章共通工⑩旧橋撤去工」により発生した高欄の運搬の場合

#### 2. 施エパッケージ

- 2-1 現場発生品・支給品運搬 (SCB010410)
  - (1) 条件区分

条件区分は,次表を標準とする。

表 2. 1 現場発生品・支給品運搬 積算条件区分一覧

(積算単位:回)

トラック機種	片道運搬距離	1回当り平均積載質量
		0.1t 以下
		0.1t 超 0.2t 以下
		0.2t 超 0.3t 以下
クレーン装置付 ベーストラック 2t 積,吊能力 2t	(主 2 2)	0.3t 超 0.5t 以下
(参考) 荷台長 L=3. 0m 荷台幅 W=1. 6m	(表 2. 2)	0.5t 超 0.8t 以下
(参与) 何 口		0.8t 超1.1t 以下
		1.1t 超1.5t 以下
		1.5t 超 2.0t 以下
	(#.0.0)	0.1t 以下
		0.1t 超 0.2t 以下
		0.2t 超0.3t 以下
		0.3t 超0.5t 以下
クレーン装置付		0.5t 超 0.8t 以下
ベーストラック 4~4.5t 積, 吊能力 2.9t (参考) 荷台長 L=3.4m 荷台幅 W=2.0m	(表 2. 2)	0.8t 超1.1t 以下
( )		1.1t 超1.5t 以下
		1.5t 超 2.0t 以下
		2.0t 超 2.6t 以下
		2.6t 超 2.95t 以下

- (注) 1. 上表は、構造物等撤去に伴う現場発生材や防護柵、コンクリート二次製品等の現場発生品又は支給品の積込み、指定箇所までの運搬、取卸し等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
  - 2. 運搬費は発生(又は支給)する工種毎に直接工事費として計上する。

表 2. 2 片道運搬距離

·	
積算条件	区 分
	2.0km 以下
	5.0km 以下
	9.0km 以下
	14.0km 以下
片道運搬距離	20.0km 以下
	27.0km 以下
	35.0km 以下
	46.0km以下
	60.0km以下

(注) 運搬距離が60kmを超える場合は別途考慮する。

# (2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 2. 3 現場発生品・支給品運搬 代表機労材規格一覧

	20, 2.	人 犹豫无工的 飞机的连溅 人名俄万特然位 员	2
項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 2t 積 吊能力 2.0t トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4~4.5t 積 吊能力 2.9t	
	K2	_	
	K3	-	
	R1	運転手(特殊)	
労務	R2	普通作業員	
力伤	R3	-	
	R4	-	
	Z1	軽油1.2号 パトロール給油	
++401	<b>Z</b> 2	-	
材料 	Z3	-	
	Z4		
市場単価	S	_	

# 第3章 一般管理費等及び消費税相当額

1 -	一般管理費等······I -3-①- 1	2	消費税相当額······ I -3-②- 1
1	一般管理費の項目及び内容······ I -3-①- 1		
2	付加利益····· I -3-①- 2		
3	一般管理費等の算定····· I -3-①- 2		
4	一般管理費等率の補正······ I -3-①- 2		

# 第3章 一般管理費等及び消費税相当額(建地-I)

## ① 一般管理費等

#### 1. 一般管理費の項目及び内容

(1)役員報酬

取締役及び監査役に対する報酬及び役員賞与(損金算入分)

(2) 従業員給料手当

本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与

(3) 退職金

退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金

(4) 法定福利費

本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額

(5)福利厚生費

本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用

(6)修繕維持費

建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等

(7)事務用品費

事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費

(8) 通信交通費

通信費、交通費及び旅費

(9)動力、用水光熱費

電力、水道、ガスの費用

(10)調査研究費

技術研究、開発等の費用

(11) 広告宣伝費

広告、公告、宣伝に要する費用

(12)交際費

本店及び支店などへの来客等の応対に要する費用

- (13) 寄付金
- (14) 地代家賃

事務所、寮、社宅等の借地借家料

(15)減価償却費

建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額

(16)試験研究費償却

新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額

(17) 開発費償却

新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額

(18)租税公課

不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課

(19)保険料

火災保険及びその他の損害保険料

(20)契約保証費

契約の保証に必要な費用

(21)雑費

電算等経費、社内打ち合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用

#### 2. 付加利益

- (1) 法人税、都道府県民税、市町村民税等
- (2) 株主配当金
- (3) 役員賞与(損金算入分を除く)
- (4) 内部留保金
- (5) 支払利息及び割引料、支払保証料その他の営業外費用

#### 3. 一般管理費等の算定

一般管理費等は、1 及び 2 の額の合計額とし、別表第 1 の工事原価ごとに求めた一般管理費等率を当該工事原価に乗じて得た額の範囲内とする。

なお、一般管理費等の算定上、対象とする工事原価については、「第2章②間接工事費2.共通仮設費(2)算定方法1)率計算による部分の(二)」及び「第2章②間接工事費2.共通仮設費(2)算定方法5)間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

#### 4. 一般管理費等率の補正

- (1) 前払金の保証がある工事において、以下の事項に該当する場合に補正を行う。なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外である。
- 1) 前払金支出割合の相違による取扱い 前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、別表第2の前払金支出割合区分ごとに定める補正 係数を3で算定した一般管理費等率に乗じて得た率とする。
- 2) 契約の保証に必要な費用の取扱い 前払金支出割合の相違による補正までを行った値に、別表第3の補正値を加算したものを一般管理費等と する。
- (2) 支給品等の取扱い

資材等を支給するときは、当該支給品費は一般管理費等算定の基礎となる工事原価に含めないものとする。

(3) 自社製品の取扱い(プレテン桁、組立式橋梁、規格ゲート、標識等を製作専門メーカーに発注する場合) について自社製品であっても、他社製品と同様に一般管理費等の対象とする。

#### 別表第1

#### 一般管理費等率

(1) 前払金支出割合が 35%を超え 40%以下の場合

CV IIIV ADVINCTION OF COCK TRANCE					
	工 事 原 価	500 万円以下	500 万円を超え 30 億円以下	30 億円を超えるもの	
	一般管理費等率	23. 57%	一般管理費等率算定式により算出された率	9. 74%	

#### (2) 算定式

[一般管理費等率算定式]

 $G p = -4.97802 \times L0G(Cp) + 56.92101(\%)$ 

ただし、Gp: 一般管理費等率(%) Cp: 工事原価(単位円)

- (注)1. Gp の値は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。
  - 2. 対象とする工事原価については、「第2章②間接工事費 2.共通仮設費 (2) 算定方法 1) 率計算による部分の(二)」及び「第2章②間接工事費 2.共通仮設費 (2) 算定方法 5) 間接工事費等の項目別対象表」を参照のこと。

#### 別表第2

#### 一般管理費等率の補正

前払金支出割合区分	0%から 5%以下	5%を超え 15%以下	15%を超え 25%以下	25%を超え 35%以下
補 正 係 数	1.05	1.04	1.03	1.01

- (注)1. 別表第1で求めた一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。
  - 2. 愛知県出納事務局長通知平成 22 年 9 月 21 日付け 22 出納第 133 号 「公共工事の前払金について (通知)」抜すい (県-I)
    - 1 前払金のできる経費 公共工事に要する経費で1件の契約金額が200万円以上のもの。
    - 2 前払金のできる額

前項の経費のうち、土木建築に関する工事(土木建築に関する工事の設計及び調査並びに土木 建築に関する工事の用に供することを目的とする機械類の製造を除く。)の経費については、当該経費については、10分の4の割合を乗じて得た額。中間前払い金については、10分の2の割合を乗じた額。 その他の経費については、当該経費に10分の3を乗じて得た額。

#### 別表第3

#### 契約保証に係る一般管理費等率の補正

保証の方法	補正率(%)	
ケース-1:発注者が金銭的保証を必要とする場合。(工事請負契約約款第4条を採用する場合)	0.04	
ケース-2:発注者が役務的保証を必要とする場合。		
ケース-3:ケース1及び2以外の場合。	補正しない	

- (注) 1. 契約の保障についての積算は、平成8年8月22日付8士管第350号「契約の保障について(通知)」によるものとする。(予定価格が500万円以上の工事は計上する。)
  - 2. 契約保証費を計上する場合は、原則として当初契約の積算に見込むものとする。
  - 3. 愛知県では役務的保証は原則行っていない。(県)

# ② 消費税相当額

消費税相当額の積算は次のとおりとする。

消費税相当額は、工事価格に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額とする。

# 第4章 設計積算上の注意

1	淖	待作業における仮締切方法別による歩増
		I -4-①- 1
2	彭	計変更の取り扱い・・・・・・ I −4−②− 1
	1	変更理由I-4-2-1
	2	変更請負額の算定······ I -4-②- 1
	3	変更設計書(実施設計)の作成······ I -4-2- 1
	4	変更図面······I-4-②- 1
	5	設計変更のできる範囲I-4-②- 1
	6	設計変更による契約変更の範囲 I -4-2-2
	7	直接工事費の変更······ I -4-②- 2
	8	共通仮設費の変更······ I -4-②- 2
	9	現場管理費及び一般管理費の変更 I -4-②- 2
	10	設計変更 I -4-2- 3
		1. 一般事項⋯⋯⋯ I -4-②- 3
	4	2. 設計変更の計算例······ I -4-②- 3
3	資	材単価にかかわる愛知県ブロック細分図
		····· I -4-3- 1
4	秱	賃算基準出典根拠及び担当課室 I -4-④- 1
	1	出典根拠····· I -4-④- 1
	0	₩ ¥ 3 1 - 4 - 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1

# 第4章 設計積算上の注意

# ① 潮待作業における仮締切方法別による歩増(建災要ー I)

海岸又は感潮河川において、人力土工及びコンクリート打設、石積工等で潮待作業を考慮する必要がある場合は下記の基準による。

完全仮締切 仮締切なし 仮締切方法 仮締切高さ H. W. L. 以上 H. W. L. ∼M. S. L M. S. L. 以下 H. W. L. 以下に 施工基面が 10%以内 20%以内 ついて行う。 ① M. L. W. L. 切取・床掘等の潮 以下…30%以内 待の歩増率 ② M. L. W. L. ~ M. S. L. …20%以 ③ M. S. L.以上… 10%以内 M. L. W. L. 以下を M. L. W. L. 仮締切高さ以下床掘 仮締切高さ以下床掘 床掘の範囲 床掘 以下床掘 概 略 义 ①の場合 9. W. L <u>й.Г.W.</u>д M L.W.L 水昏床掘 水管床框 水管床棚 (2の場合 H.W.L H.W.L H.W. L H.W.L MLS.Lp M.S.L M.S.L M.S.L 10% 步出 步增 步期 MLWI  $M, \overline{L, W}$ ③の場合 H.W.1 M.S.I 水中原組なし ※建設省所管事業に適用。

表 1.1 潮待作業における仮締切方法別による歩増表

- 注意 1. 締切方法は潮位差、波高、波力、地形、土質及び工事の形態等を充分検討の上決めること。
  - 2. 波ごろし等は必要に応じて計上してよい。締切を行ない、かつ波ごろしを設ける場合は両方の組合せをよく検討の上、不経済とならないようにすること。
  - 3. 各潮面は次のとおり、

H. W. L. · · · · · · 朔望平均溝潮面

M. S. L. · · · · · 平均水面

M. L. W. L. · · · · · 平均干潮面

L. W. L. · · · · · · 朔望平均干潮面

4. 平均干潮面 (M. L. W. L.) の設定されていないものについては、平均干潮面は平均水面 (M. S. L.) と朔望平均干潮面 (L. W. L.) との 1/2 の水面とする。

## ② 設計変更の取り扱い(県-I)

#### 1. 変更理由

設計変更の理由は次の順序に箇条書にて記載するものとする。

- (1) 大きい構造の変更理由及び処置
- (2) 大きい数量の変更理由及び処置
- (3) 工事延期等の理由
- (4) さ細な構造、数量の変更理由

#### 2. 変更請負額の算定

工事の請負契約で設計変更に基づき契約金額を変更するときは、変更設計額に当初の契約金額と原設計額との 比率を乗じて加算しなければならない。

この場合における計算は前乗後除の方法によるものとする。(愛知県財務規則第 134 条) 前乗後除の計算式

### 3. 変更設計書 (実施設計) の作成

本工事内訳書、明細書、代価表、単価表の記載は下記のとおり()書で表示するものとする。

但し、電算による設計書は所定の様式によるものとする。

#### 4. 変更図面

(1) 元設計と変更設計の対象図面は元設計と変更設計がわかり易いよう数字については、元設計を〔〕で表示し、変更を下段に記入する。

又、廃止される部分(数字は除く)を黄色、追加或は変更される部分(数字は除く)については赤色で表示する。

- (2) 変更設計を別図とした場合は元設計図を添付する。
- (3) 図面が変更のない場合添付を要しない。

#### 5. 設計変更のできる範囲

愛知県建設局・都市・交通局・建築局設計変更事務取扱要領による。

#### 6. 設計変更による契約変更の範囲

愛知県建設局・都市・交通局・建築局設計変更事務取扱要領による。

#### 7. 直接工事費の変更

- (1) 機械施工の場合、現場において業者が設計と異なる機種を使用した場合、又は機械の規格が異なる場合、原則として任意施工として取扱い、変更しないものとする。但し、現場条件等で基準による機械を使用するのが著しく不経済か、適用が不適当と認められるものは別途積算することができるものとし、又発注時確認困難な要因、あるいは外的条件により現場条件が変ったため設計機種が不適当となる場合は適正なものに変更できる。
- (2) 輸送費運搬工等は特に目的地を指定する必要のある場合(建設副産物等)を除いては原則として任意施工で取扱い変更しないものとする。
- (3) 設計変更における材料単価の取扱いは、下記によるものとする。
  - 1) 当初設計で設計計上されている材料(工種)の増減分又は規格・寸法のみの変更については、当初設計単価で 設計計上する。
  - 2) 設計変更により、新材料(新工種)を設計計上する場合においては、設計変更の通知を行った時点の物価資料等の単価で積算する。
  - 3) 新単価(設計変更通知時点単価)とした場合には、材料単価、労務単価、機械損料及び歩掛の全てを新単価により積算するものとする。

#### 8. 共通仮設費の変更

(1) 運搬費、準備費、安全費、技術管理費、営繕費の変更

共通仮設費一括率分の変更は、変更対象金額に対応する率により算出する。また、それぞれ積上げ計上分については、本工事の内容変更に伴う工事量の増減及び特記仕様書に変更の対象を明記した場合は変更できる。

- (2) 仮設費の変更
  - 1) 仮設費のうち指定仮設は設計変更の対象とするが、請負者の都合により内容的に上まわった工事を認めても変更の対象としない。
  - 2) 任意仮設は原則として変更しない。そのため設計積算に当っては現場に適合しているか経済的であるか、 慎重に設計を行うこと。但し、本工事の内容変更に伴う工事量の増減及び想定した施工条件の変化等により、 特に変更を要すると認めた場合は設計変更の対象とする。
  - 3) 指定仮設のうち工事施工中に状況変化等のため、指定仮設にする必要がなくなった場合又は任意仮設のうち工事施工中に状況変化等のため指定仮設にする必要を生じた場合、その取扱いを変更することができ設計変更をする。
  - 4) 発注者の責任により工事を一時中止する場合の増加費用は「第 I 編第 11 章工事における工事の延長等に伴う増加費用等の積算 | による。
  - 5) 水替工は、変更後の工事量の増減に応じて積算し変更する。ポンプ台数は現地の状況により必要と認められる場合は機種規格等を勘案して必要な台数に変更できる。
- (3) 役務費の変更

県の責任により工事延期、中止命令をしたために要する仮設工事材料置場等の借地料、電力、用水等の基本料金は、積算して変更できる。

#### 9. 現場管理費及び一般管理費の変更

変更純工事費及び変更工事原価等により算出率に基づいて変更する。但し純工事費及び工事原価の増減により率が変る場合は変更対応率により算出する。

#### 10. 設計変更(建地-I)

- 1. 一般事項
  - (1) 変更設計で数量の増減等により主たる工種が変わっても当初設計の工種とする。
  - (2) 設計変更時における共通仮設費率及び現場管理費率の補正については、工事区間の延長、工期の延長短縮等により 当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正できる こととなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。
- 2. 設計変更の計算例

請負工事の設計変更は、官積算により、次の方法で行なうものとする。

設計額

設計変更の際、元設計及び変更設計の種別、細別等の金額は全て官積算額とする。

・設計変更の要領 設計変更の積算は、次の方法により行なう。

#### 第1回変更請負額

 工事価格
 当初請負額
 ×第1回変更官積算工事価格

 第1回変更請負額
 当初官積算額
 ×第1回変更官積算工事価格

 第1回変更請負額
 工事価格
 ※(1+消費税率)

 (落札率を乗じた額)

#### 第2回変更請負額

 工事価格
 当初請負額
 ※第2回変更官積算工事価格

 第2回変更請負額
 工事価格
 本第2回変更官積算工事価格

 (落札率を乗じた額)
 ※(1+消費税率)

#### 第3回変更請負額

(例) 当初官積算額 105,000 千円 当初請負額 102,900 千円

第1回変更官積算工事価格115,000千円

工 事 価 格 (落札率を乗じた額) =  $\frac{102,900}{105,000}$  ×115,000=112,700 千円 第 1 回変更請負額 = 112,700× (1+0.10) =123,970 千円

第2回変更官積算工事価格105,000千円

工 事 価 格 (落札率を乗じた額) =  $\frac{102,900}{105,000}$  ×105,000=102,900 千円 第2回変更請負額 = 102,900× (1+0.10) = 113,190 千円

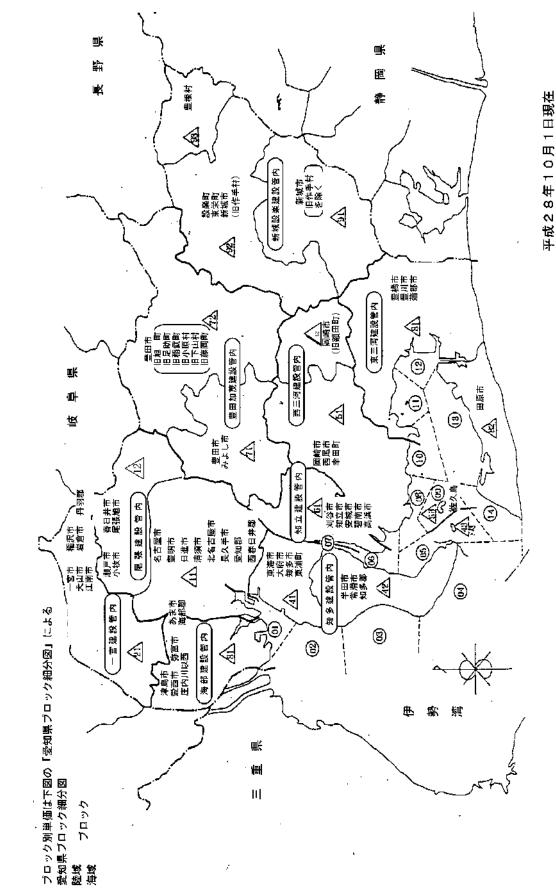
第3回変更官積算工事価格110,000千円

工 事 価 格 (落札率を乗じた額) =  $\frac{102,900}{105,000} \times 110,000 = 107,800 千円 第3回変更請負額 = <math>107,800 \times (1+0.10) = 118,580$ 千円

- (注) 1) 変更官積算とは、官単価、官経費をもとに当初官積算と同一方法により積算する。
  - 2) 請負額、官積算額は消費税相当額を含んだ額。
  - 3) 消費税率=消費税率+地方消費税率

資材単価にかかわる愛知県ブロック細分図(県一1)

**(7)** 



I −4−30−1

# ④ 積算基準出典根拠及び担当課室(I)

この「積算基準及び歩掛表」の基準の出典根拠等は下記のとおりである。

### 1. 出典根拠

建 地 国土交通省地方整備局共通の「土木工事標準積算基準書」で「建官」「建機」を含む。

建 官 国土交通省大臣官房

建 機 国土交通省建設経済局建設機械課

建
災
国土交通省河川局防災課「災害査定設計標準歩掛表」

建 災 要 国土交通省防災研究会「災害復旧工事の設計要領」

建 都 国土交通省都市局公園緑地・景観課

運 工 国土交通省港湾局・航空局「港湾・空港請負工事積算基準(赤本)」

運 災 国土交通省「災害査定用積算参考資料(白本)」

県愛知県建設局及び都市・交通局

#### 2. 担 当 課

Κ 公 遠 緑 地 課 В 都 市 整 備 課 D 道 路 維 持 課 С 下 水 道 課 Е 道 路 建 設 課 F Ш 課 河 G 港 湾 課 Н 砂 防 課 Ι 建 設 企 画 課

# 第5章 随意契約方式により工事を発注する場合等 の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理 費等の調整について

1	随意	(契約方式により工事を発注する場合等の
	共证	通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等の
	調整	隆についてI-5-①- 1
	1	適用範囲······I -5-①- 1
	2	随意契約方式により工事を発注する場合等の
		調整について I -5-①- 1
	3	共通仮設費の調整計算の方法······ I -5-①- 2
	4	現場管理費の調整計算の方法······ I -5-①- 3
	5	一般管理費等の調整計算の方法······ I -5-①- 4

2	旧县	基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を
	追加	叩する場合等の共通仮設費、現場管理費及び
	—	殳管理費等の調整について I -5-②- 1
	1	現場管理費の調整計算の一般式······ I -5-②- 1
	2	一般管理費等の調整計算の一般式····· I -5-②- 1
	3	設計変更についてI-5-②- 1
	4	共通仮設費······ I -5-②- 1

# 第5章 随意契約方式により工事を発注する場合等の 共通仮設費、現場管理費、及び一般管理費等 の調整について

① 随意契約方式により工事を発注する場合等の共通仮設費、現場管理費、及び一般管理 費等の調整について

#### 1. 適用範囲

本基準は、随意契約方式における諸経費調整積算に適用する。(平成29年3月1日付28建企第486号「諸経費調整 積算等の取扱いについて(通知))

- 2. 随意契約方式により工事を発注する場合等の調整について
  - (1) 調整対象となる工事
    - 1) 現工事の施工業者と随意契約方式にて発注する工事とする。
    - 2) 繰越、国債工事の取扱い 現工事が繰越又は国債で調整対象となる場合は全体工事を対象として調整する。
  - (2) 調整の対象となる現工事の設計金額は当該追加工事が契約された時点のものとし、その後現工事の設計金額に設計変更が生じた場合でも調整対象現工事の設計金額の変更は行わない額で調整するものとする。
  - (3) 前記(1)に該当する工事のうち次に示す異種の工事の取扱いは下記のとおりとする。
    - 1) 異種の工事とは下表のA~Iに区分される工事種別の異なる工事をいう。

工事種別	工事請負有資格業者名簿による種別
A	一般土木工事、法面処理工事、グラウト工事、河川しゅんせつ工事、杭打工事、アスファルト舗装工事、セメント・コンクリート舗装工事
В	鋼橋上部工事、機械設備工事
С	プレストレスト・コンクリート工事
D	電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事
E	建築工事、木造建築工事、プレハブ工事
F	維持修繕工事、塗装工事、橋梁補修工事
G	造園工事
Н	さく井工事
I	暖冷房衛生設備工事

- 2) 積算体系が同一(一般管理費等率が同じもの)の異種の工事は次により調整する。
  - (イ)現場管理費については調整しない。
  - (ロ)一般管理費等については調整する。
- 3) 積算体系が異なる異種の工事は調整しない。

#### 3. 共通仮設費の調整計算の方法

- (1) 積上げ計算部分
  - 1) 運 搬 費

実態に合わせ調整する。

2) 事業損失防止施設費 実態に合わせ調整する。

3) 安 全 費 実態に合わせ調整する。

4) 技術管理費 実態に合わせ調整する。

5) 営 繕 費 実態に合わせ調整する。

6) その他の共通仮設費 実態に合わせ調整する。

- (2) 率計算部分
  - 1) 工種の適用

現工事と当該追加工事で工種が異なる場合は現工事と追加工事の共通仮設費対象額の合計額に対するその主たる工種の共通仮設費率を適用する。

(3) 調整計算の方法

現工事と当該追加工事の共通仮設費対象額を合算したもので率を算出し、各々の共通仮設費を求め、現工事の 共通仮設費を控除したものの範囲内とする。

1) 調整の一般式は次のとおりとする。

 $A \le (D \times \gamma 1) - B \times \gamma 2$ 

A: 当該追加工事の共通仮設費

B: 現工事の共通仮設費対象額

D:合算工事の共通仮設費対象額

γ1: Dに相当する主たる工種の共通仮設費率

γ2: Bに相当する現工事の工種の共通仮設費率

ただし、前記計算の場合にあってAが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する共通仮設費は計上しない。

また、Aが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

- (4) 現場環境改善費(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)
  - 1) 積上げ計算部分

実態に合わせ調整する。

- 2) 調整計算の方法 (率計算部分)
  - (イ) 現工事及び追加工事とも現場環境改善費の場合

 $A \le D \times \gamma 1 - B \times \gamma 2$ 

A: 当該追加工事の現場環境改善費

B: 現工事の現場環境改善費対象額

D: 合算工事の現場環境改善費対象額

γ1: Dに相当する現場環境改善等費率

γ2: Bに相当する現工事の現場環境改善等費率

ただし、前記計算の場合にあって、Aが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する現場環境改善等費は計上しない。

また、Aが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

(ロ)追加工事のみが現場環境改善等費の対象工事の場合

追加工事の単独計算

#### 4. 現場管理費の調整計算の方法

(1) 工種の適用

現工事と当該追加工事で工種が異なる場合は、現工事と当該追加工事の純工事費の合計額に対するその主 たる工種(それぞれ純工事費の大きい方の工種)の現場管理費率を適用する。

(2) 調整計算の方法

現工事と当該追加工事の純工事費を合算したもので率を算出し、各々の現場管理費を求め、現工事の現場 管理費を控除したものの範囲内とする。

1) 調整の一般式は次のとおりとする。

 $A \leq (D \times \beta 1) - B \times \beta 2$ 

A: 当該追加工事の現場管理費

B: 現工事の純工事費

D:合算工事の対象額

β1: Dに相当する「主たる工種」の現場管理費率

β2: Bに相当する現工事の工種の現場管理費率

ただし、前記計算の場合にあって、Aが負数になる場合は零額とみなし、当該追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、Aが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

- 2) 補正率が適用されている場合の一般式は次のとおりとする。
  - (イ)現工事に補正があり、追加工事に補正がない場合

 $A \le (D \times \beta 1 + B \times \gamma 1) - B \times (\beta 2 + \gamma 1)$ 

γ1:現工事の現場管理費補正率

(ロ)現工事に補正がなく、追加工事に補正がある場合

 $A \le (D \times \beta 1 + C \times \gamma 2) - B \times \beta 2$ 

C: 当該追加工事の調整後の純工事費

γ2: 当該追加工事の現場管理費補正率

(ハ)現工事及び当該追加工事に補正がある場合

 $A \leq \{D \times (\beta 1 + \gamma 3)\} - B \times (\beta 2 + \gamma 1)$ 

γ3: Dに相当する現場管理費補正率

B、Cに対するγ1、γ2が各々異なる場合は純工事費による加重平均補正率をγ3とする。

ただし、前記計算の場合にあって、Aが負数になる場合は零額とみなし、当該追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、Aが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

3) 施工地域を考慮した補正係数が適用されている場合の一般式は次のとおりとする。

 $A \leq (D \times \beta 1 + C \times \delta 1) - B \times \beta 2$ 

A: 当該追加工事の現場管理費

B:現工事の純工事費

C: 当該追加工事の調整後の純工事費

D: 合算工事の対象額

 $\beta$ 1:  $\beta$ ①・Sr①: Dに相当する主たる工種の補正後の現場管理費率(%)

なお、補正後の現場管理費率の値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

β①: Dに相当する主たる工種の補正前の現場管理費率

ただし、現工事と追加工事の補正係数が異なる場合はBとCの加重平均による補正係数とする。

 $S r = (B \times S r + C \times S r = 0) / (B + C)$ 

Sr①:(B+C)に相当する主たる工種の補正係数

Sr②:Bに相当する現工事の工種の補正係数

Sr③: Cに相当する当該追加工事の工種の補正係数

なお、加重平均した補正係数値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

 $\beta 2 = \beta ② \cdot S r ② : B に相当する現工事の工種の補正後の現場管理費率 (%)$ 

なお、補正後の現場管理費率の値は小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

β②: Bに相当する現工事の工種の補正前の現場管理費率

δ1: 当該追加工事の現場管理費補正率 (補正率が無い場合は0%とする。)

ただし、前記計算の場合にあってAが負数になる場合は零額とみなし、追加工事に関する現場管理費は計上しない。

また、Aが当該追加工事単独で積算された所要額よりも大きい場合は当該所要額とする。

#### 5. 一般管理費等の調整計算の方法

#### (1) 調整計算の方法

現工事と当該追加工事の工事原価を合算したもので率を算出し、各々の一般管理費を求め、現工事の一般 管理費等を控除したものの範囲内とする。

 $A \le (D \times \alpha 1 \times \delta 1) - B \times \alpha 2 \times \delta 2 + C \times \beta$ 

A: 当該追加工事の一般管理費等

B:現工事の工事原価(中止期間中の現場維持等の費用を含む)

C: 当該追加工事の調整後の工事原価

D:合算工事の工事原価

α1: Dに相当する一般管理費等率

α2: Bに相当する現工事の一般管理費等率

β: 当該追加工事の契約保証に係る一般管理費等の補正値

δ1:前払金支出割合による補正係数

現工事と当該追加工事の前払金支出割合が異なる場合は、BとCの加重平均による前払金支出割合から求めた補正係数

δ2:現工事の前払金支出割合による補正係数

一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。

- ② 旧基準で積算した工事に改正基準で積算した工事を追加する場合等の共通仮設費、 現場管理費及び一般管理費等の調整について
- 1. 現場管理費の調整計算の一般式

 $A \leq D \times \beta 1 - B \times \beta 2$ 

A: 当該追加工事の現場管理費

B:現工事の純工事費

D:合算工事の純工事費

β1: Dに相当する「主たる工種」の改正基準による現場管理費率

β2: Bに相当する現工事の工種の改正基準による現場管理費率

なお、現場管理費率の補正率もしくは補正係数が適用されている工事においては、「①随意契約方式により工事を発注する場合の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整について 3 現場管理費の調整計算の方法」に準拠して計算するものとする。

#### 2. 一般管理費等の調整計算の一般式

 $A \le (D \times \alpha 1 \times \delta 1) - B \times \alpha 2 \times \delta 2 + C \times \beta$ 

A: 当該追加工事の一般管理費等

B: 現工事の工事原価(中止期間中の現場維持等の費用を含む)

C: 当該追加工事の調整後の工事原価

D:合算工事の工事原価

α1: Dに相当する改正基準による一般管理費等率

α2: Bに相当する改正基準による一般管理費等率

β:追加工事の契約保証に係る一般管理費等の補正値

δ1: 当該追加工事の前払金支出割合による補正係数

δ2: 現工事の前払金支出割合による補正係数

- 一般管理費等率に当該補正係数を乗じて得た率は、小数点以下第3位を四捨五入して2位止めとする。
- (注) 契約保証については、平成22年3月3日付21建総第1636号「契約保証の取扱いについて(通知)」および 平成8年8月22日付8土管第350号「契約保証について(通知)別紙.工事請負契約における契約の保証に 関する取扱いについて」に留意すること。

#### 3. 設計変更について

旧基準により積算した工事の設計変更は、旧基準により積算するものとする。

#### 4. 共通仮設費

共通仮設費の積算にあたっても上記現場管理費の取扱いと同様とする。

# 第6章 数值基準等

① 数值基準······I-6-①-1

# 第6章 数值基準等(建地-I)

## ① 数值基準

設計書の表示単位及び数位は原則として次のとおりとする。

- (1) 設計表示単位及び数位は、別表に示すとおりとする。
- (2) 設計数量が設計表示数位に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示数位が不適当と判断される場合は(小規模工事等)有効数位第1位の数量を設計表示数位とする。
- (3) 数値基準以外の項目について、設計表示単位及び数位を定める必要が生じたときは工事規模、工事内容及び数値 基準等を勘案して適正に定めるものとする。
- (4) 設計計上数量は、設計表示数位に四捨五入して求めるものとする。
- (5) 設計表示単位及び数位の適用は各細別毎を原則とし、工種・種別は1式を原則とする。
- (6) 契約数量は設計計上数量とする。但し工事目的物以外で、指定仮設等数量明示が必要な種目以外は1式計上とする。
- (7) 設計表示単位及び数位は設計図書に添付するものとする。(土質調査、測量業務関係等は除く)
- (8) 設計表示数位に満たない設計変更は契約変更の対象としないものとする。
- (9) 単価契約には設計表示単位及び数位は適用しない。

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備 考
土工	掘削工	掘削	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満及び岩の場合は10m³
土工		掘削 (砂防)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満及び岩の場合は10m³
土工		河床等掘削	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		掘削(光ケーブル配管)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		整地	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		押土 (ルーズ)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		積込 (ルーズ)	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		積込 (ルーズ) 砂防	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		土砂等運搬	$\mathrm{m}^3$	10	
土工		土砂等運搬 (砂防)	$\mathrm{m}^3$	10	
土工	掘削工 (ICT)	掘削 (ICT)	$\mathrm{m}^3$	100	
土工		掘削(砂防)(ICT)	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		河床等掘削 (ICT)	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		路床盛土	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		整地	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		押土 (ルーズ)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		積込 (ルーズ)	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		積込 (ルーズ) 砂防	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		土砂等運搬	m <sup>3</sup>	10	
土工		土砂等運搬 (砂防)	m <sup>3</sup>	10	
土工	(路体・路床)盛土工 (ICT)	路体(築堤)盛土(ICT)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		路床盛土 (ICT)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		土材料	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工	法面整形工	法面整形	$\mathrm{m}^2$	10	
土工	法面整形工 (ICT)	法面整形 (ICT)	$m^2$	10	
土工	盛土補強工	安定シート・ネット	$m^2$	1	
土工		ジオテキスタイル補強土壁	$\text{m}^2$	1	
土工	残土処理工	整地	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
土工		土砂等運搬	$\mathrm{m}^3$	10	
土工		残土等処分	$\mathrm{m}^3$	10	
土工	作業土工	床掘り	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満及び岩の場合は10m³
土工		埋戻し	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup> ,岩類は 10m <sup>3</sup>
土工	作業土工(ICT)	床掘り (ICT)	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³,岩類は 10m³
土工	堤防天端工	天端敷砂利	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種	矢板工	鋼矢板	枚	1	
共通的工種		可とう鋼矢板	枚	1	
共通的工種		軽量鋼矢板	枚	1	
共通的工種		広幅鋼矢板	枚	1	
共通的工種		タイロッド	組	1	
共通的工種		腹起し	t	0.1	
共通的工種		控え版	m	1	
共通的工種		中詰砂	m <sup>3</sup>	10	ただし 100m³未満の場合は 1m³
共通的工種	法枠工	法枠(現場打、プレキャスト、吹付)	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種	吹付工	吹付(モルタル、コンクリート)	m <sup>2</sup>	1	

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備考
共通的工種	法面施肥工	法面施肥	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種	植生工	種子散布	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		芝(各種)	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		客土吹付	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		植生基材吹付	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		植生マット	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		植生シート	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		植生筋	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		植生穴	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種		養生(散水養生)	m <sup>2</sup>	10	
共通的工種	かごエ	じゃかご・ふとんかご・かご枠	m	1	
共通的工種		止杭	本	1	
共通的工種		かごマット (スロープ型)	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種		かごマット (多段積型)	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種	補強土壁工	補強土壁基礎	m	1	
共通的工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁 ・ジオテキスタイル補強土壁	$\mathrm{m}^2$	1	
共通的工種		補強盛土	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種	軽量盛土工	軽量盛土	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種		コンクリート床版	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種		基礎コンクリート	m	1	
共通的工種		壁体工	m <sup>2</sup>	1	
共通的工種		裏込砕石	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	吸出し防止工	吸出し防止材	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
共通的工種	泥水処理工	泥水処理	m <sup>3</sup>	10	
共通的工種	仮水路工	フィルター材敷設	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	場所打擁壁工	処分費	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	仮橋·仮桟橋工	積込 (コンクリート殻)	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	骨材再生工	骨材再生	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	土留·仮締切工	ボーリングマシン移設 (アンカー)	囯	1	
共通的工種		アンカー工材料費	式	1	
共通的工種		削孔(アンカー)	m	1	
共通的工種		グラウト注入 (アンカ 一)	m <sup>3</sup>	1	
共通的工種	アンカーエ (プレキャストコンクリート 板)	PCコンクリート板据付	枚	1	
共通的工種		ジョイント処理	箇所	1	
基礎工	既製杭工	既製コンクリート杭	本	1	ただし1本当りの場合は1m
基礎工		鋼管杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工		H鋼杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工		掘削土処理	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	場所打杭工	場所打杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工		掘削土処理	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	合成杭工	合成杭	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工		掘削土処理	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	ニューマチックケーソン 基礎工	ニューマチックケーソン設備	式	1	
基礎工		刃口金物据付	基	1	
基礎工		沈下掘削	m <sup>3</sup>	10	
基礎工		沈下促進	t	0.1	
基礎工		ケーソン本体コンクリート	m <sup>3</sup>	1	

	種別	細別	設計表示	数位	備考
基礎工		底スラブコンクリート	単位 m³	1	
基礎工		中埋コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
基礎工		ブローパイプバルブ調整	基	1	
基礎工		中詰充填	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
基礎工		砂セントル	$\mathrm{m}^3$	10	ただし 100m³ 未満の場合は 1m³
基礎工		天端コンクリート用型枠・支保	m <sup>2</sup>	10	
基礎工		足場材設置・撤去	式	1	
基礎工		止水壁取壊し	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	深礎工・シャフトエ	巻立コンクリート	m <sup>2</sup>	1	
基礎工		掘削土留	本	1	
基礎工		グラウト注入	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	鋼管井筒基礎工	鋼管矢板	本	1	
基礎工		井筒内掘削	$\mathrm{m}^3$	10	
基礎工		継手処理	本	1	
基礎工		鋼管内掘削	m <sup>3</sup>	10	
基礎工		中詰コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
基礎工		敷砂	m <sup>3</sup>	10	ただし100m³未満の場合は1m³
基礎工		底版コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
基礎工		杭切断	本	1	
基礎工		鋼管矢板支保	t	0.1	
基礎工		間詰コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
基礎工		間詰コンクリート撤去	m <sup>3</sup>	1	
基礎工		頂版結合(プレートブラケット)	t	0.1	
基礎工		頂版結合 (鉄筋スタッド)	段	1	
基礎工		詰杭	m	1	
石・ブロック積(張)	石・ブロック積(張)工	石積(張)・コンクリートブロック基礎	m	1	
石・ブロック積 (張)		間知ブロック張	m <sup>2</sup>	1	
石・ブロック積 (張)		目地板	m <sup>2</sup>	1	
石・ブロック積 (張)		ブロック植栽	本	1	
石・ブロック積 (張)		天端コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
石・ブロック積(張)		小口止コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
石・ブロック積(張)		養生費	m <sup>3</sup>	1	
舗装工	舗装準備工	不陸整正	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		調整コンクリート	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	舗装準備工(ICT)	不陸整正 (ICT)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	橋面防水工	橋面防水	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	舗装工	下層路盤(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		下層路盤(歩道部)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		上層路盤 (車道・路肩部)	$m^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		上層路盤(歩道部)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		路盤	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		フィルター層	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		基層(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		基層(歩道部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備考
舗装工		中間層(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		中間層(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		中間層(歩道部)	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		表層(車道・路肩部)	$m^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		表層 (歩道部)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		排水性舗装・表層(車道・路肩部)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		セメントミルク浸透	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		アスファルト中間層	$m^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		コンクリート舗装	$m^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		連続鉄筋コンクリート、舗装	$m^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		縦目地	m	1	
舗装工		横目地	m	1	
舗装工		目地切り・清掃	m	1	
舗装工		薄層カラー舗装	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		インターロッキングブロック舗装	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		特殊ブロック舗装	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	舗装工(ICT)	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	踏掛版工	踏掛版	$\mathrm{m}^3$	1	
舗装工	区画線工	区画線	m	10	ただし100m 未満の場合は1m
舗装工		区画線消去	m	1	
地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
地盤改良工	自走式土質改良工	土質改良	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
地盤改良工	表層安定処理	サンドマット	$\mathrm{m}^3$	10	
地盤改良工		安定シート・ネット	$\mathrm{m}^2$	10	
地盤改良工		表層混合処理	$\mathrm{m}^2$	10	
地盤改良工		置換	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
地盤改良工	置換工	置換	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
地盤改良工	サンドマット工	サンドマット	$\mathrm{m}^3$	10	
地盤改良工	パイルネットエ	既製コンクリート杭	本	1	
地盤改良工		木杭	本	1	
地盤改良工		連結鉄筋	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
地盤改良工		安定シート	$m^2$	10	
地盤改良工	バーチカルドレーン工	サンドドレーン	本	1	
地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションパイル	本	1	
地盤改良工	固結工	粉体噴射撹拌	本	1	
地盤改良工		粉体噴射撹拌(先掘・移設・軸間変更)	式	1	
地盤改良工		高圧噴射撹拌	本	1	
地盤改良工		スラリー撹拌	本	1	
地盤改良工		中層混合処理	$\mathrm{m}^3$	1	
地盤改良工		薬液注入	本	1	
地盤改良工 (ICT)	表層安定処理工	安定処理(ICT)	m <sup>3</sup>	1	
地盤改良工 (ICT)	固結工	スラリー撹拌(ICT)	本	1	
地盤改良工 (ICT)		中層混合処理(ICT)	m <sup>3</sup>	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	m <sup>3</sup>	1	
構造物撤去工		舗装版切断	m	10	ただし 100m 未満の場合は 1m
構造物撤去工		舗装版破砕	$m^2$	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備  考
構造物撤去工		コンクリートはつり	m <sup>2</sup>	1	ただし 10m <sup>2</sup> 未満の場合は 0.1m <sup>2</sup>
構造物撤去工		吹付法面取壊し	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
構造物撤去工		鋼材切断	箇所	1	
構造物撤去工		鋼材切断	m	1	
構造物撤去工		鋼矢板引抜	枚	1	
構造物撤去工		H鋼杭引抜	本	1	
構造物撤去工		広幅鋼矢板引抜き	枚	1	
構造物撤去工		コンクリートブロック撤去	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
構造物撤去工		覆工板設置・撤去	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
構造物撤去工		根固めブロック撤去	個	1	
構造物撤去工		殼運搬	m <sup>3</sup>	1	
構造物撤去工		殼処分	m <sup>3</sup>	1	
構造物撤去工		現場発生品運搬	回	1	
構造物撤去工	道路施設撤去工	側溝・街渠撤去	m	1	
構造物撤去工		集水桝・マンホール撤去	基	1	
構造物撤去工		蓋版撤去	枚	1	
構造物撤去工		防護・防止柵撤去	m	1	
構造物撤去工		視線誘導標撤去	本	1	
構造物撤去工		境界杭撤去	本	1	
構造物撤去工		道路鋲撤去	個	1	
構造物撤去工		車線分離標撤去	本	1	
構造物撤去工		境界鋲撤去	枚	1	
構造物撤去工		距離標撤去	本	1	
構造物撤去工		横断歩道橋側板(裾隠・目隠)撤去	m <sup>2</sup>	1	
構造物撤去工		遮光フェンス撤去	m	1	
構造物撤去工		標識撤去	基	1	
構造物撤去工		境界ブロック撤去	m	1	
構造物撤去工		ケーブル配管撤去	m	1	
構造物撤去工		照明柱撤去	基	1	
構造物撤去工	かご撤去工	じゃかご撤去	m	1	
構造物撤去工		ふとんかご撤去	m	1	
構造物撤去工	落石雪害防止撤去工	落石防護柵撤去	m	1	
構造物撤去工		落石防止網(繊維網)撤去	m <sup>2</sup>	1	
構造物撤去工		コンクリート平板ブロック撤去	$\mathrm{m}^2$	1	
構造物撤去工		ノンスリップ撤去	m	1	
構造物撤去工	旧橋撤去工	鋼製高欄撤去	m	1	
構造物撤去工		舗装版・床版破砕及び撤去	m <sup>3</sup>	1	
構造物撤去工		桁材撤去	t	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート表面処理	$\mathrm{m}^2$	1	
仮設工	仮設工	覆工板・敷鉄板	m <sup>2</sup>	1	
仮設工		覆工板受桁	t	1	
仮設工		鋼矢板	枚	1	
仮設工		H鋼杭	本	1	
仮設工		アンカー	本	1	
仮設工		タイロッド・腹起し	t	0. 1	数量契約の場合は 0.1t
仮設工		切梁・腹起し	t	0. 1	数量契約の場合は 0.1t
仮設工		横矢板	$\mathrm{m}^2$	1	

	種別	細 別	設計表示 単位	数位	備考
仮設工	水替工	ポンプ排水	Ħ	1	
仮設工		水替とい	m	1	
仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	目	1	
仮設工		ディープウェル	目	1	
仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1	
仮設工		濁水処理設備	箇所	1	
仮設工	防護施設工	発破防護柵	$\mathbf{m}^2$	10	
仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1	
仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1	
仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1	
仮設工	土のう工	大型土のう	袋	1	
仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛 m²	10	
仮設工	土留·仮締切工	盛替梁	箇所	1	
仮設工		アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定	本	1	
仮設工		着·頭部処理 軽量鋼矢板(電線共同溝)	式	1	
仮設工		幸星列へ仮 (电水矢円相)   溝掘り	m <sup>3</sup>	1	
仮設工		泥土処理	m <sup>3</sup>	1	
仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m <sup>3</sup>	1	
仮設工	4万岁几次称 97工	土砂土のう締切	m <sup>3</sup>		
				1	
仮設工	仁桥 仁扑乔丁	コンクリート締切	m <sup>3</sup>	1	
仮設工 (定款工	仮橋·仮桟橋工	橋脚	t	1	
仮設工 (写記工		仮設高欄 /広報 1 ***	m	1	** ■ 打化 の II 入 ) ト
仮設工		仮橋上部 (1) 人 世界	t	0. 1	数量契約の場合は 0.1t
仮設工		仮橋コンクリート基礎	箇所	1	
仮設工		高力ボルト	kg	1	
仮設工	1	防舷材	基。	1	
仮設工	掘削工	転石破砕	m <sup>3</sup>	1	
仮設工	作業土工	掘削補助機械搬入搬出	回	1	
仮設工		人力運搬	m³	1	
仮設工	作業ヤード整備工	ヤード造成	m <sup>2</sup>	1	
仮設工	工事用道路工	工事用道路補修	式	1	
仮設工		仮設舗装	m <sup>2</sup>	1	
仮設工		仮設アスカーブ	m	1	
仮設工		土のう積	m <sup>2</sup>	1	
仮設工	法面吹付工	仮設用モルタル吹付	m <sup>2</sup>	1	
仮設工	仮水路工	暗渠排水管	m	1	
仮設工	防塵対策工	散水	式	1	
仮設工		タイヤ洗浄装置	式	1	
仮設工		路面清掃	式	1	
仮設工	電力設備工	配電設備	m	1	
仮設工		受電設備	箇所	1	
仮設工	コンクリート製造設備工	コンクリートプラント設備	基	1	
仮設工		ケーブルクレーン設備	対	1	
構造物補修工		充てん工法	構造物	1	
構造物補修工		低圧注入工法	構造物	1	
構造物補修工		左官工法	構造物	1	
コンクリート 構造物		基礎材	$\mathbf{m}^2$	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>

	種 別	細  別	設計表示 単位	数位	備  考
コンクリート 構造物		均しコンクリート	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m² 未満の場合は 1m²
コンクリート 構造物		コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
コンクリート構造物		二次コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
コンクリート構造物		鉄筋	t	0. 01	
コンクリート		   目地材	m <sup>2</sup>	1	
構造物 コンクリート		止水板	m	1	
構造物 コンクリート		型枠	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
構造物 コンクリート		足場		10	7.7.7.10 100世 八個 7.7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
構造物 コンクリート					
構造物コンクリート		支保	空 m³	10	
構造物		植石張り	m <sup>2</sup>	1	
コンクリート 構造物		水抜パイプ	m	1	
コンクリート 構造物		スリップバー	箇所	1	
コンクリート 構造物		スリップバー	組	1	
コンクリート 構造物		防水モルタル	m <sup>3</sup>	1	
コンクリート構造物		アンカーボルト	本	1	
コンクリート構造物		有孔管	m	1	
コンクリート構造物		可撓継手	箇所	1	
コンクリート構造物	橋台躯体工(構造物単位)	逆T 式橋台	m <sup>3</sup>	1	
コンクリート	橋脚躯体工(構造物単位)	T 型橋脚	m <sup>3</sup>	1	
構造物 コンクリート		壁式橋脚	m <sup>3</sup>	1	
構造物 コンクリート	場所打擁壁工(構造物単	逆T型擁壁	m <sup>3</sup>	1	
構造物 コンクリート	位)	L 型擁壁	m <sup>3</sup>	1	
構造物 コンクリート		重力式擁壁	m <sup>3</sup>	1	
構造物 コンクリート		小型擁壁	m <sup>3</sup>		
構造物 コンクリート	nor.			1	
構造物 コンクリート	羽口工	連節ブロック張(コンクリート)	m <sup>3</sup>	1	
構造物	暗渠工	プレキャストボックス	m	1	各種ブロック(既製品共)H=2.0m 未満の
構造物	帯状構造物(小規模)		m	1	擁壁類
構造物	帯状構造物(大規模)		m	1	H=2.0m以上の擁壁類
構造物構造物	排水構造物工	現場打水路	m	1	ただし径 1m 以上の管渠類の場合は 0. 1m
構造物		縦排水・小段排水	m m	1	
構造物	場所打函渠工(構造物単	图渠	m <sup>3</sup>	1	
構造物	位)	プレキャストボックス	m	0. 1	
構造物	工)	止水シート	m	1	
構造物	排水性舗装用路肩排水工	透水性樹脂コンクリート	m <sup>3</sup>	1	
構造物	橋脚架設工	橋脚架設	t	0. 1	
工場製作工	製作工	製作加工	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
工場製作工		ボルト・ナット	組	1	
工場製作工		スタッドジベル	本	1	
工場製作工		バックアップ	$\mathrm{m}^3$	0. 1	

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備  考
工場製作工		充填シール	m <sup>3</sup>	0. 1	
工場製作工		アンカーボルト	組	1	
工場製作工	鋳造費	金属支承	個	1	
工場製作工		大型ゴム支承	個	1	
工場製作工		排水桝	個	1	
工場製作工		橋名板	枚	1	
工場製作工		橋歴板	枚	1	
工場製作工	工場塗装工	前処理	$\mathrm{m}^2$	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
工場製作工		塗装(下・中・上塗)	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
工場製作工		メッキ	t	0.1	
工場製品輸送工	輸送工	輸送	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
工場製品輸送工		現場取卸(PC桁)	本	1	
工場製品輸送工		工場取卸(鋼桁・鋼管杭)	t	0.1	
工場製品輸送工		小運搬	t	0. 1	ただし1t未満の場合は0.01t
付属施設	縁石工	歩車道境界ブロック	m	1	
付属施設		地先境界ブロック	m	1	
付属施設		植樹ブロック	m	1	
付属施設	緑化ブロックエ	養生費	$\mathrm{m}^2$	1	
付属施設		アスカーブ	m	10	
付属施設	集水桝・街渠桝・マンホー ル工	集水桝	箇所	1	(プレキャスト含む)
付属施設		街渠枡	箇所	1	(プレキャスト含む)
付属施設		マンホール	箇所	1	
付属施設		蓋	枚	1	
付属施設	路側防護柵工	ガードレール	m	1	
付属施設		ガードパイプ	m	1	
付属施設		ガードケーブル	m	1	
付属施設		ボックスビーム	m	1	
付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1	
付属施設		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1	
付属施設		転落(横断)防止柵	m	1	
付属施設		車止めポスト	本	1	
付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	箇所	1	
付属施設		支柱	本	1	
付属施設		ワイヤロープ	m	1	
付属施設		ターンバックル	箇所	1	
付属施設		橋梁部基礎・支柱	箇所	1	
付属施設	階段工	現場打階段	m <sup>2</sup>	1	
付属施設		プレキャスト階段	m <sup>2</sup>	1	
付属施設	境界工	境界杭	本	1	
付属施設		境界鋲	枚	1	
付属施設		境界(法留)壁	m	1	
付属施設	落石防護柵工	ロープ・金網	m	1	
付属施設		支柱	本	1	
付属施設		ステーロープ	本	1	
付属施設	落石防止網工	ロックネット	m <sup>2</sup>	10	ただし100m²未満の場合は1m²
付属施設		繊維網	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	本	1	

	種別	細別	設計表示 単位	数位	備考
付属施設	遮音壁本体工	遮音壁	m	1	
付属施設		外装板	m <sup>2</sup>	1	
付属施設	ケーブル配管工	ケーブル配管	m	1	
付属施設		ハンドホール	箇所	1	
付属施設	道路付属物工	視線誘導標	本	1	
付属施設		車線分離標	本	1	
付属施設		距離標	本	1	
付属施設		道路鋲	個	1	
付属施設		アンカーボルト	本	1	
付属施設	照明工	照明柱基礎	基	1	
付属施設		照明柱	基	1	
付属施設	銘板工	銘板	枚	1	
付属施設		表示板	枚	1	
付属施設	小型標識工	標識柱	基	1	
付属施設		標識板	枚	1	
付属施設	大型標識工	標識基礎	基	1	
付属施設		片持標識柱	基	1	
付属施設		門型標識柱	基	1	
付属施設		標識板	枚	1	
付属施設		着雪防止板	枚	1	
付属施設	道路植栽工	植樹帯盛土	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
付属施設		植樹	本	1	
付属施設		地被類植付	m <sup>2</sup>	1	
付属施設		樹名板	枚	1	
付属施設	アンカーエ	アンカー	本	1	
付属施設		アンカー (プレキャストコンクリート板)	本	1	
付属施設		アンカー足場	空 m³	10	
付属施設		鉄筋挿入	m	1	
付属施設	点検施設工	梯子	本	1	
付属施設		ステップ	本	1	
付属施設		蓋	枚	1	
付属施設	グラウトホール工	グラウトホール	組	1	
付属施設	観測施設工	量水標	箇所	1	
付属施設		水位計	箇所	1	
付属施設		流量計	箇所	1	
付属施設	燃料貯油槽工	充填砂	$\mathrm{m}^3$	10	
付属施設	情報案内施設工	スクリーン	個	1	
付属施設		案内板	箇所	1	
河川構造物	土台基礎工	土台	m	1	
河川構造物	笠コンクリート工	笠コンクリート	m	1	
河川構造物		笠コンクリートブロック	m	1	
河川構造物	護岸付属物工	横帯コンクリート	m	0.1	
河川構造物		小口止	m	0.1	
河川構造物		小口止矢板	枚	1	
河川構造物		縦帯コンクリート	m	1	
河川構造物		巻止コンクリート	m	1	
河川構造物		平張コンクリート	m <sup>2</sup>	1	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数位	備 考
河川構造物	多自然護岸工	木杭	本	1	
河川構造物		巨石張(積)	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物		巨石据付	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物		巨石採取	個	1	
河川構造物		巨石運搬	式	1	
河川構造物		雑割石張	$m^2$	1	
河川構造物		かごマット	$m^2$	1	
河川構造物		ブロックマット	$m^2$	1	
河川構造物		杭柵	m	1	
河川構造物		連柴柵	m	1	
河川構造物		粗朶法覆	$m^2$	1	
河川構造物		玉石柳枝	$m^2$	1	
河川構造物		栗石粗朶	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物	覆土工	覆土	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
河川構造物	間詰工	間詰コンクリート	$\mathrm{m}^3$	1	
河川構造物		間詰石	m <sup>3</sup>	1	
河川構造物	沈床工	沈床	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物		粗朶単床	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物		粗杂柵	m	1	
河川構造物	捨石工	捨石	m <sup>3</sup>	1	
河川構造物		表面均し	$\mathrm{m}^2$	10	
河川構造物	元付工	元付	箇所	1	
河川構造物	牛・枠工	牛	組	1	
河川構造物		枠	組	1	
河川構造物	杭出し水制工	杭出し水制	基	1	
河川構造物	基礎工	現場打基礎	m	1	
河川構造物		プレキャスト基礎	m	1	
河川構造物		コンクリート生産・運搬・クレーン打設	$\mathrm{m}^3$	1	
河川構造物	根固めブロック工	根固めブロック製作	個	1	
河川構造物		根固めブロック据付	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック仮 置	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック運 搬	個	1	
河川構造物		袋詰め玉石	袋	1	
河川構造物	ブロック床版工	場所打ブロック	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物	函渠工	PC函渠	m	0.1	
河川構造物		可撓継手	箇所	1	
河川構造物		取替式止水板	箇所	1	
河川構造物		函渠接続	箇所	1	
河川構造物	側壁工	裏込石	m <sup>3</sup>	1	
河川構造物	コンクリートブ ロック工 (コンクリー トブ ロック積)	遮水シート	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物	羽口工	連節ブロック水中吊落し	$\mathrm{m}^2$	1	
河川構造物	植生工	被覆シート張	m <sup>2</sup>	1	
砂防	コンクリート・鋼製堰 堤本体・副堤工	堤冠コンクリート	$\mathrm{m}^3$	1	
砂防		水抜暗渠	m	0.1	
砂防		鋼製枠	t	0.1	
砂防		枠内中詰	m <sup>3</sup>	1	
砂防		足場	m	1	

	種別	細別	設計表示 単位	数位	備考
砂防		チッピング (岩盤面・打継面)	$\mathrm{m}^2$	1	
砂防		チッピング (既設堰堤腹付け面)	$\mathrm{m}^2$	10	ただし100 m <sup>2</sup> 未満の場合は1 m <sup>2</sup>
砂防		岩盤清掃	$\mathrm{m}^2$	1	
砂防		隔壁コンクリート基礎	$\mathrm{m}^3$	1	
砂防		均しコンクリート	$\mathrm{m}^2$	10	ただし 100m² 未満の場合は 1m²
砂防		残存型枠	$\mathrm{m}^2$	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
砂防	鋼製砂防工	組立・据付け工	t	0. 1	
砂防		本締め工	本	1	
砂防		アンカーエ	本	1	
砂防		現場塗装工(はけ塗り)	$\mathrm{m}^2$	1	
砂防	コンクリート側壁工	均しコンクリート	$\mathrm{m}^2$	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
砂防		水抜暗渠	m	0. 1	
砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	m	0. 1	
砂防		ボーリング洗浄	m	0.1	
砂防		保孔管	m	1	
砂防		ボーリング仮設機材	回	1	
砂防	集水井工	集水井掘削	m	1	
砂防		井戸中詰	$\mathrm{m}^3$	1	
砂防		プレキャスト井筒	m	1	
砂防		固定基礎コンクリート	m	1	
砂防		底張コンクリート	$\mathrm{m}^3$	1	
砂防		井戸蓋	枚	1	
砂防	山腹水路工	山腹暗渠	m	1	
砂防		現場打水路	m	1	
砂防	砂防ソイルセメントエ	砂防ソイルセメント	$\mathrm{m}^3$	1	
海岸	海岸コンクリート(根固・ 消波)ブロックエ	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック 製作	個	1	
海岸		海岸コンクリート(根固・消波)ブロック 据付	個	1	
海岸	護岸工	裏込(砕)石	$\mathrm{m}^3$	1	
海岸		石材	$\mathrm{m}^3$	1	
海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
海岸	捨石工	中詰石	m <sup>3</sup>	1	
海岸		捨石	$\mathrm{m}^3$	1	
海岸		捨石均し	$\mathbf{m}^2$	10	
海岸		表面均し	$\mathbf{m}^2$	10	
海岸	被覆石工	被覆石据付	m <sup>3</sup>	1	
海岸		被覆石均し	$\mathbf{m}^2$	10	
海岸	被覆ブロック工	被覆ブロック据付	個	1	
海岸	矢板工	鋼矢板防食	m <sup>2</sup>	1	
海岸	詰杭工	既製コンクリート杭	本	1	
海岸		コンクリートパネル	枚	1	
海岸		中話石	m <sup>3</sup>	1	
海岸		表面均し	m <sup>2</sup>	10	
海岸	石枠工	コンクリート枠製作	個	1	
海岸		コンクリート枠据付	個	1	
海岸		中話石	m <sup>3</sup>	1	
海岸		捨石均し	$\mathrm{m}^2$	10	

	種 別	細 別	設計表示 単位	数位	備 考
海岸	ケーソン・セルラーエ	ケーソン等運搬・据付	個	1	
海岸		中詰砂・石	$\mathrm{m}^3$	1	
海岸		表面均し	$\mathrm{m}^2$	10	
浚渫工	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	浚渫船運転	m³	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
浚渫工		排砂管(設備)	本	1	
浚渫工		浚渫船機械管理費(官船)	日	1	
浚渫工		排砂管保守	Ħ	1	
浚渫工	作業船及び機械運転工 (ポンプ浚渫船)	中継ポンプ運転	台	1	
浚渫工		揚錨船運転	日	1	
浚渫工		交通船運転	日	1	
浚渫工		警戒船運転	日	1	
浚渫工	浚渫船運転工 (グラブ浚渫船)	浚渫船運転	m³	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
浚渫工		浚渫船等機械管理費	H	1	
浚渫工	作業船及び機械運転工 (グラブ浚渫船)	揚錨船運転	日	1	
浚渫工		交通船運転	目	1	
浚渫工		土運搬船運転	目	1	
浚渫工		曳船運転	目	1	
浚渫工		警戒船運転	目	1	
浚渫工	バックホウ浚渫船	バックホウ浚渫船運転	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
浚渫工		繋船運転	日	1	
浚渫工		土運船運転	B	1	
浚渫工		浚渫土揚土	目	1	
浚渫工	配土工	配土	日	1	
浚渫工	浚渫土処理工	浚渫土処理	m <sup>3</sup>	10	
浚渫工	バックホウ浚渫船 (ICT)	バックホウ浚渫船運転	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
鋼橋上部工	地組工	地組	t	0. 1	ただし1t 未満の場合は0.01t
鋼橋上部工	床版工	床版架設	m <sup>2</sup>	1	
鋼橋上部工	架設工	各種設備	式	1	
鋼橋上部工		桁架設	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
鋼橋上部工	現場継手工	本締めボルト	本	1	
鋼橋上部工		鋼床板現場溶接	m	1	
鋼橋上部工	支承工	金属支承設置	個	1	
鋼橋上部工		大型ゴム支承設置	個	1	
鋼橋上部工	伸縮装置工	鋼・ゴム製伸縮装置	m	0. 1	
鋼橋上部工		鋼製伸縮装置	t	0. 1	
鋼橋上部工		埋設ジョイント	m	1	
鋼橋上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	箇所	1	
鋼橋上部工	排水装置工	排水桝	箇所	1	
鋼橋上部工		排水管	m	1	
鋼橋上部工	地覆工	場所打地覆	m	1	
鋼橋上部工		プレキャスト地覆	m	1	
鋼橋上部工	橋梁用防護柵工	橋梁用防護柵	m	1	
鋼橋上部工	橋梁用高欄工	橋梁用高欄	m	1	
鋼橋上部工	検査路工	検査路	t	0. 1	
鋼橋上部工	銘板工	橋名板	枚	1	
鋼橋上部工		橋歴板	枚	1	

	種別	細別	設計表示単位	数位	備考
鋼橋上部工	架設工	シェッド架設	t	0. 1	
鋼橋上部工	屋根コンクリート工	溶接金網	m <sup>2</sup>	1	
歩道橋本体工	橋脚フーチング工	アンカーフレーム架設	基	1	
歩道橋本体工		アンカーフレーム注入モルタル	基	1	
歩道橋本体工	歩道橋架設工	歩道橋架設	t	0.1	
歩道橋本体工		側道橋架設	t	0.1	
歩道橋本体工		橋面舗装	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
歩道橋本体工		手摺	m	1	
歩道橋本体工		高欄	m	1	
歩道橋本体工		足場	箇所	1	
歩道橋本体工 鋼橋足場等		防護	m <sup>2</sup>	10	
設置工	橋梁足場工	架設足場	m <sup>2</sup>	10	
設置工		床版足場	m <sup>2</sup>	10	
鋼橋足場等 設置工		塗装足場	m <sup>2</sup>	10	
鋼橋足場等 設置工		側面塗装足場	$\mathrm{m}^2$	10	
鋼橋足場等 設置工		支承設置用足場	m	1	
鋼橋足場等 設置工	橋梁防護工	板張防護	$\mathrm{m}^2$	10	
鋼橋足場等 設置工		シート張防護	$\mathrm{m}^2$	10	
鋼橋足場等 設置工		ワイヤーブリッジ防護	m <sup>2</sup>	10	
鋼橋足場等 設置工	昇降用設備工	登り桟橋	箇所	1	
鋼橋足場等 設置工		工事用エレベーター	基	1	
コンクリート橋 上部工	桁製作工・床版・横組工	プレテンション桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		ポストテンション桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレキャストセグメント製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレキャストセグメント主桁組立	本	1	
コンクリート橋 上部工		プレビーム桁製作	本	1	
コンクリート橋 上部工		機械器具損料	式	1	
コンクリート橋 上部工		PCケーブル	m	1	
コンクリート橋上部工		PCケーブル	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
コンクリート橋 上部工		PCケーブル・緊張	ケーブル	1	
コンクリート橋 上部工		緊張	ケーブル	1	
コンクリート橋 上部工		PC鋼棒	m	1	
コンクリート橋 上部工		PC緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		PC固定	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		PC継手	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		横締めケーブル	m	1	
コンクリート橋 上部工		鉛直締めケーブル	m	1	
コンクリート橋 上部工		横締め緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		鉛直締め緊張	箇所	1	
コンクリート橋 上部工		取付桁結合解放	回	1	

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備 考
コンクリート橋 上部工	架設工(押出し架設)	仮支柱	基	1	
コンクリート橋 上部工		プレフレクション	回	1	
コンクリート橋 上部工		リリース	回	1	
コンクリート橋 上部工		主桁解体	主桁本	1	
コンクリート橋 上部工		桁組立	主桁本	1	
コンクリート橋 上部工		横桁取付	箇所	1	
コンクリート橋上部工		部分プレストレス	径間	1	
コンクリート橋上部工		移動型枠	m <sup>2</sup>	1	
コンクリート橋上部工		円筒型枠	m	1	
コンクリート橋上部工		主桁製作設備	式	1	
コンクリート橋 上部工	架設工	桁小運搬	本	1	
コンクリート橋上部工		桁架設	本	1	
コンクリート橋上部工		柱頭部仮支承	m <sup>2</sup>	1	
コンクリート橋上部工		桁架設(片持架設)	基	1	
コンクリート橋上部工		ベント・鉄塔基礎	式	1	
コンクリート橋上部工		押出装置	基	1	
コンクリート橋上部工		滑り装置	基	1	
コンクリート橋上部工		手延べ桁	基	1	
コンクリート橋上部工		桁架設(押出架設)	回	1	
コンクリート橋上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	組	1	
コンクリート橋上部工	架設支保工	支保工基礎	m <sup>2</sup>	1	
コンクリート橋上部工		支保	空 m³	10	
コンカリ 1 杯	支承工	ゴム支承	個	1	
コンクリート橋 上部工		金属支承設置	個	1	
コンクリート橋 上部工		変位制限装置	組	1	
コンクリート橋上部工		ジョイントプロテクター	組	1	
コンクリート橋上部工	橋梁付属物工	鋼・ゴム製伸縮装置	m	0. 1	
コンクリート橋 上部工		鋼製伸縮装置	t	0. 1	
コンクリート橋 上部工		埋設ジョイント	m	1	
コンクリート橋上部工		排水桝	箇所	1	
コンクリート橋上部工		排水管	m	1	
コンクリート橋上部工		場所打地覆	m	1	
コンクリート橋上部工		プレキャスト地覆	m	1	
コンクリート橋上部工		橋梁用防護柵	m	1	
コンクリート橋上部工		橋梁用高欄	m	1	
コンクリート橋上部工		検査路	t	0.1	
コンクリート橋上部工		銘板	枚	1	
コンクリート橋上部工	橋梁防護工	PC防護	$\mathrm{m}^2$	1	

	種別	細別	設計表示 単位	数位	備考
コンクリート橋 上部工	輸送工	現場取卸(鋼桁)	t	0.1	
コンクリート橋 上部工	シェッド購入工	シェッド部材材料費	本	1	
コンクリート橋 上部工	躯体工	排水マット	m	1	
電線共同溝	掘削工	開削掘削	$\mathrm{m}^3$	100 ただし1,000m³未満の場合は10	ただし1,000m³未満の場合は10m³
電線共同溝	埋戻し工	埋戻し	$\mathrm{m}^3$	100	ただし1,000m³未満の場合は10m³
電線共同溝	電線共同溝工	管路	m	1	
電線共同溝		プレキャストボックス	個	1	
電線共同溝		蓋	組	1	
電線共同溝	付帯設備工	ハンドホール	箇所	1	
電線共同溝	管路工(管路部)	埋設表示シート	m	1	
電線共同溝		スリーブ	個	1	
電線共同溝		伸縮継手	個	1	
植栽維持工	樹木・芝生管理工	樹木せん定	本	1	
植栽維持工		寄植せん定	$\mathrm{m}^2$	10	
植栽維持工		補植	本	1	
植栽維持工		移植	本	1	
植栽維持工		支柱	本	1	
植栽維持工		抜根除草	$\mathrm{m}^2$	10	
植栽維持工		樹木施肥	本	1	
植栽維持工		寄植・芝施肥	$\mathrm{m}^2$	10	
植栽維持工		灌水	$\mathrm{m}^2$	10	
植栽維持工		防除	本	1	
植栽維持工		寄植・芝薬剤散布	$\mathrm{m}^2$	10	
植栽維持工		芝刈	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m <sup>2</sup> 未満の場合は100m <sup>2</sup>
河川維持	河川巡視工	緊急巡視	回	1	
河川維持	堤防除草工	除草	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m²未満の場合は100m²
河川維持	芝養生工	施肥	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m²未満の場合は100m²
河川維持		抜根	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m <sup>2</sup> 未満の場合は100m <sup>2</sup>
河川維持	伐木除根工	伐木除根	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m <sup>2</sup> 未満の場合は100m <sup>2</sup>
河川維持	塵芥処理工	散在塵芥収集	$\mathrm{m}^2$	1,000	ただし100,000m²未満の場合は100m²
河川維持		堆積塵芥収集	$\mathrm{m}^3$	10	ただし 100m³未満の場合は 1m³
河川維持	水面清掃工	水面清掃	B	1	
河川維持	応急処理作業	応急作業	日	1	
河川維持	ボーリンググラウト工	注入	m <sup>3</sup>	1	
河川維持		注入設備据付解体	回	1	
河川維持	欠損部補修工	欠損部取壊し	m <sup>3</sup>	1	
河川維持		欠損部補修	m <sup>3</sup>	1	
河川維持	不陸整正工	不陸整正・締固め	m <sup>2</sup>	1	
河川維持	付属物復旧工	調整ポスト	個	1	
河川維持	付属物設置工	標識	基	1	
河川維持	塵芥処理工	処分費	t	1	
河川維持	樹木·芝生管理工	捕植	本	1	
道路修繕	路面切削工	路面切削	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
道路修繕	舗装打換え工	舗装版切断	m	10	ただし 100m 未満の場合は 1m
道路修繕		舗装版破砕	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
道路修繕	切削オーバーレイエ	切削オーバーレイ	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>

	種別	細 別	設計表示 単位	数位	備  考
道路修繕	舗装打換え工・オーバー レイエ	中間層	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
道路修繕	路上路盤再生工	路上路盤再生	$\mathrm{m}^2$	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
道路修繕	床版補強工(鋼板接着·增 桁架設工法)	鋼板接着	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		クラック処理	m	1	
道路修繕		足場	$\mathrm{m}^2$	10	
道路修繕		防護	$\mathrm{m}^2$	10	
道路修繕		増桁架設	t	0.1	ただし1t 未満の場合は0.01t
道路修繕	床版増厚補強工	表面荒らし	$\mathrm{m}^2$	1	
道路修繕	床版取替工	鋼製高欄取替	m	1	
道路修繕		床版運搬処理	$\mathrm{m}^3$	1	
道路修繕	鋼桁補強工	現場溶接鋼桁補強	m	1	
道路修繕	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修	m	0.1	
道路修繕		埋設ジョイント補修	m	0.1	
道路修繕	鋼橋・PC支承工	支承取替	基	1	
道路修繕	トンネル補修工	低圧注入工法	トンネル	1	
道路修繕	検査路工	検査路	t	0.1	
道路修繕	沓座拡幅工	チッピング	$\mathrm{m}^2$	1	ただし10m <sup>2</sup> 未満の場合は0.1m <sup>2</sup>
道路修繕		削孔	孔	1	
道路修繕		アンカーボルト挿入	本	1	
道路修繕		鋼製沓座設置	箇所	1	
道路修繕	排水施設工	排水桝	箇所	1	
道路修繕		排水管	m	1	
道路修繕	横断步道橋工	高欄・手摺	t	0. 1	
道路修繕		側板	t	0. 1	
道路修繕		ノンスリップ	m	1	
道路修繕	RC橋脚鋼板巻立て工	鋼板取付	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		現場溶接	m	1	
道路修繕		定着用アンカー	箇所	1	
道路修繕		円形基部補強版	段	1	
道路修繕		根巻きコンクリート	$\mathrm{m}^3$	1	
道路修繕	橋脚コンクリート巻立て	コンクリート削孔	箇所	1	
道路修繕		コンクリート巻立て	$\mathrm{m}^3$	1	
道路修繕		下地処理	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕	現場塗装工	素地調整	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m² 未満の場合は 1m²
道路修繕		塗装(下・中・上塗)	m <sup>2</sup>	10	ただし 100m <sup>2</sup> 未満の場合は 1m <sup>2</sup>
道路修繕		張紙防止塗装	m <sup>2</sup>	10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
道路修繕		コンクリート面・岩盤清掃	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕	トンネルエ	内装板	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		裏込注入	m <sup>3</sup>	1	
道路修繕		面導水	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		線導水	m	1	
道路修繕		鋼板巻立て	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		グルービング	m <sup>2</sup>	1	
道路修繕		グルービング(路面排水用)	m	1	
道路修繕	1	鋼・ゴム製伸縮装置補修	m	1	
	橋梁補修工	橋梁地覆補修	m	1	
道路修繕					

	種 別	細別	設計表示 単位	数位	備考
道路修繕		低圧注入工法	m	1	
道路修繕		左官工法	m	1	
道路維持	巡視・巡回工	通常巡回	回	1	
道路維持		緊急巡回	回	1	
道路維持	コンクリート舗装補修工	アスファルト注入	t	0.1	ただし 1t 未満の場合は 0.01t
道路維持		舗装版目地補修	m	1	
道路維持		クラック処理	m	1	
道路維持	アスファルト舗装維持工	わだち掘れ補修	m <sup>2</sup>	1	
道路維持		パッチング	t	0.1	
道路維持	付属物復旧工	ガードケーブル復旧	m	1	
道路維持		転落(横断)防止柵復旧	m	1	
道路維持		路側標識復旧	基	1	
道路維持		標識板復旧	枚	1	
道路維持		視線誘導標復旧	本	1	
道路維持		距離標復旧	本	1	
道路維持		張紙防止シート復旧	m <sup>2</sup>	1	
道路維持	路面清掃工	路面清掃(機械)	km	0. 1	
道路維持		路面清掃(路肩部・人力)	km	0. 1	
道路維持		路面清掃(歩道・人力)	m <sup>2</sup>	1	
道路維持		路面清掃(歩道橋・地下道・人力)	m <sup>2</sup>	1	
道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	m <sup>2</sup>	1	
道路維持	路肩整正	路肩整正(機械)	km	0. 1	
道路維持		路肩整正(人力)	m <sup>2</sup>	100	
道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	m	10	
道路維持		側溝清掃(機械)	km	0. 01	
道路維持		管渠清掃	m	10	
道路維持		桝清掃	箇所	1	
道路維持	橋梁清掃工	伸縮継手清掃	m	1	
道路維持		排水管清掃	m	10	
道路維持		ガードパイプ清掃	m	1	
道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	km	0. 1	
道路維持		トンネル照明器具清掃(人力)	灯	1	
道路維持	道路除草工	除草	m <sup>2</sup>	1,000	ただし 100,000m <sup>2</sup> 未満の場合は 100m <sup>2</sup>
道路維持	応急処理工	応急作業	目	1	
電気通信		ケーブル	m	10	ただし 1,000m 未満の場合は 1m
電気通信		電線	m	10	ただし1,000m 未満の場合は1m
電気通信		電線管	m	10	ただし1,000m 未満の場合は1m
機械		鋼材類	t	0. 01	ただし1t 未満の場合は0.001t

# 第7章 **建設機械運転労務等**

1	建設機械運転労務 I -7-①- 1	4 -	-般事項······ I -7-④- 1
	1 適用職種······I-7-①- 1	1	建設機械運転労務····· I -7-④- 1
	2 労務歩掛······I-7-①- 1	2	指定事項における運転労務数量について
2	原動機燃料消費量······I -7-②- 1		····· I -7-④- 1
	1 適用範囲······ I -7-②- 1	3	運転日当り運転時間 (T) ······ I -7-④- 1
	2 燃料消費量······I-7-②- 1	4	運転手を計上する機械 I -7-④- 1
3	機械運転単価表······ I -7-③- 1	5	ダム工事及び大型造成工事について… I -7-④- 2
		6	労務単価について I -7-④- 2
		7	歩掛についてI-7-④-2
		8	運転手職種別の対象機械······I -7-④- 2

# 第7章 建設機械運転労務等(建地-I)

# ① 建設機械運転労務

## 1. 適用職種

建設機械の運転・操作にかかわる職種区分は、次表のとおりとする。

表1.1 適用職種

職種	適用建設機械				
運転手 (特殊)	特殊免許、資格等を必要とする建設機械				
運転手 (一般)	上記以外で、公道を走行する建設機械				
特殊作業員	上記以外で、公道を走行できない建設機械				

#### 2. 労務歩掛

2-1 運転手の労務歩掛

機械運転1時間当り労務歩掛は、次式による。

歩掛=
$$\frac{1}{T}$$
(人/h)・・・・ 式2.1

- (注) 1. Tは運転日当り運転時間で請負工事機械経費積算要領第4第4項及び同第6項の定めによる。 なお、Tは4~7時間について適用するものとし、Tが4時間未満の場合は4を、7時間を越える場合は7を使用 する
  - 2. 運転日当り運転時間 (T) は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとし、機械運転1時間当り労務歩掛は、小数第3位を四捨五入して小数第2位止めとする。

# ② 原動機燃料消費量

#### 1. 適用範囲

本資料は、建設工事に使用する建設機械等の燃料消費量の算出に適用する。

#### 2. 燃料消費量

#### 2-1 燃料消費量の算定

燃料消費量の算定は、請負工事機械経費積算要領による建設機械等損料算定表の種類、規格の機関出力と次に示す時間当り燃料消費率を乗じて求める。

時間当り燃料消費量=機関出力×時間当り燃料消費率

- (注) 1. 時間当り燃料消費量の数値は、有効数字の第3位を四捨五入し、有効数字2桁とする。
  - 2. 走行用エンジン及び作業用エンジンの双方を有する機械は、双方のエンジン出力を合計した機関出力とする。
  - 3. ディーゼルパイルハンマの燃料消費率は、単位が  $(\ell/h-t)$  (t:ラム質量) なので、機関出力に 替えてラム質量を乗ずる。

#### 2-2 時間当り燃料消費率

時間当り燃料消費率(日常保守点検等に必要な油脂類及び消耗品等を含む)は、次表を標準とする。

# 表2.1 運転1時間当り燃料消費率

		表2.1 運転1時間当り 	燃木		
No.	機械名	規格		燃料消費率 (0/kW-h)	摘  要
1	ブルドーザ				
2	リッパ装置付ブルドーザ				
3	小型バックホウ			0.150	
4	バックホウ			0. 153	
5	クラムシェル				
6	クローラローダ (トラクタショベル)				
7	ホイールローダ (トラクタショベル)			0. 153	
8	バックホウ	ディーゼル/電気ペブリット型		0. 128	
9	(クローラ型)	オフロード(建設用)		0. 085	15t以上
10	ダンプトラック	オンロード		0.040	
11	トラック			0. 043	クレーン装置付を含む
12	トレーラ			0. 075	
13	不整地運搬車	クローラ型		0. 134	
14	クローラクレーン			0.076	
15	トラッククレーン	ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型		0.044	オールテレーンクレーン含む
16	ラフテレーンクレーン			0.088	
17	ディーゼルパイルハンマ			7.6480/h-t	tはラム質量
18	バイブロハンマ	電動式	Е	0.305kWh/kW	
10	/ Y   / H / V Y	油圧式・可変式		0.308	
19	杭打機 (ベースマシン)			0. 085	
20	杭打用ウォータジェット		F.	0. 192 0. 533kWh/kW	
21	油圧ハンマ		ъ	0. 181	
22				0. 101	
22	油圧式鋼管圧入引抜機(ジャッキ)		Е	0.305kWh/kW	
23	油圧式杭圧入引抜機			0. 145	
24	アースオーガ		Е	0. 436kWh/kW	
25	アースオーガ中堀機			0. 085	ベースマシン
26	クローラ式アースオーガ				
				0.0436 kWh/kW	装置
27	粉体噴射撹拌機	二軸式 単軸式 改良材供給機		0.305kWh/kW 0.533kWh/kW	
		1エンジン (クローラ式)		0. 181	
28	オールケーシング掘削機	2エンジン (クローラ式)		0. 093	
		スキッド式		0. 104	
29	マッドスクリーン		Е	0.305kWh/kW	
30	泥排水処理装置	フィルタプレス式	Е	0.560kWh/kW	
31	グラウトポンプ			0. 207	
32	グラウトミキサ		Е	0.613kWh/kW	
33	ボーリングマシン		D	0. 151 0. 429kWh/kW	
		レール式	£	0. 443KWII/ KW	
Į.		レール式.			ĺ
34	ドリルジャンボ			0. 171	
34	ドリルジャンボ	クローラ式	E	0.171 0.415kWh/kW	
				0.415kWh/kW	
35	自由断面トンネル掘削機	クローラ式	Е	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW	
		クローラ式ホイール式	Е	0.415kWh/kW	
35 36	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器	クローラ式	E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW	
35 36 37	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置	クローラ式ホイール式	E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW	
35 36 37 38	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機	クローラ式ホイール式	E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW	ヒータプレーナ装置型を含む
35 36 37 38 39	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置 吹付ロボット	クローラ式ホイール式	E E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW 0. 466kWh/kW 0. 108 0. 111	ヒータブレーナ装置型を含む
35 36 37 38 39 40 41	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置 吹付ロボット モータグレータ スタビライザ	クローラ式ホイール式	E E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW 0. 466kWh/kW 0. 108 0. 111 0. 331kWh/kW	ヒータプレーナ装置型を含む
35 36 37 38 39 40 41	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置 吹付ロボット モータグレータ スタビライザ ロードローラ	クローラ式ホイール式	E E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW 0. 466kWh/kW 0. 108 0. 111 0. 331kWh/kW 0. 118	ヒータプレーナ装置型を含む
35 36 37 38 39 40 41	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置 吹付ロボット モータグレータ スタビライザ	クローラ式ホイール式トンネル工事用	E E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW 0. 466kWh/kW 0. 108 0. 111 0. 331kWh/kW 0. 118 0. 085	ヒータプレーナ装置型を含む
35 36 37 38 39 40 41	自由断面トンネル掘削機 NATM機器集じん器 コンクリート吹付機 急結剤供給装置 吹付ロボット モータグレータ スタビライザ ロードローラ	クローラ式ホイール式	E E E	0. 415kWh/kW 0. 429kWh/kW 0. 700kWh/kW 0. 466kWh/kW 0. 108 0. 111 0. 331kWh/kW 0. 118	ヒータプレーナ装置型を含む

			Life dal XVI ette ete	
No.	機械名	規格	燃料消費率 (Q/kW-h)	摘要
46	振動コンパクタ			
47	コンクリートプラント			
48	モルタルプラント		E 0.495kWh/kW	
49	ベントナイトミキサ			
50	トラックミキサ		0. 059	
51	コンクリートポンプ車		0.078	
52	アスファルトフィニッシャ		0. 147	加熱用燃料は含まない
53	ディストリビュータ		0.090	
54	コンクリートスプレッダ			
55	アグリゲートスプレッダ			
56	コンクリートフィニッシャ		0. 122	
57	コンクリートレベラ			
58	フィニッシングスクリード			
59	コンクリートカッタ		G 0. 227	
60	アスファルトエンジンスプレーヤアスファルトカーバ		C 0.997	
61			G 0. 227 0. 144	
62	路面切削機		0. 144	
63	廃材積込機 以上表展表 4-4%		0.218	
64	路上表層再生機		0. 142	
65	路面安全溝切削機(グルービング機械)		0.160	
66	路面ヒータ(路上表層再生機組合せ用)		0. 160	
67	路面清掃車 ガードレール清掃車		0. 063	
69	トンネル清掃車		0.005	
70	リストンイル (清		0, 052	
70	排水管清掃車		V. VOZ	
72	散水車		0. 044	
73	高所作業車		0.011	
74	ガードレール支柱打込機		0.051	
75	草刈車	路肩カッタ付	0. 071	
	1 - 4			
			0. 187	トンネル工事は別途
76	空気圧縮機	定置式		トンネル工事は別途
76	空気圧縮機		E 0.595kWh/kW	
76 77	空気圧縮機 ブロア送風機 (ファン)	定置式	E 0.595kWh/kW 0.156	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77	ブロア送風機(ファン)	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW 0.156 E 0.681kWh/kW	
77 78		定置式	E 0.595kWh/kW 0.156 E 0.681kWh/kW E 0.571	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW 0.156 E 0.681kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78	ブロア送風機(ファン) 軸流ファン	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW 0.156 E 0.681kWh/kW E 0.571 0.323	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79 80	プロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79 80 81	プロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79 80 81 82 83	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風
77 78 79 80 81 82	プロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83	プロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83	プロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ 電気溶接機 ベルトコンベヤ	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403 0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機	定置式可搬式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ 電気溶接機 ベルトコンベヤ	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403 0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ 電気溶接機 ベルトコンベヤ モルタル吹付機 作業車 ライトバン	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403 0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191 0.038	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機         作業車         ライトバン         中小型トラック	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323  G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191  0.038  0.047 G 0.047	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88	ブロア送風機 (ファン) 軸流ファン ポンプ 小型渦巻ポンプ 工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ) サンドポンプ 発動発電機 ウインチ 電気溶接機 ベルトコンベヤ モルタル吹付機 作業車 ライトバン	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403 0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191 0.038	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機         作業車         ライトバン         中小型トラック	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436 0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403 0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191  0.038	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機         作業車         ライトバン         中小型トラック	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型  二輪駆動 四輪駆動	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323 G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191  0.038  0.047 G 0.047  G 0.064 G 0.071	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機         作業車         ライトバン         中小型トラック         マイクロバス	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型  二輪駆動 四輪駆動  肩掛式 遠隔操縦式	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323  G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191  0.038  0.047 G 0.047  G 0.047  G 0.588  0.209  0.178	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く
77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90	ブロア送風機 (ファン)         軸流ファン         ポンプ         小型渦巻ポンプ         工事用水中モータポンプ (潜水ポンプ)         サンドポンプ         発動発電機         ウインチ         電気溶接機         ベルトコンベヤ         モルタル吹付機         作業車         ライトバン         中小型トラック         マイクロバス	定置式 可搬式  反転軸流式・可変風量型  二輪駆動 四輪駆動	E 0.595kWh/kW  0.156 E 0.681kWh/kW  E 0.571  0.323  G 0.495 E 0.900kWh/kW  E 0.584kWh/kW  0.145 G 0.436  0.108 E 0.305kWh/kW  0.261 G 0.403  0.293 G 0.512 E 0.560kWh/kW  0.191  0.038  0.047 G 0.047 G 0.047  G 0.588  0.209	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く

No.	機械名	規格	燃料消費率	摘要
110.	199 - FE	796 111	(ℓ/kW-h)	lled X
94	動力噴霧機		0. 261	
			G 0. 266 G 0. 347	
95	コンクリートバイブレータ		E 0.540kWh/kW	
96	照明機	可搬式	0, 638	
97	トラクタ	ホイール式	0. 120	
98	ポンプ式浚渫船	4.1 // 24	重油0.381	
99	引船		重油0.252	
100	除雪ドーザ	ホイール	里何0.202	
101	除雪グレーダ	NOT /F	0. 153	
101	休ヨグレーク		0, 078	
102	除雪トラック		E 0.331kWh/kW	
100		10.13 / 10	0. 193	
103	小型除雪機	ハンドガイド	G 0.356	
104	ロータリー除雪車	30~180kW 級	0. 137	
104	ロークリー除当中	220~440kW 級	0. 114	
105	一車線積込除雪車	ロータリ式	0.089	
106	凍結防止剤散布装置		0.090	
107	凍結防止剤散布車		0.058	
108	レーキドーザ			
109	トラクタ	クローラ式		
110	スクレープドーザ		0. 175	
111	タイヤドーザ			
112	モータスクレーパ		0. 163	
113	泥上掘削機		0. 175	
114	トレンチャ		0. 152	
115	ダンプトラック	ガソリン	G 0.071	
116	不整地運搬車	ホイール型	0. 160	
117	シャトルカー	かり 72生	E 0.560kWh/kW	
			0. 101	
118	タワークレーン		E 0.305kWh/kW	
119	ジブクレーン			
120	二本構リフト	モータウインチ		
121	一本構リフト	モータウインチ	E 0.305kWh/kW	
122	工事用エレベータ			
123	門型クレーン			
124	簡易ケーブルクレーン		0.108	
125	フォークリフト		0. 037	
	and the state of t		0. 085	ベースマシン
126	クローラ式サンドパイル打機		E 0.305kWh/kW	装置
127	トラック式アースオーガ		0. 053	
128	ラフテレーンクレーン装着式アースオーガ		0.103	
129	アースドリル掘削機		0.093	
				フロント装置吊上げクレーンは
130	リバースサーキュレーションドリル		E 0.426kWh/kW	杭打機(ベースマシン)を適用
131	杭打やぐら		E 0.305kWh/kW	
132	サイクロン			
133	サクションポンプ		E 0.900kWh/kW	
134	圧送ポンプ			
135	安定液ミキサ		E 0.533kWh/kW	
136	泥排水処理装置	ベルトプレス式	E 0.871kWh/kW	
137	汚泥吸排車		0.053	
138	ニューマチックケーソン施工機器		E 0.600kWh/kW	
	(潜函用ショベル)		·	
139	クーリングタワー		E 0.700kWh/kW	
140	シールド工事用機器	パワーユニット	E 0.533kWh/kW	
141	一次分離機			
142	汚水槽			
143	粘土溶解槽		E 0.900kWh/kW	
144	高分子凝集剤溶解槽			
145	スラリーポンプ			

No.	機 械 名	規格	燃料消 (0/kW-		要
146	インナーバイブレータ	自走式	0. 122		
147	コンクリートミキサ		E 0.495kWh	/kW	
148	コンクリートポンプ		E 0.410kWh	/kW	
149	法面締固め機		0. 167		
150	チップスプレッダ		0. 127		
151	アスファルトクッカ		0. 164		
152	コンクリート横取り機		0. 293		
153	振動目地切機				
154	区画線消去機	ハンドガイド機	G 0. 233		
155	ラインマーカ	ペイント・ハンドガイド 溶融自走式			
100		ペイント・自走式 ペイント・車載式	0.068		
156	溶解槽				
157	排水性舗装機能回復車		0.063		
158	しゃ光性遮音壁清掃車		0.040		
159	歩道清掃車		0.040		
160	排水管清掃車	CNG	C 0.043m <sup>3</sup> /k	W-h	
161	小型多段遠心ポンプ		E 0.900kWh	/kW	
162	真空ポンプ		2 0,000,	, 1111	
163	電動ホイスト				
164	チェンブロック (電動式)		E 0.305kWh	/kW	
165	土砂排出機				
166	簡易やぐら		D 0 0051 W	/s.m.	
167	両端固定式ケーブルクレーン		E 0.305kWh 0.108		
168	ムカデコンベヤ		E 0.560kWh		
169	油圧ジャッキ		E 0.533kWh	/kW	
170	コンクリート吹付機		E 0.410kWh	/kW	
171	急結剤供給装置(吹付機用)				
172	種子吹付機		0. 191		
173	エンジン付ミキサ		G 0. 162 E 0. 900kWh	/1W	
174	工事用高圧洗浄機		G 0. 255	/ KW	
175	薬剤散布機		0. 103		
176	エレクタ		E 0.255kWh	/kW	
177	切断機		E 0.305kWh	/kW	
178	草結束機		G 0.515		
179	木材破砕機		0. 185		
180	自走式破砕機		0. 185		
181	チェンソー		G 0.4500/h	左記は時間当り燃料	消費量である。
182	ポンプ浚渫船		E 1.217kWh	/kW	
183	除雪ドーザ	クローラ	0. 166		
184	ロータリ除雪装置		0. 141	ロータリ式88kw型 ベースマシン(除雪ドーサ	<u> </u>

(注) G: ガソリン E:電力 C: 圧縮天然ガス 印のないものは軽油である。

# 運転日当り電力消費量

## 表2. 2 運転日当り電力消費量

工 種 名		機	械	名	電力消費量
トンネル (NATM) 及び 小断面トンネル (NATM)	セメントサイロ	30t			E 8.0kWh

# ③ 機械運転単価表

本資料は、各工種に使用する機械のうち、標準的な機種について単価表を示したものであり、各工種の単価表欄の指定に基づき作成する。

#### 1. 各工種の中で特に指定しない場合は、次による。

- (1) 労務歩掛は「第7章①建設機械運転労務」による。
- (2) 主燃料の種類及び数量、油脂類は「第7章②原動機燃料消費量」による。

#### 2. 各機種、規格ごとに次の事項を記入する。

- (1)表題には、機械名を記入する。
- (2)燃料費の規格欄には、燃料の種類を記入する。
- (3)機械損料の規格欄には、機械の規格を記入する。

#### 機-1

#### 運転1時間当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
運転手(特殊)		人		第7章①建設機械運転労務による
燃 料 費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
<b>1</b>				

## 機-2

## 運転1時間当り単価表

名 称		規格	単位	数量	摘要
運転手(特別	殊 )		人		第7章①建設機械運転労務による
燃料	費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損	料		h	1	
損 耗	費		"	1	
諸雑	費		式	1	
計					

#### 機一3

#### 運転1時間当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘    要
運 転 手(特殊)		人		第7章①建設機械運転労務による
燃 料 費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損料1( )		h	1	
機械損料2( )		"	1	
諸 雑 費		式	1	
<b>1</b>				

(注)機械損料の()には、機械名を記入する。

## 運転1時間当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
運転手(特殊)		人		第7章①建設機械運転労務による
(電力)		kWh		
燃 料 費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。

## 機一5

#### 運転1時間当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
運転手(特殊)		人		第7章①建設機械運転労務による
(電力)		kWh		
燃 料 費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損料1( )		h	1	
機械損料2( )		"	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

- - 2. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。

# 機一6

## 運転1時間当り単価表

	名 称	規格	単位	数量	摘 要
運車	転 手(一般)		人		第7章①建設機械運転労務による
燃	料費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損 料		h	1	
諸	雑費		式	1	
	計				

#### 機-7

# 運転1時間当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
運転手(一般)		人		第7章①建設機械運転労務による
燃 料 費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機械損料		h	1	
損 耗 費		"	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

# 運転1日当り単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘    要
特	殊 作 業	員		人	1	
燃	料	費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損	料		目	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

## 機-9

## 運転1時間当り単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘 要
特	殊作業	員		人	1/T	
燃	料	費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損	料		h	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) T:運転日当り運転時間

#### 機-10

## 運転1日当り単価表

									•
	名	称		規	格	単位	数量	ł	摘    要
高	級	船	員			人			
普	通	船	員			"			
燃	米	+	費			Q			第7章②原動機燃料消費量による
機	械	損	料			日	1		
諸	杂	É	費			式	1		
	#	ŀ							

#### 機-11

#### 運転1時間又は1日当り単価表

	名 称	規格	単位	数量	摘    要
(	)船員		人		
燃	料費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損 料				
諸	雑費		式	1	
	計				

(注)()は、船員の種別を記入する。

# 機-12

## 運転1日当り単価表

1/20				~=-	a. – – , ,	
	名 称		規格	単位	数量	摘    要
燃	料	費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損	料		日	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

機-13

## 運転1時間当り単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘    要
燃	料	費		Q		第7章②原動機燃料消費量による
機	械 損	料		h	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

#### 機-14

#### 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘    要
(電力)		kWh		
機械損料		日	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

- (注) 1. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。
  - 2. 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

機-15

#### 運転1時間当り単価表

名	称	規格	単位	数量	摘    要
(電	力)		kWh		
機械	損 料		h	1	
諸杂	推 費		式	1	
3	+				

- (注) 1. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。
  - 2. 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

機-16

# 運転1日当り単価表

	名	称	規格	単位	数量	摘    要
燃	料	費		Q		
賃		料		供用日		
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

機-17

### 運転1時間当り単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘 要
燃	料	費		Q		施工歩掛による
機	械 損	料		h	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) 運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

#### 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
運転手 (特殊)		人		
燃 料 費		Q		
機械損料		供用日		
諸 雑 費		式	1	
計				

## 機一19

## 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘    要
運転手 (一般)		人		
燃 料 費		Q		
機械損料		供用日		
諸 雑 費		式	1	
計				

## 機-20

#### 運転1日当り単価表

,,,,,				
名 称	規格	単位	数 量	摘    要
運転手 (特殊)		人		
(電力)		kWh		
燃 料 費		Q		
機械損料 1( )		供用日		
機械損料 2( )		"		
諸 雑 費		式	1	
計				

- (注) 1. 機械損料の( )内には、機械名を記入する。
  - 2. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。

## 機-21

### 運転1日当り単価表

- ·				
名 称	規格	単位	数量	摘    要
運転手 (特殊)		人		
(電力)		kWh		
燃 料 費		Q		
機械損料		供用日		
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。

### 機-22

## 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
運転手 (一般)		人		
燃 料 費		Q		
機械損料		供用日		
損 耗 費		"		
諸 雑 費		式	1	
計				

## 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
特殊作業	員	人	1	
燃料	費	Q		
機械損	料	供用日		
諸雑	費	式	1	
計				

# 機-24

# 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
燃 料 費		Q		
機械損料		供用日		
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) 運転歩掛は施工歩掛に含まれている。

## 機-25

## 運転1日当り単価表

	名	称		規	格	単位	数量	摘    要
(	電	力	)			kWh		
機	械	損	料			供用日		
諸	杂	隹	費			式	1	
	言	+						

- (注) 1. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。
  - 2. 運転歩掛は施工歩掛に含まれている。

#### 機-26

## 運転1日当り単価表

	名	称		規	格	単位	数	量	摘    要
高	級	船	員			人			
普	通	船	員			"			
燃	米	+	費			Q			
機	械	損	料			供用日			
諸	杂	É	費			式	1		
	言	+							

# 機-27

## 運転1日当り単価表

	名	称	規格	単位	数量	摘    要
燃	料	費		Q		
賃		料		日	1	
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) 運転歩掛は賃料に含まれている。

## 機-28

#### 運転1日当り単価表

名	称		規	格	単位	数量	摘    要
運転手 (特殊)					人		
燃	料	費			Q		
賃		料			供用日		
諸	雑	費			式	1	
	計						

#### 運転1日当り単価表

	名	称		規	格	単位	数	量	摘    要
運	転 手	( <i>→</i> )	般)			人			
燃	料		費			Q			
賃			料			供用日			
諸	雑		費			式	1		
	計	-							

# 機-30

## 運転1日当り単価表

	名	称		規	格	単位	数量	摘    要	
(	電	力	)			kWh			
賃			料			供用日			
諸	杂	隹	費			式	1		
	言	+							

- (注) 1. 発動発電機を電源とする場合は、電力の積算はしない。
  - 2. 運転歩掛は施工歩掛に含まれている。

#### 機-31

## 運転1日当り単価表

	名	称		規	格	単位	数量	摘    要
特	殊	作業	員			人		
燃		料	費			Q		
賃			料			供用日		
諸		雑	費			式	1	
		計						

## 機-32

# 運転1日当り単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘    要
燃	料	費		Q		
機	械 損	料		供用日	1.4	
損	耗	費		"	1.4	
諸	雑	費		式	1	
	計					

## 機-33

## 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘    要
運転手(特殊)		人		
燃料費		Q		
機械損料		供用日		
ICT 建設機械経費 損 料 加 算 額		II		
諸 雑 費		式	1	
計				

#### 機-34

#### 運転1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘    要
運転手 (特殊)		人		
燃 料 費		Q		
機械賃料		供用日		
ICT 建設機械経費 賃 料 加 算 額		11		
諸 雑 費		式	1	
計				

## ④ 一般事項

#### 1. 建設機械運転労務

運転手の労務歩掛の考え方

- (1) 運転手は通年雇用的な常用とみなす。
- (2) 1人工は実働8時間とする。

#### 2. 指定事項における運転労務数量について

各工種における当該機械毎の機械運転単価表において、指定事項に運転労務数量が指定されている場合は、これによるものとする。

指定事項において運転労務数量が指定されていない場合は、第1編第7章①建設機械運転労務によるものとする。

#### 3. 運転日当り運転時間 (T)

(1)作業が標準状態である場合、運転日当り運転時間(T)は建設機械等損料算定表に示す年間標準運転時間、 年間標準運転日数等より算出した値を使用する。

ただし、各工種における当該機械毎に運転労務数量が指定されている場合は、これによる。

- (2) 工事の施工に特別な条件がない場合、作業は標準状態と見なす。
- (3) 積上げで求めた運転日当り運転(T) と標準時間( $T_0$ ) の差が  $T_0$ に対し±20%未満の場合には、標準状態とみなし、標準  $T_0$  を使用することができる。
- (4) 設計変更その他不可抗力等により、当初の契約条件を変更するため運転日当り運転時間(T)がいちじるしく変更する場合(±20%以上の場合)は、運転日当り運転時間(T)を変更する。
- (5)運転日当り運転時間(T)が4時間未満の場合、歩掛はすべてT=4時間で積算し同一運転手による他の機械の運転等を考慮する。又運転日当り運転時間(T)が7時間を越える場合も歩掛はすべてT=7時間で積算し、場合によっては2シフト制を考慮する。
- (6)運転日当り運転時間(T)は、小数第2位を四捨五入して小数第1位止めとし、機械運転1時間当り労務歩掛は、小数第3位を四捨五入して小数第2位止めとする。

#### 4. 運転手を計上する機械

道路交通法に定める運転免許が必要な建設機械並びにこれと同等の機械(フィニッシャ、アスファルトプラント等)とする。

運転手を計上する条件を運転手(特殊)及び運転手(一般)と分類してその各々の内容を次のとおりとする。

(1)運転手(特殊)

重機械(道路交通法第84条に規程する大型特殊免許または労働安全衛生法第61条第1項に規程する 免許、資格もしくは技能講習の修了を必要とし、運転及び操作に熟練を要するもの。)の運転及び操作につい て相当程度の技能を有し、主として重機械を運転または操作及び整備点検、給油脂、清掃等の 作業。

(2) 運転手 (一般)

道路交通法第84条に規程する運転免許(大型免許、普通免許等)を有し、主として機械を運転または操作及び整備点検、給油脂、清掃等の作業。

(3) 特殊作業員としての取扱い

軽機械(道路交通法第84条に規程する運転免許または労働安全衛生法第61条第1項に規程する免許、資格 もしくは技能講習の修了を必要とせず、運転及び操作に比較的熟練を要しないもの。)を運転または操作し て行う作業。

## 5. ダム工事及び大型造成工事について

ダム工事及び大型造成工事については、機械付世話役及び助手を別途考慮する。

#### 6. 労務単価について

単価は公共工事設計労務単価(二省単価)による。

- ・世話役の単価について 機械付世話役単価は一般土木世話役の労務単価とする。
- ・助手の単価 助手の単価は普通作業員の単価とする。
- ・機械工の単価 機械工の単価は溶接工の単価とする。

### 7. 歩掛について

#### (1)損料との関係

- 1)機械の供用日数、運転時間の定義等についてはすべて「請負工事機械経費積算要領」によるものとする。
- 2) 時間当り損料 労務歩掛積算要領表 (表-1)

表-1 時間当り損料 労務歩掛積算要領表

	<b>女</b> 「 的 的 :	コノは作りのからはは井女は女	
施工条件	時間当り損料(円/h)	労務歩掛(人/h)	摘要
(1) 稼動状態が標準の 場合	損料=損料表(13)欄	4≦T≦7ではT T<4の場合はT=4 7 <tの場合はt=7 として、標準歩掛の式2.1による。</tの場合はt=7 	Tは機種により一定 T = 損料表(3)欄 損料表(4)欄
(2) 稼動状態が標準と 異なる場合	損料=損料表(9)欄 +損料表(11)欄/t t:供用日当り運転時間 (積上げにて積算)、小 数第2位を四捨五入して小 数第1位止め	(1)に同じ	4≤T≤7では損料Tと歩 掛Tは一致する。 T<4,7 <tでは損料tと 歩掛は一致しない。</tでは損料tと 
(3) 特に作業条件が標準と異なる場合 (ハードワーク等)	損料=損料表(9)欄 ×(1±α)損料表 +(11)欄/t	(1)に同じ	算定表の割増率を使用
(4) 積雪寒冷地で使用 する場合	損料=損料表(9)欄 +損料表(11)欄 ×β/t	(1)に同じ	算定表の割増率を使用

#### 8. 運転手職種別の対象機械

運転手職種別の対象機械は、表-2のとおりとする。

# 表-2 運転労務適用職種一覧

機械名	夫	見 格	機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	摘要
	1t		_			0	
ブルドーザ	3t以上	Ė	_	0			
	リッノ	《装置付	_	0			
レーキドーザ	3t級茅	<b>長満</b>	_			0	
タイヤドーザ	3t級以	以上	_	0			
	<b>2</b> —	3t級未満	_			0	
トラクタ	クローラ	3t級以上	_	0			
h	/ a	_	3t未満		0		
	ホイール	_	3t以上	0			
スクレープドーザ ス ク レ ー パ モータスクレーパ	名	子 種	_	0			
パワーショベル	杉	幾 械 式	3t以上	0			
ハ゛ックホウ、クラムシェル	クローラ	山積0.08m³級以下 (平積0.06m³級)	_			0	
ドラグライン		山積0.11m³級以上 (平積0.08m³級)	_	0			
ローディングショベル	ホイール	山積0.28m³級以上 (平積0.2m³級)	_	0			
クローラローダ	0.	25m³級以下	_			0	
	0.	4 m³級以上	_	0			
ホイールローダ	0.	4 m³級以下	_		0		
	0.	5 m³級以上	_	0			

機械名	規格	機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特殊 作業員	摘要
クローラクレーン	1t吊未満	_			0	
	1t吊以上	_	0			
トラッククレーン	1t吊未満	_		0		
ラフテレーンクレーン	1t吊以上	_	0			
モータグレーダ	各 種	_	0			
サンドパイル打機	バイブロ 式	_	0			
	ブーム式	_	0			
クローラ杭打機	直結式	_	0			
w 工 注 担 末	ブラシ式フロントリフトダンプ	_	0			
路面清掃車	上記以外	_		0		
トラック式アースオーガ	各 種	_	0			
大型ブレーカ	JJ	_	0			バックホウ架装
散 水 車	JJ	_		0		
側 溝 清 掃 車	JJ	_		0		
排 水 管 清 掃 車	JJ	_		0		
カ゛ート゛レール清掃車	ブラシ式	_		0		
トンネル清掃車	II.	_		0		
トラック	国産・普通 クレーン装置付1t吊未満	_ _		0		
	クレーン装置付1t吊以上	_	0			

機械名	規格	機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	摘  要	
ダンプトラック	各種	_		0			
専用重ダンプトラック	各種	_		0			
不整地運搬車	積載質量1t未満	_			0		
小 笠 地 連 俶 車	積載質量1t以上	_	0				
水陸両用運搬車(泥上車)	各種	_	0				
作業車	各 種 (クレーン装置付1t吊以上を除く)	_		0		クレーン装置付1t吊 以上の機種であって、 クレーンを使用しな い場合は、運転手(一 般)のみ計上	
	各 種 (クレーン装置付1t吊以上)	_	0				
高所作業車	作業床高10m未満	_		0			
同	作業床高10m以上	_	0				
コンクリートポンプ車	配管式	_	0				
コングケードがング車	ブーム式	_	0				
ラインマーカ	自 走 式	_		0			
	車 載 式	_		0			
ロードローラ	マカダム	_	0				
	タンデム	_	0				
タイヤローラ	各種		0				
振動ローラ	自走式2.5~2.8t以下	_			0		
加助ローク	″ 3.0~5.0t以上	_	0				

機械名	規格	機械質量	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特 殊 作業員	摘  要
コンクリートフィニッシャ	3.0~4.5m以上	_	0			
コンクリートスプレッダ	ブレード式・ボックス式	_	0			
コンクリートレベラー	3. 0∼7. 5m	_	0			
アスファルトフィニッシャ	各種	_	0			
アスファルトプラント	II	_	0			
アスファルトテ゛ィストリヒ゛ュータ	II	_		0		
アスファルトスプレッダ	自走式・各種	_		0		
スタビライザ	路上混合自走式各種	_	0			
トレンチャ	自 走 式	3t未満			0	
	II	3t以上	0			
トラックミキサ	各種	_		0		
ヒータプレーナ		_	0			
路面切削機	クローラ式・ホイール式	_	0			
マイクロバス		_		0		
連 絡 車		_		0		
ウ イ ン チ	5t吊未満	_			0	
ウ イ ン チ	5t吊以上	_	0			
草 刈 車	大型自走式 (履帯式)	_			0	
草 刈 機	肩掛式・ハンドガイド式				0	

# 第8章 土木請負工事の特許使用料の積算

1	土木請負工事の特許使用料の積算について

# 第8章 土木請負工事の特許使用料の積算(建地-I)

## ① 土木請負工事の特許使用料の積算について

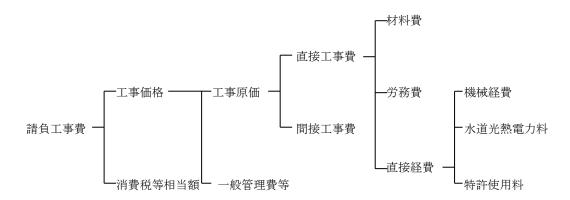
1. 土木請負工事工事費の積算において必要な特許使用料の算定については次のとおりとする。 ただし、これにより難い場合は別途考慮するものとする。

#### (1)特許使用料の適用

特許使用料の適用は、特許権等に係る施工法・試験法・製造法並びに特許権、実用新案権及び意匠権等を用いて施工・製作させた装置等、工業所有権等に係るもの全てを対象とした特許工法等とし、特許法に基づく手続きのうち、設定登録が完了している場合及び出願を完了し、且つ、設定登録が完了していない手続き期間において、当該工法等を使用する積算に適用する。また、特許使用料を計上するのは、共有特許及び民間特許工法等を使用する場合とする。

#### (2)特許使用料の積算

特許使用料は、工事を施工するのに直接必要とする経費とし、その算定は契約に基づき使用する特許の使用料および派出する技術者等に要する費用の合計額とする。



### 1) 特許使用料の算出

共有特許工法等を使用する場合は、実施契約に基づく、民間企業等が有する特許権の持分に対応した特許使 用料を計上し、民間特許工法等を使用する場合は、当該特許工法にかかわる全ての特許使用料を計上する。 なお、特許権、実用新案権及び意匠権等を用いて施工・製作させた装置等については、特許使用料が含まれ ている場合があるので留意されたい。

# 第9章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算

1	時間的制約を受ける公共土木工事の積算について

# 第9章 時間的制約を受ける公共土木工事の積算 (建地-I)

# ① 時間的制約を受ける公共土木工事の積算について

- 1. 公共土木工事において、下記に示す項目により継続的に時間的制約を受け、通常の作業時間を確保することができない場合における当該作業の積算に係る労務費の算定は次のとおりとする。
  - (1) 時間的制約条件
    - 1) 現道の交通量の多い時間帯
    - 2) 通勤・通学の時間帯
    - 3) 公的な輸送機関 (バス・鉄道等) のピークとなる時間帯
    - 4) 工事場所周辺地域の生活、各種営業活動等の時間帯等
    - 5) 山間部など現場条件によって作業時間に制約を受ける場合等
    - 1) ~4) の時間帯を避けた施工を必要とする場合又は5) の制約を受ける場合とする。 ただし、ある特定の日のみの制約(例:毎週○曜日のみ)を受ける場合は適用しない。
  - (2) 制約を受ける作業時間の適用範囲

制約を受ける作業時間については、4時間/日以上~7.5時間/日以下とする。

なお、制約を受ける作業時間が4時間/日未満の場合は、別途施工条件等を考慮し適性に積算するものとする。

(3) 労務費の算定方法

時間的に制約を受ける工事の設計労務単価の補正割増しは、以下の方法により行うものとする。

1) 作業時間の算出

拘束時間=作業終了時間-作業開始時間

(なお、標準拘束時間は9時間とする)

作業時間=拘束時間-1時間(休憩時間帯)

(なお、標準作業時間は8時間とする)

2) 補正割増し係数

時間的制約状況の程度	補正割増し係数
時間的制約を受ける場合	1.06
時間的制約を著しく受ける場合	1. 14

- 注)「時間的制約を受ける場合」とは、作業時間が7時間/日を超えて7.5時間/日以下をいう。 「時間的制約を著しく受ける場合」とは、作業時間が4時間/日以上~7時間/日以下をいう。
- 3) 設計労務単価の補正割増し

設計労務単価は、次式により補正割増しを行うものとする。

- イ) 通常勤務すべき時間帯 (8時~17時) 内において作業時間に制約を受ける場合の設計労務単価 設計労務単価=公共工事設計労務単価×補正割増し係数
- ロ) 施工条件により、やむを得ず通常勤務すべき時間帯 (8時 $\sim$ 17時) を外して作業を行う場合の設計 労務単価 ( $\theta$ -1,  $\theta$ -2)

設計労務単価= [公共工事設計労務単価+割増し賃金]×補正割増し係数

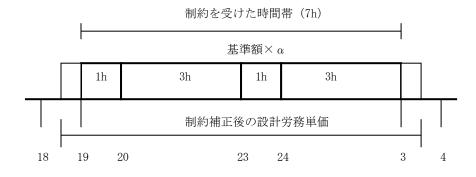
(例-1) 20時 $\sim$ 6時の時間帯の中で21時 $\sim$ 5時までの時間的制約を受けた場合



設計労務単価= [基準額+割増し賃金] ×補正割増し係数 =基準額×1.5×1.14 =基準額×1.71

ただし、割増し賃金=基準額×0.5

(例-2) 18時~4時の時間帯の中で19時~3時までの時間的制約を受けた場合



設計労務単価= [基準額+割増し賃金] ×補正割増し係数

=基準額×1.428×1.14

=基準額×1.628

ただし、 $\alpha =$ 割増し率

 $= (1h \times 1.0 + 6h \times 1.5) /7h$ 

=1.428

割増し賃金=基準額×0.428

- ハ)設計労務単価に他の特殊割増し(積雪寒冷地域での冬期割増し等)を合わせて考慮する場合は、割増し部分が重複しないように注意するものとする。
- ニ)機械付労務の労務費についても補正割増しの対象とする。
- (4) 機械損料の補正

時間的制約を受ける工事の積算にあたって、機械損料を補正する場合には「建設機械損料の算定について」 (建設省機発第65号)[昭和55年2月22日付]により、行うものとする。

(5) 工期の設定

時間的制約を受ける工事の工期設定にあたっては、制約された作業時間により適正な工期の設定を行うものとする。

# 第10章 土木請負工事における 現場環境改善費の積算

① 土木請負工事における現場環境改善費の積算…………………… I -10-①- 1

# 第10章 土木請負工事における現場環境改善費の積算 (建地-I)

# (1) 土木請負工事における現場環境改善費の積算

1. 対象となる内容は次のとおりとする。

工事に伴い実施する現場環境改善(仮設備関係、営繕関係、安全関係)及び地域連携に関するものを対象とする。

#### 2. 適用の範囲

周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施するもので、原則、設計金額が150,000千円以上の全ての工事とする。(但し、現場事務所を設置しない工事については除外する。)

#### 3. 積算方法

- (1) 現場環境改善費の積算は、以下の方法により行うものとする。ただし、標準的な現場環境改善を行う場合は率計上とし、特別な内容を実施する場合は積上げ計上とする。
  - イ. 積算方法は以下のとおりとし、現場環境改善費に計上するものとする。

 $K = i \cdot Pi + \alpha$ 

ただし、K:現場環境改善費(単位:円、1,000円未満切り捨て)

i:現場環境改善費率(単位:%、小数第3位四捨五入2位止め)

Pi:対象額(直接工事費(処分費等を除く共通仮設費対象分)+支給品費(共通仮設費対象分)

+無償貸付機械等評価額)

なお、対象額が5億円を超える場合は5億円とする。

α:積上げ計上分(単位 円 1,000円未満切り捨て)

	対象額:Pi	現場環境改善費率: i (%)		
	对家領:FI	大都市、市街地	左記以外	
直接工事費(処分費等を除く) + 支給品費	5億円以下 の場合	i =56.6 ⋅ Pi <sup>-0.174</sup>	i =39.9 • Pi <sup>−0.201</sup>	
大和	5億円を超 える場合	1.73	0.71	

ロ.率に計上されるものは、別表-1の内容のうち原則として各計上費目(現場環境改善のうち仮設備関係、 営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を 基本とした費用である。

また、選択にあたっては地域の状況・工事内容により組み合わせ、実施費目数及び実施内容を変更しても良い。 ハ. 積上げ計上分(α)に計上するものは、費用が巨額となるため現場環境改善費率分で行うことが適当でない と判断されるものとする。

- ニ. なお、経費率は現場環境改善費の各費目を1本化した全体での率である。
- ホ. 現場環境改善及び地域連携に関する費用の対象額は5億円を限度とする。

## (2) 設計変更について

率に計上されるものについては、設計変更を行わないものとする。ただし、対象金額(Pi)の変動に伴う現場環境改善費率 i は変更される。また、積上げ計上分 $(\alpha)$ については、内容に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。

### 別表-1

計上費目	実施する内容(率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	<ol> <li>1. 用水・電力等の供給設備</li> <li>2. 緑化・花壇</li> <li>3. ライトアップ施設</li> <li>4. 見学路及び椅子の設置</li> <li>5. 昇降設備の充実</li> <li>6. 環境負荷の低減</li> </ol>
現場環境改善 (営繕関係)	<ol> <li>現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)</li> <li>労働宿舎の快適化</li> <li>デザインボックス(交通誘導警備員待機室)</li> <li>現場休憩所の快適化</li> <li>健康関連設備及び厚生施設の充実等</li> </ol>
現場環境改善 (安全関係)	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報器等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR 看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター) の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献

# 第11章 工事における工期の延長等に伴う 増加費用等の積算

(I)	事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算に	<u>:</u> つ
	I -11-①- 1	
1	増加費用等の考え方 I -11-①- 1	
2	増加費用等の算定······ I -11-①- 1	

# 第 11 章 工事における工期の延長等に伴う増加費用 等の積算(建地-I)

# ① 工事における工期の延長等に伴う増加費用等の積算について

受注者の責めに帰すことができないものにより請負工事の設計図書の変更に伴う工期の延長や一時中止(以下「工期延長等」という。)をした場合の増加費用の負担については、下記により積算するものとする。

#### 1. 増加費用等の考え方

1-1 増加費用等の適用

増加費用等の適用は、工期延長等に伴う増加費用等について受注者から請求があった場合に適用する。

1-2 増加費用等の範囲

増加費用として積算する範囲は、工事現場の維持に要する費用、工事体制の縮小に要する費用、工事の再 開準備に要する費用、中止により工期延長となる場合の費用、工期短縮を行った場合の費用とする。

(1) 工事現場の維持に要する費用

工事現場の維持に要する費用とは、工期延長等に伴い工事現場を維持し又は工事の続行に備えて機械器具、労務者又は現場常駐の従業員(専門職種を含む。以下同じ。)を保持するために必要とされる費用等とする。

(2) 工事体制の縮小に要する費用

工事体制の縮小に要する費用とは、中止時点における工事体制から中止した工事現場の維持体制にまで体制を縮小するため、不要となった機械器具、労務者又は現場常駐の従業員の配置転換に要する費用等とする。

(3) 工事の再開準備に要する費用

工事の再開準備に要する費用とは、工事の再開予告後、工事を再開できる体制にするため、工事現場に 再投入される機械器具、労務者、現場常駐の従業員の転入に要する費用等とする。

(4) 工期延長等となる場合の費用

工期延長等となる場合の費用とは、工期延長等となることにより追加で生じる社員等給与、現場事務所費用、材料の保管費用、仮設諸機材の損料等に要する費用等とする。

(5) 工期短縮を行った場合の費用

工期短縮を行った場合の費用とは、工期短縮の要因が発注者に起因する場合、自然条件(災害等含む)に起因する場合の工期短縮に要する費用等とする。なお、工期短縮の要因が受注者に起因する場合は増加費用を見込まないものとする。

## 2. 増加費用等の算定

2-1 増加費用等の構成

中止期間中の現場維持等に要する費用は、工事原価内の間接工事費の中で計上し、一般管理費等の対象とする。



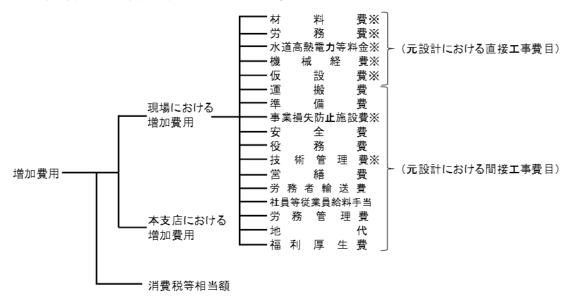
\*工期延長等に伴う本支店における増加費用を含む

(注) 工期延長等に伴い発注者が新たに受取り対象とした材料、直接労務及び直接経費に係る費用は、該当する工種に追加計上し、設計変更により処理するものとする。

増加費用は、原則、工事目的物又は仮設に係る工事の施工着手後を対象に算定することとし、工期延長等の期間3ヶ月以内の算定方法は以下のとおりとする。ただし、工期延長等の期間が3ヶ月を超える場合や道路維持工事又は河川維持工事のうち経常的な工事である場合等は、別途考慮すること。

#### 2-2 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用

- (1) 標準積算により算定する場合、工事延長等に伴う現場維持等に要する費用として積算する内容は以下の積上げ項目及び率項目とする。
  - 1) 増加費用の構成費目は、次のとおりとする。



#### ※積上げ項目

- 2) 増加費用の費目に係る積算の内容は次のとおりとする。
- i) 現場における増加費用

#### イ 材料費

① 材料の保管費用

工事を工期延長等したために、元設計の直接工事費に計上されている現場搬入済の材料を、発注者が倉庫等(受注者が工事現場に設置したものを除く。)へ保管する必要があると認めた場合の倉庫保管料及び入出庫手数料

② 他の工事現場へ転用する材料の運搬費

工事を工期延長等したために,元設計の直接工事費に計上されている現場搬入済の材料を,発注者が他の工事現場等に転用する必要があると認めた場合の当該材料の運搬費

③ 直接工事費に計上された材料の損料等

元設計において期間要素を考慮して計上されている材料等の工期延長等に伴う損料額及び補修費用 ロ 労務費

① 工事現場の維持等に必要な労務費

作業を伴わない作業員の労務費は、原則として計上しない。

ただし、必要な作業員を確保しておくべき特別の事情があり、受発注者協議により工事現場に労務者 を常駐させた場合にはその費用

② 他職種に転用した場合の労務費差額

工事現場の保安等のために,受発注者協議により工事現場に常駐させた,トンネル・潜函工などの特殊技能労働者が職種外の普通作業等に従事した場合における本来の職種と,従事した職種の発注者の設計上の単価差額の費用

#### ハ 水道光熱電力等料金

工事現場に設置済の施設を工事現場の維持のため、発注者が指示し、あるいは受発注者協議により 工期延長等の要因発生後、再開までの間に稼動(維持)させるために要する水道光熱電力等に要する 費用

# 二 機械経費

① 工事現場に存置する機械の費用

現場搬入済の機械のうち元設計に個別計上されている機械と同等と認められるものに関する次の 費用

- ② 工事現場の維持のため存置することが必要であること、又は搬出費及び再搬入費(組立て、解体費を含む。)が存置する費用を上回ること等により、発注者が工事現場に存置することを認めた機械等の現場存置費用(組立て、解体費、賃料・損料、管理費を含む。)
- ⑥ 発注者が工事現場の維持等のため必要があると認めて指示した機械の運搬費用

#### ホ 仮設費

① 仮設諸機材の損料

現場搬入済の仮設材料,設備等のうち,元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる仮設諸機材の工期延長等に係る損料及び維持補修の増加費用

② 新たに必要となった工事現場の維持等に要する費用

元設計には計上されていないが,工期延長等に伴う工事現場の維持等の必要上,発注者が新たに指示しあるいは受発注者の協議により発注者が必要と認めた仮設等に要する費用(補助労力を含む。)

③ 工期延長等となることにより追加で生じる仮設諸機材の損料等に要する費用

#### へ 運搬費

① 工事現場外への搬出又は工事現場への再搬入に要する費用

工期延長等の要因発生時点に現場搬入済の機械器具類及び仮設材等のうち発注者が元設計に計上されたものと同等と認めたものを一定の範囲の工事現場外に搬出し又は一定の範囲から工事現場に再搬入する費用

② 大型機械類等の現場内運搬

元設計に計上した機械類,資材等のうち,工期延長等されたために,新たに工事現場内を移動させることを発注者が指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めた大型の機械,材料,仮設物等の運搬費用

#### ト 進備費

別費目で積算している現場常駐の従業員又は労務者をもって充てる通常の準備作業を超える工事現場の跡かたづけ、再開準備のための諸準備・測量等で、発注者が指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めたものに係る準備費用

#### チ 事業損失防止施設費

仮設費に準じて積算した費用

#### リ安全費

① 既存の安全設備に係る費用

工期延長等の要因発生以前に工事現場に設置済の安全設備等のうち、原則として元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる、安全設備等の工期延長等に伴う損料及び維持補修の費用

② 新たな工事現場の維持等に要する安全費

元設計には計上されていないが、工期延長等に伴い、工事現場の安全を確保するため、発注者が新た に指示しあるいは受発注者協議により発注者が必要と認めた安全管理に要する費用(保安要員費を含 む。)

#### ヌ 役務費

① プラント敷地,材料置場等の敷地の借上げ料

元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められるプラント敷地及び材料 置場等の敷地の工期延長等期間に係る借上げ、解約などに要した増加費用

② 電力水道等の基本料

元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められる電力・用水設備等に係る工期延長等期間中の基本料

#### ル 技術管理費

原則として増加費用は計上しないものとする。

ただし、現場搬入済の調査・試験用の機器、技術者等で元設計において期間要素を考慮して計上されているものと同等と認められるものがある場合には、仮設費に準じて積算した費用

#### ヲ 営繕費

工期延長等の要因発生以前に工事現場に設置済みの営繕施設のうち元設計において期間要素を考慮して計上されたものと同等と認められる営繕施設の工期延長等期間に係る維持費、補修費及び損料額又は営繕費、労務者輸送費を一体化して直接工事費等に対する割掛率で計上している工事における工期延長等期間中の維持費、補修費、損料額及び労務者輸送に要する費用

#### ワ 労務者輸送費

元設計が、営繕費、労務者輸送費を区分して積算している場合において受発注者協議により工事現場に常駐する労務者及び近傍の工事現場等に転用させると認められた労務者を一括通勤させる場合の通勤費用

#### 力 社員等従業員給料手当

工期延長等期間中等の工事現場の維持等のために、受発注者協議により定めた次の費用

- ① 元請・下請会社の現場常駐の従業員(機械,電気設備の保安に係るものを含む。)に支給する給料手当の費用
- ② 工期延長等の要因発生時点に現場に常駐していた従業員を工事現場の維持体制に縮小するまでの間に従業員に支給する給料手当の費用
- ③ 工事現場の維持体制から再開する体制に移行するまでの間,現場常駐の従業員に支給する給料手当の費用
- ④ 工期延長等となることにより追加で生じる現場常駐の従業員に支給する給料手当の費用

#### ヨ 労務管理費

① 他の工事現場へ転出入する労務者の転出入に要する費用

工期延長等によって遊休となった労務者のうち、当該工事現場に専従的に雇用された労務者(通勤者も含む。)を一定の範囲に転出又は一定の範囲から復帰のため転入するのに必要な旅費及び日当等の費用。なお、専従的に雇用されていた者とは元請会社直庸又は専属下請会社が直接賃金を支給しており、かつ当該工事現場に相当長期間の契約で常駐的に雇用されていることが賃金台帳等で確認できるような者(以下「専従的労務者」という。)(通勤者も含む。)とする。

② 解雇・休業手当を払う場合の費用

受発注者協議により適当な転入工事現場を確保することができないと認めた専従的労務者を解雇・休 業するために必要な費用

#### タ地代

現場管理費の内、営繕費に係る敷地の借上げに要する費用等として現場管理費率の中に計上されている地代の工期延長等期間の費用

レ 福利厚生費等

現場管理費の内、現場常駐の従業員に係る退職金・法定福利費・福利厚生費・通信交通費として現場管理費率の中に計上されている費用の工期延長等期間中の費用

ii) 本支店における増加費用

中止に係る工事現場の維持等のために必要な受注者の本支店における費用

iii)消費税相当額

現場及び本支店における増加費用に係る消費税に相当する費用

#### (2) 算定方法

工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記の式により算出する。

 $G = dg \times I + \alpha$ 

ただし、

G: 工期延長等に伴う現場維持等の費用(単位 円 1,000円未満切り捨て)

dg:工期延長等に係る現場経費率(%少数第4位四捨五入3位止め)

J:対象額(工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費)(単位 円 1,000円未満切り捨て)

α:積上げ費用(単位 円 1,000円未満切り捨て)

(前記2-2(1)1) に示す積上げ項目)

1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率

$$dg = [A \{ (\frac{J}{a \times J^b + N})^B - (\frac{J}{a \times J^b})^B \}] + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$$

ただし、

dg: 工期延長等に伴い増加する現場経費率 (% 少数第4位四捨五入3位止め) (前記2-2(1)2) に示す率項目)

J:対象額(工期延長等時点の契約上の現場管理費対象純工事費)(単位 円 1,000円未満切り捨て)

N:工期延長等日数(受注者の責めに帰す場合は除く)(日)

ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数。

R:公共工事設計労務単価(土木一般世話役)

A : -B :

各工種毎に決まる係数(別表-1)

a :

b :\_\_

加來一工			V 71K 221	V 75:					び茶り	4°D				
1 供	不好心		(赤後)	W.A.	开杂型 (DID	山門和地路	一的大流		(水)  一	XB 一帥太沽財	北統地 (hīn	四州四川	万类。	(7 米小)
上俚人万	一板父祖影響無し	大都市	板父連於 響有り(1)	一板父通影 響有り(2)	巾街地(DID 補正)		一板ダ油影響無し	大都市	一板父通於 響有り(1)		m倒地(DID 補正)	山间神紀及び離島	冻数a	/宋级D
河川工事	1901.4	I	2116.7	2104.1	2104.1	1939.0	-0.3284	I	-0.3275	-0.3280	-0.3280	-0.3269	13, 3999	0.1615
河川・道路構造物 工事	410.4	1	453. 5	452. 4	452. 4	413.5	-0. 2019	1	-0. 2004	-0.2012	-0. 2012	-0. 1994	1.0955	0.3057
海岸工事	521.4	-	550.7	561.8	561.8	488.2	-0.2306	-	-0. 2255	-0. 2280	-0. 2280	-0. 2224	4, 2009	0. 2226
道路改良工事	6 '82	-	87.2	0.78	87.0	79. 4	-0.0714	-	-0. 0698	-0.0706	-0.0706	-0.0688	2, 4722	0.2611
鋼橋架設工事	4760.3	5819.2	5307.1	5271.4	5307.1	4867.7	-0.3805	-0.3793	-0.3796	-0.3801	-0.3796	-0.3791	8, 9850	0. 2036
P C 橋工事	1238.0	ı	1436.8	1399.1	1399.1	1351.0	-0. 2884	ı	-0. 2907	-0. 2895	-0. 2895	-0. 2921	0. 5348	0.3394
橋梁保全工事	3393. 5	ı	3979. 5	3855.9	4318.8	3764.5	-0.3455	I	-0.3485	-0.3470	-0.3483	-0.3504	1. 6260	0. 2838
舗装工事	923. 0	1331.5	1162.5	1087.6	1254. 4	1149.1	-0. 2725	-0. 2837	-0. 2807	-0. 2767	-0. 2801	-0. 2858	0. 7817	0.3147
共同溝等工事(1)	213.2	-	247.5	241.0	241.0	232.8	-0.1455	I	-0.1480	-0.1468	-0.1468	-0.1496	0. 4678	0.3598
共同溝等工事(2)	314.1	-	363.9	354.7	354.7	341.7	-0. 1833	-	-0. 1852	-0. 1843	-0. 1843	-0. 1865	0.0142	0. 5399
トンネル工事	9 '0201	-	1331.2	1253.2	1253.2	1306.0	-0. 2619	-	-0. 2685	-0.2652	-0. 2652	-0. 2726	0.1118	0.4194
砂防・地すべり等工事	275.1	_	288. 4	295.3	295. 3	254.5	-0.1797	_	-0.1738	-0.1767	-0.1767	-0.1700	0.1422	0.4132
道路維持工事	303.5	363.4	333.4	333.6	363.7	302.7	-0.1653	-0.1628	-0.1634	-0.1643	-0.1636	-0. 1623	1.6840	0. 2898
河川維持工事	635. 1	_	697.2	6 . 7 6 9	6.769	633.0	-0.2406	_	-0.2391	-0.2399	-0. 2399	-0. 2381	8, 0310	0.2114
下水道工事(1)	103.2	133.3	119.9	116.7	116.7	112.6	-0.0941	-0.0975	-0. 0966	-0.0954	-0.0954	-0.0981	0, 5192	0.3472
下水道工事(2)	282.4	333. 1	306.7	308.7	308.7	276.7	-0. 1811	-0.1770	-0.1781	-0.1796	-0.1796	-0.1763	1.1316	0.3060
下水道工事(3)	366. 6	-	422.5	412.8	412.8	395.6	-0. 1891	ı	-0. 1916	-0.1904	-0.1904	-0.1932	2. 7078	0.2589
下水道工事(4)	186.2	225.2	206.0	205.4	205.4	188.0	-0.1419	-0.1404	-0.1408	-0.1414	-0.1414	-0.1401	0, 6805	0.3202
公園工事	643.6	_	715.1	711.5	711.5	654.3	-0.2235	_	-0. 2229	-0. 2232	-0. 2232	-0. 2225	13. 5714	0.1739
コンクリードダム 工事	115.6	_	_	_	-	-	-0.0824	_	-	-	_	-	0. 3392	0.3621
フィルダム工事	91.3	-	-	-	-	-	-0, 0673	_	_	_	_	-	0. 1633	0.3963
電線共同溝工事	266.2	320.4	293. 4	293. 1	320.0	267.2	-0.1540	-0.1510	-0. 1518	-0.1529	-0.1520	-0.1504	0,0035	0.6165
情報ボックス工事	1338.5	-	1523.7	1498.7	1498.7	1413.4	-0.2880	_	-0. 2881	-0.2881	-0. 2881	-0. 2881	3, 6607	0.2249
(注) 係数A・Bの区分の施工地域区分は、	8の区分の加	<b>恒工地域区</b>		1編第2章②	)間接工事費	「第1編第2章②間接工事費3現場管理費」による	!費」による	5402420	2°					

# 第12章 施工箇所が点在する工事の積算

1	施	江箇所が点在する工事の積算について
		I -12-①- :
	1	対象工事······I -12-①- 1
	2	工事箇所の設定方法及び積算方法 I -12-①-

3 設計変更について…………I-12-①-2

## 第12章 施工箇所が点在する工事の積算

(建地-I)

## ① 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事については、建設機械を複数箇所に運搬する費用や複数箇所の交通規制等がそれぞれの 箇所で発生するなど、積算額と実際かかる費用に乖離があるため、共通仮設費、現場管理費を箇所ごとに算出する 積算とする。

#### 1. 対象工事

施工箇所が複数あり、施工箇所が1km程度を超えて点在する工事を対象とする。 なお、通年維持工事等、当初契約において工事場所を範囲で指定する工事は除く。 ただし、これによりがたい場合は個別に考慮できる。

#### 2. 工事箇所の設定方法及び積算方法

- (1) 施工規模の大きい箇所を「親設計書」とし、その他の施工箇所を「子設計書」と分類する。
- (2) 主たる工種区分は、工事全体で判断する。(施工箇所毎に主たる工種区分を設定しない。)
- (3) 直接工事費の施工規模等の入力条件は、施工箇所毎の数量から選択する。
- (4) 労務費, 材料費等単価の地区設定は, 施工箇所毎に設定する。
- (5) 共通仮設費及び現場管理費については、施工箇所毎に算出した合計額とする。
- (6) 共通仮設費率及び現場環境改善費率、現場管理費率の補正については、施工箇所毎に設定する。積上げ項目の うち、施工箇所毎に分割できない場合は、直接工事費の最も大きい施工箇所に計上する。
- (7) 一般管理費等については、施工箇所毎に分けない積算(以下、「通常の積算」)と同様とする。 なお、一般管理費算出時の、共通仮設費率及び現場管理費率にかかる、施工地域を考慮した補正等は、親設計 書で設定した係数によるものとする。
- (8) 業務委託料は、親設計書に計上する。

	<通常の積算>	<施 親	工箇所ごと( 子1	の積 <sup>2</sup> 子:		<b>&lt;</b> 親	(施工箇月 子1		責算>
直接工事費	①A (②A+③A+④A)	②A	3A		<b>4</b> A		②A	3A	<b>4</b> A
共通仮設費				<del></del>					
八地灰灰貝	⑤ B	6 B	<b></b> ⑦В		<b>®</b> B		<b>6</b> B	⑦B	<b>®</b> B
11.14.25.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.			T	<b>—</b>	Γ				
現場管理費	9 C	(1) C	(1) C		12 C		10 C	① C	12 C
			T						
一般管理費等	(13) D	<b>4</b> D	15 D		16 D			(13) D	
共通仮設費	⑤B:①Aを対象額で算		②Aを対象物				(6) B + (	7B+8	Bとする
の算定		_	③Aを対象額 ④Aを対象額						
現場管理費	<pre>⑨C:(①A+⑤B)</pre>	(10) C :	(2) A + 6) B	)をタ	対象額で算		① C + (	(I) C + (I2)	Cとする
の算定	を対象額で算出	_	(3A + 7B) (4A + 8B)						
一般管理費	(3)D: ((1)A+(5)B+(9)	_	(4)A+6)B+				(13)D:	(1)A+(5)	В
等の算定	を対象額で算出	15D:(	(3)A+(7)B+	-(11)C	)を対象額	で算出			)C) を
		16D: (	(4)A+(8)B+	-(12)C	)を対象額	で算出		対象額で	算出

図 2. 1 施工箇所が点在する場合の積算イメージ

※積算のイメージ

從 来:(A市直接工事費+B市直接工事費+C町直接工事費)×間接費率

本運用:(A地区(施工箇所 a)直接工事費×間接費率)+ (B地区(施工箇所 b)直接工事費×間接費率)+

(C地区 (施工箇所 c) 直接工事費×間接費率)

#### 3. 設計変更について

- (1) 親設計書および子設計書それぞれに対して、変更作業を行う。
- (2) 新規工種の追加は、施工箇所毎に判断する。
- (3) 設計変更において,新たに施工箇所を追加することができる。その場合は,直接工事費,共通仮設費,現場管理費を変更指示時点単価により積算するものとする。
- (4) 一般管理費等については、通常の積算と同様とする。

# 第13章 1日未満で完了する作業の積算

## ① 1日未満で完了する作業の積算

		I -13-①-	1
1	適用条件	· I -13-①-	]
2	適用範囲	· I -13-①-	]
3	判定方法	· I -13-①-	(
4	積算方法	· I -13-①-	(
_	4 + //e/n	T 10 1	_

## 第13章 1日未満で完了する作業の積算

## ① 1日未満で完了する作業の積算

#### 1. 適用条件

本基準は、変更積算にのみ適用する。

施工実施にあたり、1日未満で完了する作業量の作業が見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められる場合 に本基準を用いて積算するものとする。

本基準の採用にあたっては、契約期間内に受注者から当該積算の適用についての請求があった場合に、受発注者間の協議において、作業内容が当該積算基準に該当すると認められる場合に適用する。

同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せで1日作業となる場合には、当該積算は適用しない。

#### 2. 適用範囲

1 日未満で完了する作業の積算は、表に記載の施工パッケージを使用して積算する工事に限って適用するものとする

1 日未満で	で完了する作業	の積算は、表に記載の加	恒工パ		<b>賃算する工事に限って適用するものとする。</b>
編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘要
第Ⅱ編	床掘工	床掘り	$\mathbf{m}^3$	32	・床掘りは、条件区分で、施工方法が「上
共通工					記以外(小規模)」の場合に限って適用す
第1章					る。
土工		舗装版破砕積込	$m^2$	23	
		(小規模土工)			
	埋戻工	埋戻し	$\mathrm{m}^3$	40	・埋戻しは、条件区分で、施工方法が「上
		タンパ締固め	$\mathbf{m}^3$	36	記以外(小規模)」の場合に限って適用す
					3.
					・埋戻し、タンパ締固めに係る作業を一
the order	ント フェキケエン フ	ントーア・ボケエン	9	T 11 (2) T 1-7	連の作業として判定する。
第2章	法面整形工	法面整形	m <sup>2</sup>	I-14-①による	### 로 = : : : : : : : : : : : : : : : : : :
共通工	基礎・裏込	基礎砕石	m <sup>2</sup>	155	・基礎砕石、裏込砕石に係る作業を一連
	砕石工	裏込砕石	m <sup>3</sup>	38	の作業として判定する。
	排水構造物	ヒューム管 (B形管)	m	I-14-①による	・ヒューム管 (B型管), ボックスカルバ
	工	ボックスカルバート	m	I-14-①による	ート, 暗渠排水管, フィルター材, 管(函)
		暗渠排水管	m	I −14−①による	渠型側溝, プレキャスト集水枡, 鉄筋コ
		フィルター材	m <sup>3</sup>	36	ンクリート台付管,プレキャストL型側 溝(製品長 0.6m/個),プレキャストマン
		管 (函) 渠型側溝	m	I-14-①による	本一ル, PC管, コルゲートパイプ, コ
		プレキャスト集水桝	基	I −14−①による	ルゲートフリュームに係る作業を一連
		プレキャスト集水桝	基	_	の作業として判定する。
		(材料費)			7117100 0 0117107 00
		鉄筋コンクリート台	m	I-14-①による	
		付管		* Ell/pi)#:)///- 00	
		プレキャストL型側	m	L型側溝単体:33	
		溝(製品長 0.6m/個)		L型側溝+	
		プレキャストマンホ	#	基礎砕石:29 2,000kg/基以下:4	
		ール	基	2,000kg/基以下:4 2,000kg/基を超え	
		/ / /		2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下:3	
		PC管	m	I-14-①による	
		PC管(材料費)	m	1 11 (1)(-0.0)	
		コルゲートパイプ	m	I-14-①による	
		コルゲートフリュー	m	I-14-①による	
		ار الراز ال	111	1 14 (1)(-43	
	構造物とり	コンクリートはつり	$\mathbf{m}^2$	3cm 以下:21	<ul><li>・コンクリートはつり、積込(コンクリ</li></ul>
	こわしエ	. , , , , , , ,		3cm を超え	ート殻)に係る作業を一連の作業として
				6cm以下:13	判定する。
		積込 (コンクリート殻)	$\mathbf{m}^3$	260	
	殼運搬	殼運搬	$\mathrm{m}^3$	I −14−①による	
		l .			I .

			I		
編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘要
第3章	コンクリート	コンクリート打設	m <sup>3</sup>	ほ中子里 I-14-①による	
基礎工	工(深礎工)	(深礎工)	111	1 14 (1)(-2.3	
第4章	コンクリート	コンクリート	$m^3$	I-14-①による	・コンクリート, モルタル練に係
コンク	I.	モルタル練	m <sup>3</sup>	I-14-①による	る作業を一連の作業として判定
リート				1 11 (3)(3)(3)	する。
工	型枠工	型枠	$\mathrm{m}^2$	I −14−①による	・型枠,化粧型枠に係る作業を一
		化粧型枠	$\mathrm{m}^2$	-	連の作業として判定する。
		化粧型枠(材料費)	$m^2$	_	
		撤去しない埋設型枠	$m^2$	-	
http://www.lood	1 17 17 Lag A	(材料費)	9	1 -	
第Ⅲ編	堤防除草工	除草	m <sup>2</sup>	I-14-①による	·除草,集草,梱包,積込·荷卸,
河川 第2章		集草	m <sup>2</sup>	I-14-①による	運搬(堤防除草),除草,集草(人力),梱包,積込・荷卸(総合),
河川維		梱包     積込・荷卸	$m^2$ $m^2$	12,500	除草,集草(機械),梱包,積込・
持工		運搬(堤防除草)	m <sup>2</sup>	I-14-①による	荷卸(総合)に係る作業を一連の
		除草,集草(人力),梱包,	m <sup>2</sup>	I-14-①による I-14-①による	作業として判定する。
		禄早、乗早(八刀)、梱己、  積込・荷卸(総合)	m-	1-14-(1)(-23	
		除草,集草(機械),梱包, 積込・荷卸(総合)	$m^2$	I-14-①による	
	堤防天端	不陸整正・締固め	$\mathbf{m}^2$	不陸整正・補修材	
	補修工			敷均し・締固め:690	
				不陸整正・締固め	
				: 1, 340	
	堤防芝養生工	抜根	m <sup>2</sup>	I-14-①による	・抜根、施肥に係る作業を一連の
	15 L 55 Lp	施肥	m <sup>2</sup>	13, 600	作業として判定する。
	伐木除根工	伐木・伐竹(伐木除根)	m <sup>2</sup>	I-14-①による	·伐木·伐竹(伐木除根),除根(伐
		除根(伐木除根)	$m^2$ $m^2$	1, 160	木除根),整地(伐木除根),集積(人力施工)(伐木除根),積込(人
		整地(伐木除根) 集積積込み(機械施工)	m <sup>2</sup>	880 除根有:720	力施工)(伐木除根),運搬(伐木
		代大除根)	III	除根無:940	除根)、伐木・伐竹(複合)に係る
		集積(人力施工)	$m^2$	1, 180	作業を一連の作業として判定す
		(伐木除根)		_,	る。
		積込 (人力施工)	$m^2$	21, 300	
		(伐木除根)			
		運搬(伐木除根)	$\mathbf{m}^2$	I -14-①による	
		伐木・伐竹 (複合)	$\mathrm{m}^2$	I −14−①による	
	塵芥処理工	散在塵芥収集	$\mathrm{m}^2$	I -14-①による	•散在塵芥収集,堆積塵芥収集(機
		堆積塵芥収集	$\mathrm{m}^3$	I −14−①による	械処理),堆積塵芥収集(人力処
		(機械処理)	2	T 14 (2) = 1 =	理)に係る作業を一連の作業として判定する
		堆積塵芥収集 (人力処理)	m <sup>3</sup>	I −14−①による	て判定する。
	機械土工	河床等掘削	$\mathrm{m}^3$	147	
	(河床等掘削)	軟弱土等運搬	m <sup>3</sup>	I-14-①による	
	巨石積(張)工	巨石張(練)	$m^2$	25	<ul><li>・巨石張(練),巨石張(空),巨</li></ul>
		巨石張(空)	$m^2$	27	石積(練)に係る作業を一連の作
		巨石積(練)	$\mathrm{m}^2$	30	業として判定する。
		巨石(材料費)	$m^2$	-	
		巨石採取	個	38	
	木杭打工	木杭打	本	58	On the state of the
	護岸基礎	プレキャスト基礎	m	I -14-①による	・プレキャスト基礎、中詰コンク
	ブロック工	プレキャスト基礎(************************************	m	_	リート打設に係る作業を一連の 作業として判定する。
		(材料費) 中詰コンクリート	m	_	IF木C レト刊Æリる。
		(材料費)	111		
		中詰コンクリート打設	$\mathrm{m}^3$	17	

		T		// . \\	1
編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘要
第2章	かごマット工	かごマット設置	$m^2$	I-14-①による	
河川維	(スロープ型)	(スロープ型)			
持工	野芝種子	野芝種子吹付	$\mathbf{m}^2$	1, 429	・野芝種子吹付,被覆シート張,
	吹付工	被覆シート張	$\mathrm{m}^2$	1, 429	養生(散水養生)に係る作業を一
		養生(散水養生)	$\mathrm{m}^2$	1,667	連の作業として判定する。
	袋詰玉石工	袋詰玉石	袋	I −14−①による	
	笠コンクリー	笠コンクリートブロック	m	I −14−①による	
	トブロック据 付工	笠コンクリートブロック (材料費)	m	-	
	グラウトホー	グラウトホール	組	5	
	ルエ	グラウト管 (材料費)	組	-	1
	光ケーブル配	掘削(光ケーブル配管)	$\mathrm{m}^3$	28	・配管設置 (埋設部), ハンドホー
	管工	埋戻し・締固め	$\mathrm{m}^3$	13	ルに係る作業を一連の作業とし
		敷砂、保護砂(材料費)	$\mathrm{m}^3$	_	て判定する。
		配管設置(埋設部)	m	89	1
		埋設表示シート(材料費)	m	-	
		ハンドホール	個	1.1	
第IV編	路盤工	不陸整正	$\mathbf{m}^2$	1, 510	・不陸整正,下層路盤(車道・路
道路		下層路盤	$m^2$	940	肩部), 上層路盤 (車道・路肩部)
第1章		(車道・路肩部)			(条件区分で、材料が「粒度調整
舗装工		上層路盤	$\mathbf{m}^2$	I -14-①による	砕石」に限る。) に係る作業を一連
		(車道・路肩部)		7 77 67 374	の作業として判定する。 ※上層路盤(車道・路肩部)(条件 区分で、材料が「瀝青安定処理」 に限る。)については、アスファル ト舗装工の適用による。
		下層路盤 (歩道部)	$m^2$	268	•下層路盤(歩道部),上層路盤(歩
		上層路盤(歩道部)	m <sup>2</sup>	268	道部)に係る作業を一連の作業として判定する。
	アスファルト 舗装工	基層 (車道・路肩部)	$\mathrm{m}^2$	I -14-①による	・上層路盤 (車道・路肩部) (条件 区分で、材料が「瀝青安定処理」
		中間層 (車道・路肩部)	$m^2$	I -14-①による	に限る。), 基層 (車道・路肩部), 中間層 (車道・路肩部), 表層 (車
		表層 (車道・路肩部)	$\mathbf{m}^2$	I -14-①による	道・路肩部)に係る作業を一連の 作業として判定する。
		基層(歩道部)	$\mathrm{m}^2$	I −14−①による	•基層(歩道部),中間層(歩道部),
		中間層(歩道部)	$m^2$	I-14-①による	表層(歩道部)に係る作業を一連
		表層(歩道部)	m <sup>2</sup>	I-14-①による	の作業として判定する。
		アスカーブ	m	260	
第2章	立入り防止柵	基礎ブロック、鋼管基礎	基	I-14-①による	・基礎ブロック, 鋼管基礎, 金網・
付属	工	金網・支柱(立入防止柵)	m	I-14-①による	支柱(立入防止柵), 支柱(立入防
施設		金網・支柱(立入防止柵)	m	-	止柵)、門扉に係る作業を一連の
72.54		(材料費)	111		作業として判定する。
		支柱(立入防止柵)	本	I -14-①による	1
		支柱(立入防止柵)	本	-	-
		(材料費)	/+^		
		門扉	基	I -14-①による	1
		門扉(材料費)	基基	-	1
		箱抜き	巫 m	I -14-①による	1
第2章	車止めポスト	車止めポスト	本	1-14-1)による 5	
付属	設置工				
施設	道路付属物 設置工	距離標	枚	I -14-①による	

	T	T		11 NI - 11 1	
編・章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘要
第3章	路面切削工	路面切削	$\mathbf{m}^2$	I -14-①による	
道路		殼運搬 (路面切削)	$\mathbf{m}^3$	I −14−①による	
維持	舗装版破砕工	舗装版破砕	$\mathbf{m}^2$	I −14−①による	
修繕工	舗装版切断工	舗装版切断	m	I −14−①による	
	舗装版クラッ	クラック補修	m	620	・クラック補修,クラック防止シ
	ク補修工	注入材(材料費)	m	_	ート張に係る作業を一連の作業
		クラック防止	m	930	として判定する。
		シート張			
		クラック防止	m	_	
		シート(材料費)			
	道路付属	素地調整	$\mathbf{m}^2$	I −14−①による	・素地調整, 付属構造物塗替に係
	構造物塗替工	付属構造物塗替	$\mathbf{m}^2$	ポール類 :89	る作業を一連の作業として判定
				防護柵類・	する。
	7F(2FL 1 )A 11			落石防止柵類:121	
	張紙防止塗装工	張紙防止塗装	$m^2$	ケレン作業:14	
				張紙防止塗装	
		3E/4LL4 1 次/ (++// 車)	2	(1 層当り): 32	
	橋梁地覆補修工	張紙防止塗装(材料費) とりこわし	$m^2$ $m^3$	- 1 4	
	1向米地復111110工	鉄筋	m t	1. 4 0. 36	
		コンクリート	m <sup>3</sup>	0. 76	
	   橋梁補修工	現場溶接鋼桁補強	m	14	
	(現場溶接鋼 桁補強工)	)	m		
	落橋防止装置工	コンクリート削孔	孔	I −14−①による	・コンクリート削孔(電動式コア
		(電動式コアボーリン		_	ボーリングマシン) 又は (電動ハ
		グマシン)			ンマドリル) もしくは (さく岩機
		コンクリート削孔 (電動ハンマドリル)	孔	84	[ハンドドリル空圧式]), アンカー, 充填補修に係る作業を一連の
		コンクリート削孔	孔	200 超え	作業として判定する。
		(さく岩機[ハンドドリ		500 以下: 48	
		ル空圧式])		500 超え	
			-1.	800 以下:38	
		アンカー	本	I-14-①による	
		アンカー材(材料費)	本本	_	
		注入材(材料費) 充填補修	孔	92	
		補修材(材料費)	孔	92	
		現場孔明(鋼構造物)	本	10 本以上	
		- シログルコロワナ (野門11号大旦177)	/ <del>*</del>	/箇所:80	
				作業性の悪い	
				箇所等:40	
第3章	道路除草工	除草	$\mathbf{m}^2$	I-14-①による	·除草,集草,積込運搬,機械除
道路		集草	$\mathbf{m}^2$	2, 760	草(肩掛式)・集草・積込運搬,機
維持		積込運搬	$\mathbf{m}^2$	I-14-①による	械除草 (肩掛式)・集草, 機械除草
修繕工		機械除草(肩掛式)・ 集草・積込運搬	m <sup>2</sup>	I-14-①による	(ハンドガイド式)・集草・積込 運搬,機械除草(ハンドガイド
		機械除草 (肩掛式)・ 集草	m <sup>2</sup>	1, 240	式)・集草に係る作業を一連の作業として判定する。
		機械除草 (ハンドガイド 式)・集草・積込運搬	m <sup>2</sup>	I-14-①による	
		機械除草 (ハンドガイド 式)・集草	m <sup>2</sup>	1,902	

編•章	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り 標準作業量	摘要
第3章 道路	路面清掃工 (人力清掃工)	路面清掃 (路肩部・人力)	km	I-14-①による	・路面清掃 (路肩部・人力),路面 清掃 (歩道部・人力)に係る作業
維持 修繕工		路面清掃 (歩道部・人力)	m <sup>2</sup>	I-14-①による	を一連の作業として判定する。
	側溝清掃工 (人力清掃工)	側溝清掃 (人力清掃工)	m	I-14-①による	
	集水桝清掃工 (人力清掃工)	桝清掃 (人力清掃工)	箇所	I-14-①による	
	トンネル	面導水	$\mathbf{m}^2$	34	・面導水、線導水に係る作業を一
	漏水対策工	面導水 (材料費)	$\mathbf{m}^2$	-	連の作業として判定する。
		線導水	m	10	
		線導水 (材料費)	m	-	
	沓座拡幅工	チッピング (厚2cm以下)	m <sup>2</sup>	5. 3	・チッピング(厚 2cm 以下),アンカー筋挿入,及び落橋防止装置
		アンカー筋挿入	本	97	<ul><li>工のうちコンクリート削孔(電動 式コアボーリングマシン), コン クリート削孔(電動ハンマドリ</li></ul>
		アンカー筋(材料費)	本	-	ル), コンクリート削孔(さく岩機 [ハンドドリル空圧式]), 充填補
		注入材(材料費)	本	-	修,アンカーに係る作業を一連の 作業として判定する。
		鉄筋(沓座拡幅工)	t	0.73	
		型枠(沓座拡幅工)	$m^2$	15	
		コンクリート (沓座拡幅工)	m <sup>3</sup>	7. 1	
	路肩整正(人力 による土はね)	路肩整正 (人力による土はね)	$m^2$	37	

#### 3. 判定方法

- 1日未満で完了する作業の判定は、次の方法によるものとする。
- (1) 施工パッケージが 1 つ、かつ条件区分が 1 つの場合の判定方法 x/D < 1 の場合に 1 日未満で完了する作業とする。
  - x:作業量
  - D: 作業日当り標準作業量
- (2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合の判定方法
  - $\Sigma$  (xi/Di) < 1 の場合に1日未満で完了する作業とする。
    - xi: 各施工パッケージにおける各条件区分の作業量
  - Di: 各施工パッケージにおける各条件区分の作業日当り標準作業量
- (3) 判定に使用する作業量の考え方
- ・判定に使用する作業量は、施工パッケージ毎の作業量とする。ただし、表の摘要欄に、関連する施工パッケージを 一連の作業として判定する旨の記載があるものについては、摘要欄の記載によるものとする。
- ・一つの施工パッケージで異なる条件区分の作業量がある場合には、一連の作業として判定する。
- ・判定に使用する作業量は、1箇所当りの作業量とする。
- ・施工箇所の点在範囲が 1km 程度を超えるなど,同一施工箇所として取り扱えないと判断する場合には,別箇所として扱うものとする。
- ・上記以外は、1工事の全作業量を1箇所当りの作業量とする。
- ・日々の作業量が受注者の責によらず制約される場合、その他の現場条件等により、上記により難い場合は、別途考慮できるものとする。

#### 4. 積算方法

- 1日未満で完了する作業の積算は、以下の方法によるものとする。
- (1) 施工パッケージが1つ、かつ条件区分が1つの場合の積算方法
  - 1) x/D < 1/2 の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、作業日当り標準作業量の 1/2 の量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、作業量分の金額を計上する。

2) 1/2 ≤ x/D < 1 の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、作業日当り標準作業量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、作業量分の金額を計上する。

- (2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合の積算方法
  - $\alpha \times \Sigma$  (xi/Di) = 1 となる  $\alpha$  を計算し、 $\alpha \times xi$  をそれぞれの施工パッケージや条件区分の修正作業日当り標準作業量 D'i とする。
  - 1)  $\Sigma$  (xi/Di) < 1/2 の場合

機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、それぞれの施工パッケージや条件区分において、修正作業日当り標準作業量D'iの1/2の量を実施した場合の金額を計上する。材料費は、それぞれの施工パッケージや条件区分の作業量分の金額を計上する。

2)  $1/2 \leq \Sigma$  (xi/Di) < 1 の場合

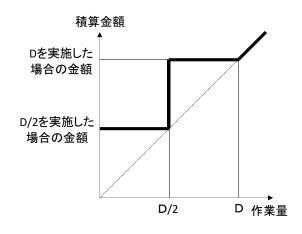
機械費及び労務費は、作業量にかかわらず、それぞれの施工パッケージや条件区分において、修正作業日当り標準作業量D'iを実施した場合の金額を計上する。材料費は、それぞれの施工パッケージや条件区分の作業量分の金額を計上する。

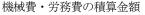
#### (3) 端数処理

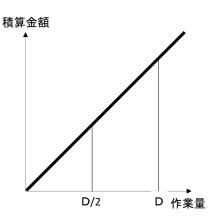
- 1) 作業日当り標準作業量Dの1/2の量は、整数とし、小数第1位を四捨五入する。ただし、作業日当り標準作業量Dが小数である場合は、四捨五入により、同じ桁数となるようにする。
- 2) αは、小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。
- 3) 修正作業日当り標準作業量D'iは、整数とし、小数第1位を四捨五入する。ただし、各施工パッケージにおける各条件区分の作業日当り標準作業量Diが小数である場合は、四捨五入により、同じ桁数となるようにする。
- 4) D'iの1/2の量は, D'iを計算した上で, 1) と同様とする。

#### 5. 参考資料

5-1 機械費・労務費及び材料費の積算金額のイメージ







材料費の積算金額

#### 5-2 計算例

(1) 施工パッケージが1つ,かつ条件区分が1つの場合

	単位	設計数量	作業日当り標準作業量
施工パッケージ1	m	x1=200	D1=800

1) 判定

x1/D1 = 200/800 = 0.25 < 1

従って、この場合は、x/D < 1 なので、作業量が1日未満で完了する数量の作業に該当する。

2) 積算

施工パッケージ1:機械費及び労務費は、D1/2 = 400 m分の金額を計上する。 材料費は、x1 = 200 m分の金額を計上する。

(2) 複数の施工パッケージもしくは条件区分を一連の作業として判定する場合

	単位	設計数量	作業日当り標準作業量
施工パッケージ1	m	x1=200	D1=800
施工パッケージ2	$\mathrm{m}^2$	x2=100	D2=300
施工パッケージ3	$\mathrm{m}^3$	x3= 5	D3= 50

1) 判定

 $\Sigma$  (xi/Di) = x1/D1 + x2/D2 + x3/D3 = 200/800 + 100/300 + 5/50 = 0.68 < 1 従って、この場合は、 $\Sigma$  (xi/Di) <1 なので、作業量が 1 日未満で完了する数量の作業に該当する。

2) 積算

 $\alpha \times \Sigma$  (xi/Di) =  $\alpha \times$  ( 200/800 + 100/300 + 5/50 ) = 1 となる  $\alpha$  を計算する。  $\alpha$  = 1.463  $\cdots$  = 1.46

修正作業日当り標準作業量

施工パッケージ1 D' 1 =  $\alpha \times x1$  = 1.46 × 200 = 292 施工パッケージ2 D' 2 =  $\alpha \times x2$  = 1.46 × 100 = 146

施工パッケージ3 D'3 =  $\alpha \times x3$  = 1.46 × 5 = 7.3 = 7

 $1/2 \leq \Sigma \text{ (xi/Di)} = 0.68 < 1 \text{ } \text{$\mathcal{Y}$}$ 

施工パッケージ 1:機械費及び労務費は、D'1 = 292 m分の金額を計上する。

材料費は, x1 = 200 m分の金額を計上する。

施工パッケージ2:機械費及び労務費は、D'2 = 146 m<sup>2</sup>分の金額を計上する。

材料費は,  $x2 = 100 m^2$ 分の金額を計上する。

施工パッケージ3:機械費及び労務費は、 $D'3 = 7 m^3$ 分の金額を計上する。 材料費は、 $x3 = 5 m^3$ 分の金額を計上する。

# 第14章 その他

1	作	F業日当り標準作業量······ I −14−①− 1	10	吹付枠工I -14-②- 9
	1	適用······ I -14-①- 1	11	道路植栽工······ I -14-2-10
	2	作業日当り標準作業量······ I -14-①- 1	12	橋梁用伸縮継手装置設置工······ I -14-2-12
2	市	万場単価の1日当り標準施工量······ I −14−②− 1	13	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工····· I -14-2-12
	1	鉄筋工····· I -14-②- 1	14	薄層カラー舗装工······ I -14-②-12
	2	鉄筋工(ガス圧接工) · · · · · · · · I -14-②- 1	15	道路標識設置工······ I -14-2-13
	3	インターロッキングブロックエ······· I -14-②- 2	16	道路付属物工······I-14-2-15
	4	ガードレール設置工I-14-②- 2	17	公園植栽工······ I -14-②-17
	5	ガードパイプ設置工······ I -14-②- 5	18	軟弱地盤処理工······ I -14-2-17
	6	横断・転落防止柵設置工 I -14-2- 5	19	橋面防水工······ I -14-2-18
	7	防護柵設置工(落石防護柵) I -14-②- 7	20	グルービングエ······ I -14-②-18
	8	防護柵設置工 (落石防止網) ····· I -14-2- 8	21	鉄筋挿入工····· I -14-②-18
	9	法面工······ I -14-②- 9	22	コンクリート表面処理工······ I -14-②-18

## 第14章 その他

## ① 作業日当り標準作業量

### 1. 適用

本章に掲載した作業日当り標準作業量は、施工パッケージ型積算基準及び標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮 し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

### 2. 作業日当り標準作業量

	ヨッ保午1千未里		
1【共通	編】		
1- 1	現場発生品及び支給品運搬····· I -14-①- 5	1-28	構造物補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))
1- 2	±		· · · · · · I -14-①-25
1-3	±Ι (Ι C T) ····· I -14-①-15	1-29	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
1- 4	床掘工····· I -14-①-16		····· I -14-①-25
1- 5	床掘工(ICT)····· I-14-①-17	1-30	排水構造物工····· I -14-①-25
1- 6	埋戻工····· I -14-①-17	1-31	排水構造物工(溶接金網及び埋設鋼板型枠)
1- 7	人力運搬工····· I -14-①-18		····· I -14-①-30
1- 8	安定処理工····· I -14-①-18	1-32	排水構造物工(現場打ち水路(本体))
1- 9	安定処理工(自走式土質改良工)		····· I -14-①-30
	I -14-①-18	1-33	排水構造物工(現場打ち集水桝・
1-10	土砂運搬工(不整地運搬車による運搬)		街渠桝(本体)) · · · · · · · · · I −14−①−31
	I -14-①-18	1-34	サンドマットエ····· I -14-①-32
1-11	法面整形工····· I -14-①-19	1-35	粉体噴射撹拌工 (D J M 工法)··· I −14-①-32
1-12	法面整形工(ICT)····· I-14-①-19	1-36	スラリー撹拌工······ I -14-①-32
1-13	芝付工····· I -14-①-19	1-37	高圧噴射撹拌工····· I -14-①-32
1-14	コンクリート法枠工····· I-14-①-20	1-38	中層混合処理工····· I -14-①-32
1-15	法面施肥工····· I -14-①-20	1-39	薬液注入工····· I -14-①-33
1-16	吹付法面とりこわしエ····· I-14-①-21	1-40	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
1-17	プレキャストコンクリート板設置工		I -14-①-34
	I -14-①-21	1-41	構造物とりこわし工 I -14-①-37
1-18	人工張芝工····· I -14-①-21	1-42	コンクリート削孔工・・・・・・ I -14-①-37
1-19	基礎・裏込砕石工····· I -14-①-21	1-43	ガス切断工····· I -14-①-38
1-20	コンクリートブロック積(張)工	1-44	吸出し防止材設置工····· I -14-①-38
	I -14-①-22	1-45	目地・止水板設置工・・・・・ I -14-①-38
1-21	石積(張)工····· I -14-①-22	1-46	旧橋撤去工····· I −14-①−38
1-22	場所打擁壁工(1)····· I -14-①-23	1-47	カュご工・・・・・・ I -14-①-40
1-23	場所打擁壁工 (2) · · · · · I -14-①-23	1-48	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
1-24	プレキャスト擁壁工····· I-14-①-23		····· I -14-①-40
1-25	補強土壁工(帯鋼補強土壁,アンカー補強土壁,	1-49	現場取卸費····· I -14-①-40
	ジオテキスタイル補強土壁(二重壁タイプ))	1-50	骨材再生工(自走式)····· I -14-①-40
	I -14-①-24	1-51	函渠工(1) · · · · · · · · · I −14-①−41
1-26	補強盛土工····· I -14-①-24	1-52	函渠工 (2) ····· I −14-①−41
1-27	構造物補修工(ひび割れ補修工(充てん工法))	1-53	函渠工(3)大型プレキャストボックス
	I -14-①-25		カルバートエ····· I -14-①-41

1-54	殼運搬······ I −14−①−42	1-89	仮橋・仮桟橋工・・・・・ I -14-①-53
1-55	鋼管・既製コンクリート杭打工	1-90	汚濁防止フェンス工・・・・・ I -14-①-54
	(パイルハンマエ) · · · · · · · I -14-①-47	1-91	仮囲い設置撤去工····· I -14-①-54
1-56	鋼管・既製コンクリート杭打工	1-92	切土及び発破防護柵工····· I -14-①-54
	(中掘工) · · · · · · · I -14-①-47	1-93	濁水処理工 (一般土木工事) ···· I -14-①-54
1-57	鋼管・既製コンクリート杭打工	1-94	敷鉄板設置・撤去工····· I -14-①-54
	(回転杭工) · · · · · · I -14-①-47	1-95	防塵処理工····· I -14-①-54
1-58	鋼管ソイルセメント杭工····· I-14-①-47	1-96	法面工 (仮設用モルタル吹付工)
1-59	場所打杭工(全回転式オールケーシング工)		I -14-①-54
	I -14-①-47	2【河川	編】
1-60	場所打杭工(リバースサーキュレーション工)	2- 1	消波根固めブロックエ・・・・ I -14-①-55
	I -14-①-47	2- 2	消波根固めブロック工 (ブロック撤去工)
1-61	場所打杭工(アースオーガ工,硬質地盤用アー		I -14-(1)-64
	スオーガエ) · · · · · · · I -14-①-47	2- 3	捨石工····· I -14-①-64
1-62	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)	2- 4	消波工····· I -14-①-65
	I -14-(1)-47	2- 5	浚渫工(ポンプ式浚渫船) · · · · · I -14-①-65
1-63	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)	2- 6	浚渫工(バックホウ浚渫船) · · · · I -14-①-65
	I -14-(Î)-47	2- 7	軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管工
1-64	深礎工····· I -14-①-48		I -14-①-65
1-65	コンクリートエ(深礎工)····· I-14-①-48	2- 8	堤防除草工····· I -14-①-66
1-66	ニューマチックケーソンエ····· I -14-①-48	2- 9	堤防天端補修工····· I −14−①−70
1-67	基礎工(鋼管矢板基礎工)····· I -14-①-49	2-10	堤防芝養生工····· I -14-①-71
1-68	ドロップハンマ杭打工····· I -14-①-49	2-11	伐木除根工····· I -14-①-71
1-69	既製コンクリート杭カットオフエ	2-12	塵芥処理工····· I −14−①−75
	I -14-(1)-49	2-13	ボーリンググラウトエ····· I -14-①-81
1-70	泥水運搬工····· I -14-①-49	2-14	機械土工(河床等掘削) · · · · · · I -14-①-83
1-71	コンクリートエ····· I -14-①-50	2-15	機械土工(河床等掘削)(ICT)
1-72	型枠工····· I -14-①-50		· · · · · I -14-①-84
1-73	型枠工(省力化構造)····· I -14-①-50	2-16	巨石積(張)工····· I -14-①-85
1-74	溶接金網設置工····· I −14−①−50	2-17	木杭打工····· I -14-①-85
1-75	張りコンクリートエ····· I-14-①-51	2-18	巨石据付工····· I -14-①-85
1-76	バイブロハンマエ・・・・・ I -14-①-51	2-19	護岸基礎ブロックエ・・・・・ I -14-①-85
1-77	バイブロハンマエ(軽量鋼矢板打込引抜工)	2-20	かごマットエ (スロープ型) ···· I -14-①-87
	I -14-①-51	2-21	かごマットエ (多段積型) ····· I -14-①-87
1-78	油圧圧入引抜工····· I -14-①-51	2-22	ブロックマットエ····· I -14-①-87
1-79	鋼矢板工(アースオーガ併用圧入工)	2-23	野芝種子吹付工····· I -14-①-87
	I -14-(Î)-51	2-24	袋詰玉石工····· I -14-①-87
1-80	鋼矢板工 (クレーン引抜工) · · · · I -14-①-51	2-25	笠コンクリートブロック据付工·· I-14-①-88
1-81	鋼矢板工(H形鋼)・・・・・ I -14-①-51	2-26	グラウトホールエ····· I -14-①-88
1-82	仮設材設置撤去工····· I -14-①-52	2-27	連節ブロックの水中吊落し工・・・・ I-14-①-88
1-83	足場工····· I -14-①-52	2-28	光ケーブル配管工····· I-14-①-89
1-84	支保工····· I -14-①-52	2-29	土工 (砂防工) · · · · · · I -14-①-89
1-85	締切排水工····· I -14-①-52	2-30	土工 (砂防工) (ICT) · · · · · I -14-①-90
1-86	ウエルポイントエ····· I -14-①-52	2-31	コンクリートエ (砂防工) · · · · · I -14-①-91
1-87	土のう工····· I -14-①-53	2-32	コンクリート工(ケーブルクレーン打設)
1-88	大型土のう工····· I -14-①-53		I -14-①-91

	2-33	残存型枠工····· I -14-①-91	3-30	道路打換之工····· I -14-①-106
	2-34	仮設備工····· I −14-①−92	3-31	路上路盤再生工······ I -14-①-107
	2-35	養生工(練炭)・・・・・・ I -14-①-93	3-32	アスファルト注入工······ I-14-①-107
	2-36	鋼製砂防工····· I -14-①-93	3-33	舗装版クラック補修工・・・・・・ I -14-①-108
	2-37	砂防ソイルセメントエ····· I-14-①-93	3-34	道路付属構造物塗替工····· I -14-①-108
	2-38	集水井工(ライナープレート土留工法)	3-35	張紙防止塗装工····· I -14-①-108
		I -14-①-93	3-36	床版補強工····· I -14-①-109
	2-39	集水井工(プレキャスト土留工法)	3-37	橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)(2)
		I -14-①-93		I -14-①-110
	2-40	地すべり防止工 (集排水ボーリング工)	3-38	橋梁補強工 (コンクリート巻立て) (1) (2)
		I -14-①-94		I -14-①-110
	2-41	地すべり防止工 (山腹水路工) · · I -14-①-94	3-39	橋梁地覆補修工····· I -14-①-111
	2-42	地すべり防止工 (かご工) · · · · · I -14-①-95	3-40	橋梁補修工(支承取替工)····· I -14-①-111
	2-43	集排水ボーリング孔洗浄工····· I -14-①-95	3-41	橋梁補修工(現場溶接鋼桁補強工)
3	【道路	編】		I -14-①-111
	3- 1	路盤工····· I -14-①-95	3-42	橋梁補修工 (表面被覆工 (塗装工法))
	3- 2	路盤工(I C T)····· I -14-①-95		I -14-①-112
	3- 3	アスファルト舗装工····· I-14-①-96	3-43	落橋防止装置工····· I -14-①-112
	3- 4	半たわみ性(コンポジット)舗装工	3-44	道路除草工····· I -14-①-113
		I -14-①-96	3-45	路面清掃工(機械清掃) · · · · · I -14-①-115
	3- 5	排水性アスファルト舗装工····· I-14-①-96	3-46	路面清掃工(人力清掃工)····· I-14-①-116
	3- 6	透水性アスファルト舗装工····· I-14-①-96	3-47	ガードパイプ清掃工····· I -14-①-116
	3- 7	グースアスファルト舗装工····· I-14-①-96	3-48	管渠清掃工、側溝清掃及び集水桝清掃工
	3-8	コンクリート舗装工····· I -14-①-97		(組合せ作業) · · · · · · · · I -14-①-117
	3- 9	連続鉄筋コンクリート舗装工・・・・ I -14-①-97	3-49	側溝清掃工(単独作業)····· I -14-①-117
	3-10	踏掛版· · · · · I -14-①-97	3-50	側溝清掃工(人力清掃工)····· I −14−①−118
	3-11	ガードケーブル設置工····· I -14-①-97	3-51	集水桝清掃工(単独作業)····· I -14-①-118
	3-12	ワイヤロープ設置工····· I -14-①-97	3-52	集水桝清掃工(人力清掃工)···· I-14-①-118
	3-13	落石防止網(繊維網)設置工···· I-14-①-97	3-53	トンネル清掃工······ I -14-①-118
	3-14	立入り防止柵工····· I -14-①-98	3-54	トンネル照明器具清掃工····· I -14-①-118
	3-15	車止めポスト設置工・・・・・ I -14-①-98	3-55	トンネル漏水対策工······ I -14-①-118
	3-16	落下物等防止柵設置工····· I -14-①-99	3-56	沓座拡幅工······ I -14-①-118
	3-17	しゃ音壁設置工····· I -14-①-99	3-57	欠損部補修工······ I -14-①-119
	3-18	路側工(据付け) I -14-①-100	3-58	路肩整正 (人力による土はね)・・ I -14-①-119
	3-19	路側工(取外し) I -14-①-100	3-59	コンクリート接着エ····· I -14-①-119
	3-20	特殊ブロック設置工····· I -14-①-100	3-60	アスファルト舗装版削孔工····· I -14-①-119
	3-21	組立歩道工····· I -14-①-101	3-61	道路付属物のコンクリート面塗装工
	3-22	橋梁付属施設設置工····· I -14-①-101		I -14-(1)-119
	3-23	トンネル内装板設置工····· I -14-①-102	3-62	横断歩道橋補修工····· I -14-①-119
	3-24	道路付属物設置工····· I -14-①-102	3-63	電線共同溝工(C・C・BOX)
	3-25	道路植栽工(客土工)(上層 30cm)		I -14-①-119
		I -14-①-102	3-64	鋼橋製作工 I -14-①-121
	3-26	路面切削工 I -14-①-102	3-65	橋梁塗装工(工場塗装及び塗装前処理)
	3-27	切削オーバーレイエ····· I -14-①-104	2 23	I -14-①-121
	3-28	舗装版破砕工····· I -14-①-105	3-66	鋼橋架設工····· I -14-①-122
	3-29	舗装版切断工······ I -14-①-106		プレビーム桁製作工(現場) · · · I -14-①-123
	5 20	HIN 20/10/2011 1 11 (2) 100	0 01	· = - · · · · · · · · · · · · · · · · ·

3-68	プレビーム桁架設工····· I -14-①-124
3-69	鋼橋床版工····· I -14-①-124
3-70	グレーチング床版架設工及び足場工
	I -14-①-124
3-71	ポストテンション桁製作工・・・・ I -14-①-124
3-72	プレキャストセグメント主桁組立工
	I -14-①-124
3-73	P C 橋架設工····· I -14-①-124
3-74	ポストテンション場所打ホロースラブ橋工
	I -14-①-126
3-75	ポストテンション場所打箱桁橋工
	I -14-①-126
3-76	R C 場所打ホロースラブ橋工・・・ I -14-①-126
3-77	架設支保工····· I -14-①-126
3-78	伸縮装置工(鋼製)・・・・・ I -14-①-126
3-79	橋梁排水管設置工····· I -14-①-127
3-80	歩道橋(側道橋)架設工・・・・・ I -14-①-127
3-81	側板工····· I -14-①-127
3-82	鋼製橋脚設置工····· I -14-①-127
3-83	橋台・橋脚工(1)(構造物単位)
	I -14-①-128
3-84	橋台・橋脚工 (2) · · · · · · · I -14-①-128
3-85	公園植栽工····· I -14-①-129
3-86	公園除草工····· I -14-①-130
3-87	公園工····· I -14-①-131
3-88	平石張工····· I -14-①-133

工 種 名		設	定	内	容	
現場発生品	① 現場発	生品・支給品運搬	n. X			
及び支給品運搬	片道運搬 距離	1回当り 平均積載質量	作業日当り 標準作業量 (回/日)	片道運搬 距離	1回当り 平均積載質量	作業日当り 標準作業量 (回/日)
		0.1t 以下	73	14.0km	2.0t 超 2.6t 以下	4. 3
		0.1t 超 0.2t 以下	56	以下	2.6t 超 2.95t 以下	4. 0
		0.2t 超 0.3t 以下	45		0.1t 以下	5. 1
		0.3t 超 0.5t 以下	35		0.1t 超 0.2t 以下	5. 0
	2. 0km	0.5t 超 0.8t 以下	25		0.2t 超 0.3t 以下	4. 8
	以下	0.8t 超 1.1t 以下	19		0.3t 超 0.5t 以下	4. 7
		1.1t 超 1.5t 以下	15	20.0km	0.5t 超 0.8t 以下	4. 5
		1.5t 超 2.0t 以下	12	以下	0.8t 超 1.1t 以下	4. 2
		2.0t 超 2.6t 以下	9. 0		1.1t 超 1.5t 以下	4. 0
		2.6t 超 2.95t 以下	7. 6		1.5t 超 2.0t 以下	3. 7
		0.1t 以下	24		2.0t 超 2.6t 以下	3. 4
		0.1t 超 0.2 以下	21		2.6t 超 2.95t 以下	3. 2
		0.2t 超 0.3t 以下	20		0.1t 以下	3. 7
		0.3t 超 0.5t 以下	17		0.1t 超 0.3t 以下	3. 6
	5. 0km	0.5t 超 0.8t 以下	15		0.3t 超 0.5t 以下	3. 5
	以下	0.8t 超 1.1t 以下	12	27.0km 以下	0.5t 超 0.8t 以下	3. 4
		1.1t 超 1.5t 以下	10		0.8t 超 1.1t 以下	3. 2
		1.5t 超 2.0t 以下	8.6		1.1t 超 1.5t 以下	3. 1
		2.0t 超 2.6t 以下	7. 2		1.5t 超 2.0t 以下	2. 9
		2.6t 超 2.95t 以下	6. 3		2.0t 超 2.6t 以下	2. 7
		0.2t 以下	12		2.6t 超 2.95t 以下	2. 6
		0.2t 超 0.3 以下	11		0.2t 以下	2. 8
		0.3t 超 0.5t 以下	10		0.2t 超 0.5t 以下	2. 7
	9. 0km	0.5t 超 0.8t 以下	9. 2		0.5t 超 0.8t 以下	2. 6
	以下	0.8t 超 1.1t 以下	8. 2	35.0km 以下	0.8t 超 1.1t 以下	2. 5
		1.1t 超 1.5t 以下	7. 3	W I	1.1t 超 1.5t 以下	2. 4
		1.5t 超 2.0t 以下	6. 4		1.5t 超 2.0t 以下	2. 3
		2.0t 超 2.6t 以下	5. 6		2.0t 超 2.6t 以下	2. 2
		2.6t 超 2.95t 以下	5. 0		2.6t 超 2.95t 以下	2. 1
		0.1t 以下	7. 4		0.5t 以下	2. 1
		0.1t超0.2t以下	7. 2	46.0km	0.5t 超 1.1t 以下	2. 0
		0.2t 超 0.3t 以下	7.0	以下	1.1t 超 1.5t 以下	1. 9
	14.0km 以下	0.3t 超 0.5t 以下	6.7		1.5t 超 2.6t 以下	1.8
		0.5t 超 0.8t 以下	6. 2		2.6t 超 2.95t 以下	1. 7
		0.8t超1.1t以下	5.8	60.0km	0.8t 以下	1.6
		1.1t超1.5t以下	5. 3	以下	0.8t 超 2.0t 以下	1. 5
		1.5t 超 2.0t 以下	4.8		2.0t 超 2.95t 以下	1. 4

工種名				設		定内		Ξ.		
土工	<ol> <li>加 据肖</li> </ol>	IJ		HA.		<u>√</u> [1]		ı		
	土質	施工方法	岩質	押土 の 有無	障害 の 有無	施工数量	火薬 使用	破砕 片除 去の 有無	集積 押土 の 有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				有り	_	普通土30,000m³未 満又は湿地軟弱土	_	_	_	320
						30,000m <sup>3</sup> 以上				710
						5,000m³未満				230
					無し	5,000m³以上 10,000m³未満	_	_	_	270
		オープン カット	_		у С	10,000m³以上 50,000m³未満	_	_	_	330
		70 P		無し		50,000m <sup>3</sup> 以上	_	_	_	500
				,,,,, O		5,000m³未満				140
	土砂				有り	5,000m³以上 10,000m³未満	_	_	_	170
					1,1	10,000m³以上 50,000m³未満	_	_	_	210
						50,000m <sup>3</sup> 以上			_	320
		片切掘削	_	_	_	_			_	220
		水中掘削	_	_	_	_			_	260
		現場制約 あり	_	_	_	— (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	_	_	_	4
		上記以外	_	_	_	1箇所100m³以下 (標準)	_	_	_	37
		(小規 模)				1箇所100m³以下 (標準以外)	_	_	_	15
				有り	_	普通土30,000m³未 満又は湿地軟弱土	_	_	_	200
						30,000m <sup>3</sup> 以上	_	_	_	440
						5,000m³未満				180
					無し	5,000m³以上 10,000m³未満	_	_	_	210
	шин	オープン カット	_		,,,, o	10,000m³以上 50,000m³未満	_	_	_	250
	岩塊	~ <i>/</i> / / !·		無し		50,000m³以上	_	_	_	410
	玉石			,,,,		5,000m³未満				110
					有り	5,000m³以上 10,000m³未満 10,000m³以上	_	_	_	130
					14 /	50,000m³未満	_	_	_	150
						50,000m <sup>3</sup> 以上	_	_	_	260
		水中掘削	_	_	_	_	_	_	_	180
		現場制約 あり	_	_	_	_	_	_	_	3

工 種 名				設		定	内	容		
土工	土質	施工方法	岩質	押土 の 有無	障害 の 有無	施工数量	火薬 使用	破砕片除去 の有無	集積押土 の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				113///	117///	1,000m <sup>3</sup>		無し	無し 有り	59 59
						未満	_	有り(5万m³未満)	無し	59
								有り(5万m³以上)	無し	59
					無し			<b>—</b> >	無し	91
					,,,, O	1,000m³ 以上		無し	有り	91
		オープン	_	_		5,000m <sup>3</sup>		有り(5万m³未満)	無し	91
		カット				未満		有り(5万m³以上)	無し	91
						5,000m³ 以上	_	_	_	340
	軟岩							無し	無し	32
					≠n	5,000m <sup>3</sup>		無し	有り	32
					有り	未満		有り(5万m³未満)	無し	32
								有り(5万m³以上)	無し	32
								4111-1	無し	49
		片切掘削	_				-	無し	有り	49
		力 奶畑削						有り(5万m³未満)	無し	49
								有り(5万m³以上)	無し	49
		現場制約	軟岩 (I)	_	_	_	_	_	_	25
		あり	軟岩 (Ⅱ)	_	_	_	_	_	_	17
		オープンカット				無し <u></u>	不可	無し	無し	45
					無し				有り	45
								有り(5万m³未満)	無し	45
			_					有り(5万m³以上)	無し	45
				_			可	_	_	190
								無し	無し	21
					有り	_	不可		有り	21
					14 /	, –	, ,,	有り(5万m <sup>3</sup> 未満)	無し	21
								有り(5万m³以上)	無し	21
	硬岩							無し	無し	29
							不可		有り	29
								有り(5万m <sup>3</sup> 未満)	無し	29
		片切掘削	_	_	_	_		有り(5万m³以上)	無し	29
								無し	無し	55
							可		有り	55
								有り(5万m <sup>3</sup> 未満)	無し	55
								有り(5万m³以上)	無し	55
		現場制約	中硬岩	_	_	_	_	_	_	13
		あり	硬岩 (I)	_	_	_	_	_	_	8

工種名		設		内	容			
土工	② 土砂等運掘							
	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)		
					0.3以下	154		
					0.5以下	133		
					1.0以下	118		
					1.5以下	105		
					2.0以下	91		
					3.0以下	77		
					4.0以下	67		
				Aurt 1	5.5以下	56		
				無し	6.5以下	48		
					7.5以下	42		
					9.5以下	37		
					11.5以下	32		
					15.5 以下	26		
		バックホウ 山積0. 8m³ (平積0. 6m³)			22.5以下	21		
					49.5以下	16		
				バックホウ 混り土含む)	土砂(岩塊・玉石		60.0以下	11
	標準				混り土含む)		0.3以下	154
	保华				0.5以下	133		
					1.0以下	118		
					1.5以下	105		
					2.0以下	91		
					3.0以下	77		
					3.5以下	67		
				有り	5.0以下	56		
				有り	6.0以下	48		
					7.0以下	42		
					8.5以下	37		
					11.0以下	32		
					14.0以下	26		
					19.5以下	21		
					31.5以下	16		
					60.0以下	11		
			軟岩	_	_	土砂÷1.22		
			硬岩	_	_	土砂÷1.37		

工 種 名		設	定	内	容		
土工			T '	1		Made - viev	
	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土 質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	
					0.3以下	200	
					0.5以下	167	
					1.0以下	143	
					1.5以下	125	
					2.0以下	111	
					2.5以下	100	
					3.0以下	83	
					3.5以下	77	
				無し	4.5以下	67	
				<del>////</del> C	6.0以下	56	
					7.0以下	48	
					8.5以下	42	
					10.0以下	37	
					12.5 以下	32	
					16.5以下	26	
		バックホウ 山積1. 4m³			23.5 以下	21	
					51.5以下	16	
			バックホウ 混り土含む)	土砂(岩塊·玉石		60.0以下	11
	標準			バックホウ   混り土含む) 山積1 4m³		0.3以下	200
	12X-T-	(平積1.0m³)			0.5以下	167	
					1.0以下	143	
					1.5以下	125	
					2.0以下	111	
					2.5以下	100	
					3.0以下	83	
					3.5以下	77	
				有り	4.5以下	67	
				11 2	5.5以下	56	
					6.5以下	48	
					8.0以下	42	
					9.5以下	37	
					11.5以下	32	
					15.0以下	26	
					20.5以下	21	
					33.0以下	16	
					60.0以下	11	
			軟岩	_	_	土砂÷1.22	
			硬岩	_	_	土砂÷1.37	

土砂等   積込機種   土 質	 容	
発生現場		
#準    1.(	搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
(ででは、4m² または では、4m² または では、4m² を持り、4m² または では、4m² また	5以下	91
(平積0. 45m² (平有0. 45m² (1. 45m²	0以下	83
ボックホウ 山積0.45m² (平積0.35m²) (平積0.35m²) ボックホウ 山積0.45m² (平積0.35m²) ボックホウ 山積0.45m² (平有0.45m² (平有0.45m²	0以下	71
#準 (岩塊玉石 混り土含む) (岩塊玉石 混り土含む) (岩塊玉石 混り土含む) (水ックホウ 山積0. 45㎡ (平積0. 35㎡) (平積0. 35㎡) (平積0. 45㎡ (平積0. 41㎡ (平元	5以下	63
無し 6.0 (7.5	5以下	56
ボックホウ山積0.45m³ (平積0.35m²)  標準  上砂(岩塊玉石 混り土含む)  上砂(岩塊玉石 混り土含む)  (平積0.35m²)  (平積0.35m²)  (平積0.35m²)  (平積0.35m²)  (平積0.35m²)  (平積0.35m²)  (中積0.35m²)  (中	5以下	48
(平積0. 45m² (平積0. 35m²)   上砂(岩塊玉石 混り土含む)   10.   13.   19.   39.   60.   1. (	0以下	42
では、 本語 (学権の、 35m²) というでは、 (平積の、 45m² (平積の、 35m²) を持っては、 (平積の、 41m² を持っては、 4	5以下	37
19.   39.   60.   10	.0以下	32
ボックホウ山積0.45m³ (平積0.35m³)	.5以下	26
標準	.5以下	21
標準 (平積0. 45m³ (平積0. 35m²) (平積0. 35m²) (平積0. 45m² (平積0. 35m²) (平積0. 45m² (平有0. 45m² (1	.0以下	16
世籍 (平積0. 45m³ (平積0. 35m²) (平積0. 35m²) (平積0. 35m²) (平積0. 35m²) (1.6 (1.8 (2.6 (3.6 (4.6 (3.6 (4.6 (4.6 (4.6 (4.6 (4.6 (4.6 (4.6 (4	.0以下	11
標準 有り 1.6 (工績0.35m³)	5以下	91
標準 有り 2.0 3.6 4.0 5.8 7.0 9.0 12. 17. 28. 60. 軟岩 - 硬岩 - 0.8 2.0 2.1 2.2 4.0 2.3 4.0 5.8 7.8 60.	0以下	83
標準 有り 3.0 4.0 5.5 7.0 9.0 12. 17. 28. 60. 軟岩 - 硬岩 - 0.5 2.0 2.5 4.0 9.0 4.0 5.5 4.0 5.5 7.0 60.	5以下	71
標準 有り 5.8 7.0 9.0 12. 17. 28. 60. 軟岩 - 硬岩 - 0.8 2.0 2.0 2.8 4.0 5.8 4.0 7.8 7.0 9.0 1.2 1.2 1.3 1.3 1.4 1.4 1.5 1.5 1.5 1.6 1.6 1.6 1.6 1.7 1.6 1.6 1.7 1.6 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7 1.7	0以下	63
標準 有り 5.5 7.0 9.0 12. 17. 28. 60. 軟岩 - 硬岩 - 0.5 2.0 2.0 2.1 2.1 4.0 2.1 4.0 5.5 7.1	0以下	56
10   15   17   17   17   17   17   17   18   18	0以下	48
9.0 12. 17. 28. 60. 軟岩 - 硬岩 - 0.5 2.0 2.0 2.1 4.0 7.5 または よ砂(岩塊・玉石 混り土含む) 無し 7.5	5以下	42
12.   17.   28.   60.   軟岩   -	0以下	37
17.   28.   60.	0以下	32
28.   60.   軟岩	.0以下	26
放射	.5以下	21
軟岩	.5以下	16
グラムシェル 平積0. 4m³ または 混り土含む)     土砂(岩塊・玉石 無し     無し       7:	.0以下	11
クラムシェル 平積0. 4m³ または 混り土含む)     土砂(岩塊・玉石 無し     無し       7:	_	土砂÷1.22
クラムシェル 平積0. 4m³ または 混り土含む)     生砂(岩塊・玉石 無し       7:	_	土砂÷1.37
クラムシェル 平積0.4m³ 土砂(岩塊・玉石 または 混り土含む) 無し 7.5	5以下	67
クラムシェル 平積0. 4m³ 土砂(岩塊・玉石 または 混り土含む) 無し 7.5	0以下	56
グラムシェル 平積0. 4m³     土砂(岩塊・玉石 または 混り土含む)     無し	5以下	48
平積0.4m³   土砂(岩塊・玉石   無し <mark>- 5.5</mark> または 混り土含む)	0以下	42
または   低り上音型)   7!	5以下	37
	5以下	32
10.	.5以下	26
	.0以下	21
	.0以下	16
60.	.0以下	11

工種名		設		内	容		
土工		12.5	,				
	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	
					0.5以下	67	
					2.0以下	56	
					2.5以下	48	
					3.5以下	42	
		クラムシェル	土砂(岩塊・玉石	有り	5.0以下	37	
	標準	平積0.4m³	混り土含む)	НУ	7.0以下	32	
	1X-1-	または 平積0.8m³			10.0以下	26	
		十 <b>7</b> 頁0.0m			14.5以下	21	
					24.5 以下	16	
					60.0以下	11	
			軟岩	_	_	土砂÷1.22	
			硬岩	_	_	土砂÷1.37	
					0.2以下	50	
					1.0以下	40	
					1.5以下	33	
					2.5以下	29	
					3.5以下	25	
					4.0以下	22	
					無し	5.0以下	20
					6.0以下	18	
					7.5以下	17	
					10.0以下	13	
					13.0以下	11	
					19.0以下	9	
		バックホウ			35.0以下	7	
	小規模	山積0.28m³	土砂(岩塊・玉石 混り土含む)		60.0以下	4	
		(平積0.2m³)	12211107		0.2以下	50	
					1.0以下 1.5以下	40	
					2.0以下	33 29	
					3.0以下	25	
					3.5以下	22	
					4.5以下	20	
				有り	5.5以下	18	
					7.0以下	17	
					9.0以下	13	
					12.0以下	11	
					17.0以下	9	
					27.0以下	7	
					60.0以下	4	
			<u> </u>				

工 種 名		設	定	内	容	
土工						
	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
					0.3以下	22
					1.0以下	20
					1.5以下	17
					2.5以下	14
					3.0以下	13
					3.5以下 4.5以下	11
				無し	5.5以下	9
					7.0以下	8
					9.0以下	7
					12.0以下	6
					17.0以下	4
					28.5以下	3
	.l. <del>1</del> 11+#*	バックホウ	土砂(岩塊・		60.0以下	2
	小規模	山積0.13m³ (平積0.1m³)	玉石混土含む)		0.3以下	22
					1.0以下	20
					1.5以下	17
					2.5以下	14
					3.0以下	13
					3.5以下	11
				有り	4.5以下	10
					5.0以下	9 8
					6.5以下 8.0以下	7
					11.0以下	6
					15.0以下	4
					24.0以下	3
					60.0以下	2
					0.3以下	20
					0.5以下	18
					1.5以下	17
					2.0以下	14
					2.5以下	13
					3.0以下	11
	現場制約	人力	土砂(岩塊・	無し	4.0以下	10
	あり		玉石混土含む)		5.0以下	9
					6.5以下	8
					8.5以下	7
					11.0以下	6
					27.5以下	3
					60.0以下	2
					00.0 M	

工種名		設		 定	内	容	
土工	土砂等 発生現場	積込機種 ・規格	Ì	土質	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
						0.3以下	20
					-	0.5以下	18
					-	1.0以下	17
					 	1.5以下	14
					<u>-</u>	2.0以下	13
					-	2.5以下	11
			土砂	)(岩塊 ·	有り	3.5以下	10
	現場制約	人力	玉石	「混土含む)	有り	4.5以下	9
	あり	八刀				6.0以下	8
					_	8.0以下	7
					-	10.5以下	6
					-	14.5以下	4
					  -	23.0以下	3
						60.0以下	2
				軟岩	_	_	土砂÷1.22
				硬岩	_		土砂÷1.37
	③ 整地						
	作業	区分		敷均し作業	内容	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
	残土受入れ	地での処理		_		_	434
			標準			無し	430
	-0/1/	, ,,,				有り	380
	敷均し(	ルーズ)				無し	550
				標準以外	<b>'</b> ト	有り	480
	<ul><li>④ 路体(築均</li></ul>	1) 成十	•				
	施工帧		施工数量	障害の有無	作業日標準作 (m³/	業量	
	2. 5m=	<del></del>	_	_	50	)	
	2.5m以上4	. Om未満	_	_	86		
			10,000m <sup>3</sup>	無し	370	0	
	4. Om J		未満	有り	19	0	
	4. UML		10,000m <sup>3</sup>	無し	54	0	
			以上	有り	31	0	
	(注) 1. 上表 2. 敷均				30cm 以下とう	ける。	

工種名			 設		内	 容	
土工 ⑤	) 路月	<b></b>					
		施工幅員		施	工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量
		2.5m未満	i		_	_	43 m³/日
		2.5m以上4.0m	未満		_	_	78 m³/日
				10.00	)0m³未満	無し	280 m³/日
		4.0m以上		10, 00		有り	140 m³/日
		4. 01112/	`	10.00	00m³以上	無し	420 m³/日
				10,00		有り	140 m³/日
		(注) 1. 上表は, 2. 敷均し・				Ocm 以下ととする	) <sub>0</sub>
6	押_	上 (ルーズ)					
		土	質		作業日当り 標準作業量		
		土	砂		540 m³/日		
		岩塊	・玉石		350 m³/∃		
		破	砕岩		350 m³/日		
7	積	込 (ルーズ)					
		土質		作業内	勺容	作業日当り 標準作業量	
				土量50,00	00m³未満	310 m³/日	
			土量50,000m3以上		520 m³/日		
		土 砂	上 砂 平均施工幅1m以上2m未満		160 m³/日		
			1箇	1箇所100m³以下(標準)		42 m³/日	
			1箇所	100m³以下	(標準以外)	22 m³/日	
		III the T		土量50,00	00m³未満	260 m³/日	
		岩塊・玉石, 破砕岩		土量50,00	00m³以上	440 m³/∃	
			平均	匀施工幅1m	以上2m未満	130 m³/日	
8	) 人フ	力積込					
		土	質		作業日	当り標準作業量	
		土	砂		7.	.1 m³/日	
		岩塊	<ul><li>玉石</li></ul>		5	.3 m³/∃	
		軟	岩		5	.6 m³/日	
			 硬岩			.0 m³/日	
			岩			.5 m³/日	
			 アルト塊			.6 m³/日	
			リート塊			. О m <sup>7</sup> / 🛘	
	ļ	(注) 作業日当り		書は 並			
	- <del>دیل</del>		(示学)上表	:里(み, 百)	四十末貝1カリ	/勿口。	
	》 転石	5破砕 水薬体	用の有無		<b>/七</b> 七 1 1	当り標準作業量	
			すり 			3 m <sup>3</sup> /日	
	ļ		無し 使用無した	<b>十                                    </b>		4 m <sup>3</sup> /日	
		(注) 上表の火薬(	関用悪しに	ょ, 大型フ	レールによる	511似件じめる。	

工 種 名		設	定	内	容
土工	① 掘削(IC	T) ※[ICT建機(	吏用割合 100%]		
(ICT)	土質	施工方法	障害の有無	施工数量	作業日当り 標準作業量
				5,000m³未満	250 m³/日
			無し	5,000m³以上 10,000m³未満	290 m³/日
			<i>7</i> C	10,000m³以上 50,000m³未満	350 m³/日
		オープンカット		50,000m <sup>3</sup> 以上	550 m³/日
	土 砂			5,000m³未満	150 m³/日
			有り	5,000m³以上 10,000m³未満	180 m³/∃
			Hy	10,000m³以上 50,000m³未満	230 m³/日
				50,000m³以上	352 m³/∃
		片切掘削	_	_	242 m³/日
				5,000m³未満	190 m³/∃
			無し	5,000m³以上 10,000m³未満	220 m³/日
			<i>7</i> C	10,000m³以上 50,000m³未満	270 m³/日
	岩塊・玉石	オープンカット		50,000m³以上	451 m³/日
	1 1 1/16 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			5,000m³未満	120 m³/∃
			有り	5,000m³以上 10,000m³未満	140 m³/日
			HY	10,000m³以上 50,000m³未満	170 m³/日
				50,000m <sup>3</sup> 以上	286 m³/日

### ② 路体(築堤)盛土(ICT)

作業形態	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量	ICT 標準作業量
	10,000m³未満	10,0003主港 無し		550 m³/日
敷均し+	10,000皿 不何	有り	280 m³/∃	280 m³/日
締固め	10,000m <sup>3</sup> 以上	無し	690 m³/∃	690 m³/日
	10,000回 以上	有り	400 m³/∃	430 m³/∃

- (注) 1. 上表は、締固め後の土量である。
  - 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。
  - 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。

#### ③ 路床盛土(ICT)

施工数量	障害の有無	作業日当り標準作業量	ICT標準作業量
10,000m³未満	無し	430 m³/∃	430 m³/∃
10,000Ⅲ 水阀	有り	140 m³/∃	220 m³/∃
10,000m <sup>3</sup> 以上	無し	500 m³/∃	540 m³/日
10,0001115/1.	有り	140 m³/∃	320 m³/∃

- (注) 1. 上表は、締固め後の土量である。
  - 2. 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。
  - 3. 保守点検費を算出する場合に限り、上表の「ICT標準作業量」を適用すること。

工種名		::::::::::::::::::::::::::::::::::::::		 容	
床掘工	① 床掘り				
	土 質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
			(mr.)	有り	180
			無し	無し	220
			rt L 15a	有り	180
		1777 2/44	自立式	無し	220
		標準	20-10-11-15	有り	180
			グランドアンカー式	無し	220
			1777 BH+7-15	有り	180
			切梁腹起式	無し	220
			Amr. 1	有り	100
			無し	無し	150
			<u> </u>	有り	100
	L 75h	平均施工幅	自立式	無し	150
	土砂	1m以上2m未満	ガニントマンカー士	有り	100
			グランドアンカー式	無し	150
			LTが、1年土コーナ	有り	100
			切梁腹起式	無し	150
			グランドアンカー式	有り	130
		掘削深さ	クラントテンガー式	無し	200
		5m超え20m以下 掘削深さ20m超え	LTが、服士コーナ	有り	130
			切梁腹起式	無し	200
			グランドアンカー式	_	120
			切梁腹起式	_	120
		上記以外(小規模)	_	_	32
		現場制約あり	_	_	2. 4
			無し	有り	130
			<b>無</b> し	無し	160
			自立式	有り	130
		標準	日北八	無し	160
		標	グランドアンカー式	有り	130
			//V 1// V X X	無し	160
			切梁腹起式	有り	130
			97条/及尼式	無し	160
			無し	有り	70
			//// C	無し	110
	岩塊		自立式	有り	70
	· 	平均施工幅	HV	無し	110
	玉石	1m以上2m未満	グランドアンカー式	有り	70
			. , , . , . , , .	無し	110
			切梁腹起式	有り	70
			2.213021CF 4	無し	110
			グランドアンカー式	有り	90
		掘削深さ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	無し	140
		5m超え20m以下	切梁腹起式	有り	90
				無し	140
		掘削深さ20m超え	グランドアンカー式	_	90
			切梁腹起式	_	90
	(3.)	現場制約あり	- I#WE II NO	-	1. 7
	(注)「現場制	削約あり」の作業日当	り標準作業量は、普通作業	美I名の場合。	

工種名			設		定	内	容			
床掘工	2	掘削補助機	械搬入搬出	作業						
		作業	6日当り標準	作業量		3.3 回/日				
	3	基面整正								
			日当り標準			50 m <sup>2</sup> /日				
		(注) 作業日	(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。							
	4	舗装版破砕積込(小規模土工)								
		作業日当り標準作業量				$23 \text{ m}^2/\boxminus$				
· 技掘工	1	床掘り(I	CT)							
(ICT)					留方式の種類	障害の有無	作業日当り 標準作業量			
		土砂				有り	保事任来里 196 m³/日			
			標準		無し	無し	240 m³/日			
				自立式		有り	196 m³/日			
						無し	240 m³/日			
						有り	196 m³/日			
				グランドアンカー式		無し	240 m³/日			
				切梁腹起式		有り	196 m³/日			
						無し	240 m³/日			
<b>里</b> 戻工	1	埋戻し			土質	締固めの有無	作業日当り			
			甲豆梔イmじ ト			_	標準作業量 270 m³/日			
		最小埋戻幅4m以上 最大埋戻幅4m以上				_	96 m³/日			
			幅1m以上4m未	· 浩		_	61 m³/日			
			型戻幅1m未満		_	_	33 m³/日			
			外(小規模)		土砂	_	40 m³/日			
						有り	3.7 m³/日			
		1 may	日本山がた きこう		土砂	無し	4.2 m³/日			
		規	湯制約あり		山地 マア	有り	3.5 m³/日			
					岩塊・玉石	無し	3.8 m³/日			
	2	(注)「現場タンパ締固		の作業日	3当り標準作業量	また。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	眞1名の場合。			
			*** *日当り標準	作業量		36 m³/日				
				八八里		00 ш/ н				

工 種 名			設		内			
	1) ,	人力運搬	13-4	,		p=d		
				作業日当り標準作業量				
				土砂, 岩塊・玉石				
		換算距離	(利	人力運搬 責込み〜運搬〜	取卸し)	人力運搬 (運搬〜取卸し)		
				普通作業員	į	普通作業員		
		20m 以下		5.0 m³/目		20 m³/日		
		40m 以下		4.3 m³/日		11 m³/日		
		60m 以下		3.7 m³/日		7.7 m³/日		
		80m 以下		3.2 m³/日		6.3 m³/日		
		100m 以下		2.9 m³/日		5.0 m³/日		
		120m 以下		2.5 m³/日		4.3 m³/日		
		140m 以下		2.3 m³/日		3.7 m³/日		
		160m 以下		2.2 m³/日		3.2 m³/日		
		180m 以下		2.0 m³/日		2.9 m³/日		
		200m 以下		1.9 m³/日		2.6 m³/日		
		(注) 作業日当り	標準作業	き量は、普通作	業員1名の	り場合。		
安定処理工.	① 5	安定処理(スタビ	ライザ)					
女足是生工	1) 1	混合回数		3当り標準作業	昰			
		1回		736 m <sup>2</sup> /日	<b></b>			
		2回	643 m²/日					
			女布. 混合		 :固めをすっ	べて含んだ標準施工量で	ある。	
						の小運搬及び現場内小運		
	(2) 5	安定処理(バック	ホウ)					
		施工箇所	1	混合深さ	作業	日当り標準作業量		
		路床	1	1m 以下		172 m²/日		
				1m 以下		127 m²/日		
		構造物基礎		超え 2m 以下		74 m²/日		
				合,敷均し,締 全度の現場内小i		べて含んだ標準施工量で にれている。	ある。	
安定処理工(自走式土	( <u>1</u> )	自走式土質改良機	設置・撤	去工				
質改良工)		作業区分		作業日当り	標準作業	量		
		設 置		2.6	回/日			
		撤去		3.7	回/日			
	2 7	安定処理工(自走	式土質改	良工) ・・・ 診	亥当工種の	基準内に記載。		
<b>上</b> 奶海抛了 / 不敷地海	郵小-	工種の甘潍内に包	# <del>}</del>					
土砂運搬工(不整地運		工種の基準内に記	<b>丰义</b> 。					

整形固所     の有無     で有り     砂及び砂質土、粘性土     標性       有り     一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の一個人の	作業日当り 票準作業量 120 m²/日 140 m²/日 220 m²/日 61 m²/日 30 m²/日
型形	票準作業量 120 m <sup>2</sup> /目 140 m <sup>2</sup> /目 220 m <sup>2</sup> /日 61 m <sup>2</sup> /日
盛土部     無し     レキ質土、砂及び砂質土、粘性土     1.       無し     無し     レキ質土、砂及び砂質土、粘性土     2.       レキ質土、砂及び砂質土、粘性土     0.	140 m <sup>2</sup> /日 220 m <sup>2</sup> /日 61 m <sup>2</sup> /日
盛土部     無し     レキ質土,砂及び砂質土,粘性土     1.       無し     無し     レキ質土,砂及び砂質土,粘性土     2.       レキ質土,砂及び砂質土,粘性土     0.	220 m <sup>2</sup> /日 61 m <sup>2</sup> /日
レキ質士、砂及び砂質士、粘性士	61 m <sup>2</sup> /日
有りという。	
	30 m <sup>2</sup> / H
切土部	00 m / H
第1年 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土 1- 無し	140 m <sup>2</sup> /日
軟岩 I 1:	120 m <sup>2</sup> /目
(1 0 T)	
法面整形工 ① 法面整形(ICT)	- AIK II AIK 10
	作業日当り 標準作業量
マイン マイン ログラ ログ	154 m²/目
無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土 24	242 m²/目
切土部 レキ質土、砂及び砂質土、粘性土 15	154 m <sup>2</sup> /日
軟岩 I 13	$132 \text{ m}^2/\Box$
芝付工 ① 市松芝	
芝の規格 作業日当り標準作業量	
高麗芝・野芝 333 m²/日	
(注) 散水養生・施肥は含まない。	

工種名	設 定 内 容
コンクリート法枠	① プレキャスト法枠工
工	(1) プレキャストブロック設置(中詰除く) ・・・ 該当工種の基準内に記載。
	(2) 敷砂利
	作業日当り標準作業量 10 m³/日
	(3) 中詰工
	中詰区分 作業日当り標準作業量
	中詰ブロック 83 m <sup>2</sup> /日
	客 土 16 m³/日
	植生土のう 625 袋/日
	割石又は栗石 10 m³/日
	砕 石 12 m³/日
	② 現場打法枠工
	作業日当り標準作業量 7.2 m³/日
	(注)養生を含む。
	(2) アンカーエ
	作業日当り標準作業量 33 本/日
	(注)作業日当り標準作業量は,普通作業員1名の場合。
	(3) 吸出し防止材敷設工
	作業日当り標準作業量 200 m²/日
法面施肥工	該当工種の基準内に記載。
14411111111111111111111111111111111111	1分コエコキック会中に近年収0
	1

工 種 名		設		定	内	容
吹付法面とりこわ	1	吹付法面とりこわし工				
しエ		工法区分	作	業日当り標準作	業量	
		人力施工		$54 \text{ m}^2/\boxminus$		
		機械施工		$147 \text{ m}^2/\boxminus$		
		集積・積込み		$234 \text{ m}^2/\Box$		
プレキャストコン	1	プレキャストコンクリー	- ト板			
クリート板設置工		フレームタイプ	1 列	当り平均据作	<b>†枚数</b>	作業日当り標準作業量
				20 枚未満		6.3 枚/日
		クロスタイプ	20	枚以上30枚	未満	7 枚/日
				30 枚以上		7.7 枚/日
				20 枚未満		4.5 枚/日
		セミスクエアタイプ・ スクエアタイプ	20	枚以上30枚	未満	5 枚/日
		77,27,71,7		30 枚以上		5.5 枚/日
	2	2. 1 列当り平均据作ジョイント処理 作業日当り標準作		T	とする。	
人工張芝工	1	人工張芝				
		作業日当り標準作	業量	222	2 m <sup>2</sup> /目	
基礎・裏込砕石工	1	基礎・裏込砕石工 工種名 基礎砕石 裏込砕石 (注) 1. 上表には、現	<b>學内小</b> 運	153	り標準作業 5 m <sup>2</sup> /日 8 m <sup>3</sup> /日	量
		2. 基礎砕石の敷地	匀し厚は	20cmまでを対		れを超える場合は上表に0.7を乗じ 厚は30cmを上限とする。

工種名	設		内	 容					
コンクリートブロック	① コンクリートブロック科								
積(張)工	工 種 名	ブロック 又は種			作業日当り 票準作業量				
	コンクリートブロック和	責		_	13 m <sup>2</sup> /日				
	大型ブロック積	_		_	42 m <sup>2</sup> /日				
	間知ブロック張	150kg/個	1未満	_	41 m <sup>2</sup> /日				
	平ブロック張 連節ブロック張	150kg/個	即上	_	92 m²/日				
	緑化ブロック積	150kg/個 150kg/個		_	13 m <sup>2</sup> /日 24 m <sup>2</sup> /日				
	胴込・裏込コンクリー	間知・絲	录化	_	9.1 m <sup>3</sup> /日				
		大型ブロ	リック	_	20 m³/日				
	胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連ブロッ		_	20 m³/日				
		大型ブロ	1ック	_	50 m³/日				
	遮水シート張	_		_	500 m <sup>2</sup> /日				
	吸出し防止材(全面)設	:置 —		_	500 m <sup>2</sup> /日				
	植樹			_	340 本/日				
		_	<b>1</b>	盲り	3.7 m <sup>3</sup> /日				
	現場打基礎コンクリー	_	無	<b>無し</b>	4.5 m³/日				
	天端コンクリート	_		_	3.4 m³/日				
	プレキャスト基礎ブロッ	ク –		_	20 m/∃				
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。								
	・緑化ブロック積 ・植 樹 2. ブロック積 (張) 3. 緑化ブロック積(	連作業 : 植樹作 は,裏込・胴込CC	), 裏込材を施工し	、ない場合も <sub>-</sub>	上表による。				
石積(張)工	① 石積(張)工								
•	積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り	漂準作業量				
	積 工	練石	玉石, 雑割石	19 m <sup>2</sup>	2/日				
	非一十	練 石	玉石, 雑割石	31 m <sup>2</sup>	2/目				
	張工	空石	玉石	31 m					
	(注) 石積(張) 工は,		<b>丛材を施工しない</b>	場合も上表に	よる。				
	② 胴込・裏込コンクリー ************************************		作業日当り標準作	七类具					
	積張の区分	r	7F乗りヨり保準7 8.3 m³/日	F耒里					
	張工		9.1 m <sup>3</sup> /日						
	② 東はは (カラッシュラン								
	③ 裏込材(クラッシャラ) 積張の区分		作業日当り標準作	<b>七</b>					
	積工								
	張工		0.3 m/ 日 11 m³/ 日	8.3 m <sup>3</sup> /日					
	W T		11 111 / 1	1					

工種名		設 第	宦 内	容		
場所打擁壁工(1)	① 場所打擁壁		<del></del>			
	区分			作業日当り標準作業量		
		0.5m 以上 0.6m 未満		1.2 m³/日		
	小型擁壁	0.6m以上0.8m未満 1.5 m		1.5 m <sup>3</sup> /	FI FI	
		0.8m以上1.0m以下		1.6 m³/日		
	重力式擁壁	1m 超え 2m	未満	5.7 m <sup>3</sup> /	F	
		2m 以上 5m	以下	7.8 (7.5)	m <sup>3</sup> /目	
	もたれ式擁壁	3m から 8m	まで	6.3 (6.3)	m <sup>3</sup> /目	
	逆T型擁壁	3m から 10m	まで	5. 2 (5. 0)	m <sup>3</sup> /日	
	L型擁壁	3m から 7m	まで	4.2 (4.0)	m <sup>3</sup> /日	
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・均し型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生 ・コンクリート打設・養生 ・型枠製作・設置、撤去 ・鉄筋加工・組立 ・足場設置・撤去 ・目地材設置 ・水抜きパイプ設置 ・吸出し防止材設置 2. 上表の作業日当り標準作業量は、基礎材、均しコンクリート、足場の施工の有無、足場形式(枠組足場、単管足場、手摺先行型枠組足場)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材の施工の有無にかかわらず適用できる。なお、手摺先行型枠組足場を使用する場合は、()書きの数値を適用する。 3. コンクリート養生は、散水、保温を問わず適用できる。4. 上表の作業日当り標準作業量は、擁壁本体コンクリート換算値である。					
場所打擁壁工(2)	① コンクリート(場所 作 業 コンクリートポン	種 別	作業日当り根 80 m <sup>3</sup> /			
プレキャスト擁壁工	① プレキャスト擁壁部					
	プレキャスト擁壁	0.5m以上	1.0m を超え	2.0m を超え	3.5m を超え	
	高さ 作業日当り	1.0m 以下 33 m/日	2.0m 以下 26 m/目	3.5m 以下 22 m/目	5.0m 以下 17 m/目	
	<b>標準作業</b>					
	(注)運搬距離 10m 程度までの現場内小運搬を含んでいるが、床掘り、埋戻し、雑工種 (基礎砕石、均しコンクリート)、残土処理は含まない。					

工 紙 友	1		<u> </u>	内容	•
工種名 補強土壁工	(Ī)		<u>E</u>	27 名	•
(帯鋼補強土壁,アン		作業種別		作業日当り様	標準作業量
カー補強土壁、ジオテ		帯鋼補強土壁		$35 \text{ m}^2$	/目
キスタイル補強土壁 (二重壁タイプ))		アンカー補強土壁		$30 \text{ m}^2$	/目
		ジオテキスタイル補強士	達	50 m <sup>2</sup> ,	/ B
		(二重壁タイプ)			
	2	補強材取付	1		
		作業種別		作業日当り根	
		帯鋼補強土壁		227 m	
		アンカー補強土壁 ジオテキスタイル補強土	注	116 m	/ 目
		ンオノヤスタイル補強工	- 生	128 m	2/日
	(3)	まき出し・敷均し、締固め			
	0	作業種別		作業日当り様	<b>聖進作業量</b>
		帯鋼補強土壁		95 m <sup>3</sup>	
		アンカー補強土壁		95 m <sup>3</sup>	/日
		ジオテキスタイル補強土	達	95 m <sup>2</sup>	/ FI
		(二重壁タイプ)		30 m	/ Н
	4	砕石投人	1		
		作業種別	7.40	作業日当り根	標準作業量
		ジオテキスタイル補強土 (二重壁タイプ)	選	$71 \text{ m}^2$	/目
補強盛土工	(1)	壁面材組立・設置			
11117-1-111	•		16-246 to 11	/ 10 /重》件/ 12 / 14   目	然山土金塘
11135-1111		壁面材種類		ら標準作業量	算出面積
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ		当り標準作業量 9 m <sup>2</sup> /日	算出面積 直面積
	2	壁 面 材 種 類         鋼製枠タイプ         ジオテキスタイル敷設		9 m²/目	直面積
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量	5	9 m²/日 120 m²/	直面積
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には,壁面補別	5	9 m²/日 120 m²/	直面積
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には,壁面補係ものとする。	(銀材の面積を	9 m²/日 120 m²/ ら含み,巻込み部	直面積 7日 の面積は含まない
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には,壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイルの敷設	5 触材の面積で 受面積の算に 面積 (m²)	9 m²/日 120 m²/ ら含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3	直面積 (日 の面積は含まない は式の通りとする。
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷詞	5 触材の面積で 受面積の算に 面積 (m²)	9 m²/日 120 m²/ ら含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3	直面積 (日 の面積は含まない は式の通りとする。
		壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には,壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイルの敷設	5 触材の面積で 受面積の算に 面積 (m²)	9 m²/日 120 m²/ ら含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3	直面積 (日 の面積は含まない 式の通りとする。
	2	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛土	5 触材の面積で 受面積の算に 面積 (m²)	9 m²/日 120 m²/ ら含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3	直面積  (日 の面積は含まない 式の通りとする。 …  (お客図参照)
	2	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設ジオテキスタイルの敷設 31, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段	数材の面積を 受面積の算品 面積(m²) 工1段当り更	9 m²/日 120 m²/ ら含み, 巻込み部 出については, 次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (刻 95 m³/	直面積 (日 の面積は含まない 式の通りとする。 …
	2	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設ジオテキスタイルの敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。	数材の面積で 全面積の算に 面積(m²) 工1段当り見	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (刻 95 m³/ 出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイルの敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材	数材の面積で 全面積の算に 面積(m²) 工1段当り見	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (刻 95 m³/ 出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設ジオテキスタイルの敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。	数材の面積で 対の面積の算は 面積 (m²) 工1段当り見	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (参 95 m³/ に出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイルの敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材	数材の面積で 対の面積の算は 面積 (m²) 工1段当り見	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (刻 95 m³/ 出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイルの敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材	数材の面積で 受面積の算に 面積 (m²) 工1段当り動き オの有無になる。	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (参 95 m³/ に出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には,壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し,締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は,補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材,層厚管理材 [参考図]補強盛土工標準断面図	数材の面積で 対の面積の算は 面積 (m²) 工1段当り見	9 m²/日 120 m²/ 5含み,巻込み部 出については,次 =a1 +a2 +a3 敷設面積 (m²) (参 95 m³/ に出し厚さ及び締	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材 [参考図] 補強盛土工標準断面図	数材の面積で 受面積の算に 面積 (m²) 工1段当り動き オの有無になる。	9 m²/日  120 m²/  12	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁面材種類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所 ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛士 まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材 [参考図]補強盛土工標準断面図	数材の面積で 受面積の算に 面積 (m²) 工1段当り動き オの有無になる。	9 m²/日  120 m²/  5含み, 巻込み部 出については, 次 =a1 +a2 +a3 数設面積 (m²) (ま  95 m³/ こ出し厚さ及び締 かかわらず適用で かかわらず適用で	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁 面 材 種 類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所ものとする。 2. ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛土まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材 (参考図) 補強盛土工標準断面図	数材の面積で 全面積の算に 面積 (m²) 工1段当り見 当りのまき オの有無にた	9 m²/日 120 m²/ も含み、巻込み部出については、次 =a1 +a2 +a3 数設面積 (m²) (え  95 m³/ いかわらず適用で かかわらず適用で カックリート(壁面上端処理工)	直面積  (日 の面積は含まない に式の通りとする。  (お考図参照)  日  固め回数に関係なく
	3	壁面材種類 鋼製枠タイプ ジオテキスタイル敷設 作業日当り標準作業量 (注) 1. 敷設面積には、壁面補所 ものとする。 2. ジオテキスタイルの敷設 ジオテキスタイル敷設 a1, a2, a3…:補強盛士 まき出し・敷均し、締固め 作業日当り標準作業量 (注) 1. 上表は、補強盛土工1段 適用できる。 2. 水平排水材、層厚管理材 [参考図]補強盛土工標準断面図	数材の面積で 受面積の算と 面積 (m²) 工1段当り見 当りのまき オの有無に方	9 m²/日  120 m²/  12	直面積  (日 の面積は含まない 式の通りとする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

工種名			設		定	内		容		
構造物補修工(ひび割)	(I)	ひび割れ補修		:法)	, KE	r i		4		
れ補修工(充てん工			2 ()1 (,,,,	数量				作業日	当り標準作業量	ł
法))		1 楼: 地加兴	り補修延べる	ſ.E.	20r	m 未満の場合		1	3.9 m/∃	
		1 件坦初当	り冊修建、英	上尺	20r	n以上の場合		2	0.1 m/日	
構造物補修工(ひび割	1	ひび割れ補修二	L (低圧注入	工法)	)					
れ補修工(低圧注入工				数量				作業日	当り標準作業量	量
法))		1 構造物当	り補修延べる	F.E.	25r	n未満の場合		1	3.4 m/∃	
		1 特色物目	7冊修建 英	±1X	25r	n以上の場合		2	5.6 m/日	
	1	鉄筋ケレン・『	方錆処理を含	it						
復工(左官工法))			数量					作業日	当り標準作業量	ł
		1 +#\/:\/-	In leなられて . 、 ト	L-1±	0. 11	m³未満の場合		0.	020 m³/目	
		1 傳近物白	り修復延べ位	P付	0. 1	m³以上の場合		0.	069 m³/目	
		All Art 1 - 1 . It	+/+ Ln rm +	- Jr . L						
	2	鉄筋ケレン・『	カ蜻処埋を含 数量	まない	<i>'</i>			作業口当	当り標準作業量 当り標準作業量	<u>.</u>
		:	<b>数</b> 里		0 1:	m³未満の場合			1975年下来』 024 m³/日	E.
		1 構造物当	り修復延べ	体積		m³以上の場合			081 m <sup>3</sup> /日	
排水構造物工	1	ヒューム管							, .	
が保証の工	$\sim$	(1) ヒューム管	単体							
		管	径 (mm)		250	400 450	700		1, 100 1, 200	
		作業日当り根		300	350	500 600	900	1,000	1, 350	
		(m/			50	25		17	14	
		(注) 撤去の作	作業日当り標	準作	業量は,	上表×2とする	, o			
		(2) ヒューム管	ナヒューム	管用者	きョンク	フリート				
		管	径 (mm)		250	400 450	700	800	1, 100 1, 200	]
		B .		300	350	500 600	900		1, 350	
		作業日当り	90° 巻き		8	6		4	3	
		標準作業量 (m/日)	180°巻き		7	5		3	2	
			360° 巻き	- 11 11/	5 +悪迷ル	3	<i>⊕ l/⇔</i>	2 ***	- -	
			(2)の作業 楚材敷均し・		り標準作	業量には、次	の作	<b>美か含まれ</b>	<b>ている。</b>	
			ューム管設置							
			/クリート打							
			卆製作・設置 第加工・組立		去					
					標準作業	き量は、基礎砕	石のす	有無にかか	わらず適用で	きる。
						R温を問わず通				_ 🗸
		4. 上表	(2) の作業	日当	り標準作	業量は,ヒュ <sup>、</sup>	一厶智	管設置延長	長換算値である	) <sub>o</sub>

工種名		設		5	Ē		内		容			
排水構造物工	_	ボックスカルバート										
	()	) ボックスカルバー	ト単体									_
		区 分			PC	鋼材を	使用し	ない場	<del> </del>  合			
		製品長(m)	1.	0		1.	5			2.0		
		枠 番 号	4	5	2	4	5	6	1	23	4	
		作業日当り標準作業量 (m/日)	8	5	10	7	7	5	20	17	12	
		区 分		PC 釒	闘材に。	よる縦	車結の	場合				
		製品長(m)		1.	5			2.0				
		枠 番 号	2	4	(5)	6	1	23	4			
		作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	15	11	8			
	(注)	撤去の作業日当り標	準作業	量は,	上表×	(2 とす	~る。			_		
	(2	2) ボックスカルバー	ト+基础	整砕石								
	(-	区分	1 . 22,	CIII F		PC 鋼标	オを使月	用しない	小場合			
		製品長(m)	1.	. 0			. 5				. 0	
			<b>(4)</b>	(5)	2	<b>(</b> 4 <b>)</b>	(5)	<b>6</b>	(1)	(2)	(3)	<b>(4)</b>
		作業日当り標準作業量 (m/日)	7	5	8	7	6	4	17	14	14	10
		区分		F	YC 鋼材	による	縦連結	の場合	ì	ı		
		製品長(m)		1.	. 5			2.	0			
		枠 番 号	2	4	5	6	1	2	3	4		
		作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	4	3	13	10	10	7		
	;)	3) ボックスカルバー	ト+均し	<sub>レ</sub> コン:								
		区 分				PC 鎁标	オを使り	用しない	い場合			
		製品長(m)	1.	. 0		1.	. 5			2.	. 0	
		枠 番 号	4	(5)	2	4	5	6	1	2	3	4
		作業日当り標準作業量 (m/日)	6	4	6	5	5	4	12	10	11	8
		区 分		F	YC 鋼材	による	縦連結	の場合	ì			
		製品長(m)		1.	. 5			2.	0			
		枠 番 号	2	4	(5)	6	1	2	3	4		
		作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	3	10	8	8	6		

工 括 夕	設			<u></u> 定		内		容			
工 種 名 排水構造物工	<ul><li>(4) ボックスカルバート</li></ul>	、 十 其石						谷			
	区分	1 25	уент п	1 200	PC 鋼材		用しなり	い場合			
	製品長(m)	1.	. 0		1.	5			2	2. 0	
	枠 番 号	4	(5)	2	4	(5)	6	1	2	3	4
	作業日当り標準作業量 (m/日)	5	4	6	5	4	3	11	9	10	7
	区分		Р	C鋼材	たよる	従連結	の場合	7			'
	製品長(m)		1.	5			2.	. 0			
	枠 番 号	2	4	(5)	6	1	2	3	4		
	作業日当り標準作業量 (m/日)	4	3	3	2	9	7	8	5		
	(注) 1. 上表 (2) ~ (4)	の作	業日当り	) 標準	作業量に	こは, そ	それぞれ	1次の{	作業が	_ 含まれて	ている。
	・基礎材敷均 ・均し型枠製・			+ . +	<del>5</del> 1 = 2.	· / 11 .	. ì. <del>i</del> -r≡	九. 羊.	<i>H</i> -		
	・ボックスカ				カレコン	2 y -	_ L11i	汉 * 食	土		
	2. 上表の枠番号①				スカル	バート	内空幅	・内空	高区分	分の図に	よる。
	③ 暗渠排水管										
	区 分		直	Ī	管			波・網	状管		
	管 径 (mm)		50~15	50 2	00~400	50~	~150	200~	400	450~60	00
	作業日当り標準作業量(m/		250		125		29	273	3	150	
	(注) 撤去の作業日当 ④ フィルター材	り標準	作業量	:は, 」	上表×2。	とする	0				
	作業日当り標準	作業量	<u>.</u>			36 m <sup>3</sup> /	′目				
	(a) 管(函) 渠型側溝 (1) 管(函) 渠型側溝単	<b>Ú</b> 体									
	内径又は内空幅	(mm	)		以上 00 以下	3	300 を起 4	超え 00 以下		0 を超え 600	
	製品	長			L	=2m L	厂			L=2m	l
	作業日当り標準作業	<b>⊭量(m</b> /	/日)		33		2	5		17	
	(注) 撤去の作業日当	り標準	作業量	:は, 」	上表×2。	とする	0				
	(2) 管(函) 渠型側溝+	基礎研	砕石								
	内径又は内空幅	(mm	1)		以上 00 以下	3	300 を起 4	翌え 00 以下		0 を超え 600	
	製品	長			L	=2m 以	厂			L=2m	l
	作業日当り標準作業	⊭量(m/	/日)		29		2	3		16	
	(注) 1. 上表 (2) の・基礎材敷・・管(函) ¾ 2. 上表 (2) の ある。	匀し・ 集型側	転圧 溝設置								算値で

定 内 工 種 名 設 容 排水構造物工 ⑥ プレキャスト集水桝 (1) 集水桝単体 製品質量 200 を超え 1,600を超え 50以上 80 新松 400 結形 600を超え 800 結形 1,200 を超え 2.200 を超え (kg/基) 80以下 200以下 400以下 800以下 1,200以下 2,800以下 600以下 1,600以下 2,200以下 作業日当り 250 50 33 25 20 17 10 125 13 標準作業量 (基/日) (注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。 (2) 集水桝+基礎砕石 製品質量 50以上 80を超え 200を超え 400を超え 1,200 を超え 1,600を超え 600を超え 800 統紀 2200 を超込 80以下 200以下 1,200以下 1,600以下 (kg/基) 400以下 600以下 800以下 2,200以下 2,800以下 作業日当り 標準作業量 143 91 42 29 22 17 15 11 9 (基/日) (注) 1. 上表(2)の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 集水桝設置 2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、集水桝設置数量換算値である。 ⑦ 鉄筋コンクリート台付管 (1) 鉄筋コンクリート台付管単体 900 1,000 200 250 350 400 600 700 径 (mm) 1, 100 300 450 500 800 1,200 作業日当り標準作業量 50 33 25 17 (m/目) (注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。 (2) 鉄筋コンクリート台付管+基礎砕石 350 400 600 700 900 1,000 径 (mm) 300 450 500 800 1, 100 1, 200 作業日当り標準作業量 44 29 23 16 (m/目) (注) 1. 上表(2)の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・鉄筋コンクリート台付管設置 2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、鉄筋コンクリート台付管設置延長 換算値である。 ⑧ プレキャストL形側溝 (1) L形側溝単体 品 長  $0.6 \, \mathrm{m}$ 作業日当り標準作業量 33 m/日 (注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。 (2) L形側溝+基礎砕石 製 品 長  $0.6 \, \mathrm{m}$ 作業日当り標準作業量  $29 \text{ m}/\, \text{H}$ (注) 1. 上表(2)の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。

2. 上表 (2) の作業日当り標準作業量は、L形側溝設置延長換算値である。

・基礎材敷均し・転圧 ・L形側溝設置

工 種 名 定 内 容 設 排水構造物工 プレキャストマンホール 製品質量(kg/基) 2,000kg/基以下 2,000 kg/基を超え4,000 kg/基以下 作業日当り標準作業量 4 基/日 3 基/日 (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 基礎材敷均し・転圧 マンホール設置 2. 作業日当り標準作業量は、基礎材の有無にかかわらず適用できる。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、マンホール設置数量換算値である。 4. 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。 ① PC管 作業日当り標準作業量 管 径 固定基礎 90°巻き 180°巻き 無し 600 mm 13 m/日 8.0 m/日 50 m/日 700 mm 9 m/日 6.1 m/目 33 m/日 800 mm 8.3 m/日 5.3 m/日 33 m/日 7.7 m/日 4.7 m/日 33 m/日 900 mm  $1000 \, \text{mm}$ 6.8 m/日 4.3 m/日 33 m/日 1100 mm 5.7 m/目 3.5 m/日 33 m/日 5.3 m/目 3.2 m/目 33 m/日 1200 mm4.4 m/日 2.8 m/∃ 25 m/日 1350 mm4.0 m/目 2.5 m/目 1500 mm 25 m/日 1650 mm 3.4 m/日 2.0 m/日 25 m/日 1800 mm 3.0 m/日 1.8 m/日  $20 \text{ m/} \exists$ (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、PC 管の設置、基礎砕石、巻きコンクリート (コンクリート、型枠)の作業を含む。 2. 各作業間の重複作業は考慮していない。 3. 撤去(PC管単体)の作業日当り標準作業量は、上表の「無し」×2とする。た だし、管径 2000mm の撤去は、作業日当り標準作業量は 40m/日とする。 ① コルゲートパイプ 作業内容 規格・形式 パイプ径 作業日当り標準作業量 800mm 以上 1200mm 以下 12 m/日 フランジ型 円形 1200mm 超え 1800mm 以下 9 m/日 2000mm以上 2500mm以下 7 m/日 据付 ラップ型 2500mm 超え 3000mm 以下 5 m/日 円形 3000mm 超え 3500mm 以下 4 m/日 3500mm 超え 4500mm 以下 3 m/日 800mm以上 1200mm以下 26 m/日 フランジ型 円形 1200mm 超え 1800mm 以下  $21 \text{ m/} \exists$ 2000mm 以上 2500mm 以下 18 m/日 撤去 2500mm 超え 3000mm 以下 14 m/日 ラップ型 円形 3000mm 超え 3500mm 以下 12 m/日 3500mm 超え 4500mm 以下 10 m/日 ② コルゲートフリューム 作業内容 規格 作業日当り標準作業量 据付 350×350mm 以上 750×750mm 以下 32 m/日 撤去 350×350mm 以上 750×750mm 以下 63 m/日

工種名			設	定内	容	
排水構造物工	1	溶接金網(現場打側)	<b>構蓋補強用)設</b>	置		
(溶接金網及び埋 設鋼板型枠)		作業日当り標準	<b>準作業量</b>	500 m <sup>2</sup> / E		
	2	埋設鋼板型枠(現場	打側溝蓋用)			
		作業日当り標準	<b></b>	143 m²/ 🗏		
			I			
排水構造物工	1	現場打ち水路 (本体)				
(現場打ち水路 (本体))		コンクリート打設 工法	鉄筋の有無	10m当りコンクリー	使用量	作業日当り 標準作業量
				3.0m³/10m以上4.2	m <sup>3</sup> /10m以下	4 m/∃
			無し	4.2m³/10mを超え7.	4m³/10m以下	3 m/∃
		バックホウ(クレ ーン機能付) 打設		7.4m³/10mを超え9.	0m³/10m以下	2 m/∃
		• Man 11/ 11 fb	有り	3.6m³/10m以上5.0	m <sup>3</sup> /10m以下	3 m/∃
			刊り	5.0m³/10mを超え8.	1m³/10m以下	2 m/∃
				3.0m³/10m以上3.3	m <sup>3</sup> /10m以下	4 m/∃
			無し	3.3m³/10mを超え6.	0m³/10m以下	3 m/∃
		人力打設		6.0m³/10mを超え9.	0m³/10m以下	2 m/日
		7071110		3.6m³/10m以上4.4	m <sup>3</sup> /10m以下	3 m/∃
			有り	4.4m³/10mを超え7.	7m³/10m以下	2 m/日
				7.7m³/10mを超え8.		1 m/日
		鉄筋加 <u></u> 2.各作業	エ・組立,目地 間の重複作業に は,現場,施コ	態作業量には、コンク) 材設置、基礎材設置の は考慮していない。 「条件等により別途考慮	作業を含む。	枠設置・撤去,
			作業名	7	作業日当	<b>らり標準作業量</b>
		基礎材設置			15	55 m <sup>2</sup> /日
		目地板設置			1	4 m <sup>2</sup> /日
		鉄筋加工·組立			3.	.5 t/日
		型枠設置・撤去			1	5 m <sup>2</sup> /日
		コンクリート打設		(クレーン機能付) 打		8 m³/日
		> > 1.11tX	人力打設			5 m³/日

工種名			設	定	内	容	
排水構造物工	1	現場打ち集水桝・街	<b>行渠桝(本</b>	体)			
(現場打ち集水 桝・街渠桝(本体))		コンクリート打談	比法	1箇所当り	コンクリート使用量		作業日当り 標準作業量
				0.20m³以	上 0.22m³以下		4 箇所/日
				0.22m³を走	習え0.38m³以下		3 箇所/日
		バックホウ		0.38m³を走	習え0.77m³以下		2 箇所/日
		(クレーン機能付)	打設	0.77m³を起	習え1.03m³以下		1 箇所/日
				1.03m³を起	習え1.80m³以下		2 箇所/日
				1.80m³を起	習え3.42m³以下		1 箇所/日
				0.20m³ 以	上 0.36m³以下		3 箇所/日
				0.36m³を走	習え0.69m³以下		2 箇所/日
		人力打設		0.69m³を走	習え1.03m³以下		1 箇所/日
				1.03m³を走	習え1.29m³以下		2 箇所/日
				1.29m³を走	習え3.42m³以下		1 箇所/日
		基礎材 2. 各作	   設置の作   業間の重複	当り標準作業量に 業を含む。 夏作業は考慮して 湯,施工条件等に	いない。		型枠設置・撤去,
	(	参考) 各作業単独の場	景合の作業	量			
				作業名			作業日当り 標準作業量
		基礎材設置					155 m²/日
		型枠設置・撤去(1箇	所当りコン	/クリート使用量	1.03m³以下)		15 m²/日
		型枠設置・撤去(1箇	所当りコン	/クリート使用量	:1.03m³超え)		38 m²/∃
			バックオ	マウ (クレーン機	能付)打設		8 m³/日
		コンクリート打設		设(1箇所当りコンクリ			5 m³/日
			人力打討	设(1箇所当りコンクリ	-ト使用量1.03m³	超え)	4 m³/日

工種名			1	定	内	容	
サンドマットエ	1	サンドマット	·				
		作業日当り	標準作業量	<u> </u>	328	m <sup>3</sup> /日	
粉体噴射撹拌工(D	1	粉体噴射撹拌					
J M工法)		1日当り杭施工本数	~B [B (i)]	<i>tt -t</i> 10	T		ett III (lul (d. free )
		打設長0	現場制 (単軸		打設县	Ēℓ	現場制約無し (二軸施工)
		3m を超え 6m 未満	14 🕏	三/日	3m を超え (	6m 未満	28 本/日
		6m 以上 10m 未満	10 🕏	5/日	6m 以上 10	Om 未満	22 本/日
		10m以上 14m 未満	7 4	5/日	10m以上 1	5m 未満	16 本/日
		14m以上 17m 未満	6 4	5/日	15m 以上 20	0m 以下	12 本/日
		17m以上 20m以下	5 4	5/日	20m を超え 2	27m 未満	10 本/日
					27m 以上 :	33m 以下	8 本/日
		(注) 1. 施工本数は杭門 作業のものであ		位置決め	,貫入,引抜き	(改良材質	質射) までの一連の
		2. 二軸施工の1		工本数は	1, 1軸当り1本	とする。	
		July 11 mag de 1 10V 1015 - 100 4 march					
	2	粉体噴射撹拌(移設) 施工方法		/ <del>仁</del> 型	美日当り標準作業	<b>华</b> 县	
		単軸施工		TEX	1.7 回/日	三里	
		二軸施工			1.4 回/日		
					11 1 july 11		
	3	粉体噴射撹拌(軸間変更	更)				
		作業日当り標準作	業量		0.77 回/日		
スラリー撹拌工	1	スラリー撹拌工 ・・・	該当工種	の基準内に	こ記載。		
	2	スラリープラント現場に	内移設				
		作業日当り標準作	業量		0.71 回/日		
高圧噴射撹拌工	該当	4工種の基準内に記載。					
中層混合処理工	該当	4工種の基準内に記載。					

工種名 薬液注入工 ① 二重管ストレーナ工法(単相) ・・・ 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照。 施工条件の例 セット数:4セット 削 孔 工:9.5m 土被り:7.0m 注入量:8000 土 質:砂質土 作業日当り標準作業量 12 本/日 ② 二重管ストレーナ工法(複相) ・・・ 該当工種の計算式(1日当り施工本数)を参照。 施工条件の例 セット数:4セット 削孔工:11.0m 土被り: 7.0m 注 入 量: 一次注入・・8000 二次注入・1,2000 土 質:砂質土 作業日当り標準作業量 7 本/目 ③ 二重管ダブルパッカー工法 ・・・ 該当工種の計算式 (1日当り施工本数)を参照。 施工条件の例 セット数:2セット(削孔)4セット(一次・二次注入) 削孔工:16.5m 土被り: 6.0m 注入量: 一次注入・・5300 二次注入·3,3000 土 質:砂質土 業 名 削 孔 二次注入 一次注入 作業日当り標準作業量 5 本/日 20 本/日 4 本/日 (注) 上表の作業日当り標準作業量は、機械準備・移動から引抜き・器具洗浄までの 作業である。 ④ 注入設備据付·解体 作業日当り 注入方式 セット数 標準作業量 0.45 現場/日 2セット 二重管ストレーナ工法 4セット 0.34 現場/日 0.67 現場/日 1セット 二重管ダブルパッカー工法(削孔) 2セット 0.67 現場/日 二重管ダブルパッカー工法(注入) 4セット 0.31 現場/日 ⑤ 注入設備移設 作業日当り 注入方式 セット数 標準作業量 2セット 0.73 回/日 二重管ストレーナ工法 4セット 0.50 回/日 1セット 1.0 回/日 二重管ダブルパッカー工法(削孔) 1.0 回/日 2セット 二重管ダブルパッカー工法(注入) 4セット 0.48 回/日

	1							
工 種 名		設		定	内		容	
アンカー工 (ロータリーパーカッ	① 削孔(7	<b>アンカー)</b>	1		/一米: ロ \/ //	↓ ★無 沙供 / 佐	**************************************	١
ション式)	方式	足場の 有無	呼び径	粘性土	は哲士	玉石	H/7-111	硬岩
			90 mm	砂質土 48	32	混り: 22	<u> </u>	
		有り	115 mm	33	26	18		
	))/ h-h-	(スキッド型)	135 mm	26	22	15	_	_
	単管	<i></i>	90 mm	53	36	24	_	_
		無し (クローラ型)	115 mm	37	29	20	_	_
		(/* /±/	135 mm	29	24	17	_	_
			90 mm	45	30	21	26	20
		有り	115 mm	28	23	16	20	16
		(スキッド型)	135 mm	22	18	14	15	13
	二重管		146 mm	19	16	12	14	10
	一里日		90 mm	50	33	24	29	22
		無し	115 mm	31	26	18	22	18
		(クローラ型)	135 mm	24	20	15	17	14
			146 mm	21	18	14	15	11
	2. 和 3. 車 4. 沪	-表の作業日当 更岩は、コンク 云石等土質条件 E水処理が必要 -鋼材加工・組	リートを含 が上表区分 な場合は,	む。 心に適用し 別途計上	ないと判断さ する。	される場	景合は, 別途	
		业间4万万日工。 水日	立 1甲八。	光灰 足	1年 项印及5	至 () ク	作業日当り	標準作業量
	防食方式	アンカー 鋼材種類	削孔長	È	設計荷重	_	(本) 頭部処理 有り	/日) 頭部処理 無し
				f	<400kN		3. 1	3. 4
			10m 以F	内 40	00≦f<1300k	κN	2. 5	2.8
		PC 鋼線		13	300≦f<2000	)kN	2. 2	2. 4
		より線		f	<400kN		2. 7	2. 9
			10m を超;	える 40	00≦f<1300k	κN	2. 5	2.8
				13	300≦f<2000	)kN	2. 2	2. 4
		PC 鋼線		f	<400kN		6. 4	8.3
	一壬叶ム	上的如		4.0	00/0/10001	N.T.	- 0	7 1

10m 以内

10m を超える

400≦f<1300kN

 $1300 \le f < 2000 kN$ 

 $400 \le f < 1300 kN$ 

 $1300 \le f < 2000 kN$ 

 $400 \le f < 1300 kN$ 

 $1300 \le f < 2000 kN$ 

f < 400kN

 $f\!<\!400kN$ 

7. 1

5. 1

6.0

5.0

3.8

5.5

4.7

3.6

5.8

4.3

5.0

4.3

3.3

4.6

4. 1

3.2

二重防食

より線

(工場組立)

複合 PC

鋼線

より線束

工 種 名			設	定	内	容	
アンカー工	_						
(ロータリーパーカッ ション式)		防食方式	アンカー	削孔長	設計荷重	作業日当り (本/	-
		例及刀式	鋼材種類	HILL	灰町門里	頭部処理 有り	頭部処理 無し
				10m 以内	f<400kN	3. 7	4. 3
		二重防食	PC 鋼棒	10111 5271	400≦f<1300kN	3. 5	3. 9
		一里的段	PU 퀮(辛	10m を超える	f<400kN	3. 7	4. 3
				10m を起える	400≦f<1300kN	3. 5	3. 9
					f<400kN	4. 2	5. 0
				10m 以内	400≦f<1300kN	3. 2	3. 6
			PC 鋼線 より線		1300≦f<2000kN	2. 2	2. 4
					f<400kN	4.0	4. 6
				10m を超える	400≦f<1300kN	2.9	3. 2
					1300≦f<2000kN	2. 2	2. 4
		簡易防食	PC 鋼線		f<400kN	6. 9	9. 0
			より線	_	400≦f<1300kN	6. 1	7. 6
			(工場組立)		1300≦f<2000kN	4. 5	5. 4
				10m 以内	f<400kN	4. 6	5. 5
			PC 鋼棒	10111 5/19	400≦f<1300kN	4. 1	4. 7
			『し 到竹争	10 ナ.却 ラ フ	f<400kN	4. 4	5. 2
				10m を超える	400≦f<1300kN	3. 9	4. 5
	. ,	(会本) 友际	来出述で指令	の <i>は</i> 光 見			

## (参考) 各作業単独の場合の作業量

(1) アンカー鋼材加工・組立・挿入

1) 削孔長:10m以内

1) Hill				
		作業日	当り標準作業量	(本/日)
防食	種 別		設計荷重(f)k	N
		f <400	400≦ f <1,300	1,300≦ f <2,000
	PC 鋼線より線	5	4	4
二重	複合 PC 鋼線より線束	13	11	10
	PC 鋼棒	7	7	_
簡易	PC 鋼線より線	9	6	4
间勿	PC 鋼棒	11	10	_

## 2) 削孔長: 10m 超え 20m 以内

		作業日	当り標準作業量	(本/目)
防食	種 別		設計荷重(f)k	:N
		f <400	400≦ f <1,300	1, 300≦ f <2, 000
	PC 鋼線より線	4	4	4
二重	複合 PC 鋼線より線束	11	10	9
	PC 鋼棒	7	7	_
簡易	PC 鋼線より線	8	5	4
间勿	PC 鋼棒	10	9	_

工種名     設 定 内 容       アンカーエ (ロータリーパーカッション式)     防食     イ業日当り標準作業量 (本/日)       防食     種別     作業日当り標準作業量 (本/日)       防食     種別     日本 (本/日)       財務     日本 (注)     日本 (注)       財務     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)       財務     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)       財務     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)     日本 (注)       財務     日本 (注)     日本	2,000
(ロータリーパーカッション式) 防食 種 別 作業日当り標準作業量 (本/日) 設計荷重 (f) kN	2,000
ション式)     防食     種別     設計荷重(f)kN       「大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	2,000
f < 400     400 ≤ f < 1,300     1,300 ≤ f <       PC 鋼線より線     4     4     4       二重     複合 PC 鋼線より線束     10     9     8       PC 鋼棒     6     6     -       簡易     PC 鋼棒     7     5     4       PC 鋼棒     9     8     -       (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	2,000
二重     複合 PC 鋼線より線束     10     9     8       PC 鋼棒     6     6     -       簡易     PC 鋼棒     7     5     4       PC 鋼棒     9     8     -       (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	
PC 鋼棒     6     6     -       簡易     PC 鋼線より線     7     5     4       PC 鋼棒     9     8     -       (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	
PC 鋼線より線     7     5     4       PC 鋼棒     9     8     -       (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	
簡易     PC 鋼棒     9     8     -       (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	
PC 鋼棒 9 8 - (注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。	
2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、	
	腐食
護が二重になされていない簡易なものをいう。	1. <del>4</del> 7.
3. PC鋼線より線及びPC鋼棒の現場加工・組立は、シース、防錆材、止 取付である。	.水部(
4. 複合PC鋼線より線束の現地での加工・組立は、スペーサの取付けで	あろ.
	17 000
(2) アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)	
1) 削孔長:10m以内	
作業日当り標準作業量(本/日)	
防食	
$f < 400$ $400 \le f < 1,300$ $1,300 \le f < 1,300$	2, 000
二重     PC 鋼線より線     33     33       第日     PC 倒線 k lo kg     50     50	
簡易   PC 鋼線より線   50   50	
2)削孔長:10m 超え 20m 以内	
作業日当り標準作業量(本/日)	
防食種別設計荷重(f)kN	
f <400 400 f <1,300 1,300 f <	2,000
二重 PC 鋼線より線 23 23 23	
簡易 PC 鋼線より線 30 30 30	
3) 削孔長:20m 超え	
作業日当り標準作業量(本/日) 防食 種 別 設計荷重(f)kN	
防食   種 別   設計荷重 (f) kN   f < 400   400 ≤ f < 1,300   1,300 ≤ f <	2 000
二重   PC 鋼線より線   19   19   19	
簡易   PC 鋼線上り線   23   23   23   23	
簡易     PC 鋼線より線     23     23       (注) 1     L表け、租場内小海螂を含む。	
(注) 1. 上表は、現場内小運搬を含む。	 [. 腐1
	t, 腐1
(注) 1. 上表は,現場内小運搬を含む。 2. 二重防食とは,腐食防護が二重になされたものをいい,簡易防食とは	t, 腐1
(注) 1. 上表は、現場内小運搬を含む。 2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは 防護が二重になされていない簡易なものをいう。	 は,腐1
(注) 1. 上表は、現場内小運搬を含む。 2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは防護が二重になされていない簡易なものをいう。	上,腐1

 工 種 名		設	ı	 定	内	容	
アンカーエ	(	(3) 緊張・定着・頭部		^_	1 4	- ш	
(ロータリーパーカッ	]		イルキャッ	作業	日当り標準作業量	(本/日)	
ション式)			こよる頭部		設計荷重 (f)		
		処理	<b>├</b>	f <400	400≦ f <1, 300		2,000
		クサビ及び	有り	8	7	5	
		ナット	無し	11	9	6	
	(3)	グラウト注入(アンス	7-)			-1	
		作業日当り標準		3. 9	m <sup>3</sup> /日		
	4	ボーリングマシン移記	殳(アンカー)				
		作業日当り標準	準作業量	2. 9	回/日		
	⑤	足 <u>場(アンカー)</u>					
		作業日当り標準	準作業量	足場量 4	4 空 m³/日		
構造物とりこわし工	1	コンカリー・レオーカ					
<b>特担物とりこわし上</b>	(1)	コンクリートはつり 平均はつり	Į.	作業日当り標	<b>淮作</b> 業量		
		3cm 以下	,	21 m <sup>2</sup> /			
		3cm を超え 6cm.	以下	13 m <sup>2</sup> /			
	_			10 111 /	H		
	2	積込(コンクリート売			/ // / 無)性//	1dr ===	$\neg$
		作業			当り標準作業量	摘要	4
	<u> </u>	とりこわしコンク	リート殻積込 	<u> </u>	30 m³/目		<u> </u>
コンクリート削孔工	1	コンクリート削孔(電					
		適用削孔径		削孔深	作業日当り村		
		10㎜以上		:200mm 未満		孔/目	
		30mm 未満	200mm 以_	上400mm 以下	63 3	孔/目	
	(2)	コンクリート削孔(さ	く岩機)				
		適用削孔径			作業日当り	票準作業量	
				上 200mm 未満	67 E		
				上 300mm 未満		1/日	
				上 400mm 未満	-	1/日	
		30mm以上		上 600mm 未満	-	孔/日	
		60mm 未満		上800mm 未満		孔/日	
				800mm以上1,000mm未満		L/日	
				上1,100以下	17 3		
			1,00011111	1,100 8/1	11 7	u/ H	
	3	コンクリート削孔(コ	_		1		
		適用削孔径		削孔深	作業日当り		
				:200mm 未満		孔/目	
		60mm以上	-	上400mm 未満	9.2 3		
		100mm 大上 100mm 未満	400mm以_	上600mm 未満	7.4 4	1/日	
		T O OTHER VIOLET	600mm以_	上800mm 未満	6.2 3	1/日	
			800mm 以上	: 1, 100mm 以下	5.1 3	1/日	
		100mm以上	50mm以上	:200mm 未満	12 A	1/日	
		200mm以下	200mm以_	上400mm 以下	9.2 3		
					1		

	1			
工種名	(1) B	設	定内	容
ガス切断工		ス切断工 名 称	作業日当り標準作業	<b>县</b> ·
			13 箇所/日	里
		 H 鋼 杭	14 箇所/日	
			26 箇所/日	
		Los etc. at the per		
吸出し防止材設置工	① 吸	出し防止材設置		
		作業日当り標準作業量	474 m <sup>2</sup> /日	
				<u></u>
   目地・止水板設置工	① E1	 也・止水板設置工		
7.6 11.77		作業名	作業日当り標準作業	量
		目 地 板	14 m <sup>2</sup> /日	
		 止 水 板	14 m/日	
	"	·		
旧橋撤去工	① 高村	闌撤去		
		作業日当り標準作業量	131 m/日	
			 量とは高欄の実撤去延長である	) <sub>0</sub>
		2. 作業日当り標準作業量	<b>遣</b> は,高欄の切断から運搬車両	可への積込みまでであり,
		運搬については別途計	上する。	
	0 7	スファルト舗装版破砕・積込み	,	
		作業日当り標準作業量	32 m³/日	
		(注) 上表の適用範囲の対象数	量は、アスファルト舗装版の	みの体積である。
	③ 床	版1次破砕・撤去		
		作業日当り標準作業量	18 m³/目	
				A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
		(注) 上表の適用範囲の対象数	重は,床版の体積である。なれ 欄含む)の場合についても対	
		0、4マグダード同梱(空向)		<b>然效里に占む。</b>
	④ 床	版1次及び2次破砕・撤去		
		作業名	作業日当り標準作業	量
		1 次破砕	18 m³/日	
		2 次破砕	$127 \text{ m}^3/\boxminus$	
		(注) 1. 1 次破砕の作業内容は		1 次仮置場に仮置する,
		もしくは直接積込む作		トフ 00 ソ 00 和広ナボ
		2.2 次破砕の作業内容はの破砕及び積込みであ	1, 1 次破砕後の床版を, おお。 ス	よて 30cm× 30cm 住及より
			Ψ,	
	⑤ 桁	1 次切断・撤去		
		作業日当り標準作業量	26 t/目	
		(注) 桁1次切断・撤去の作業	 は,桁材の撤去及び積込みで	」 ある。
<u> </u>				

工 種 名		設		内容
旧橋撤去工	6	析1次及び2次切断・撤		
		作業名	作業日当り標準作業	量
		桁1次切断・撤去	26 t/日	
		2 次切断	37 t/日	
			散去の作業は、桁材の撤去	
		2.2次切断の作業	だは, 切断, 積込みである	0
	7	アスファルト塊運搬	ı	tt alle = ale a
		DID区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
			0.3km 以下	125
			0.5km 以下	111
			1.0km 以下	100
			1.5km 以下	83
			2. 0km 以下	77
			3. 0km 以下	63
			4. 0km 以下	56
		無し	5. 5km 以下	45
			6.5km 以下	38
			7.5km 以下	33
			9.5km以下 11.5km以下	29 26
			15.5km以下 22.5km以下	21 17
			49. 5km 以下	13
			60. 0km 以下	8
			0. 3km 以下	125
			0.5km 以下	111
			1. 0km 以下	100
			1. 5km 以下	83
			2. 0km 以下	77
			3.0km 以下	63
			3.5km 以下	56
		有り	5. 0km 以下	45
		有り	6.0km 以下	38
			7.0km 以下	33
			8.5km 以下	29
			11.0km 以下	26
			14.0km 以下	21
			19.5km 以下	17
			31.5km 以下	13
			60.0km以下	8
	8	床版運搬		
		運搬距離	作業日当り標準作業量(m³	7/日)
		0.7km 以下	50	
		2.2km 以下	33	
		5.0km 以下	20	
		7.9km 以下	14	
		12.1km 以下	10	
		17.8km 以下	7	
		25.0km 以下	5	
		34.9㎞以下	4	
		47.8km以下	3	
		60.0km 以下	2	

工種名			設	定	内	容		
かごエ	1	かご工	ĮĮ,	<i>X</i> L	1.1	70'		
		かご種類	かご寸	法	作業日当り 標準作業量		摘	Ħ,
		じゃかご	φ 45 α	em	56 m/∃			
		U 16 % C	φ 60α		31 m/∃			
		> 1. + .2. = °	高さ 40cm×		27 m/日			
		ふとんかご	高さ 50cm× 高さ 60cm×		21 m/日 18 m/日			
		   (注) 撤去の作						
			KI J / M I II /	KE100, 112				
	2	止杭打込 作業日当り	標準作業量		17 本/日			
		117147	の標準作業量は,	 普通作業員				
発泡スチロールを用い	(1)	発泡スチロール設	岩及が降面は数	·罟				
た超軽量盛土工			業 名		当り標準作業量	t		
			コール設置	71770	42 m³/日			
			才設置		65 m²/日			
			チロール設置に			)緊結金	具設置	作業及び
			の発泡スチロー/ 設置には壁面材			送売状れ	百立() ァ 田	仕ける
			双直には空間的 急しプレートのB			至田(4)1	公正して日文	111) 3
		> 0. 112 1 17		V-1, V-7, 11, 214 C	1 00			
	2	コンクリート床版						
			<b>差</b> 名	作業日	当り標準作業量			
		コンクリートオ	ポンプ車打設		29 m³/日			
	(3)	支柱設置						
			標準作業量		18 本/目			
	4	裏込砕石(軽量盛						
			この割合	作業日	当り標準作業量	<u> </u>		
			工無し		38 m³/日			
			<u>以下</u> え0.2以下		33 m³/日 27 m³/日			
			<u> </u>		22 m³/日			
			え0.4以下		19 m³/日			
		0.4を超2	え0.5以下		17 m³/∃			
			え0.6以下		15 m³/日			
			え0.7以下		13 m³/日			
			え0.8以下 え0.9以下		12 m³/日 11 m³/日			
			え1.0以下 え1.0以下		11 m/口 10 m³/日			
***					/ 12			
現場取卸費	1	現場取卸費	- <i>b</i>	[⊬-¥K- ↦	N V 世深Iと来 ロ			
		作業		作業日	当り標準作業量			
		現場取卸 現場取卸			141 t/日 11 本/日			
		現場取卸			244 t/日			
		_			,			
骨材再生工(自走式)	1	自走式破砕機設置		【►·补► □	小心裡涂心茶目			
		作業設置又			当り標準作業量 3.4 回/日			
		設置・			3.4 回/ ロ 1.7 回/ 日			
		ᆈᄾ	11/1	<u>I</u>				
	2	骨材再生工 · · ·	該当工種の基準	<b>準内に記載。</b>				
	1							

工種名			内	容
函渠工(1)	① 函渠	χ		, H
		内空寸法「(幅×	(高さ)」	作業日当り 標準作業量
	幅:1.0m以	上 2.5m 未満かつ高る	さ:1.0m以上2.5m未	満 2.0 m³/日
	幅:2.5m以	上 4.0m 以下かつ高る	さ:1.0m以上2.5m未	満 3.4 m³/日
	幅:1.0m以	上 2.5m 未満かつ高る	き:2.5m以上4.0m以	下 3.5 m³/目
	幅:2.5m以	上 4.0m 未満かつ高る	き:2.5m以上4.0m以	下 3.9 m³/日
	幅:4.0m以	上 5.5m 未満かつ高る	さ:2.5m以上4.0m未	満 5.0 m³/目
	幅:5.5m以	上 7.0m 以下かつ高る	さ:2.5m以上4.0m未	満 5.9 m³/日
	幅:4.0m以	上 5.5m 未満かつ高る	さ:4.0m以上5.5m未	満 6.5 m³/日
	幅:5.5m以	上 7.0m 未満かつ高る	さ:4.0m以上5.5m未	満 7.5 m³/日
	幅:7.0m以	上 8.5m 未満かつ高る	き:4.0m以上5.5m以	下 8.5 m³/目
	幅:8.5m以	上 10.0m 以下かつ高	さ:4.0m以上5.5m以	以下 10.0 m³/目
	幅:4.0m以	上 5.5m 未満かつ高る	き:5.5m以上7.0m以	下 7.2 m³/目
			き:5.5m以上7.0m以	
	<ul> <li>基礎材型ク製・サスク型を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を</li></ul>	敷均し・転圧   枠製作・設置,撤去 リート打設・養生   作・設置,撤去   上・組立   置、撤去・支保設置   で業日当り標準作業   (社の有無,足場形式   この有無,足場形式   このも、散水,   ここのも、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	量は、作業の重複を考 、施工場所、ブロック 量は、基礎材敷均し・ に、体組足場又は手摺り 保温を問わず適用す	打設・養生 対慮した1ブロックでの値で ク数を考慮して決定するもの 転圧,均しコンクリート, 先行型枠組足場)にかかわら
函渠工 (2)	① コンクリート(場 作業日当り	所打函渠) 標準作業量	102 m³/日	
函渠工 (3) 大型プレキャストボッ クスカルバートエ	該当工種の基準内に記	載。		

工 種 名		=	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ē P	内 容		
殼運搬	1	殼運搬					
		殼発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)	
					1.6 以下	56	
					3.3 以下	48	
					5.7 以下	40	
					8.0 以下	34	
					10.9 以下	29	
					14.4 以下	25	
				無し	18.5 以下	21	
				<del>////</del> U	23.2 以下	18	
					28.4 以下	16	
					34.3 以下	14	
					41.3 以下	12	
					49.4 以下	10	
		コンクリート			58.8 以下	8. 6	
			(無筋)	機械積込		60.0 以下	8.3
		構造物	1茂(灰(貝))		1.6 以下	48	
		とりこわし			3.3 以下	42	
					5.7 以下	34	
					8.0 以下	30	
					10.9 以下	26	
					14.4 以下	22	
				有り	18.5 以下	19	
				有り	23.2 以下	16	
					28.4 以下	14	
					34.3 以下	12	
					41.3 以下	10	
					49.4 以下	8. 7	
					58.8 以下	7. 5	
					60.0 以下	7. 2	

工種名		. ,	定	内容	
設運搬	殼発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				1.6 以下	45
				3.3 以下	39
				5.7 以下	33
				8.0 以下	28
				10.9 以下	24
				14.4 以下	20
			Aurt 1	18.5 以下	17
			無し	23.2 以下	15
				28.4 以下	13
				34.3 以下	11
				41.3 以下	9. 5
				49.4 以下	8. 1
	コンクリート			58.8 以下	7. 0
	(鉄筋)	機械積込		60.0 以下	6.8
	構造物	/按/K//貝/스		1.6 以下	39
	とりこわし			3.3 以下	34
				5.7 以下	28
				8.0 以下	25
				10.9 以下	21
				14.4 以下	18
			有り	18.5 以下	15
			11.0	23.2 以下	13
				28.4 以下	11
				34.3 以下	9. 6
				41.3 以下	8. 2
				49.4 以下	7. 1
				58.8 以下	6. 1
				60.0 以下	5. 9

工 種 名		設		容	
殼運搬					
	殼発生作業	積込工法 区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				0.5 以下	70
				1.0 以下	64
				2.0 以下	55
				2.5 以下	48
				3.5 以下	43
				4.5 以下	37
			無し	6.0 以下	32
				7.5 以下	28
				10.0 以下	25
				13.5 以下	20
		機械積込		19.5 以下	16
		機械傾込 (騒音対策不要,		39.0 以下	12
	舗装版破砕	舗装版厚		60.0 以下	8
	胡表似似件	15cm 超え)		0.5 以下	70
		または (騒音対策必要)		1.0 以下	64
		(触百刈水必安)		1.5 以下	55
				2.0 以下	48
				3.0 以下	43
				4.0 以下	37
			有り	5.5 以下	32
				7.0 以下	28
				9.0 以下	25
				12.0 以下	20
				17.5 以下	16
				28.5 以下	12
			Ī	60.0 以下	8
			•		

I	種	名			内		
殻運搬		H	殻発生作業	積込工法区分	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量
				Δ.U.W.		(m³/日) 32	
						0.3 以下	28
						1.5 以下	25
					 無し	3.5 以下 6.5 以下	20
						11.5 以下	16
				LUL I Northead		22.0 以下	12
				機械積込 (騒音対策不要,		60.0 以下	8
				舗装版厚		0.3 以下	32
				15cm 以下)		1.5 以下	28
						3.5 以下	25
					有り	6.0 以下	20
						10.5 以下	16
						19.5 以下	12
						60.0 以下	8
						0.3 以下	17
						1.0 以下	15
						1.5 以下	13
						2.5 以下	11
						3.0 以下	10
						3.5 以下	9
			舗装版破砕		無し	4.5 以下	8
						5.5 以下	7
						7.0 以下	5
						9.0 以下	4
						12.0 以下	3
						28.5 以下	3
				+%+		60.0 以下	2
				機械積込 (小規模土工)		0.3 以下	17
						1.0 以下	15
						1.5 以下	13
						2.5 以下	11
						3.0 以下	10
						3.5 以下	9
					± 10	4.5 以下	8
					有り	5.0 以下	7
						6.5 以下	6
						8.0 以下	5
						11.0 以下	4
						15.0 以下	3
						24.0 以下	3
						60.0 以下	2

工種名		設定	内			
<b></b>		,=			作業日当り	
	殼発生作業	積込工法区分	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	標準作業量 (m³/日)	
				0.5 以下	63	
				1.0 以下	48	
				1.5 以下	42	
				2.0 以下	36	
				2.5 以下	32	
				3.5 以下	29	
				4.5 以下	23	
			無し	6.0 以下	23	
			<del>ж</del> С	7.0 以下	18	
				8.5 以下	16	
				9.0 以下	14	
				10.5 以下	13	
				13.5 以下	11	
				18.0 以下	9	
				27.5 以下	7	
	吹付法面			60.0 以下	5	
	とりこわし	機械積込	機械積込		0.5 以下	59
	(モルタル)			1.0 以下	48	
				1.5 以下	42	
				2.0 以下	36	
				2.5 以下	30	
				3.5 以下	27	
				4.0 以下	23	
				5.0 以下	22	
			有り	6.0 以下	18	
				7.0 以下	16	
				8.0 以下	14	
				9.0 以下	13	
				12.0 以下	11	
				16.0 以下	9	
				23.0 以下	7	
				43.0 以下	5	
				60.0 以下	4	

工種名		設	定	内	容
鋼管・既製コンクリート杭打工	1	鋼管・既製コンクリー	卜杭打工		•
(パイルハンマエ)			· · · 該当工種(	の計算式(10:	本当り施工日数)を参照
	2	鋼管杭杭頭処理溶接工			
		鋼管杭板厚	Į.	作業日	当り標準作業量
		8∼10mm			26 m/日
		12mm			15 m/日
		14mm • 16mm	n		8.9 m/日
Noticher DIT #11	コナハハ	· ア任のコ	10 <del>11</del>	÷ +> 177	
鋼管・既製コンクリート杭打工 (中掘工)	該当	i工種の計算式(10 本当	り施工日奴)を	ど参照。	
鋼管・既製コンクリート杭打工 (回転杭工)	該当	工種の計算式(10 本当	り施工日数)を	<b>上参照</b> 。	
鋼管ソイルセメント杭工	該当	江種の計算式(1 本当り	)施工時間)を	参照。	
場所打杭工(全回転式オールケーシング工)	1)	基礎杭工 ・・・ 該当コ	<b>工種の計算式(</b>	1 本当り施工日	1数)を参照。
<b>マン</b> / 土/	2	杭頭処理			
		設計杭径		作業日	当り標準作業量
		1,000mm		6	.3 本/日
		1, 100mm		5	.9 本/日
		1,200mm		5	.6 本/日
		1,500mm		4	.3 本/日
		2,000mm		3	. 2 本/日
	-1			ti ma	
場所打杭工 (リバースサーキュレーション工)		工種の計算式(1 本当			
場所打杭工 (アースオーガ工, 硬質地盤用アースオーガエ)	該当	工種の計算式(10 本当	り施工日数)を	上参照。	
場所打杭工(大口径ボーリング	1	場所打杭工(大口径ボ			
マシン工)		めかと 乳里 樹士	· · · 該当工種	の計算式(1)	本当り施工日数)を参照
	2	やぐら設置・撤去 施工方法		作業日	当り標準作業量
		ラフテレーンクレ	ーン使用		1.0 回/日
		索道使用			67 回/日
		<b>水足区</b> /13			V. Ш/ Р
場所打杭工(ダウンザホールハ	(1)	場所打杭工(ダウンザ	ホールハンマT	-)	
場所打机工 (タワンリホールバーンマエ)		勿川1170年(クソイリ)			本当り施工日数)を参照
,	2	やぐら設置・撤去	F/\ -1 1=	- HIDIPY (17	1 - 7 / C - 2/1 2/1 C 2/11
		施工方法		作業日	当り標準作業量
		ラフテレーンクレ	ーン使用		1.0 回/日
					67 回/日

工 種 名	設		容	
深礎工	2	の計算式(1本当り施工日達		
	② グラウト注入工			
	作業日当り標準作業	县 20	m <sup>3</sup> /日	
	11・未日ヨリ保事11・未	里 20	Ш/Н	
	③ 掘削作業設備組立・解体 (	(C工法のみ)		
	杭径	作業日当り標準作業量	備考	
	1.5m 以上 2.5m 未満	1.7 本/日		
	2.5m以上3.0m未満	1.1 本/目	本:深礎杭1本	当り
	3.0m 以上 4.5m 以下	0.83 本/日		
コンクリート工	① コンクリート打設(深礎工			
(深礎工)	打 設 方 法	設計日打設量区分	作業日当り 標準打設量	摘要
	コンクリート	10m³以上100m³未満	69 m³/日	
	ポンプ車打設	100m³以上500m³未満	280 m³/日	
	人力打設	_	4 m³/ ⊟	
	バックホウ(クレーン	_	8 m³/目	
	機能付)打設	     		
	(住) 食土工は、先物、川	型工米件寺により別述与恩	9 <b>3</b> °	
ニューマチック ケーソンエ	④ ブローパイプバルブ調整 作業日当り標準作業	の計算式 (1 本当り掘削量水) 作業量 50 量は, 特殊作業員 1 名の望量は, 特殊作業員 1 名の場質量は, 潜かんエ 1 名の場質該当工種の基準内に記載	t/日 場合。 基/日 合。	
	100mm	67 1		
	150mm	63 1	m/日	
	⑦ 艤装設備組立・解体(1艤装)	<b>士・1</b> 1 フト (ロット) )	<u>'</u>	
	作業日当り標準作業		表・1リフト(ロット)	
	ロスワコノルデバス	1. 0 円/1/1/1/1/2/2	2771 (717	

工種名				内容					
基礎工	1	鋼管矢板打込コ		該当工種の計算式(10本当り施工	<b>L日数)を参照。</b>				
(鋼管矢板基礎工)		Norther Laborator	- (.1.1721.)	manufacture = mileter in the land in the me	. A. H.				
	(2)	鋼管矢板打込工(中掘工法)・・・ 該当工種の計算式(1本当り施工時間)を参照。							
	3	③ 鋼管内掘削工,鋼管内コンクリート打設工,継手管内排土工,							
		継手管内モルタ	タル注入工、継手管内	为止水材注入工,井筒内掘削工,	底面均し(敷砂)工				
				友保設置・撤去工,井筒内支保間	詰コンクリート工				
				式・プレートブラケット方式), 該当工種の基準内に記載。					
		到 目 人似 97时,	1版五上	以 ∃ 工/重♥ノ					
ドロップハンマ杭打工	1	ドロップハンマ							
		杭径	杭長	作業日当り標準作業量					
			2m	38 本/日					
		200mm	3m	33 本/日					
			4m	29 本/日					
			3m	24 本/日					
		250mm	4m	21 本/日					
			5m	18 本/目					
			6m	16 本/目					
			3m	15 本/目					
		300mm	4m	12 本/目					
			5m	10 本/日					
			6m	8.8 本/目					
四年山,入、石川、八上上		四年1.一、	14. 1.1.						
既製コンクリート杭 カットオフエ	(1)		<u>- ト杭カットオフエ</u> 杭 径	作業日当り標準作業量					
77 / 1 / 2 L			00~450mm	5.9 本/日					
		φ 500~600mm		3.4 本/日					
		· ·	00~800mm	2.4 本/日					
		T							
泥水運搬工	1	汚泥吸排車運輸	<u> </u>						
		DID 区間		作業日当り					
		の有無	運搬距離	標準作業量					
			2. 0km 以下	45 m³/日					
			6. 3km 以下	38 m³/日					
		無し	14.8km 以下	31 m³/日					
		,,,, o	25. 7km 以下	23 m³/日					
			60.0km 以下	15 m³/日					
			1.9km 以下	45 m³/日					
			5.9km 以下	38 m³/日					
		有り	13.1km 以下	31 m³/日					
		'* '	22.6km 以下	23 m³/日					
			60.0km 以下	15 m³/日					
				,					
<u> </u>									

工種名			· 定	•	内	容		
コンクリート工	1	コンクリート						
		構造物区分	打 設 方 沿	去 設計 打設量[		作業日当り 標準打設量		摘要
			コンクリート	10m³以上10	Om <sup>3</sup> 未満	69 m³/日		
		無筋・鉄筋構造物	ポンプ車打設	100m3以上50	0m <sup>3</sup> 未満	280 m³/日		
			人力打設			$4 \text{ m}^3/\Box$		
		小型構造物	クレーン車打記	고 _		$6~\mathrm{m}^3/\mathrm{H}$		
		77 至 悟 坦 10	人力打設	_		5 m³/日		
		無筋・鉄筋構造 物・小型構造物	バックホウ (タ レーン機能付) 打設			$8 \text{ m}^3/ ext{B}$		
		(注)養生工は、5	見場,施工条件等	等により別途考	慮する。			
	(2)	モルタル練						
		混合比	Ł	作業日当	り標準作	業量		
		1:1	1	0. (	57 m³/目			
		1:2	2	0.77 m <sup>3</sup> /日				
		1:3			91 m³/日			
		(注) 作業日当り標	[準作業量は,普	通作業員1名	の場合。			
型枠工	1	型枠						
		作業名	対象 様				量	摘要
		型枠の製作・		5筋構造物 38 m²/日				
		設置·撤去	小型草	靠造物 15 m²/日				
	2	撤去しない埋設型	卆					
		施工区		作業日当	り標準作	業量		
		床版語	部		0 m <sup>2</sup> /日			
		支承部・注	連結部	5	0 m <sup>2</sup> /日			
型枠工(省力化構造)	1	型枠(鉄筋構造)〔	[省力化構浩]					
		作業日当り標		31	m <sup>2</sup> /日			
		日本日コノ切	八十八八五		. ш / н			
溶接金網設置工	1	溶接金網設置工						
		作業日当り標			) m <sup>2</sup> /日			
		(注) 作業日当り標	準作業量は、普	通作業員1名	の場合。			

工種名			定	内	 容			
張りコンクリートエ	(1)	型枠工	, <u>,</u>	L 1				
		対象構造物	竹	業日当り標準作	業量			
		縦排水溝		8 m <sup>2</sup> /日				
		小段排水溝		8 m <sup>2</sup> /日				
		防草コンクリート		15 m²/日				
	2	コンクリート打設						
		対象構造物	打	設方法	作業日当り標準作業量			
		6/24 LL 1 . 7±b	バッ	ックホウ	33 m²/目			
		縦排水溝 	ラフテレ	ーンクレーン	43 m <sup>2</sup> /日			
		r cm.Lit. 1. VHz	バッ	ックホウ	65 m²/∃			
		小段排水溝	ラフテレ	ーンクレーン	85 m <sup>2</sup> /日			
		Diete being	バッ	ックホウ	113 m²/目			
		防草コンクリート	人	力	73 m <sup>2</sup> /日			
	(	注)1. 目地材設置は,コン 2. 養生工は,現場,施			)			
バイブロハンマエ	1	継施工なし ・・・ 該当工種	の基準内に記	載。				
		40446			V T ~ N L W ) . A A III			
バイブロハンマエ (軽量鋼矢板打込引抜工)		<ul><li>継施工あり・・・ 該当工種</li><li>工種の計算式(1枚当り施工</li></ul>			<b>以及い平数)を</b> 参照。			
	**							
油圧圧入引抜工	1	・継施工なし ・・・ 該当工			女数)を参照。			
油圧圧入引抜工		<ul><li>・継施工なし ・・・ 該当工</li><li>・継施工あり ・・・ 該当工</li></ul>	種の計算式(		女数)を参照。			
油圧圧入引抜工		・継施工なし ・・・ 該当工	種の計算式( な体	1 日当り継施工権				
油圧圧入引抜工		<ul><li>・継施工なし・・・ 該当工</li><li>・継施工あり・・・ 該当工</li><li>油圧式杭圧入引抜機据付・角</li></ul>	種の計算式( な体					
油圧圧入引抜工		・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作				
油圧圧入引抜工		・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分 圧入 (Nmax≦25) 圧入 (Nmax≤50)	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日				
油圧圧入引抜工		・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分 圧入 (Nmax≦25) 圧入 (Nmax≦50) 圧入 (50 <nmax≦600)< td=""><td>種の計算式( な体</td><td>1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日 0.91 回/日</td><td></td></nmax≦600)<>	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日 0.91 回/日				
油圧圧入引抜工		・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分 圧入 (Nmax≦25) 圧入 (Nmax≤50)	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日				
鋼矢板工(アースオー	2	・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分 圧入 (Nmax≦25) 圧入 (Nmax≦50) 圧入 (50 <nmax≦600)< td=""><td>種の計算式( な体</td><td>1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日 0.91 回/日</td><td></td></nmax≦600)<>	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日 0.91 回/日				
<ul><li>油圧圧入引抜工</li><li>鋼矢板工 (アースオーガ併用圧入工)</li><li>鋼矢板工 (クレーン引抜工)</li></ul>	② 該当	・継施工なし ・・・ 該当工 ・継施工あり ・・・ 該当工 油圧式杭圧入引抜機据付・解 作業区分 圧入 (Nmax≦25) 圧入 (Nmax≤50) 圧入 (50 <nmax≤600) 引抜き</nmax≤600) 	種の計算式( な体	1 日当り継施工権 業日当り標準作 3.3 回/日 2.0 回/日 0.91 回/日				

工 铥 夕				rkı	 容				
工 種 名 仮設材設置撤去工	(1)		上 上	内	谷				
			作業日当り	標準作業量					
		工種名	設 置	撤去	摘  要				
	-	切梁・腹起し	6.1 t/日	10.2 t/日					
			(10.1 t/目)	(18.3 t/目)					
		タイロッド・腹起し	2.0 t/日	4.6 t/日					
		横矢板	24.8 m²/日	49.3 m <sup>2</sup> /日					
		覆工板・覆工板受桁	$34 \text{ m}^2/\boxminus$	56 m²/日	設置面積 700m²以下				
		覆工板	119.3 m <sup>2</sup> /日	209.2 m <sup>2</sup> /日	設置面積 700m² を超える				
		覆工板受桁	6.2 t/日	10.1 t/日	II.				
	•				準ずる。 :, ( ) 内の値とする。				
足場工	1	足場工		1					
		作業種			り標準作業量				
		手摺先行型枠組足切			<b>卦 m²/日</b>				
		単管足場設置			掛 m <sup>2</sup> / 日				
		単管傾斜足場設	置・撤去	57 🖠	卦 m <sup>2</sup> / 日				
支保工	1	2 -111			1				
		作業種別	作業種別 支信		作業日当り標準作業量				
				$f \leq 40 \text{kN/m}^2$	27 空 m³/日				
		パイプサポート支保設置	パイプサポート支保設置・撤去 f ≦40k		34 空 m³/日				
		40kN/		$/m^2 < f \le 60 \text{kN/m}^2$	15 空 m³/日				
		くさび結合支保設置・	<b>数</b> 士	$f \leq 40 \text{kN/m}^2$	67 空 m³/日				
		くでし帰口文体改画!	40kN/	$/\text{m}^2 < f \leq 80 \text{kN/m}^2$	37 空 m³/目				
締切排水工	(1)	ポンプ据付・撤去							
WI 93.19F7/\	1		₩ <b>目</b> .	1 7 禁元 / F	1				
		作業日当り標準作業量 1.7 箇所/日							
		(注) 上表の作業日当り	標準作業重には	, ホンノ連転は	言まれていない。				
ウエルポイント工	(1)	 ウエルポイントエ							
, , , , , , , , ,	)	作業	名	作業日当り	)標準作業量 摘 要				
		ウエルポイント設置(サン	ドフイルター無)	施工規模100	本未満 37本/日				
					本以上 43本/日 本未満 37本/日				
		ウエルポイント設置(サン	ドフイルター有)		本以上 43本/日				
		ウエルポイント撤去		施工規模100	本未満 56本/日				
		,			本以上 83本/日				
		ウエルポイントポン	プ設置	3	組/日				
		ウエルポイントポン	プ撤去	10	組/日				

工種名		設	定	内	容			
土のう工	(1)	土のう工	<u> </u>		- 位			
1.071		作業内	n 容	作業日当り標準作業量	<u>.</u>			
		仕拵, 積立,		95 袋/日				
			立	133 袋/日				
		撤去		333 袋/日				
			 準作業量は,普通作					
	2	土のう積工	II SHE I SE	Marillo and the second of the	NII. H			
		作業内容	作業内容	作業日当り標準作	業量			
			仕拵, 積立, 撤去	5.6 m <sup>2</sup> /日				
		小口並べ	仕拵, 積立	7.8 m <sup>2</sup> /日				
			撤去	20 m²/日				
			仕拵, 積立, 撤去	6.8 m <sup>2</sup> /日				
		側面並べ	仕拵, 積立	9.5 m <sup>2</sup> /日				
			撤去	24 m²/日				
		(注)作業日当り標	準作業量は,普通作	業員4名の場合。				
大型土のう工	計	当工種の基準内に記						
八至工のフエ	p/	ヨ上煙の茶中川に正	」車又○					
仮橋・仮桟橋工	1	仮橋・仮桟橋工 設調	置・撤去					
		44		標準作業量	摘要			
			設 置	撤去				
		上部	13 t/日	17 t/日	主桁,横桁の質量			
		覆 工 板	109 m²/∃	185 m <sup>2</sup> /日	覆工板の面積			
		高欄(ガードレール型)	24 m/∃	40 m/日	高欄の延長			
		高欄(単管パイプ型)	41 m/∃	78 m/日	IJ			
		橋    脚	8 t/日	10 t/日	注) 2			
		杭 橋 脚	7 t/日	12 t/日	注) 3			
		導 枠	28 本/日(	設置・撤去)	本: 杭橋脚打込 1本当り			
		2. 橋脚, 枕,	路面のすり付作業を含まない。 ブラケット, つなぎ材等の質量 アット, つなぎ材等の質量					
	2	② 杭橋脚打込み・引抜き・・・・ 該当工種の基準内に記載。						
ì								

工 種 名		設	定	内	容	
汚濁防止フェンス工	1	汚濁防止フェンス工				-
		作業区分作業日当り標準作業汚濁防止フェンス設置77 m/日		作業量		
				77 m/日		
		汚濁防止フェンス撤去		111 m/日		
仮囲い設置撤去工	該当	工種の基準内に記載。				
切土及び発破防護柵工	該当	工種の基準内に記載。				
<b>濁水処理工</b>	(1)	濁水処理設備設置撤去				
(一般土木工事)		濁水処理設備能力		作業日当り		
				設置 指		
		30∼60m³/h		0.33 箇所/日	0.50 箇所	<b>f/</b> 目
		$100\mathrm{m}^3/\mathrm{h}$		0.25 箇所/日	0.33 箇所	7/日
敷鉄板設置・撤去工	該当	工種の基準内に記載。				
防塵処理工	該当	工種の計算式(1 回当り作業時	f間)	を参照。		
NI		Personal de la contraction de				
法面工(仮設用モルタ ル吹付工)	1	仮設用モルタル吹付工				
/ / 5人们 工/		作業日当り標準作業量		145 m²/日		
		(注) 1. 目地の設置作業を含む。				
		2. 法面清掃, ラス張工に	は含ま	ない。		

工 種 名			内 容	
消波根固めブロックエ	① 消波根固めブ		, : н	
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
			2.00m²以上2.20m²以下	25
			2. 20m²を超え 2. 40m²以下	23
		0.17m³以上0.23m³以下	2.40m <sup>2</sup> を超え2.60m <sup>2</sup> 以下	22
			2.60m <sup>2</sup> を超え2.80m <sup>2</sup> 以下	20
			2.80m <sup>2</sup> を超え3.00m <sup>2</sup> 以下	19
			2. 20m²以上 2. 43m²以下	22
			2.43㎡を超え2.66㎡以下	21
		0.23m³を超え0.28m³以下	2.66㎡を超え2.89㎡以下	19
			2.89m²を超え3.12m²以下	18
			3.12m²を超え3.35m²以下	17
			2.37m²以上2.64m²以下	20
			2.64m²を超え2.91m²以下	19
		0.28m³を超え0.33m³以下	2.91㎡を超え3.18㎡以下	17
			3.18m²を超え3.45m²以下	16
			3.45m²を超え3.72m²以下	15
	2.5t以下		2.59m²以上2.90m²以下	18
		0.33m³を超え0.39m³以下	2.90m²を超え3.21m²以下	17
			3.21m²を超え3.52m²以下	15
			3.52m²を超え3.83m²以下	14
			3.83m²を超え4.14m²以下	13
			2.81m²以上3.16m²以下	17
			3.16m²を超え3.51m²以下	15
		0.39m³を超え0.45m³以下	3.51m²を超え3.86m²以下	14
		0.00m 2.00/C 0.40m 2x	3.86m²を超え4.21m²以下	13
			4.21m²を超え4.56m²以下	12
			4.56m²を超え4.91m²以下	11
			3. 04m²以上 3. 43m²以下	15
			3.43m²を超え3.82m²以下	14
			3.82m <sup>2</sup> を超え4.21m <sup>2</sup> 以下	13
		0.45m³を超え0.51m³以下	4.21m²を超え4.60m²以下	12
		0. 10m 2./E/C 0. 01m 2/1	4.60m²を超え4.99m²以下	11
			4.99m²を超え5.38m²以下	10
			5.38m²を超え5.77m²以下	9. 6
			5.77㎡を超え6.16㎡以下	9. 0
			2.2.3	

1個当りコンクリート体育	工 種 名		設定	内容	
1個当りコンクリート体育 1個当り型枠面積 標準 3. 25m²以上3. 69m²以下 1 3. 69m²を超え4. 12m²以下 1 4. 12m²を超え4. 45m²以下 1 4. 12m²を超え4. 45m²以下 1 4. 12m²を超え4. 45m²以下 1 3. 50m²以上3. 96m²以下 1 3. 50m²以上3. 96m²以下 1 3. 50m²を超え4. 42m²以下 1 4. 42m²を超え4. 88m²以下 1 4. 42m²を超え5. 34m²以下 1 5. 34m²を超え5. 34m²以下 1 5. 34m²を超え5. 34m²以下 1 4. 78m²を超え5. 32m²以下 1 5. 29m²を超え5. 32m²以下 1 5. 29m²を超え6. 31m²以下 8 4. 78m²を超え6. 31m²以下 8 4. 62m²を超え6. 31m²以下 8 5. 8m²を超え6. 31m²以下 8 6. 30m²を超え7. 74m²以下 9 5. 18m²を超え6. 31m²以下 9 5. 18m²を超え6. 31m²以下 8 4. 4. 62m²を超え7. 74m²以下 9 5. 74m²を超え6. 36m²以下 9 5. 74m²を超え6. 36m²以下 9 6. 14m²を超え6. 36m²以下 7 4. 28m²を超え6. 38m²以下 7 5. 52m²を超え6. 14m²以下 8 6. 14m²を超え6. 75m²以下 7 7. 72m²を超え6. 50m²以下 8 6. 14m²を超え6. 30m²以下 8 6. 14m²を超え7. 38m²以下 7 7. 38m²を超え8. 00m²以下 8 6. 14m²を超え7. 72m²以下 7 7. 27m²を超え7. 72m²以下 7 7. 27m²を超え7. 74m²以下 8 6. 60m²を超え7. 75m²以下 8 6. 60m²を超え7. 75m²以下 9 5. 66m²を超え7. 75m²以下 8 6. 60m²を超え7. 75m²以下 7 7. 72m²を超え7. 75m²以下 6 4. 92m²以上5. 66m²以下 8 6. 93m²を超え7. 75m²以下 6 6. 60m²を超え7. 75m²以下 7 7. 72m²を超え7. 75m²以下 6 4. 92m²以上5. 66m²以下 8 6. 93m²を超え7. 12m²以下 6 6. 93m²を超え7. 12m²以下 6 6. 93m²を超え7. 12m²以下 6 6. 93m²を超え7. 12m²以下 6 7. 12m²を超え8. 58m²以下 8 6. 93m²を超え8. 58m²以下 8 6. 93m²を超え8. 58m²以下 7 7. 12m²を超え8. 58m²以下 8 8. 58m²を超え8. 93m²以下 8 8. 58m²を超え8. 93m²以下 7 7. 12m²を超え8. 93m²以下 7 7. 12m²を超え8. 93m²以下 7 7. 12m²を超え8. 93m²以下 8 8. 58m²を超え8. 93m²以下 6 8. 58m²を超え8. 93m²以下 7 7. 12m²を超え8. 93m²以下 8 8. 58m²を超え8. 93m²以下 7 7. 12m²を超え8. 93m²以下 9 8. 58m²を超え8. 93m²以下 9 9. 58m² 24m² 24m² 24m² 24m² 24m² 24m² 24m² 24	肖波根固めブロック工		T	1	11 NIC - 11 1
3.69m <sup>2</sup> を超え4.12m <sup>2</sup> 以下 1 4.12m <sup>2</sup> を超え4.55m <sup>2</sup> 以下 1 4.50m <sup>2</sup> を超え4.95m <sup>2</sup> 以下 1 4.50m <sup>2</sup> を超え5.41m <sup>2</sup> 以下 1 4.50m <sup>2</sup> を超え5.41m <sup>2</sup> 以下 1 3.90m <sup>2</sup> と程え4.42m <sup>2</sup> 以下 1 3.90m <sup>2</sup> と程え4.42m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え4.42m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え4.42m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え5.34m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え5.34m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え4.88m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え4.88m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え4.88m <sup>2</sup> 以下 1 4.80m <sup>2</sup> を超え5.80m <sup>2</sup> 以下 1 4.20m <sup>2</sup> を超え4.78m <sup>2</sup> 以下 1 4.20m <sup>2</sup> を超え5.20m <sup>2</sup> 以下 1 4.20m <sup>2</sup> を超え5.20m <sup>2</sup> 以下 1 4.20m <sup>2</sup> を超え5.18m <sup>2</sup> 以下 1 4.20m <sup>2</sup> を超え6.30m <sup>2</sup> 以下 8 4.00m <sup>2</sup> 以上4.62m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> 以上5.80m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え5.74m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.80m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.80m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.60m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.50m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.50m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え5.52m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え5.52m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.60m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え6.50m <sup>2</sup> 以下 1 4.00m <sup>2</sup> を超え7.27m <sup>2</sup> 以下 7 7.30m <sup>2</sup> を超え6.00m <sup>2</sup> 以下 8 6.00m <sup>2</sup> を超え7.27m <sup>2</sup> 以下 7 7.27m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 8 4.00m <sup>2</sup> を超え7.27m <sup>2</sup> 以下 7 7.27m <sup>2</sup> を超え7.80m <sup>2</sup> 以下 8 4.00m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 8 6.00m <sup>2</sup> を超え7.27m <sup>2</sup> 以下 7 7.27m <sup>2</sup> を超え7.80m <sup>2</sup> 以下 6 6.00m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 6 7.90m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 7 7.90m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 6 7.90m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 6 7.90m <sup>2</sup> を超え7.90m <sup>2</sup> 以下 7 7.90m <sup>2</sup> を			1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
4.12m <sup>2</sup> を超え4.55m <sup>2</sup> 以下 1.4.55m <sup>2</sup> を超え4.98m <sup>2</sup> 以下 1.4.95m <sup>2</sup> を超え4.98m <sup>2</sup> 以下 1.55m <sup>2</sup> を超え4.40m <sup>2</sup> 以下 1.55m <sup>2</sup> を超え6.44m <sup>2</sup> 以下 1.5.5m <sup>2</sup> を超え6.44m <sup>2</sup> 以下 1.5.34m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.4.85m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.4.27m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.5.34m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.4.85m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.4.85m <sup>2</sup> を超え5.84m <sup>2</sup> 以下 1.4.75m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.75m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.75m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.5.25m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.95m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.5.25m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.95m <sup>2</sup> を超え6.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.95m <sup>2</sup> を超え5.85m <sup>2</sup> 以下 1.5.25m <sup>2</sup>				3. 25m²以上3. 69m²以下	14
4.55m <sup>2</sup> を超え 4.98m <sup>2</sup> 以下 1.4.98m <sup>2</sup> を超え 5.41m <sup>2</sup> 以下 1.55m <sup>2</sup> を超え 5.41m <sup>2</sup> 以下 1.55m <sup>2</sup> と超え 6.541m <sup>2</sup> 以下 1.55m <sup>2</sup> と超え 4.82m <sup>2</sup> と超え 5.80m <sup>2</sup> 以下 1.4.82m <sup>2</sup> を超え 4.85m <sup>2</sup> 以下 1.4.82m <sup>2</sup> を超え 5.80m <sup>2</sup> 以下 1.5.34m <sup>2</sup> を超え 5.80m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup> を超え 5.20m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup> を超え 5.20m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup> を超え 5.80m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup> を超え 6.80m <sup>2</sup> 以下 1.4.20m <sup>2</sup> 以上 4.90m <sup>2</sup> 以下 1.4.20m <sup>2</sup> 以上 4.90m <sup>2</sup> 以下 1.4.20m <sup>2</sup> 以上 5.20m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup> を超え 6.80m <sup>2</sup> 以下 1.5.20m <sup>2</sup>				3.69m²を超え4.12m²以下	13
4. 98㎡ を超え 5. 41㎡ 以下 1 3. 50㎡ 以上 3. 96㎡ 以下 1 4. 42㎡ を超え 4. 42㎡ 以下 1 4. 48㎡ を超え 4. 48㎡ 以下 1 5. 34㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1 4. 48㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1 4. 78㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1 4. 78㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1 5. 78㎡ を超え 6. 78㎡ 以下 1 5. 78㎡ を超え 5. 80㎡ 以下 1 5. 78㎡ を超え 5. 78㎡ 以下 1 5. 78㎡ を超え 5. 78㎡ 以下 1 7. 78㎡ を超え 6. 80㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 6. 80㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 6. 78㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 6. 78㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 7. 78㎡ 以下 8 8. 80㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 8. 00㎡ 以下 8 9. 80㎡ と超え 7. 78㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 7. 98㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 7. 98㎡ 以下 7 7. 72㎡ を超え 7. 94㎡ 以下 6 6. 60㎡ を超え 7. 78㎡ 以下 6 6. 60㎡ を超え 7. 78㎡ 以下 7 7. 72㎡ を超え 7. 71㎡ 以下 7 7. 72㎡ を超え 6. 39㎡ を超え 6. 39㎡ と超え 7. 71㎡ 以下 8 6. 39㎡ を超え 7. 71㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 7. 71㎡ 以下 8 6. 39㎡ を超え 7. 71㎡ 以下 7 7. 78㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 6 6. 39㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 7 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 5 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 7 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 7 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 5 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 7 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 5 7. 85㎡ を超え 8. 88㎡ 以下 7 7. 85㎡ を超え 8. 85㎡ 以下 8 7. 85㎡ を超え			0.51m³を超え0.57m³以下	4.12m²を超え4.55m²以下	12
3. 50㎡以上 3. 96㎡以下 1 3. 96㎡を超え 4. 42㎡以下 1 4. 42㎡を超え 4. 48㎡以下 1 4. 48㎡を超え 5. 36㎡以下 1 5. 34㎡を超え 5. 80㎡以下 1 6. 34㎡を超え 5. 80㎡以下 1 7. 34㎡を超え 5. 80㎡以下 1 7. 34㎡を超え 5. 80㎡以下 1 8. 42㎡を超え 5. 80㎡以下 1 8. 47㎡を超え 5. 80㎡以下 1 8. 47㎡を超え 5. 80㎡以下 1 8. 47㎡を超え 5. 80㎡以下 1 8. 40㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 40㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 40㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 60㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 60㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 60㎡以上 4. 62㎡以下 1 8. 60㎡以下 1 8. 60㎡以下 1 8. 60㎡以下 8. 60㎡以下 1 8. 60㎡以下 7 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 7 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 7 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 7 8. 80㎡以上 5. 26㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 7 8. 80㎡と超え 7. 38㎡以下 7 7. 38㎡を超え 8. 90㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 6. 70㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 6. 30㎡以下 8. 6. 14㎡を超え 7. 70㎡以下 8. 6. 14㎡以下 7. 27㎡を超え 7. 12㎡以下 7. 7. 27㎡を超え 7. 12㎡以下 7. 7. 27㎡を超え 7. 12㎡以下 8. 6. 39㎡を超え 7. 12㎡以下 8. 8. 6. 39㎡を超え 7. 12㎡以下 8. 8. 6. 39㎡を超え 7. 12㎡以下 7. 7. 22㎡を超え 7. 12㎡以下 7. 7. 22㎡を超え 7. 12㎡以下 7. 7. 22㎡を超え 8. 58㎡以下 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8.				4.55m²を超え4.98m²以下	11
3. 96m <sup>3</sup> を超え 4. 42m <sup>2</sup> 以下 1 4. 42m <sup>2</sup> を超え 4. 48m <sup>2</sup> 以下 1 4. 48m <sup>2</sup> を超え 5. 34m <sup>2</sup> 以下 1 5. 34m <sup>2</sup> を超え 5. 30m <sup>2</sup> 以下 9 3. 75m <sup>2</sup> 以上 4. 27m <sup>2</sup> 以下 1 4. 75m <sup>2</sup> を超え 5. 90m <sup>2</sup> 以下 1 4. 75m <sup>2</sup> を超え 5. 90m <sup>2</sup> 以下 1 4. 75m <sup>2</sup> を超え 5. 90m <sup>2</sup> 以下 1 5. 29m <sup>2</sup> を超え 5. 90m <sup>2</sup> 以下 9 5. 8m <sup>2</sup> を超え 5. 90m <sup>2</sup> 以下 8 4. 06m <sup>2</sup> 以上 4. 62m <sup>2</sup> 以下 1 5. 18m <sup>2</sup> を超え 5. 18m <sup>2</sup> 以下 1 5. 18m <sup>2</sup> を超え 5. 18m <sup>2</sup> 以下 1 5. 18m <sup>2</sup> を超え 6. 30m <sup>2</sup> 以下 5 7. 74m <sup>2</sup> を超え 6. 30m <sup>2</sup> 以下 7 6. 30m <sup>2</sup> を超え 6. 30m <sup>2</sup> 以下 7 7. 4. 28m <sup>2</sup> 以上 4. 90m <sup>2</sup> 以下 8 6. 30m <sup>2</sup> を超え 6. 61m <sup>2</sup> 以下 9 7. 7 2m <sup>2</sup> を超え 6. 7 3m <sup>2</sup> 以下 7 7. 38m <sup>2</sup> を超え 6. 7 3m <sup>2</sup> 以下 7 7. 38m <sup>2</sup> を超え 6. 7 3m <sup>2</sup> 以下 7 7. 38m <sup>2</sup> を超え 6. 90m <sup>2</sup> 以下 6 6. 60m <sup>2</sup> を超え 7. 38m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 38m <sup>2</sup> 以下 8 6. 90m <sup>2</sup> 以下 8 6. 60m <sup>2</sup> を超え 7. 27m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 7 7. 27m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 7 7. 12m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 8 6. 39m <sup>2</sup> と以上 5. 66m <sup>2</sup> 以下 9 7. 66m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 8 6. 39m <sup>2</sup> と以上 5. 66m <sup>2</sup> 以下 9 7. 66m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 8 6. 39m <sup>2</sup> と以上 5. 66m <sup>2</sup> 以下 9 7. 66m <sup>2</sup> を超え 7. 94m <sup>2</sup> 以下 6 7. 85m <sup>2</sup> を超え 7. 85m <sup>2</sup> 以下 7 7. 85m <sup>2</sup> を超え 8. 85m <sup>2</sup> 以下 6 7. 85m <sup>2</sup> を超え 8. 85m <sup>2</sup> 以下 6 7. 85m <sup>2</sup> を超え 9. 31m <sup>2</sup> 以下 5				4.98m²を超え5.41m²以下	10
4. 42㎡ を超え 4. 88㎡ 以下 1. 4. 88㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1. 5. 34㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1. 5. 34㎡ を超え 5. 34㎡ 以下 1. 5. 34㎡ を超え 7. 87㎡ 以下 1. 4. 27㎡ を超え 4. 78㎡ 以下 1. 4. 27㎡ を超え 4. 78㎡ 以下 1. 4. 27㎡ を超え 5. 29㎡ 以下 1. 4. 78㎡ を超え 6. 32㎡ 以下 1. 5. 29㎡ を超え 6. 32㎡ 以下 1. 5. 29㎡ を超え 6. 31㎡ 以下 1. 5. 18㎡ を超え 6. 31㎡ 以下 1. 5. 18㎡ を超え 6. 30㎡ を超え 5. 18㎡ 以下 1. 5. 18㎡ を超え 6. 30㎡ を超え 6. 30㎡ と超え 6. 30㎡ 以下 8. 6. 30㎡ を超え 6. 30㎡ 以下 8. 6. 30㎡ を超え 6. 30㎡ 以下 8. 6. 30㎡ を超え 6. 30㎡ 以下 7. 4. 28㎡ 以上 4. 90㎡ 以下 1. 4. 90㎡ を超え 6. 36㎡ 以下 7. 6. 74㎡ を超え 6. 36㎡ 以下 8. 6. 14㎡ 2以下 6. 74㎡ を超え 7. 38㎡ 2以下 7. 7. 38㎡ 2を超え 6. 30㎡ 以下 7. 7. 38㎡ 2を超え 6. 30㎡ 以下 6. 4. 58㎡ 以下 7. 7. 38㎡ 2を超え 6. 60㎡ 以下 7. 7. 27㎡ 2を超え 7. 27㎡ 20 下 9. 5. 26㎡ 22 下 9. 20 下 7. 27㎡ 22 下 9. 5. 26㎡ 22 下 9. 25 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22				3.50m²以上3.96m²以下	13
4. 88m² を超え 5. 34m² 以下 5. 34m² 以下 9. 3. 47m² を超え 5. 80m² 以下 9. 3. 75m² 以上 4. 27m² 以下 1 4. 27m² を超え 4. 78m² 以下 1 4. 27m² を超え 4. 78m² と超え 5. 29m² 以下 1 5. 29m² を超え 6. 31m² 以下 5. 29m² 以下 5. 8m² と超え 6. 31m² 以下 8. 4. 60m² 以上 4. 62m² 以下 1 4. 60m² を超え 6. 31m² 以下 1 5. 18m² を超え 6. 31m² 以下 1 5. 18m² を超え 6. 30m² 以下 1 5. 18m² を超え 6. 30m² 以下 6. 30m² を超え 6. 30m² 以下 7. 4. 62m² と超え 6. 30m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 7. 4. 29m² 以上 4. 90m² 以下 1 4. 90m² を超え 6. 86m² 以下 7. 6. 74m² を超え 6. 14m² 以下 8. 6. 14m² と超え 6. 52m² 以下 9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下 8. 6. 14m² と超え 6. 52m² 以下 7. 7. 38m² を超え 6. 00m² 以下 7. 6. 76m² と超え 6. 75m² 以下 7. 7. 38m² を超え 6. 60m² 以下 6. 4. 58m² 以上 5. 26m² 以下 8. 5. 26m² を超え 7. 27m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 27m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下 9. 5. 66m² を超え 7. 94m² 以下 6. 30m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 85m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 6. 30m² を超え 7. 85m² 以下 6. 30m² を超え 8. 58m² 以下 6. 30m² を超え 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² を超え 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² を超え 8. 58m² 以下 5. 85m² を超え 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² を超え 8. 58m² 以下 6. 58m² を超え 8. 58m² 以下 6. 58m² と20 9. 31m² 以下 5. 58m²				3.96m²を超え4.42m²以下	12
5. 34m² を超え 5. 80m² 以下 9. 3. 75m² 以上 4. 27m² 以下 1 4. 27m² を超え 4. 78m² 以下 1 4. 27m² を超え 4. 78m² 以下 1 4. 27m² を超え 5. 29m² 以下 1 5. 29m² を超え 5. 8m² 以下 9. 5. 8m² を超え 6. 31m² 以下 8. 4. 06m² 以上 4. 62m² 以下 1 4. 62m² 以下 1 5. 29m² を超え 5. 18m² 以下 1 5. 18m² を超え 5. 18m² 以下 1 5. 18m² を超え 5. 74m² と以下 1 5. 18m² を超え 6. 30m² 以下 8. 6. 30m² を超え 6. 86m² 以下 7. 5. 74m² を超え 6. 86m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 1 4. 90m² と超え 6. 86m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 1 4. 90m² を超え 6. 6. 6m² 以下 7. 6. 76m² を超え 6. 76m² 以下 7. 7. 38m² を超え 6. 76m² 以下 8. 6. 14m² と超え 6. 76m² と超え 7. 38m² と超え 7. 38m² と超え 7. 38m² と超え 7. 38m² 以下 7. 7. 38m² を超え 8. 00m² 以下 6. 6. 60m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 27m² と超え 7. 94m² 以下 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 9. 5. 66m² を超え 7. 27m² と超え 7. 94m² 以下 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 9. 5. 66m² を超え 7. 12m² 以下 7. 27m² を超え 7. 12m² 以下 9. 5. 66m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² を超え 7. 12m² と超え 7. 12m² と超え 7. 12m² 以下 6. 8. 58m² と超え 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 58m² と組え 9. 31m² 以下 5. 58m² と組え 9. 31m² 以下 5. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 58m² と組え 9. 31m² 以下 5. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 58m² と組え 9. 31m² 以下 5. 58m² と20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2			0.57m³を超え0.64m³以下	4.42m²を超え4.88m²以下	11
3. 75m²以上 4. 27m²以下 1 4. 27m²以下 1 4. 27m²を超え 4. 78m²以下 1 1 4. 78m²を超え 5. 29m²以下 1 5. 29m²を超え 5. 8m²以下 9. 5. 8m²を超え 6. 31m²以下 8. 4. 06m²以上 4. 62m²以下 1 4. 62m²を超え 5. 18m²以下 1 4. 62m²を超え 5. 18m²以下 1 5. 18m²を超え 6. 31m²以下 1 4. 62m²を超え 5. 18m²以下 1 5. 18m²を超え 6. 30m²以下 1 5. 18m²を超え 6. 30m²以下 8. 6. 30m²を超え 6. 86m²以下 7. 4. 28m²以上 4. 90m²以下 1 4. 90m²を超え 6. 86m²以下 7. 4. 28m²以上 4. 90m²以下 1 4. 90m²を超え 6. 6. 6m²以下 7. 6. 76m²を超え 6. 76m²以下 9. 5. 52m²を超え 6. 14m²以下 8. 6. 14m²を超え 6. 76m²以下 7. 7. 38m²を超え 6. 76m²以下 7. 7. 38m²を超え 6. 76m²以下 8. 6. 14m²を超え 6. 76m²以下 8. 6. 14m²を超え 6. 76m²以下 7. 7. 38m²を超え 6. 60m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 94m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 94m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 94m²以下 7. 7. 27m²を超え 7. 94m²以下 9. 5. 96m²を超え 7. 94m²以下 7. 7. 27m²を超え 7. 94m²以下 9. 5. 66m²を超え 7. 94m²以下 9. 5. 66m²を超え 7. 12m²を超え 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え 8. 58m²以下 8. 6. 39m²を超え 8. 58m²以下 6. 85m²を超え 8. 58m²以下 6. 85m²を超え 8. 58m²以下 5. 58m²を超え 8. 58m²を超え 8. 58m²以下 5. 58m²を超え 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 8. 58m²以下 6. 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 9. 31m²µ下 5. 5. 58m²を超上 5. 58m²を超え 9. 31m²µ下 5. 5. 58m²を超上 5. 58m²を超上 5. 58m²を超上 5. 58				4.88m <sup>2</sup> を超え5.34m <sup>2</sup> 以下	10
1. 64m² を超え 0. 71m²以下 1. 4. 78m² を超え 5. 29m² 以下 1. 5. 29m² を超え 5. 8m²以下 9. 5. 8m² を超え 6. 31m²以下 8. 4. 06m²以上 4. 62m²以下 1. 4. 62m² を超え 5. 18m²以下 1. 4. 62m² を超え 5. 18m²以下 1. 4. 62m² を超え 5. 18m²以下 1. 5. 18m² を超え 6. 30m²以下 1. 5. 18m² を超え 6. 30m²以下 1. 5. 18m² を超え 6. 30m²以下 8. 6. 30m² を超え 6. 86m²以下 7. 4. 28m²以上 4. 90m²以下 1. 4. 90m² を超え 6. 86m²以下 7. 4. 28m²以上 4. 90m²以下 8. 6. 30m² を超え 6. 76m²以下 7. 6. 76m² を超え 6. 76m²以下 7. 7. 38m² を超え 6. 76m²以下 7. 38m² を超え 6. 76m²以下 7. 38m² を超え 7. 38m² と 2. 52m² 以下 9. 5. 52m² を超え 7. 38m² と 2. 52m² 以下 9. 5. 66m² 以下 7. 38m² を超え 7. 38m² と 2. 52m² 以下 9. 5. 66m² と 2. 52m² 以下 8. 6. 60m² 以下 7. 38m² を超え 6. 60m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 27m² と 2. 60m² 以下 9. 5. 66m² と 2. 52m² 以下 5. 66m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² 以下 7. 7. 7. 7m² を 2. 52m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² と 5. 60m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² と 5. 60m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² と 5. 60m² 以下 8. 6. 60m² と 2. 52m² と 5. 60m² 以下 7. 7. 12m² を 2. 52m² と 5. 52m				5.34m <sup>2</sup> を超え5.80m <sup>2</sup> 以下	9. 3
1. 1 (4. 78m² を超え 5. 29m² 以下 1 (5. 29m² を超え 5. 8m² 以下 9. 5. 8m² を超え 6. 31m² 以下 8. 4. 06m² 以上 4. 62m² 以下 1 (4. 62m² を超え 5. 18m² 以下 1 (4. 62m² を超え 5. 18m² 以下 1 (4. 62m² を超え 5. 18m² 以下 1 (5. 18m² を超え 6. 30m² 以下 1 (5. 18m² を超え 6. 30m² 以下 9. 5. 74m² を超え 6. 30m² 以下 8. 6. 30m² を超え 6. 86m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 1 (4. 90m² を超え 6. 76m² 以下 9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下 8. 6. 14m² と超え 6. 76m² 以下 7. 6. 76m² を超え 7. 38m² と超え 6. 76m² 以下 7. 38m² を超え 7. 38m² 以下 7. 7. 38m² を超え 7. 38m² 以下 6. 14m² 以下 6. 6. 60m² 以下 7. 27m² を超え 7. 38m² 以下 7. 5. 26m² を超え 7. 38m² 以下 8. 5. 93m² 以上 5. 66m² 以下 8. 5. 93m² と対え 7. 94m² 以下 6. 6. 60m² を超え 7. 27m² とが 2. 50m² 以下 7. 27m² を超え 6. 39m² 以下 6. 6. 60m² とが 2. 50m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 94m² 以下 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下 5. 66m² 以下 9. 5. 66m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 39m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 39m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 39m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 58m² とをしま 5. 58m² 以下 5. 58m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 58m² 以下 6. 58m² 以下 6. 58m² 以下 6. 58m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 58m² とをしま 5. 58m² とをしま 5. 58m² とをしま 5. 58m² とをしま 5. 58m² 以下 6. 58m² とをしま 5. 58m² 以				3.75m²以上4.27m²以下	12
5. 29m² を超え 5. 8m² 以下 9. 5. 8m² を超え 6. 31m² 以下 8. 4. 06m² 以上 4. 62m² 以下 1 4. 62m² と超え 5. 18m² 以下 1 5. 18m² を超え 5. 74m² 以下 9. 5. 74m² と超え 6. 30m² 以下 8. 6. 30m² と超え 6. 30m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 1 4. 90m² を超え 6. 86m² 以下 9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下 9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下 9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下 7. 6. 76m² を超え 7. 38m² と超之 7. 38m² 以下 7. 7. 38m² を超え 8. 00m² 以下 6. 4. 58m² 以上 5. 26m² 以下 9. 5. 26m² を超え 7. 27m² 以下 8. 5. 26m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 8. 5. 93m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 7. 27m² を超之 7. 27m² 以下 6. 6. 60m² と超之 7. 27m² 以下 6. 6. 60m² と超之 7. 27m² 以下 6. 6. 60m² と超之 7. 27m² 以下 7. 7. 27m² を超之 7. 94m² 以下 6. 6. 39m² と超之 7. 12m² 以下 8. 6. 39m² を超之 7. 12m² 以下 8. 6. 39m² を超之 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超之 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超之 7. 12m² 以下 6. 6. 39m² と超之 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² と超之 7. 85m² 以下 6. 8. 58m² と超之 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² と超之 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² と超之 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² と超之 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² と超之 9. 31m² 以下 6. 5. 58m² と超之 9. 31m² 以下 6. 5. 58m² と超之 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² と超立 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² と超立 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² 以下 6. 5. 58m² と42 9. 31m² 以下 5. 5. 58m² 以下 5. 58m² 以下 5. 5.				4.27m²を超え4.78m²以下	11
5. 8㎡ を超え 6. 31㎡ 以下 8. 4. 06㎡ 以上 4. 62㎡ 以下 1. 4. 62㎡ を超え 5. 18㎡ 以下 1. 4. 62㎡ を超え 5. 18㎡ 以下 9. 5. 18㎡ を超え 6. 30㎡ 以下 8. 6. 30㎡ を超え 6. 30㎡ 以下 7. 4. 28㎡ 以上 4. 90㎡ 以下 1. 4. 28㎡ 以上 4. 90㎡ 以下 9. 5. 52㎡ を超え 5. 52㎡ 以下 9. 5. 52㎡ を超え 6. 14㎡ 以下 8. 6. 14㎡ を超え 6. 76㎡ 以下 7. 6. 76㎡ を超え 7. 38㎡ と超え 7. 38㎡ 以下 7. 7. 38㎡ を超え 8. 00㎡ 以下 6. 14㎡ を超え 7. 38㎡ 以下 7. 7. 38㎡ を超え 8. 00㎡ 以下 8. 5. 26㎡ を超え 7. 38㎡ 以下 7. 7. 38㎡ を超え 8. 90㎡ 以下 8. 5. 26㎡ を超え 7. 27㎡ 以下 9. 5. 26㎡ を超え 7. 93㎡ 以下 8. 6. 60㎡ と超え 7. 27㎡ 以下 9. 5. 26㎡ を超え 7. 93㎡ 以下 8. 6. 60㎡ と超え 7. 27㎡ 以下 7. 27㎡ を超え 7. 94㎡ 以下 6. 60㎡ と超之 7. 27㎡ 以下 7. 27㎡ を超え 7. 94㎡ 以下 6. 39㎡ と超之 7. 12㎡ 以下 7. 7. 27㎡ を超え 7. 94㎡ 以下 6. 39㎡ と超之 7. 12㎡ 以下 7. 7. 12㎡ を超之 7. 85㎡ 以下 6. 39㎡ と超之 7. 85㎡ 以下 6. 39㎡ と超之 7. 85㎡ 以下 6. 8. 58㎡ と超之 8. 58㎡ 以下 6. 8. 58㎡ と超之 8. 58㎡ 以下 6. 8. 58㎡ と超之 9. 31㎡ 以下 5.			0.64m³を超え0.71m³以下	4.78m²を超え5.29m²以下	10
4.06m²以上4.62m²以下 1 4.62m²を超え5.18m²以下 1 5.18m²を超え5.74m²以下 9.5.74m²を超え6.30m²以下 8.6.30m²を超え6.86m²以下 7.4.28m²以上4.90m²以下 1 4.90m²を超え5.52m²以下 9.5.52m²以下 9.5.52m²を超え6.14m²以下 8.6.14m²を超え6.76m²以下 7.6.76m²を超え6.76m²以下 7.6.76m²を超え7.38m²以下 7.7.38m²を超え8.00m²以下 6.7.38m²以下 6.7.38m²以下 8.8.6.14m²を超え8.00m²以下 6.7.38m²を超え8.00m²以下 6.7.38m²を超え8.00m²以下 8.6.14m²を超え7.38m²以下 7.7.7.38m²を超え8.00m²以下 8.6.60m²を超え7.27m²以下 8.6.60m²を超え7.27m²以下 8.6.60m²を超え7.27m²以下 7.7.27m²を超え7.27m²以下 7.7.27m²を超え7.94m²以下 6.8.3m²を超え8.00m²以下 8.6.60m²を超え7.27m²以下 7.7.27m²を超え7.94m²以下 6.8.3m²を超え7.12m²以下 6.8.3m²を超え7.12m²以下 8.8.6.3m²を超え7.12m²以下 6.8.3m²を超え7.12m²以下 7.7.12m²を超え7.85m²を超え7.85m²以下 8.8.6.39m²を超え7.85m²以下 6.8.35m²を超え8.85m²以下 6.8.58m²を超え8.85m²以下 6.8.58m²を超之8.85m²以下 6.8.58m²以下 6.8.58				5.29m <sup>2</sup> を超え5.8m <sup>2</sup> 以下	9. 2
0.71m³を超え0.79m³以下 1.5 18m²を超え5.74m²以下 9.5 74m²を超え6.30m²以下 8.6 30m²を超え6.86m²以下 7.4 28m²以上4.90m²以下 9.5 74m²を超え6.86m²以下 7.4 28m²以上4.90m²以下 9.5 5.52m²を超え5.52m²以下 9.5 5.52m²を超え5.52m²以下 9.5 5.52m²を超え6.14m²以下 8.6 1.4 m²を超え6.76m²以下 7.6 7.6 m²を超え7.38m²以下 7.7 38m²を超え8.00m²以下 6.7 8m²以上5.26 m²以下 9.5 2.6 m²以下 8.7 38m²を超え6.6 00m²以下 8.7 38m²を超え7.27 m²以下 7.7 27 m²を超え7.27 m²を超え7.27 m²を超え7.27 m²を超え7.27 m²を超え7.27 m²を超え7.27 m² 5.6 6 m²以下 6.6 0 m² 5 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				5.8m <sup>2</sup> を超え6.31m <sup>2</sup> 以下	8. 5
0.71m³を超え0.79m³以下				4.06m <sup>2</sup> 以上4.62m <sup>2</sup> 以下	11
5. 74m² を超え 6. 30m² 以下 8. 6. 30m² を超え 6. 86m² 以下 7. 4. 28m² 以上 4. 90m² 以下 1 4. 90m² 以上 4. 90m² 以下 9. 5. 52m² を超え 5. 52m² 以下 8. 6. 14m² 以下 8. 6. 14m² 以下 7. 6. 14m² を超え 6. 76m² 以下 7. 7. 38m² を超え 8. 00m² 以下 6. 14m² を超え 8. 00m² 以下 6. 26m² を超え 8. 00m² 以下 8. 5. 26m² を超え 5. 93m² 以下 8. 5. 26m² を超え 5. 93m² 以下 8. 6. 60m² を超え 5. 93m² 以下 8. 6. 60m² を超え 6. 60m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 27m² 以下 7. 27m² を超え 7. 27m² を超え 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下 9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下 8. 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 85m² 以下 6. 7. 85m² を超え 8. 58m² 以下 6. 8. 58m² を超え 9. 31m² 以下 5. 5.				4.62m²を超え5.18m²以下	10
2. 5t以下  0. 79m³を超え 0. 86m³以下 4. 28m²以上 4. 90m²以下 4. 90m²を超え 5. 52m²以下 9. 5. 52m²を超え 6. 14m²以下 6. 14m²を超え 6. 76m²以下 7. 38m²を超え 7. 38m²以下 7. 38m²を超え 8. 00m²以下 6. 76m²を超え 7. 38m²以下 7. 38m²を超え 8. 00m²以下 8. 4. 58m²以上 5. 26m²以下 9. 5. 26m²を超え 5. 93m²以下 8. 6. 60m²を超え 5. 93m²以下 8. 6. 60m²を超え 6. 60m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 6. 60m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 7. 94m²以下 6. 39m²を超え 6. 39m²以下 8. 6. 39m²を超え 7. 12m²以下 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 12m²を超え 7. 85m²を超え 7. 85m²以下 6. 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 66m²を超え 9. 31m²以下 6. 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 58m²を超え 9. 31m²以下 6. 5. 58m²を超え 9. 31m²以下 7. 5. 58m²を超え 9. 31m²以下			0.71m³を超え0.79m³以下	5. 18m <sup>2</sup> を超え 5. 74m <sup>2</sup> 以下	9. 2
4. 28m²以上 4. 90m²以下 1. 4. 90m²を超え 5. 52m²以下 9. 5. 52m²を超え 6. 14m²以下 8. 6. 14m²を超え 6. 76m²以下 7. 6. 76m²を超え 7. 38m²以下 7. 7. 38m²を超え 8. 00m²以下 6. 7. 38m²を超え 8. 00m²以下 9. 5. 26m²を超え 5. 93m²以下 7. 26m²を超え 5. 93m²以下 8. 5. 26m²を超え 5. 93m²以下 8. 5. 26m²を超え 6. 60m²以下 8. 6. 60m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 7. 27m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 7. 94m²以下 6. 4. 92m²以上 5. 66m²以下 9. 5. 66m²を超え 6. 39m²以下 8. 6. 39m²を超之 7. 94m²以下 6. 4. 92m²以上 5. 66m²以下 9. 5. 66m²を超之 7. 94m²以下 6. 7. 27m²を超之 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超之 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超之 7. 12m²以下 6. 39m²を超之 7. 85m²以下 6. 39m²を超之 7. 85m²以下 6. 7. 85m²を超之 8. 58m²以下 6. 8. 58m²を超之 9. 31m²以下 5. 85m²を超之 9. 31m²x 5. 85m²x			0.71m を超え 0.75m タイ	5.74m²を超え6.30m²以下	8. 5
2. 5t以下       4. 90m² を超え 5. 52m² 以下       9. 5. 52m² を超え 6. 14m² 以下       8. 6. 14m² 以下       8. 6. 14m² 以下       7. 6. 76m² を超え 6. 76m² 以下       7. 6. 76m² を超え 7. 38m² 以下       7. 7. 38m² を超え 8. 00m² 以下       6. 4. 58m² 以上 5. 26m² 以下       9. 5. 26m² を超え 5. 93m² 以下       8. 6. 60m² 以下       8. 5. 93m² を超え 6. 60m² 以下       8. 6. 60m² と超え 7. 27m² 以下       7. 27m² を超え 7. 94m² 以下       6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下       6. 39m² と超え 6. 39m² 以下       8. 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下       7. 12m² を超え 7. 12m² 以下       7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下       7. 7. 12m² を超え 7. 85m² 以下       6. 39m² を超え 8. 58m² 以下       6. 39m² を超え 8. 58m² 以下       6. 38. 58m² と超え 8. 58m² 以下       6. 8. 58m² と超え 9. 31m² 以下       6. 38. 58m² と型え 9. 31m² 以下       6. 38. 58				6.30m²を超え6.86m²以下	7.8
0.79m³を超え 0.86m³以下       5.52m²を超え 6.14m²以下       8.614m²を超え 6.76m²以下       7.667m²以下       7.72m²を超え 7.38m²以下       7.72m²を超え 8.00m²以下       9.02m²以下       6.60m² 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20				4.28m²以上4.90m²以下	10
0.79m³を超え0.86m³以下       6.14m²を超え6.76m²以下       7.6.76m²を超え7.38m²以下       7.6.76m²を超え7.38m²以下       7.7.38m²を超え8.00m²以下       6.4.58m²以上5.26m²以下       9.5.26m²を超え5.93m²以下       8.5.93m²を超え6.60m²以下       8.5.93m²を超え7.27m²以下       7.27m²を超え7.27m²以下       7.27m²を超え7.94m²以下       6.60m²を超え7.27m²以下       6.60m²を超え7.27m²以下       7.27m²を超え7.94m²以下       6.30m²を超え7.94m²以下       6.39m²を超え6.39m²以下       8.6.39m²を超え7.12m²以下       7.7.12m²を超え7.12m²以下       7.85m²を超え7.85m²以下       6.39m²を超え7.85m²以下       6.30m² 以下       6.30m² 以		2.5t以下		4.90m²を超え5.52m²以下	9. 4
6. 14m² を超え 6. 76m² 以下 7. 6. 76m² を超え 7. 38m² 以下 7. 7. 38m² を超え 8. 00m² 以下 6. 4. 58m² 以上 5. 26m² 以下 9. 5. 26m² を超え 5. 93m² 以下 8. 5. 93m² を超え 6. 60m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 27m² 以下 7. 27m² を超え 7. 27m² と超え 7. 27m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下 9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下 8. 6. 39m² を超え 6. 39m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 85m² 以下 6. 39m² を超え 7. 85m² 以下 6. 8. 58m² と超え 9. 31m² 以下 5. 85m² を超え 9. 31m² か 5. 85m² か 5. 85m² か 5. 85m² か 5. 85m²			0.70 32 47 2 0.00 3 0 1 7	5.52m <sup>2</sup> を超え6.14m <sup>2</sup> 以下	8.6
7. 38m² を超え 8. 00m² 以下 6. 4. 58m² 以上 5. 26m² 以下 9. 5. 26m² を超え 5. 93m² 以下 8. 5. 93m² を超え 6. 60m² 以下 8. 6. 60m² を超え 7. 27m² 以下 7. 27m² を超え 7. 94m² 以下 6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下 9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下 8. 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 27m² を超え 7. 12m² 以下 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 12m² 以下 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下 7. 7. 12m² を超え 7. 85m² 以下 6. 8. 58m² を超え 9. 31m² 以下 5. 8			0.79m°を超え 0.86m°以下 	6.14m²を超え6.76m²以下	7. 9
4. 58m²以上 5. 26m²以下 9. 5. 26m²を超え 5. 93m²以下 8. 5. 93m²を超え 6. 60m²以下 7. 27m²を超え 7. 27m²以下 7. 27m²を超え 7. 94m²以下 6. 4. 92m²以上 5. 66m²以下 9. 5. 66m²を超え 6. 39m²を超え 7. 12m²以下 7. 6. 39m²を超え 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 8. 6. 39m²を超え 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 7. 12m²を超え 7. 12m²以下 6. 39m²を超え 8. 58m²以下 6. 8. 58m²を超え 8. 58m²以下 6. 8. 58m²を超え 9. 31m²以下 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.				6.76m²を超え7.38m²以下	7. 3
0. 86m³ を超え 0. 94m³以下       5. 26m² を超え 5. 93m² 以下       8.         5. 93m² を超え 6. 60m² 以下       8.         6. 60m² を超え 7. 27m² 以下       7.         7. 27m² を超え 7. 94m² 以下       6.         4. 92m² 以上 5. 66m² 以下       9.         5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       8.         6. 39m² を超え 7. 12m² 以下       7.         7. 12m² を超え 7. 85m² 以下       6.         7. 85m² を超え 8. 58m² 以下       6.         8. 58m² を超え 9. 31m² 以下       5.				7.38m <sup>2</sup> を超え8.00m <sup>2</sup> 以下	6.8
0. 86m³ を超え 0. 94m³ 以下       5. 93m² を超え 6. 60m² 以下       8. 6. 60m² と超え 7. 27m² 以下       7. 27m² を超え 7. 94m² 以下       6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下       9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       8. 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下       7. 12m² を超え 7. 12m² 以下       7. 12m² を超え 7. 85m² 以下       6. 39m² を超え 7. 85m² 以下       6. 30m² などのよりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ				4. 58m²以上 5. 26m²以下	9. 7
6. 60m² を超え 7. 27m² 以下       7. 27m² を超え 7. 94m² 以下       6. 4. 92m² 以上 5. 66m² 以下       9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       9. 5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       8. 6. 39m² を超え 7. 12m² 以下       7. 12m² を超え 7. 85m² 以下       6. 39m² を超え 8. 58m² 以下       6. 39m² を超え 9. 31m² 以下       6. 30m² を超え 9. 31m² 以下 <td></td> <td></td> <td></td> <td>5. 26m²を超え 5. 93m²以下</td> <td>8. 7</td>				5. 26m²を超え 5. 93m²以下	8. 7
7. 27m²を超え7. 94m²以下 6. 4. 92m²以上5. 66m²以下 9. 5. 66m²を超え6. 39m²以下 8. 6. 39m²を超え7. 12m²以下 7. 12m²を超え7. 12m²以下 7. 7. 12m²を超え7. 85m²以下 6. 7. 85m²を超え8. 58m²以下 6. 8. 58m²を超え9. 31m²以下 5.			0.86m³を超え0.94m³以下	5.93m²を超え6.60m²以下	8. 0
4. 92m²以上 5. 66m²以下       9.         5. 66m²を超え 6. 39m²以下       8.         6. 39m²を超え 7. 12m²以下       7.         7. 12m²を超え 7. 85m²以下       6.         7. 85m²を超え 8. 58m²以下       6.         8. 58m²を超え 9. 31m²以下       5.				6.60m <sup>2</sup> を超え7.27m <sup>2</sup> 以下	7. 3
5. 66m² を超え 6. 39m² 以下       8.         6. 39m² を超え 7. 12m² 以下       7.         7. 12m² を超え 7. 85m² 以下       6.         7. 85m² を超え 8. 58m² 以下       6.         8. 58m² を超え 9. 31m² 以下       5.				7.27m²を超え7.94m²以下	6. 7
0.94m³を超え1.04m³以下       6.39m²を超え7.12m²以下       7.7.12m²を超え7.85m²以下       6.39m²を超え7.85m²以下       6.39m²x        6.39m²x       6.39m²x       6.39m²x <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.92m²以上5.66m²以下</td> <td>9. 0</td>				4.92m²以上5.66m²以下	9. 0
0.94m³を超え1.04m³以下       7.12m²を超え7.85m²以下       6.         7.85m²を超え8.58m²以下       6.         8.58m²を超え9.31m²以下       5.				5.66m²を超え6.39m²以下	8. 1
7.85m²を超え8.58m²以下       6.         8.58m²を超え9.31m²以下       5.				6.39m²を超え7.12m²以下	7.4
8. 58m² を超え 9. 31m² 以下 5.			0.94m³を超え1.04m³以下	7.12m²を超え7.85m²以下	6. 7
				7.85m²を超え8.58m²以下	6. 2
0.91~2 か却う 10.04~2 PJ 下				8.58m²を超え9.31m²以下	5. 8
				9.31m <sup>2</sup> を超え10.04m <sup>2</sup> 以下	5. 4
5. 25m <sup>2</sup> 以上 6. 05m <sup>2</sup> 以下 8.				5. 25m²以上 6. 05m²以下	8. 3
6.05m <sup>2</sup> を超え6.84m <sup>2</sup> 以下 7.				6.05m <sup>2</sup> を超え6.84m <sup>2</sup> 以下	7. 5
1.04m³を超え1.13m³以下 6.84m²を超え7.63m²以下 6.			1.04m³を超え1.13m³以下	6.84m <sup>2</sup> を超え7.63m <sup>2</sup> 以下	6.8
				7.63m²を超え8.42m²以下	6. 3
					5.8

工種名			内 容	
消波根固めブロック工			1	
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート体積	1個当り型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
			5. 14m²以上 5. 94m²以下	12
			5.94m²を超え6.73m²以下	11
		1.05m³以上1.15m³以下	6.73m²を超え7.52m²以下	10
			7.52m <sup>2</sup> を超え8.31m <sup>2</sup> 以下	9. 2
			8.31m²を超え9.10m²以下	8. 5
			5. 35m <sup>2</sup> 以上 6. 21m <sup>2</sup> 以下	12
			6.21m <sup>2</sup> を超え7.06m <sup>2</sup> 以下	10
		1.15m³を超え1.25m³以下	7.06m²を超え7.91m²以下	9. 4
			7.91m²を超え8.76m²以下	8. 7
			8.76m²を超え9.61m²以下	8. 0
			5.58m²以上 6.50m²以下	11
			6.50m <sup>2</sup> を超え7.41m <sup>2</sup> 以下	9.8
		1.25m³を超え1.37m³以下	7.41m²を超え8.32m²以下	8. 9
			8.32m²を超え9.23m²以下	8. 2
			9. 23m² を超え 10. 14m²以下	7. 5
			5.87m²以上6.83m²以下	10
			6.83m²を超え7.80m²以下	9. 3
		1.37m³を超え1.48m³以下	7.80m²を超え8.77m²以下	8. 4
			8.77m²を超え9.74m²以下	7. 7
			9.74m <sup>2</sup> を超え10.71m <sup>2</sup> 以下	7. 1
	2.5t を超え		6. 04m <sup>2</sup> 以上 7. 08m <sup>2</sup> 以下	9.8
	5.5t 以下		7.08m <sup>2</sup> を超え8.12m <sup>2</sup> 以下	8.8
		1. 48m³を超え 1. 61m³以下	8. 12m <sup>2</sup> を超え 9. 16m <sup>2</sup> 以下	8. 0
		1. 1011 (2/2/2 1. 0111 5/1)	9. 16m <sup>2</sup> を超え 10. 20m <sup>2</sup> 以下	7. 3
			10.20m <sup>2</sup> を超え11.24m <sup>2</sup> 以下	6. 7
			11.24m <sup>2</sup> を超え12.28m <sup>2</sup> 以下	6. 2
			6. 34m <sup>2</sup> 以上 7. 46m <sup>2</sup> 以下	9. 3
			7.46m <sup>2</sup> を超え8.58m <sup>2</sup> 以下	8. 3
		1.61m³を超え1.73m³以下	8.58m <sup>2</sup> を超え9.70m <sup>2</sup> 以下	7. 5
			9.70m <sup>2</sup> を超え10.82m <sup>2</sup> 以下	6. 9
			10.82m <sup>2</sup> を超え11.94m <sup>2</sup> 以下	6. 3
			6.61m <sup>2</sup> 以上 7.81m <sup>2</sup> 以下	8.8
			7.81m <sup>2</sup> を超え9.00m <sup>2</sup> 以下	7. 9
		1.73m³を超え1.87m³以下	9.00m²を超え10.19m²以下	7. 1
			10.19m²を超え11.38m²以下	6. 5
			11.38m <sup>2</sup> を超え12.57m <sup>2</sup> 以下	6. 0
			6.91m <sup>2</sup> 以上8.19m <sup>2</sup> 以下	8. 3
			8.19m <sup>2</sup> を超え9.46m <sup>2</sup> 以下	7. 4
			9.46m <sup>2</sup> を超え10.73m <sup>2</sup> 以下	6. 7
		1.87m³を超え2.01m³以下	10.73m <sup>2</sup> を超え12.00m <sup>2</sup> 以下	6. 1
			12.00m²を超え13.27m²以下	5. 6
			13.27m²を超え14.54m²以下	5. 2
			14.54m²を超え15.81m²以下	4. 9

工 種 名		::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	定	内	容	
消波根固めブロックエ		HA.	/ <u>L</u>	1 4	.H	
	消波根固め ブロック規格	1個当りコン	クリート体積	1個当り	型枠面積	作業日当り 標準作業量 (個/日)
				7.24m <sup>2</sup> 以上8.6	0m <sup>2</sup> 以下	7. 9
				8.60m <sup>2</sup> を超え9	. 95m²以下	7. 0
		2.01m³を超	え2.17m³以下	9.95m <sup>2</sup> を超え1	1.30m²以下	6. 4
				11.30m <sup>2</sup> を超え	12.65m²以下	5.8
				12.65m <sup>2</sup> を超え	14.00m²以下	5. 3
				7.53m <sup>2</sup> 以上8.9	9m²以下	7. 5
	0 = 3 477 >			8.99m <sup>2</sup> を超え1	0.45m²以下	6. 7
	2.5tを超え 5.5t以下	2.17m³を超	え2.33m³以下	10.45m <sup>2</sup> を超え	11.91m²以下	6. 0
	0.000,1			11.91m <sup>2</sup> を超え	13.37m²以下	5. 5
				13.37m <sup>2</sup> を超え	14.83m²以下	5. 0
				7.95m²以上9.4	9m <sup>2</sup> 以下	7. 1
				9.49m <sup>2</sup> を超え1	1.02m²以下	6. 3
		2.33m³を超	え2.51m³以下	11.02m <sup>2</sup> を超え	12.55m²以下	5. 7
				12.55m <sup>2</sup> を超え	14.08m²以下	5. 2
				14.08m <sup>2</sup> を超え	15.61m <sup>2</sup> 以下	4. 7
		2.20m³以上2.40m³以下	10.01m <sup>2</sup> 以上11	. 59m²以下	6. 2	
			11.59m <sup>2</sup> を超え	13.15m²以下	5. 6	
			13.15m <sup>2</sup> を超え	14.73m²以下	5. 1	
		2.40m³を超え2.60m³以下	10.38m <sup>2</sup> 以上12	. 08m²以下	5. 9	
			12.08m <sup>2</sup> を超え	13.76m²以下	5. 3	
				13.76m <sup>2</sup> を超え	15.46m²以下	4.8
			10.74m <sup>2</sup> 以上12	. 56m²以下	5. 6	
		2.60m³を超	え2.80m³以下	12.56m <sup>2</sup> を超え	14.36m²以下	5. 1
				14.36m <sup>2</sup> を超え	16.18m²以下	4.6
				11.12m <sup>2</sup> 以上13	. 04m²以下	5. 4
	5.5tを超え	2.80m³を超	え3.00m³以下	13.04m <sup>2</sup> を超え	14.96m²以下	4.8
	11.0t以下			14.96m <sup>2</sup> を超え	16.88m²以下	4. 4
				11.51m <sup>2</sup> 以上13	. 53m²以下	5. 2
		2 00m3 たねの	え 3. 22m³以下	13.53m <sup>2</sup> を超え	15.55m²以下	4. 6
		3.00皿 在地	7. 3. 22III 1/3	15.55m <sup>2</sup> を超え	17.57m²以下	4. 2
				17.57m <sup>2</sup> を超え	19.59m²以下	3.8
				11.94m²以上14	.10m²以下	4. 9
		3.22m³を超	え3.45m³以下	14.10m <sup>2</sup> を超え	16.24m²以下	4. 4
				16.24m <sup>2</sup> を超え	18.40m²以下	4.0
				12.23m²以上14	.51m²以下	4. 7
		3.45m³を超	え3.70m³以下	14.51m <sup>2</sup> を超え	16.79m <sup>2</sup> 以下	4. 2
				16.79m <sup>2</sup> を超え	19.07m²以下	3.8
						•

工種名		設	定	内	容		
消波根固めブロックエ		议	上 上	P J	谷		
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンク	リート体積	1個当	り型枠面積	idmy	作業日当り 標準作業量 (個/日)
				12.86m²以上15.28m²以下		4. 1	
		3.70m³を超え3.96m³以下		15.28m <sup>2</sup> を超	15.28m²を超え17.70m²以下		4.0
				17.70m <sup>2</sup> を超	17.70㎡を超え20.12㎡以下		3. 6
				13.33m²以上	15.93m²以	不	4. 3
		3.96m³を超え	4 99 <u>m</u> 3 P1 T	15.93m <sup>2</sup> を超	え 18.51m² J	以下	3.8
		3.90回 を超え	4. Zoll <i>V</i> A [*	18.51m <sup>2</sup> を超	え21.11m²」	以下	3. 4
	5.5tを超え			21.11m <sup>2</sup> を超	رًا \$23.71m كِل	以下	3. 1
	11.0t以下			13.87m²以上	16.61m²以	下	4. 1
		4.23m³を超え	4 52m <sup>3</sup> L/L	16.61m <sup>2</sup> を超	え 19.35m² J	以下	3.6
		4.23Ⅲ 亿地人	4.00111 1/2	19.35m <sup>2</sup> を超	え 22.09m² J	以下	3. 2
				22.09m <sup>2</sup> を超	رًا 24.83m² لِ	以下	3.0
				14.45m²以上	17.37m²以	下	3. 9
		4.53m³を超え4.84m³以 <sup>*</sup>		17.37m <sup>2</sup> を超	7.37㎡を超え20.27㎡以下		3. 4
				20.27㎡を超え23.19㎡以下		3. 1	
	(多名) 谷作業年 (1) ブロック 区	独の場合の作業量 製作(型枠工) 分 作業日当り標準			抽		要
			組立			111-1	<u> </u>
	2.5t 以下 2.5t を超え	11 0+ NT	105 m <sup>2</sup> /F 164 m <sup>2</sup> /F		m <sup>2</sup> /日 m <sup>2</sup> /日		
	2.51 在超入	11.00 以下	104 111 / 1	193	ш / Н		
	(2) ブロック	製作(コンクリー	-ト工)				
	区	分	作業日	1当り標準作業	量	摘	要
	2.5t 以下			43 m³/日 56 m³/日 59 m³/日			I
	2.5t を超え 5.5t を超え					クレー	ーン打設
	3. 0t Z/LL/2	11.00 00 1		33 III / П			
	② 消波根固めて	゛ロック横取り・種	責込み・荷卸	<ul><li>据付け</li></ul>			
		NII - A			)標準作業		
	作	業区分	2.5t 以 <sup>-</sup>	h	を超え t 以下		: を超え 0t 以下
	村	 黄取り	78 個/日		個/日		個/日
	<b></b>	責込み	69 個/日	∃ 62	個/日	55	個/日
		荷卸	72 個/日	∃ 72	個/日	60	個/日
	据付に	ナ(乱積)	66 個/日	∃ 65	個/日	48	個/日
	据付に	ナ(層積)	50 個/日	∃ 43	個/日	36	個/日

工種名		設				容	
消波根固めブロックエ	③ 消波根固める				•	п	
			作業日当り	標準作業量	(個/日)		
	ブロック規格			2.5t	以下		
	積載個数		1個/台			2個/台	
	トラック 1 台当	積込・	積込·据	積込·据	積込・	積込·据	積込·据
	り運搬距離	荷卸	付(乱積)	付(層積)	荷卸	付(乱積)	付(層積)
	0.5km 以下	22	22	19	24	24	20
	1.0km 以下	21	20	18	23	23	20
	1.5km 以下	18	18	16	22	21	18
	2.0km 以下	17	17	15	21	20	18
	2.5km 以下	15	15	13	19	19	17
	3.0km 以下	14	13	12	18	18	16
	3.5km 以下	13	13	12	18	17	15
	4.0km 以下	12	12	11	16	16	15
	4.5km以下	11	11	10	16	16	14
	5.0km 以下	11	10	9.8	15	15	13
	5.5km 以下	9. 9	9. 7	9. 1	14	14	13
	6.0km以下	9.5	9.4	8.8	14	14	13
	6.5km 以下	8. 9	8.8	8. 3	13	13	12
	7.0km 以下	8. 4	8.3	7. 9	13	13	12
	7.5km 以下	8. 1	8.1	7. 6	12	12 12	11
	8.5km 以下 9.5km 以下	7. 9	7.8 7.2	7. 4 6. 9	12 11	11	11 10
	9.5km以下 10.5km以下	6.8	6.7	6. 4	11	11	9.9
	10.5km 以下	6. 2	6. 1	5. 9	10	9.9	9. 3
	11.5km 以下	5. 8	5.8	5. 5	9. 5	9. 4	8.8
	14. 0km 以下	5. 5	5. 4	5. 2	9. 1	9. 0	8. 4
	15. 0km 以下	5. 0	4.9	4.8	8. 4	8.3	7. 9
	10.01111 5/1	0.0	1. 0	1. 0	0.1	0.0	
	積載個数		3個/台			4個/台	
	0.5km 以下	25	24	21	25	25	21
	1.0km 以下	24	24	20	25	24	21
	1.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	2.0km 以下	22	22	19	23	23	20
	2.5km 以下	21	21	18	22	22	19
	3.0km 以下	20	20	17	22	21	18
	3.5km 以下	20	19	17	21	21	18
	4. 0km 以下	19	18	16	20	20	17
	4.5km 以下	18	18	16	20	19	17
	5.0km 以下	18	17	15	19	19	17
	5.5km 以下	17	17	15	19	18	16
	6.0km以下	17	16	15	18	18	16
	6.5km 以下 7.0km 以下	16 15	16 15	14	18 17	17 17	16 15
	7. 5km 以下	15	15	14 13	17	17	15
	7.5km以下 8.5km以下	15	15	13	17	16	15
	8.5km以下 9.5km以下	15	15	13	16	16	15
	9.5km以下 10.5km以下	13	13	12	15	15	14
	10.5km 以下	13	12	11	15	14	13
	12.5km以下	12	12	11	14	14	13
	14. 0km 以下	12	11	11	14	13	12
	15. 0km 以下	11	11	10	13	13	12
	10. 01m 5/1	**	1 **	10	10	1 1	1.0

工種名		設	定	Þ		容	
消波根固めブロックエ			/ <del>上</del> 类 ロ // // //	無進16世目	(III / II )		
	ブロック規格		作業日ヨり	標準作業量 ( 2.5t			
	積載個数		5個/台	2. 50	<u>И</u> I	6個/台	
	トラック 1 台当	<b>積込・</b>	積込·据	積込·据	<b>積込・</b>	積込·据	積込・据
	り運搬距離	荷卸	付(乱積)	付(層積)	荷卸	付(乱積)	付(層積)
	0.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.0km 以下	25	24	21	25	25	21
	1.5km 以下	24	24	20	25	24	21
	2.0km 以下	24	23	20	24	24	20
	2.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	3.0km 以下	22	22	19	23	22	19
	3.5km 以下	22	21	19	23	22	19
	4.0km 以下	21	21	18	22	21	19
	4.5km 以下	21	20	18	22	21	19
	5.0km 以下	20	20	18	21	21	18
	5.5km 以下	20	19	17	21	20	18
	6.0km 以下	20	19	17	20	20	18
	6.5km 以下	19	19	16	20	19	17
	7.0km 以下	19	18	16	20	19	17
	7.5km 以下	18	18	16	19	19	17
	8.5km 以下	18	18	16	19	19	17
	9.5km 以下	17	17	15	18	18	16
	10.5km以下	17	16	15	18	17	16
	11.5km以下	16	16	14	17	17	15
	12.5km以下	15	15	14	17	16	15
	14.0km以下	15	15	13	16	16	14
	15.0km以下	14	14	13	15	15	14
	積載個数		7個/台			8個/台	
	0.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.0km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.5km 以下	25	24	21	25	24	21
	2.0km 以下	25	24	20	25	24	21
	2.5km 以下	24	23	20	24	24	20
	3.0km 以下	23	23	20	24	23	20
	3.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	4. 0km 以下	23	22	19	23	22	19
	4. 5km 以下	22	22	19	23	22	19
	5.0km 以下	22	21	19	22	22	19
	5. 5km 以下 6. 0km 以下	21	21 21	18 18	22	21 21	19 18
	6. 5km 以下	21	20	18	21	21	18
	7. 0km 以下	20	20	17	21	20	18
	7. 5km 以下	20	20	17	21	20	18
	8. 5km 以下	20	19	17	21	20	18
	9. 5km 以下	19	19	17	20	19	17
	10.5km以下	19	18	16	19	19	17
	11.5km以下	18	18	16	19	18	16
	12.5km 以下	18	17	15	18	18	16
	14.0㎞以下	17	17	15	18	17	16
	15.0km 以下	16	16	14	17	17	15
			1	1		ı	ı

工 種 名		設	定	内	]	容	
消波根固めブロックエ							
			作業日当り	標準作業量(			
	プロック規格		- 1	2. 5t	以下	Down / f	
	積載個数	A+1.7	9個/台	6457 LD	A+1) =	10個/台	A+11 III
	トラック 1 台当	積込・	積込・据	積込・据	積込·	積込・据	積込・据
	り運搬距離	荷卸	付(乱積)	付(層積)	荷卸	付(乱積)	付(層積)
	0.5km 以下 1.0km 以下	26 26	25 25	21 21	26 26	25 25	22 21
	1. 5km 以下	25	24	21	25	25	21
	2. 0km 以下	25	24	21	25	24	21
	2. 5km 以下	25	24	20	25	24	21
	3. 0km 以下	24	23	20	24	24	20
	3.5km 以下	24	23	20	24	23	20
	4. 0km 以下	23	23	20	24	23	20
	4.5km 以下	23	22	20	24	23	20
	5.0km 以下	23	22	19	23	22	19
	5.5km 以下	22	22	19	23	22	19
	6.0km 以下	22	22	19	23	22	19
	6.5km 以下	22	21	19	22	22	19
	7.0km 以下	21	21	18	22	21	19
	7.5km 以下	21	21	18	22	21	18
	8.5km 以下	21	20	18	22	21	18
	9.5km 以下	21	20	18	21	20	18
	10.5km以下	20	20	17	21	20	18
	11.5km 以下	19	19	17	20	19	17
	12.5km 以下	19	19	16	20	19	17
	14.0km 以下	19	18	16	19	19	17
	15.0km以下	18	18	16	19	18	16
	積載個数	11 個	以上 15 個以	下/台	15 個 8	と超え 23 個以	」下/台
	0.5km 以下	26	25	22	26	25	22
	1. 0km 以下	26	25	21	26	25	22
	1.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	2.0km 以下	25	25	21	26	25	21
	2.5km 以下	25	24	21	26	25	21
	3.0km 以下	25	24	21	25	24	21
	3.5km 以下	25	24	21	25	24	21
	4.0km 以下	24	24	20	25	24	21
	4.5km 以下	24	23	20	25	24	21
	5.0km 以下	24	23	20	25	24	21
	5.5km 以下	24	23	20	24	24	20
	6.0km 以下	23	23	20	24	24	20
	6.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	7.0km 以下	23	22	19	24	23	20
	7.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	8.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	9.5km 以下	22	21	19	23	23	20
	10.5km以下	22	21	18	23	22	19
	11.5km以下 12.5km以下	21 21	21 20	18	23 22	22 22	19 19
	12.5Km 以下 14.0km 以下	21	20	18 18	22	21	19
	14.0km 以下 15.0km 以下	20	19	17	22	21	18
	10. OKIII 🔊	20	10	11	22		10

工種名		設	定	Þ	7	容	
消波根固めブロックエ			/左来 n W M		(Im / m )		
	ブロック規格		作業日当り	標準作業量 2.5t を超え			
	積載個数		1個/台	2.31 を胆ん	_ 5. 51 以下	2個/台	
	トラック1台当	積込・	積込・据	積込·据	積込・	積込・据	積込·据
	り運搬距離	荷卸	付(乱積)	付(層積)	荷卸	付(乱積)	付(層積)
	0.5km 以下	21	21	17	23	22	18
	1.0km 以下	20	19	16	22	21	18
	1.5km 以下	17	17	14	21	20	16
	2.0km 以下	16	16	14	20	19	16
	2.5km 以下	15	14	12	19	18	15
	3.0km 以下	13	13	11	17	17	14
	3.5km 以下	13	12	11	17	16	14
	4.0km 以下	12	11	10	16	15	13
	4.5km 以下	11	11	9. 9	15	15	13
	5.0km 以下	10	10	9. 2	15	14	12
	5.5km 以下	9. 7	9.5	8. 7	14	14	12
	6.0km 以下	9. 3	9. 2	8. 4	14	13	12
	6.5km以下	8.8	8.6	7. 9	13	13	11
	7.0km 以下	8. 2	8. 1	7. 5	12	12	11
	7.5km 以下	8. 0	7. 9	7. 3	12	12	11
	8.5km 以下	7. 8	7. 7	7. 1	12	12	10
	9.5km 以下	7. 2	7.1	6. 6	11	11	9.9
	10.5km以下	6. 7	6.6	6. 2	11	10	9. 4
	11.5km 以下	6. 1	6.0	5. 7	9.8	9. 7	8.8
	12.5km以下	5. 7	5. 7	5. 4	9. 3	9.2	8.4
	14.0km以下	5. 4	5. 4	5. 1	8. 9	8.8	8.0
	15.0km 以下	4. 9	4. 9	4. 7	8. 2	8. 1	7.5
	積載個数		3個/台			4個/台	
	0.5km 以下	24	23	18	24	23	19
	1.0km 以下	23	22	18	24	23	18
	1.5km 以下	22	21	17	23	22	18
	2.0km 以下	21	21	17	22	21	18
	2.5km 以下	20	20	16	21	21	17
	3.0km 以下	19	19	16	21	20	16
	3.5km 以下	19	18	15	20	20	16
	4.0km 以下	18	18	15	20	19	16
	4.5km 以下	18	17	15	19	19	16
	5.0km 以下	17	17	14	19	18	15
	5.5km 以下	16	16	14	18	17	15
	6.0km 以下	16	16	13	18	17	15
	6.5km 以下	15	15	13	17	17	14
	7.0km 以下	15	15	13	17	16	14
	7.5km 以下	15	14	12	16	16	14
	8.5km以下	14 14	14 13	12 12	16 15	16 15	14
	9.5km 以下 10.5km 以下	13	13	11	15	14	13
	10.5km以下 11.5km以下	12	12	11	14	14	12
	11.5km以下 12.5km以下	12	12	10	14	13	12
	12. 5km 以下 14. 0km 以下	11	11	10	13	13	11
	15. 0km 以下	11	10	9. 4	12	12	11
	20. VIIII ()	**	1 1	1 0, 1	1 10	1 10	1 **

工種名		設	定	Þ	7	容	
消波根固めブロック工					<b></b>		
			作業日当り	標準作業量			
	ブロック規格			5.5t を超え	11.0t 以下		
	積載個数	<	1個/台	A+1-10	<b>√+&gt;</b> <sup>+</sup>	2個/台	At 10
	トラック 1 台当	積込·	積込・据	積込・据	積込・	積込・据	積込・据
	り運搬距離	荷卸	付(乱積)	付(層積)	荷卸	付(乱積)	付(層積)
	0.5km 以下	19	17	15	20	18	15
	1.0km 以下	18	16	14	19	18	15
	1.5km 以下 2.0km 以下	16 15	14	13 12	18 18	16 16	14 14
	2.5km 以下	13	14 12	11	17	15	13
		12	11	10	16	14	13
	3.0km 以下 3.5km 以下	12	11	10	15	14	12
	4. 0km 以下	11	10	9.3	14	13	12
	4. 0km 以下 4. 5km 以下	10	9.9	9. 0	14	13	12
	4. 5km 以下 5. 0km 以下	9. 7	9. 9	9. 0 8. 5	13	12	11
	5. 5km 以下	9.1	8. 7	8. 0	13	12	11
	6.0km以下	8.8	8.4	7.8	13	12	11
	6.5km 以下	8.3	7. 9	7. 4	12	11	10
	7. 0km 以下	7.8	7. 5	7. 0	12	11	9.8
	7. 5km 以下	7.6	7. 3	6.8	11	11	9. 7
	8. 5km 以下	7. 4	7.1	6. 7	11	10	9. 5
	9.5km 以下	6. 9	6.6	6. 2	10	9. 9	9. 0
	10.5km 以下	6. 4	6. 2	5. 9	9. 9	9. 4	8. 6
	11.5km 以下	5. 9	5. 7	5. 4	9. 2	8.8	8. 1
	12.5km 以下	5. 5	5. 4	5. 1	8, 8	8. 4	7. 8
	14.0㎞以下	5. 2	5. 1	4. 8	8. 4	8. 0	7. 5
	15.0㎞以下	4.8	4. 7	4. 5	7.8	7. 5	7. 0
			•			•	•
消波根固めブロックエ	① 根固めブロ	ック撤去					
(ブロック撤去工)	作業は	区分	作業日	当り標準作	業量	摘	要
	撤去・位	反置き	49	9(36) 個/日			- III A
	撤去•	乱積	7:	5(60) 個/日		堆砂があ	
	据付け	層積	5	3(42) 個/日			業量とす
	撤去・利	責込み	7:	3(58) 個/日		. る。	
				. , , , , ,			
捨石工	<ul><li>① 捨石工</li></ul>						
	作業	名 作	業日当り標準	作業量		摘 要	
	松一机工		$76 \text{ m}^3/\boxminus$		最大作業	半径 9m 以下	
	捨石投入	•	67 m³/日		最大作業	半径 9m を超	え 24m 以下
	表面均し	,	55 m³/日				
		<u> </u>					

工種名				内	容
消波工	1	捨石工(捨石均し)・・・ 該当	4工種の基準内に	記載。	
		S + Hullin (Tillians)			
	(2)	ブロック製作(型枠工)	/七米 ロ V M	抽游//	
		区 分	#	標準作業量 脱 型	<del>一</del> 摘 要
		 11. 0t を超え 25. 0t 以下	164 m²/日	193 m <sup>2</sup> /日	
		25. 0t を超え 50. 0t 以下	230 m <sup>2</sup> /日	270 m²/日	
				I	
	3	ブロック製作(コンクリートコ			
		区 分		標準作業量	摘要
		11.0t を超え25.0t 以下 25.0t を超え50.0t 以下		m <sup>3</sup> /日 m <sup>3</sup> /日	クレーン打設
		25.01 を超え 50.01 以下	125	Ⅲ/□	
	4	ブロック横取り ・・・ 該当工	種の基準内に記載	$\dot{\hat{\zeta}}_{\circ}$	
	_	ブロック積込み・運搬・据付けコ		<u></u>	
		・運搬距離 15km 以下 ・・・ 該当 ・運搬距離 15km を超え ・・・ 該			田粉) た会昭
			スコエ/宝ッカー 弁より		国致() 飞沙()(0)
浚渫工	1	浚渫・排土日数 ・・・ 現場条	件により設定		
(ポンプ浚渫船)	<b>(2)</b>	排砂管及び受枠設置・撤去、			
	4	排砂管及びフロータ設置・撤去	··· 該当工種(	の基準内に記載。	
		THE TIME	於一二二十二	1 1 1 - HU-1/40	
後渫工	現場	景条件により設定			
(バックホウ浚渫船) 軟弱地盤上における	1	軟弱地盤上における柔構造樋門	<b>月・</b>		
柔構造樋門・樋管工	T)	作業種別		当り標準作業量	<del></del>
		ブロック組立工		.3 ブロック/日	
		PCケーブル組立工		10 ケーブル/日	
		グラウトエ		333 m/日	
			<u> </u>		
	l				

工 種 名		設	定	内	容	
堤防除草工	① <u>除草</u>			_		
	作			作業日当り標		
	大型自走式	ロング	リーチ式	6, 670 m <sup>2</sup>		
	遠隔操縦式	刈幅	185cm	6,600 m <sup>2</sup>	2/日	
	还們未加工	′ 刈幅	120cm	4,760 m <sup>2</sup>	2/日	
	ハンドガ	イド式(刈幅)	.50cm)	5, 760 m <sup>2</sup>	2/日	
	肩掛式	(カッタ径 255	5mm)	680 m <sup>2</sup>	2/日	
	),	力		240 m <sup>2</sup>	2/日	
				•		
	② 集草			// NIC NA N. I	Mr. II. SIII. E	İ
	1	業種別	<del>-</del>	作業日当り標		
	遠隔操縦式		届 180cm	11,540 m		
		集草中	虽 160cm	7,690 m		
	ハンドガイ	'ド式(集草幅	200cm)	8,530 m		
	<u></u>	、 力		1,180 m	2/日	
	③ 梱包					
		 日当り標準作業	量	12,500 m	2/日	
						ı

工種名		i i	2 定	内	容	3
堤防除草工	4	積込·荷卸			1	
		₩\01 = b	作業種(オンロード・デ	別	作業	日当り標準作業量
			(梱包無し)			2,240 m <sup>2</sup> /日
		ダンプトラック	(オンロード・う (梱包有り)		漬級)	$5,950 \text{ m}^2/\Box$
		パッカ	一車(回転式・利	責載容量 8m³)		2,720 m <sup>2</sup> /日
	(5)	運搬 (堤防除草)				
	0	生派 (英例称早)	1		V= lén □□±4/4	作業日当り
		運搬機種	梱包の有無	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	標準作業量 (m²/日)
					1.0 以下	9, 833
					2.5 以下	8, 429
					4.0 以下	7, 375
					6.0 以下	6, 556
					7.5 以下	5, 900
					9.5 以下	5, 364
				無し	11.0 以下	4, 917
					13.0 以下	4, 538
					17.0 以下	3, 933
					22.0 以下	3, 471
					25.0 以下	3, 278
		ダンプトラッ			32.5 以下	2, 950
		ク(オンロー	梱包無し		40.0 以下	2, 682
		ド・ディーゼ	他也無し		1.0 以下	9, 833
		ル・2t積級)			2.5 以下	8, 429
					4.0 以下	7, 375
					5.5 以下	6, 556
					7.0 以下	5, 900
					8.5 以下	5, 364
				有り	10.0 以下	4, 917
					12.0 以下	4, 538
					15.5 以下	3, 933
					19.0 以下	3, 471
					21.5 以下	3, 278
					26.0 以下	2, 950
					40.0 以下	2, 682
		(注)ダンプト	ラックの運転日当	当り運転時間は,	5. 9h とする。	

工 種 名			官 内	容	
堤防除草工					
	運搬機種	梱包の有無	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m <sup>2</sup> /日)
				1.0 以下	25, 652
				2.5 以下	22, 692
				4.0 以下	20, 345
				6.0 以下	17, 879
				7.5 以下	15, 946
				9.5 以下	14, 390
			無し	11.0 以下	13, 409
				13.0 以下	12, 292
				17.0 以下	11, 132
				22.0 以下	9, 833
				25.0 以下	9, 077
	ダンプトラ	N)		32.5 以下	8, 310
	ク(オンロ・	一相与专的		40.0 以下	7, 763
	ド・ディー ル・2t積級)			1.0 以下	25, 652
	プレー 乙(代質が久)	,		2.5 以下	22, 692
				4.0 以下	20, 345
				5.5 以下	17, 879
				7.0 以下	15, 946
				8.5 以下	14, 390
			有り	10.0 以下	13, 409
				12.0 以下	12, 292
				15.5 以下	11, 132
				19.0 以下	9, 833
				21.5 以下	9, 077
				26.0 以下	8, 310
				40.0 以下	7, 108
	(注)ダンフ	『トラックの運転日	当り運転時間は,	5.9h とする。	

工 種 名	設	定	内	容			
堤防除草工							
	運搬機種	DID区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)			
			5.0 以下	15, 500			
			6.5 以下	10, 333			
			8.0 以下	8, 857			
			10.0 以下	7, 750			
		無し	12.0 以下	6, 889			
			14.0 以下	6, 200			
			16.0 以下	5, 636			
			18.0 以下	5, 167			
			20.5 以下	4, 769			
			26.5 以下	4, 133			
			35.0 以下	3, 647			
	パッカー車(回転		40.0 以下	3, 263			
	式・積載容量8m³)		5.0 以下	15, 500			
			6.0 以下	10, 333			
			7.5 以下	8, 857			
			9.0 以下	7, 750			
			11.0 以下	6, 889			
		有り	12.5 以下	6, 200			
		有り	14.5 以下	5, 636			
			16.0 以下	5, 167			
			18.0 以下	4, 769			
			22.0 以下	4, 133			
			27.0 以下	3, 647			
			40.0 以下	3, 263			
	(注)パッカー車の運転日当り運転時間は、6.2hとする。						

工 種 名		設	定	内	ř
是防除草工	6	除草,集草(人力),相	11包,積込・荷卸(総	給)	
		除草機種	梱包の有無	運搬機械	作業日当り 標準作業量 (m²/日)
			有り	- ダンプトラック <b>-</b>	803
		大型自走式 (ロングリーチ式)	無し		693
			無し	パッカー車	733
		a towns to the same to	有り	- ダンプトラック <b>-</b>	802
		遠隔操縦式 (刈幅185cm)	Aur. 1	ダンノトラック	692
	(/"J#H100CIII/	無し	パッカー車	732	
			有り	だい プラニー カ	766
		遠隔操縦式 (刈幅120cm)	dur. 1	- ダンプトラック -	665
	(/iijipm120Ciii/	無し	パッカー車	702	
			有り	12° x 2-	788
		ハンドガイド式 (刈幅150cm)	dur. )	- ダンプトラック -	681
		(\\\\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	無し	パッカー車	720
			有り		390
		肩掛式 (カッタ径255mm)	<b>—</b> >	<b>ー</b> ダンプトラック	362
	(ルック1主255回回)	無し	パッカー車	372	
		有り		190	
	人力	for )	- ダンプトラック <b>-</b>	183	
			無し	パッカー車	186
			l l		
7	除草,集草(機械),相	11包,積込・荷卸(総	(合)	// NI/ = N/ N	
	7	除草,集草(機械),相 除草機種	相包,積込・荷卸(終 梱包の有無	(全) 運搬機械	作業日当り 標準作業量 (㎡/日)
	7	除草機種		運搬機械	標準作業量
	7	除草機種遠隔操縦式	梱包の有無有り		標準作業量 (m²/日)
	7	除草機種	梱包の有無	運搬機械	標準作業量 (m²/日) 2,057
	7	除草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm)	梱包の有無有り	運搬機械 ダンプトラック パッカー車	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461
	7	除草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式	梱包の有無 有り 無し 有り	運搬機械 ダンプトラック	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651
	7	除草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm)	梱包の有無有り 無し	運搬機械 ダンプトラック パッカー車	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700
	7	原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm)	梱包の有無 有り 無し 有り	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271
	7	原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し 有り	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413
	(T)	原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413 1,856
	7	原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し 有り	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413 1,856 1,356
坊天端補修工		原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm) ハント・カ・イト・式 (刈幅150cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し 有り	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413 1,856 1,356 1,519
防天端補修工		原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm) パント・カ・イト・式 (刈幅150cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し 有り 無し	運搬機械  ダンプトラック パッカー車  ダンプトラック パッカー車  ダンプトラック パッカー車  がアカー車  がアカー車	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413 1,856 1,356 1,519
防天端補修工		原草機種 遠隔操縦式 (刈幅185cm) 遠隔操縦式 (刈幅120cm) ハント・カ・イト・式 (刈幅150cm)	梱包の有無 有り 無し 有り 無し 有り 無し	<ul><li>運搬機械</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li><li>ダンプトラック</li><li>パッカー車</li></ul>	標準作業量 (m²/日) 2,057 1,461 1,651 1,700 1,271 1,413 1,856 1,356 1,519

工 種 名		設	定	内	容	
堤防芝養生工	1	堤防芝養生工				
		作業種別		作業日当り	標準作業量	
		抜根+集草+積込運搬	ţ	934	ł m²/目	
		抜根+集草	1, 290	) m <sup>2</sup> /日		
		抜 根	1,880	) m <sup>2</sup> /目		
		集 草	4, 110	) m <sup>2</sup> /目		
		積込運搬		3, 380		
		施肥		13, 600	) m <sup>2</sup> /日	7
	(	注) 集草, 積込運搬は, 必要な	工種のみ計	上する。		_
伐木除根工	1	伐木除根工				
		作業名		作業日当り	標準作業量	
			粗	2, 105	5 m <sup>2</sup> /日	
		伐 木 作 業	中	768	B m <sup>2</sup> /日	
			密	433	s m <sup>2</sup> /目	
		伐 竹 作 業		439	m <sup>2</sup> /目	1
		除根作業		1, 160	) m <sup>2</sup> /目	1
		整 地 作 業		880	) m <sup>2</sup> /目	1
		集積作業 (人力施工		1, 180	) m <sup>2</sup> /目	
		the chart office of the Library	除根有		) m <sup>2</sup> /日	1
		集積作業 (機械施工)	除根無		) m <sup>2</sup> /日	1
		積 込 み(人力施工		21, 300		1
		2	-	.,,		1

工種名			設		内	容			
伐木除根工	2	運搬(伐木除村	艮)人力施工						
		積込条件	除根作業の 有無	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)			
					1.0 以下	4, 917			
					2.5 以下	4, 538			
					4.0 以下	4, 214			
					5.5 以下	3, 933			
					7.5 以下	3, 471			
					9.5 以下	3, 278			
				無し	12.0 以下	2, 950			
					15.0 以下	2, 682			
			_		19.0 以下	2, 458			
					24.0 以下	2, 269			
		人力施工			31.0 以下	2, 034			
					49.0 以下	1, 844			
					60.0 以下	1, 686			
		八八加工						1.0 以下	4, 917
							l		
					4.0 以下	4, 214			
					5.5 以下	3, 933			
					7.5 以下	3, 471			
					9.5 以下	3, 278			
				有り	11.5 以下	2, 950			
					14.5 以下	2, 682			
					18.0 以下	2, 458			
					22.0 以下	2, 269			
					27.5 以下	2, 034			
					34.5 以下	1,844			
					60.0 以下	1,686			
		(注) ダンプ	トラックの運転日	当り運転時間に	は, 5.9h とする。	<del></del> _			

3	運搬(伐木除村	設 艮) 機械施工	定	内	容
	積込条件	除根作業の 有無	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)
				0.5 以下	5, 364
				1.0 以下	4, 538
				1.5 以下	4, 214
				2.0 以下	3, 933
				2.5 以下	3, 471
				3.0 以下	3, 278
				3.5 以下	3, 105
				4.0 以下	2, 950
				4.5 以下	2, 810
				5.5 以下	2, 565
				6.5 以下	2, 360
			無し	7.5 以下	2, 185
				8.5 以下	1, 967
				10.0 以下	1, 844
				11.5 以下	1, 686
				13.5 以下	1, 553
				15.5 以下	1, 405
		有り		18.0 以下	1, 311
				21.0 以下	1, 204
				25.0 以下	1, 093
				30.5 以下	1,000
				41.5 以下	908
	機械施工			60.0 以下	831
	7效1双/胆二.			0.5 以下	5, 364
				1.0 以下	4, 538
				1.5 以下	4, 214
				2.0 以下	3, 688
				2.5 以下	3, 471
				3.0 以下	3, 278
				3.5 以下	3, 105
				4.0 以下	2, 810
				4.5 以下	2, 682
				5.0 以下	2, 565
				6.0 以下	2, 360
			有り	7.0 以下	2, 185
				8.0 以下	2, 034
				9.5 以下	1, 844
				11.0 以下	1,686
				12.5 以下	1, 513
				14.0 以下	1, 405
				16.0 以下	1, 311
				18.5 以下	1, 204
				21.0 以下	1, 093
				25.0 以下	1, 017
				29.0 以下	908
				60.0 以下	831
		機械施工		機械施工 有り 有り	機械施工 有り (機械施工 有り (機械施工 有り (人の 以下 1.5 以下 1.0 以下 1.5 以下 1.5 以下 1.0 以下 1.0 以下 1.5 以下 1.0 以下 1.

工 種 名		設	定	内	容
伐木除根工					
	積込条件	除根作業の 有無	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)
				0.5 以下	11, 800
				1.5 以下	9, 833
				2.0 以下	8, 429
				2.5 以下	7, 375
				3.0 以下	6, 556
				4.0 以下	5, 900
				4.5 以下	5, 364
				5.0 以下	4, 917
				6.5 以下	4, 538
				7.5 以下	3, 933
			無し	8.5 以下	3, 688
			,, ·	9.5 以下	3, 278
				11.0 以下	3, 105
				12.5 以下	2, 810
				14.5 以下	2, 565
				16.5 以下	2, 360
				19.0 以下	2, 185
		無し		22.0 以下	1, 967
				26.0 以下	1, 788
				32.0 以下 47.0 以下	1, 639 1, 475
				60.0 以下	1, 341
	機械施工			0.5 以下	11, 800
				1.5 以下	9, 833
				2.0 以下	8, 429
				2.5 以下	7, 375
				3.0 以下	6, 556
				4.0 以下	5, 900
				4.5 以下	5, 364
				5.0 以下	4, 917
				6.0 以下	4, 538
				7.0 以下	3, 933
			有り	8.0 以下	3, 688
			有り	9.0 以下	3, 278
				10.0 以下	3, 105
				11.5 以下	2, 810
				13.0 以下	2, 565
				15.0 以下	2, 360
				17.0 以下	2, 185
				19.5 以下	1, 967
				22.0 以下	1, 788
				25.5 以下	1, 639
				30.0 以下	1, 475
	(A) H, -0			60.0 以下	1, 341
	(狂)タンプ	トフックの連転	ロ当り運転時間に	は, 5.9h とする。	

工 種 名				内容	
伐木除根工	4	伐木·伐竹(複合)	_	_	
		樹木・竹の区分 樹木密集度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	作業日当り 標準作業量 (m²/日)
		伐木(粗)	有り	機械施工	259
			無し	7天7八八世二二	650
			<del>/////</del> C	人力施工	730
			有り	機械施工	213
		伐木 (中)	無し	7天7八八世二二	423
			## C	人力施工	455
			有り	機械施工	176
		伐木 (密)	無し	7天7八八世二二	296
			<del>/////</del> C	人力施工	312
			有り	   機械施工	177
		伐竹	無し	79天7八八世 工。	299
			<del>/////</del> C	人力施工	315
		wheelds to over			
塵芥処理工	1	塵芥処理工       工     種	名	作業日当り標準	机化光星
				7月来ロヨリ保当 20,000 m <sup>2</sup>	
		堆積塵芥収集(機		31 m <sup>3</sup> /	
		堆積塵芥収集(人		9 m <sup>3</sup> /	
		(注)上表は、収集・集積・			H
		(江/ 上次(3) 似木 未慎。	18KVV/IFKV/VFC	w)·√₀	
İ					

工 種 名		設定	内	容
塵芥処理工	② 散在塵芥処理		(搬)	
	DID 区間の	運搬距離 ——	作業日当り標	摩作業量(m²/日)
	有無	(km)	運搬のみ	収集・集積・積込み ・運搬
		1.0 以下	84, 286	16, 164
		2.0 以下	73, 750	15, 733
		3.0 以下	65, 556	15, 325
		4.5 以下	59,000	14, 937
		6.0 以下	53, 636	14, 568
		7.5 以下	49, 167	14, 217
		9.5 以下	42, 143	13, 563
	無し	12.0 以下	39, 333	13, 258
		14.5 以下	34, 706	12, 688
		17.5 以下	31, 053	12, 165
		21.5 以下	28, 095	11, 683
		26.5 以下	25, 652	11, 238
		34.5 以下	22, 692	10, 631
		46.0 以下	21,071	10, 261
		60.0 以下	19, 667	9, 916
		1.0 以下	84, 286	16, 164
		2.0 以下	73, 750	15, 733
		3.0 以下	65, 556	15, 325
		4.0 以下	59,000	14, 937
		5.5 以下	53, 636	14, 568
		7.0 以下	49, 167	14, 217
		8.5 以下	42, 143	13, 563
		10.5 以下	39, 333	13, 258
	有り	13.0 以下	34, 706	12, 688
		15.5 以下	31, 053	12, 165
		18.5 以下	28, 095	11, 683
		22.5 以下	25, 652	11, 238
		27.0 以下	22, 692	10, 631
		33.0 以下	21,071	10, 261
		42.0 以下	19, 032	9, 752
		49.5 以下	16, 857	9, 147
		60.0 以下	15, 946	8, 872

 工 種 名		設			 容
塵芥処理工	③ 堆積塵	<u> </u>		<ul><li>・積込み・運搬)</li></ul>	ы
	塵芥の	DID 区間	運搬距離	作業日当り標	厚準作業量(m³/日)
	種類	の有無	生放阳 (km)	運搬のみ	収集·集積·積込み 運搬
			0.5 以下	87	23
			1.0 以下	80	22
			2.0 以下	74	22
			3.0 以下	63	21
			4.0 以下	54	20
			5.0 以下	49	19
			6.5 以下	45	18
			8.0 以下	39	17
		無し	9.5 以下	37	17
		<del>***</del> C	11.5 以下	33	16
			13.5 以下	30	15
			16.0 以下	27	14
			19.0 以下	25	14
			22.5 以下	23	13
			27.5 以下	20	12
			35.0 以下	18	11
	木片・		46.0 以下	17	11
	本月・		60.0 以下	16	11
	枯草等		0.5 以下	87	23
	のかさ		1.0 以下	80	22
	高物や 軽量物		2.0 以下	74	22
	社里70		3.0 以下	63	21
			4.0 以下	54	20
			5.0 以下	49	19
			6.0 以下	45	18
			7.5 以下	39	17
			9.0 以下	37	17
		≠ n	10.5 以下	33	16
		有り	12.5 以下	30	15
			14.5 以下	27	14
			16.5 以下	25	14
			19.5 以下	23	13
			23.0 以下	20	12
			27.0 以下	18	11
			32.0 以下	17	11
			39.0 以下	16	11
			53.0 以下	14	9. 6
			60.0 以下	13	9. 2
	(注) ダン	プトラックの		間は, 5.9h とする。	

工種名		設	定	内	容	
<b>暨芥処理工</b>			/左光·□ V/ /a +=	<b>※/た光見</b> (3/p)		
	塵芥の	DID 区間	運搬距離	作業日当り標準作業量(m³/日) 収集・集積・積込		
	種類	の有無	(km)	運搬のみ	運搬	
			0.5 以下	20	12	
			1.0 以下	18	11	
			2.0 以下	16	11	
			3.0 以下	14	9. 6	
			4.0 以下	12	8. 7	
			5.5 以下	10	7. 6	
			7.0 以下	9. 1	7. 0	
			8.5 以下	7. 9	6. 3	
		無し	10.0 以下	7. 0	5. 7	
		₩ C	12.0 以下	6. 3	5. 2	
			14.0 以下	5. 7	4.8	
			16.5 以下	5. 1	4. 4	
			19.5 以下	4. 6	4. 0	
			23.0 以下	4. 2	3. 7	
			27.5 以下	3. 9	3. 5	
			34.5 以下	3. 5	3. 1	
			46.0 以下	3. 2	2. 9	
	コンク		60.0 以下	3. 0	2. 7	
	リート		0.5 以下	20	12	
	塊等の		1.0 以下	18	11	
	重量物		2.0 以下	16	11	
			3.0 以下	14	9. 6	
			4.0 以下	12	8. 7	
			5.0 以下	10	7.6	
			6.5 以下	9. 1	7. 0	
			8.0 以下	7. 9	6. 3	
			9.5 以下	7. 0	5. 7	
		有り	11.0 以下	6. 3	5. 2	
		11.2	13.0 以下	5. 7	4.8	
		_	15.0 以下	5. 1	4. 4	
		<u> </u>	17.5 以下	4. 6	4. 0	
		<u> </u>	20.0 以下	4. 2	3. 7	
		<u> </u>	23.0 以下	3. 9	3. 5	
		<u> </u>	27.0 以下	3. 5	3. 1	
		<u> </u>	32.0 以下	3. 2	2. 9	
		<u> </u>	39.0 以下	2. 9	2. 7	
		<u> </u>	53.0 以下	2. 6	2. 4	
			60.0 以下 運転日当り運転時間	2. 4	2. 2	

工種名	O Wester	設			容
芥処理工	<ul><li>4 堆積塵</li></ul>	芥処理(人力	処理)(収集・集積 	・積込み・運搬)	<b>佐娄县(‱³/□)</b>
	塵芥の	DID 区間	運搬距離	作業日当り標準	「F乗単(II / ロ) 収集・集積・積込み
	種類	の有無	(km)	運搬のみ	運搬
			0.5 以下	74	8. 0
			1.0 以下	66	7. 9
			2.0 以下	59	7.8
			3.0 以下	49	7. 6
			4.0 以下	42	7. 4
			5.0 以下	37	7. 2
			6.5 以下	33	7. 1
			8.0 以下	30	6. 9
		無し	9.5 以下	26	6. 7
		, U	11.5 以下	24	6. 5
			13.5 以下	21	6.3
			16.0 以下	19	6. 1
			19.0 以下	17	5. 9
			22.5 以下	16	5.8
			27.5 以下	14	5. 5
			35.0 以下	13	5. 3
	木片・空		46.0 以下	11	5.0
	田・枯草		60.0 以下	11	5.0
	等のか		0.5 以下	74	8.0
	さ高物		1.0 以下	66	7. 9
	や軽量物		2.0 以下	59	7.8
	190		3.0 以下	49	7.6
			4.0 以下	42	7. 4
			5.0 以下	37	7. 2
			6.0 以下	33	7. 1
			7.5 以下	30	6. 9
			9.0 以下	26	6. 7
		± 10	10.5 以下	24	6. 5
		有り	12.5 以下	21	6. 3
			14.5 以下	19	6. 1
			16.5 以下	17	5. 9
			19.5 以下	16	5.8
			23.0 以下	14	5. 5
			27.0 以下	13	5. 3
			32.0 以下	11	5.0
			39.0 以下	10	4. 7
			53.0 以下	9. 4	4.6
			60.0 以下	8.6	4. 4

工種名		設	定	内	容
芥処理工		1		作業日当り煙	準作業量(m³/日)
	塵芥の 種類	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	運搬のみ	収集·集積·積込み 運搬
			0.5 以下	20	6. 2
			1.0 以下	18	6. 0
			2.0 以下	16	5. 8
			3.0 以下	14	5. 5
			4.0 以下	12	5. 1
			5.5 以下	10	4. 7
			7.0 以下	9. 1	4. 5
			8.5 以下	7. 9	4. 2
		無し	10.0 以下	7. 0	3. 9
		無し	12.0 以下	6. 3	3. 7
			14.0 以下	5. 7	3. 5
			16.5 以下	5. 1	3. 3
			19.5 以下	4.6	3. 0
			23.0 以下	4. 2	2. 9
			27.5 以下	3.9	2. 7
			34.5 以下	3. 5	2. 5
	コンク		46.0 以下	3.2	2. 4
	リート		60.0 以下	3.0	2. 3
	塊等の		0.5 以下	20	6. 2
	重量物		1.0 以下	18	6. 0
			2.0 以下	16	5. 8
			3.0 以下	14	5. 5
			4.0 以下	12	5. 1
			5.0 以下	10	4. 7
			6.5 以下	9. 1	4. 5
			8.0 以下	7. 9	4. 2
			9.5 以下	7.0	3. 9
		有り	11.0 以下	6.3	3. 7
		有り	13.0 以下	5. 7	3. 5
			15.0 以下	5. 1	3. 3
			17.5 以下	4.6	3. 0
			20.0 以下	4.2	2. 9
			23.0 以下	3.9	2. 7
			27.0 以下	3. 5	2. 5
			32.0 以下	3. 2	2. 4
			39.0 以下	2. 9	2. 2
			53.0 以下	2.6	2.0
			60.0 以下	2. 4	1. 9

工 種 名	Ē	設 定		内	容					
ボーリンググラウト工	日当り施工本数(参考									
		ペッカー工法の2セ	ット1日当り	)施工本数は	以下により算	算出する。				
	2 セット1 日当り	施工本数(本/日)								
	$N = \frac{1}{T_r}$	l								
	11,	$\frac{\overline{ZlTp}}{10} + S \times Q$								
	10									
		C法 10 孔当り削孔 F								
		-工法 10 孔当り削孑 .m³ 当り注入日数(2		百む) (1-2)	)					
		平均注入量 (m³)	1)							
	1-1 ロッド工法1				弋のとおりと	する。				
		「a + 0.9 (日) (2			主 矣 収 )					
		L長別 10 孔当り削る 講等の日数	九口剱 (华///	日古まりノ(下	衣 参 炽 )					
		質係数は,掘削する	土質毎の係数	数をを下記の	とおり加重ュ	F均して算出				
	する	δ。αは小数第2位	でを四捨五入	し小数第1位	とし,下表。	より選択す				
	る。	$\alpha$ 1 $\wedge$ L 1 $\top$	$\alpha 2 \times L2$							
	(	$\alpha = {L1^{-}}$	+ L 2	<del>_</del>						
		ここで, α1:砂質								
				係数(=2.5) 土の総削孔長						
			*エ及しれば *質土の総削		(111)					
				1. 0						
				1.1						
		-		1. 2						
				1.3						
		土質係数		1. 4						
		(α)		1. 5						
				1.6						
				1.7						
				1.8						
	ロッド工法	<b>法 削孔長別 10 孔</b> 当	当り削孔日数	(Ta) (2 t	マット当り)					
		削孔長	単位	数量						
	1.01	m 以上 2.0m 未満	日	0. 2	2					
	2. 01	m 以上 3.0m 未満	目	0.4	1					
	3.01	m以上 4.0m未満	目	0.6	3					
	4.01	m以上 5.0m未満	目	0. 7	7					
	5. 01	m以上 6.0m未満	目	0.9	)					
	6. 01	m 以上 7.0m 未満	目	1. (	)					
	7. Or	m以上 8.0m未満	目	1. 2	2					
	8. 01	m 以上 9.0m 未満	目	1. 4	1					
	9.0	m 以上 10.0m 未満	月	1. 5	5					

10.0m以上11.0m未満

11.0m以上12.0m未満

12.0m以上13.0m未満

13.0m以上14.0m未満

14.0m以上15.0m未満

15.0m以上16.0m未満

日

日

日

目

日

1.7

1.8

2.0

2.2

2.3

2.5

工種名	
ボーリンググラウトエ	1-2 パッカー工法 10 孔当り削孔日数 (準備含む) (Tp) は次表のとおりとする。
	パッカー工法 削孔長別 10 孔当り削孔日数(Tp)(2 セット当り)
	削孔長 単位 数 量
	0.2m 未満 日 0.8
	0.2m以上0.4m未満 日 1.0
	0.4m以上0.6m未満 日 1.1
	0.6m以上0.8m未満 目 1.3
	0.8m以上1.0m未満 目 1.5
	1.0m以上1.2m未満 日 1.7
	1.2m以上1.4m 未満 日 1.8
	1.4m以上1.6m未満 日 2.0
	1.6m以上1.8m未満 日 2.2
	1.8m以上 2.0m 未満 日 2.3
	2-1 注入工 1m³当り注入日数 (S) は次表のとおりとする。 注入工 1m³当り注入日数 (S) (2セット当り)  注 入 日 数 (S)  0.12  (注)1. 上表の注入日数は1 分間当り注入量を 0.01m³/min とした場合である。 1 分間当り注入量を, 試験注入等を行って決める場合は, 次の式より注入日数を求めるものとする。 S=1/(408×q×2) q:1分間当り注入量 (m³/min) 2. 上記算出式により算出するSは小数第3位を四捨五入し小数第2位とする。 3-1 注入設備の据付・解体の施工日数は2日とする。(2セット分)

工種名		設	 定	内	容		
機械土工(河床等掘削)	1	河床等掘削					
			名	作業	日当り標準作業量		
		河床等掘削			147 m³/日		
	2	軟弱土等運搬					
		DID 区間の 有無	運搬5 (kn		作業日当り 標準作業量 (m³/日)		
			0.3	以下	63		
			0.8	以下	59		
			1.5	以下	53		
			2.5	以下	48		
			3. 5	以下	42		
		無し	6. 5	以下	37		
			9.0 以下		31		
			13. 0	以下	26		
			لا 19.5 ل		21		
			40.0	以下	16		
			60.0	以下	11		
			0.3	以下	63		
			0.8		59		
			1.5	以下	53		
			2.5		48		
			3.5		42		
		<b>→</b> 10	4. 5	以下	37		
		有り	8. 5	以下	31		
			12.0		26		
			17. 5		21		
			30.0		16		
			50.0		11		
			60.0		5		

工 種 名		設	定	内	容
機械土工(河床等掘削)	1	河床等掘削(ICT)			
(ICT)			名	作業日	日当り標準作業量
		河床等掘削(I(	CT)		204 m³/日
	2	軟弱土等運搬(ICT)			
		DID 区間の 有無	運搬 (kn		作業日当り 標準作業量 (m³/日)
			0. 2	以下	83
			0. 5		77
			0.8		71
			1. 1		67
			1. 5		63
			2.0		59
			2.6		53
		無し	3. 3		48
			4. 2	以下	42
			5. 5		37
			7. 3		32
			9. 7	以下	26
			13.8	以下	21
			22. 0	以下	16
			60.0	以下	11
			0. 2	以下	83
			0.4	以下	77
			0. 7	以下	71
			1.0	以下	67
			1. 4	以下	63
			1. 9	以下	59
			2. 5	以下	53
		有り	3. 1	以下	48
		有り	4. 0		42
			5. 2		37
			6. 7	以下	32
			9.0	以下	26
			12.6	以下	21
			19. 5		16
			39.0		11
			60.0		5

工種名					
巨石積(張)工	① 巨石積(張)工	<u>K</u>	r j	47	
— · · /2 (		業名	作業日当	り標準作業量	
	巨石引	長 (練)	25	m <sup>2</sup> /日	
	巨石引	長 (空)	27	$m^2/\exists$	
	巨石和	漬 (練)	30	m <sup>2</sup> /日	
	巨石	<b>万採取</b>	38	個/日	
	(注) 巨石積(張)コ	には, 裏込材工を施	工しない場合も上	去による。	
木杭打工	<ol> <li>① 木杭打</li> </ol>				
/N/N/11 ⊥			50	本/日	
	TP <del>R</del> H = 1	/ 保华日未里	50	本/ 日	
	0				
巨石据付工	① 巨石据付工		1		
	作業日当り	) 標準作業量	42	m <sup>2</sup> /日	
護岸基礎ブロック工	① プレキャスト基礎	歴(中詰材の種類:ニ	コンクリート)		
以下生物で、ファエ				作業日当り	標準作業量
	ブロック 製品長	ブロッ	ク下幅	基礎砕石	基礎砕石
	- ACHIE			有り	無し
		500mm 以上	600mm 未満	23 m/日	26 m/∃
		600mm 以上	700mm 未満	20 m/日	22 m/∃
	2,000mm	700mm 以上	900mm 未満	16 m/日	18 m/∃
		900mm 以上 1	,100mm 未満	13 m/日	14 m/∃
		1, 10	Omm	11 m/日	12 m/日
		500mm 以上	600mm 未満	28 m/日	33 m/日
		600mm 以上	700mm 未満	23 m/日	26 m/日
	3,300mm	700mm 以上	900mm 未満	18 m/日	21 m/日
		900mm以上1	,100mm 未満	14 m/日	16 m/∃
		1, 10	Omm	12 m/日	13 m/日
		500mm 以上	600mm 未満	34 m/∃	40 m/日
		600mm 以上	700mm 未満	26 m/日	31 m/∃
	5,000mm	700mm 以上	900mm 未満	20 m/日	23 m/日
		900mm 以上 1	, 100mm 未満	15 m/日	17 m/日
		1, 10	Omm	13 m/日	15 m/∃
	中詰コン 2. 中詰コン	主業日当り標準作業 クリート打設,養生 ンクリート工はクレー 養生材の被覆,散	Eを含む。 ーン車打設とする	) <sub>o</sub>	

工 種 名		設 定	内 容	
護岸基礎ブロック工	② プレキャスト	基礎(中詰材の種類:その他またに		
	ブロック	ブラッカ下幅	作業日当り相	
	製品長	ブロック下幅	基礎砕石 有り	基礎砕石 無し
		400mm 以上 500mm 未満	27(28) m/日	
		500mm 以上 600mm 未満	26(28) m/日	
	2,000mm	600mm 以上 700mm 未満	26(27) m/日	30(32) m/日
	2,00011111	700mm 以上 900mm 未満	25(27) m/日	30 (32) III/ [I
		900mm以上1,100mm未満	24(26) m/日	
		1, 100mm	24(25) m/日	
		400mm 以上 500mm 未満	33 m/∃	
		500mm 以上 600mm 未満	32 m/∃	
	2 200	600mm 以上 700mm 未満	31 m/∃	38 m/日
	3, 300mm	700mm 以上 900mm 未満	31 m/∃	
		900mm 以上 1, 100mm 未満	29 m/日	
		1, 100mm	29 m/日	
		400mm 以上 500mm 未満	36 m/日	
		500mm 以上 600mm 未満	35 m/∃	42 m/日
	4.000	600mm 以上 700mm 未満	34 m/∃	
	4,000mm	700mm 以上 900mm 未満	33 m/∃	
		900mm 以上 1, 100mm 未満	32 m/日	
		1,100mm	31 m/日	
		400mm 以上 500mm 未満	40 m/日	
		500mm 以上 600mm 未満	39 m/日	
	F 000	600mm 以上 700mm 未満	38 m/∃	40 . / 🗆
	5,000mm	700mm 以上 900mm 未満	37 m/∃	48 m/∃
		900mm 以上 1, 100mm 未満	35 m/日	
		1, 100mm	34 m/∃	
	2. ブロッ 3. 中詰材	の作業日当り標準作業量には,ブロック製品長2,000mmで,中詰材投入 対の投入は含まない。		
		ート打設 当り標準作業量	17 m³/日	
	作業日	当り標準作業量	17 m³/ Ħ	

工種名		л Х	 定	内	容		
かごマット工	① かごマットエ (ス	ロープ型)					
(スロープ型)	作	業名		作業日当り相	標準作業量	摘	要
	かごマッ	<u></u>	享さ 30cm	42 m <sup>2</sup>	2/日		
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u></u>	享さ 50cm	35 m <sup>2</sup>	2/日		
	(注) 1. 上表の作	業日当り標準	作業量には,	法面整形(床	拵え含む),嗄	及出し防	止材設
		の重複は考慮		撤去,詰石,蓋	意設置の作業を	と含む。	
	作			作業日当り標	準作業量	摘	要
	法面整形			478 m <sup>2</sup> /			
	吸出し防止材設し	 署		418 m <sup>2</sup> /			
		Ę	正さ 30cm	328 m <sup>2</sup> /			
	かご組立・据付け	ナ	こさ 50cm	190 m <sup>2</sup> /			
	補強材設置撤去	/-	_ 000m	165 m <sup>2</sup> /			
	加州村村	E	<b>正さ30cm</b>	150 m <sup>2</sup> /			
	詰石		さ 50cm ごさ 50cm	108 m <sup>2</sup> /			
	蓋設置	/-	2C OOCIII	289 m <sup>2</sup> /			
	益以但			209 111 /	/ Н		
		業日当り標準	法面整形。	床拵えの他,蓋	付,詰石,吸	出し防工	上材設
ブロックマット工	該当工種の基準内に	記載。					
野芝種子吹付工	① 野芝種子吹付工						
	作業名		業日当り標				
	野芝種子吹		1,429 m <sup>2</sup> /日				
	被覆シート		1,429 m <sup>2</sup>				
	養生(散水養	(生)	1,667 m <sup>2</sup>	2/目			
Methode	O Median						
袋詰玉石工	① 袋詰玉石		<b>松</b>		佐米ロルルギ	西滩ルツ	· 且.
	袋材規格	<b>押</b> (十)	施工条件 架さ 4m 以下	· 及でド	作業日当り村		:里
	, H		米と 411 05 1 業半径5m以		37 袋		
	2t用	据付深さ	4m を超え 9m	以下又は	40 袋	i/目	
	3t用	作業半行	怪5mを超え1 -	8m以下	38 袋		
	00/11				00 10	., н	

工種名		 設			 容
笠コンクリート	① 笠	コンクリートブロック	·		
ブロック据付工		中詰コンクリート型枠の 有無	中詰コンク	リート 100m 当り設計量	作業日当り 標準作業量
			11r	n³以上16m³未満	25 m/日
			16r	n <sup>3</sup> 以上 23m <sup>3</sup> 未満	24 m/日
			23r	n <sup>3</sup> 以上31m <sup>3</sup> 未満	23 m/日
			31r	n <sup>3</sup> 以上39m³未満	21 m/日
		fort )	39r	n <sup>3</sup> 以上 47m <sup>3</sup> 未満	20 m/日
		無し	47r	n <sup>3</sup> 以上 56m <sup>3</sup> 未満	19 m/日
			56r	n <sup>3</sup> 以上65m <sup>3</sup> 未満	18 m/目
			65r	n <sup>3</sup> 以上 75m <sup>3</sup> 未満	17 m/日
			75r	n³以上85m³未満	16 m/日
			85r	n³以上96m³未満	15 m/日
			11r	n³以上16m³未満	16 m/日
			16r	n³以上23m³未満	15 m/日
			23r	n³以上31m³未満	15 m/日
			31r	n³以上39m³未満	14 m/日
		有り	39r	n³以上47m³未満	14 m/日
		有り	47r	n³以上 56m³未満	13 m/日
			56r	n <sup>3</sup> 以上65m <sup>3</sup> 未満	13 m/∃
			65r	n³以上75m³未満	12 m/∃
			75r	n³以上85m³未満	12 m/∃
			85r	n³以上96m³未満	11 m/∃
	(参考	)各作業単独の場合の作	業量		
		作 業 名		作業日当り標準作業	<b>性量</b>
	_	高さ調整金具取作	寸	107 m/日	
	<u>_</u>	笠コンクリートブロッ	ク据付	56 m/日	
	_	ブロック連結		122 m/目	
	_	中詰コンクリート	エ	30 m³/目	
	_	型枠設置		67 m/∃	
		型枠撤去		111 m/目	
グラウトホール工	① グ	ラウトホール			
		作業日当り標準作	業量	5 組/日	<u> </u>
		(注) 作業日当り標準作	業量は、	寺殊作業員1名の場合。	
連節ブロックの水中	① 連	節ブロックの水中吊落し	エ		
吊落し工		作業日当り標準作	業量	$187 \text{ m}^2/$	日
				1	

	T							
工種名	① \V !-	設って	)	ŧ ,	为	容		
光ケーブル配管工	<ol> <li>光ケ</li> </ol>	<ul><li>① 光ケーブル配管工</li><li>作業名</li><li>作業日当り標準作業量</li></ul>						
				117来日	<u>ヨり保華作者</u> 28 m³/日	三		
	-				13 m³/日			
		配管設置			89 m/日			
		ハンドホール			1.1 個/日			
		7.0 1.40 7	以但		1.1 旧/ 日			
土工 (砂防工)	① 掘削	(砂防)						
	土質	施工数量	障害の 有無	掘削範囲	火薬使用	作業日当り 標準作業量 (m³/日)		
		3,000m³未満	無し	_	_	110		
		,	有り	_	_	83		
	土砂	3,000m³以上	無し	_	_	220		
		, , , , , , , ,	有り	_	_	160		
		小規模	_	_	_	28		
		3,000m³未満	無し	_	_	93		
	岩塊·	o, 000m / 11114	有り	_	_	62		
	玉石	3,000m³以上	無し	_	_	180		
		0, 000m <u>N</u> 1.	有り	_	_	120		
	軟岩	_	_	機械走行面 より 5m以内	_	51		
	7700	_	_	機械走行面 より	可	37		
		_	_	5m超え	不可	9		
		_	_	機械走行面 より 5m以内	_	29		
	硬岩	_	_	機械走行面	可	21		
		_	_	より 5m超え	不可	7		
	歯≐・ブー	_		機械走行面 より 5m以内	_	31		
	転石		_	機械走行面 より	可	9		
		_		より 5m超え	不可	12		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·		<u> </u>		

工種名		=	設		内		
土工(砂防工)	2					· ·	
		土砂等 発生現場		土質		運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
						0.5 以下	125
						1.0 以下	111
						1.5 以下	100
						2.0 以下	91
				土 砂		2.5 以下	77
		抽		(岩塊・玉石混り土含む)		3.0 以下	71
		標準				4.0 以下	63
						5.0 以下	56
						6.0 以下	48
						7.0 以下	43
				軟 岩		_	土砂÷1.22
				硬 岩		_	土砂÷1.37
		1 10 144-				0.3 以下	48
		小規模		_		0.6 以下	42
	3				1	作業日当り植	<b>画淮作</b> 坐量
		土砂等 発生現場		土 質		(m <sup>3</sup> /	
				土 砂		240	0
		標準		岩塊・玉石		200	0
				破砕岩		160	0
		小規模		_		3.	1
土工(砂防工)	1	掘削(砂防)(I(	СТ)				
(ICT)		土質		施工数量	ß	章害の有無	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
				2 0003 +>#		無し	120
				3,000m³未満		有り	91
		土 砂		2 000°351 F		無し	240
				3,000m3以上		有り	174
				2 000-3+5#		無し	101
		山地 一一		3,000m³未満		有り	67
		岩塊・玉石		2, 000, 301, 1		無し	196
				3,000m3以上		有り	131
					٠	•	

工種名	設			内	容	
コンクリートエ	① コンクリートエ (					
(砂防工)		作	業名		作業日当 標準作業	
			日打設量1	Om <sup>3</sup> 未満	7 m <sup>3</sup> / E	1
	コンクリート打談	ž	日打設量1	Om <sup>3</sup> 以上 30m <sup>3</sup> 未清	- B 21 m <sup>3</sup> / F	1
	(一般部)		日打設量3	Om <sup>3</sup> 以上 80m <sup>3</sup> 未清	- 52 m <sup>3</sup> / F	1
			日打設量8	0m³以上 140m³未清	- 5 91 m <sup>3</sup> / F	1
	コンクリート打調	没	ク゛ラノリシック 2	Om³/ブロック未満	17 m <sup>3</sup> / E	1
	(堤 冠)		富配合 30m	3/ブロック未満	33 m³/ E	1
	型枠設置・撤去	・ケレンはく	、離剤塗布		24 m <sup>2</sup> / E	3
	足場工				100 m/ E	3
	止水板設置				33 m/E	3
コンクリート工 (ケーブルクレーン打設)	<ul><li>① コンクリート投入</li><li>② コンクリートエ(</li></ul>			式(1 時間当り投	· · · · · ·	
		作	業 名		作業日当 標準作業	
	型枠工				50 m <sup>2</sup> / E	1
	コンクリート養生	生			77 m <sup>3</sup> / E	1
			鉄材 3m³/	ブロック未満	3 m <sup>3</sup> / E	1
	堤冠コンクリー	ト締固め	ク゛ラノリシック	20m³/ブロック未満	17 m <sup>3</sup> / E	1
			富配合 30	)m³/ブロック未満	33 m³/ E	1
	堤冠コンクリー	ト養生			11 m <sup>3</sup> / F	1
	岩盤清掃				100 m <sup>2</sup> / F	1
	チッピング				100 m <sup>2</sup> /F	1
	(注)「コンクリー	卜養生」「場	冠コンクリ	ート養生」の作業	日当り標準作業量	
	は、普通作業員	員1名の場合	Ī o			
残存型枠工	① 残存型枠工					
	作業名	対	象構造物	作業日当り標	準作業量	
	残存型枠の加工・	2000年	<b></b>	65 m <sup>2</sup> /	Ħ	
	/太 丁土/十ツ/川上・	残存	了化粧型枠	59 m <sup>2</sup> /	Ħ	
					_	

工種名		設	 定	内	容
<u>工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工</u>	① ケーブル		固定式)基礎・据代		7 <b>н</b>
		(1.1111)	基礎	据付け	解体
	規格	スパン	(ウインチベース・	(機械据付・	(機械解体・
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		アンカーベース)	ワイヤ張上)	ワイヤ撤去)
		75m以下	3 日/基	3 日/基	2 日/基
		76m~125m	4 日/基	4 日/基	3 日/基
		126m~175m	4 日/基	5 日/基	3 日/基
		176m~225m	5 日/基	5 日/基	4 日/基
	2t	226m~275m	6 日/基	6 日/基	4 日/基
	未満	276m~325m	6 日/基	7 日/基	5 日/基
		326m~375m	7 日/基	7 日/基	5 日/基
		376m~425m	7 日/基	8 日/基	6 日/基
		426m~500m	8 日/基	9 日/基	6 日/基
		75m以下	3 日/基	5 日/基	3 日/基
		76m~125m	4 日/基	5 日/基	4 日/基
		126m~175m	5 日/基	6 日/基	4 日/基
		176m~225m	5 日/基	7 日/基	4 日/基
	3t	226m~275m	6 日/基	7 日/基	5 日/基
	未満	276m~325m	7 日/基	8 日/基	5 日/基
		326m~375m	7 日/基	9 日/基	6 日/基
		376m~425m	8 日/基	9 日/基	6 日/基
		426m~500m	9 日/基	10 日/基	7 日/基
		75m以下	4 日/基	5 日/基	3 日/基
		76m∼125m	4 日/基	6 日/基	4 日/基
		126m~175m	5 日/基	7 日/基	4 日/基
	4t	176m~225m	6 日/基	7 日/基	5 日/基
	未満	226m~275m	6 日/基	8 日/基	5 日/基
	八和町	276m~325m	7 日/基	9 日/基	6 日/基
		326m~375m	8 日/基	10 日/基	6 日/基
		376m~425m	8 日/基	10 日/基	6 日/基
		426m~500m	9 日/基	11 日/基	7 日/基
		75m以下	4 日/基	6 日/基	3 日/基
		76m∼125m	4 日/基	7 日/基	4 日/基
		126m∼175m	5 日/基	7 日/基	4 日/基
	5t	176m∼225m	6 日/基	8 日/基	5 日/基
	未満	226m~275m	6 日/基	9 日/基	5 日/基
	>1< field	276m~325m	7 日/基	9 日/基	6 日/基
		326m~375m	8 日/基	10 日/基	6 日/基
		376m~425m	8 日/基	11 日/基	7 日/基
		426m~500m	9 日/基	12 日/基	7 日/基
	② 土工機械	分解・組立 ・・・	現場条件により	設定	

り標準作業量は、・・・・該当工種の言かして・・・・該当工種の言かして・・・・該当工種の言がは違り)業 名 一ム型砂防堰堤 は、り標準作業量は、・・・ を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	及びレキ質土であり、 = 量は、粒径処理後土量を	居付質量)を参照。 当り施工量)を参照。
い標準作業量は、 ・・ 該当工種の記 ・・ 該当工種の記 ・・ 対塗り) 業 名 ・ ム型砂防堰堤 ・ り標準作業量は、 粒径処理率 ・ を超え 45%以下 ・ を超え 60%以下 ・ を超え 80%以下 ・ を超え 100%以下	普通作業員1名の場合 計算式(1日当り組立・ 当工種の計算式(1日 作業日当り標準作 29 m²/日 塗装工1名の場合。 作業目 を変装であり、こ	居付質量)を参照。 当り施工量)を参照。 業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
い標準作業量は、 ・・ 該当工種の記 ・・ 該当工種の記 ・・ 対塗り) 業 名 ・ ム型砂防堰堤 ・ り標準作業量は、 粒径処理率 ・ を超え 45%以下 ・ を超え 60%以下 ・ を超え 80%以下 ・ を超え 100%以下	普通作業員1名の場合 計算式(1日当り組立・ 当工種の計算式(1日 作業日当り標準作 29 m²/日 塗装工1名の場合。 作業目 を変装であり、こ	居付質量)を参照。 当り施工量)を参照。 業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
<ul> <li>・・・ 該当工種の記力ー工・・・ 該</li> <li>・・・ </li> <li>・・ 該</li> <li>・・ 該</li> <li>・・ 該</li> <li>・・ 該</li> <li>・・</li></ul>	計算式(1日当り組立・ 当工種の計算式(1日 作業日当り標準作 29 m²/日 塗装工1名の場合。 作業日 を変装工1名の場合。	居付質量)を参照。 当り施工量)を参照。 業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
カーエ ・・・ 該 け塗り) 業 名 - ム型砂防堰堤 り標準作業量は, 粒径処理率 を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	作業日当り標準作 29 m <sup>2</sup> /日 塗装工1名の場合。 作業日 作業日 を変更であり、こ をびレキ質土であり、こ 量は、粒径処理後土量を	当り施工量)を参照。  業量  30 標準作業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
カーエ ・・・ 該 け塗り) 業 名 - ム型砂防堰堤 り標準作業量は, 粒径処理率 を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	作業日当り標準作 29 m <sup>2</sup> /日 塗装工1名の場合。 作業日 作業日 を変更であり、こ をびレキ質土であり、こ 量は、粒径処理後土量を	当り施工量)を参照。  業量  30 標準作業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
業 名 - ム型砂防堰堤 」り標準作業量は、 粒径処理率 を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	29 m²/日 塗装工1名の場合。 作業日 及びレキ質土であり、コ 量は、粒径処理後土量を	日当り標準作業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
- ム型砂防堰堤 り標準作業量は, 粒径処理率 を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	29 m²/日 塗装工1名の場合。 作業日 及びレキ質土であり、コ 量は、粒径処理後土量を	日当り標準作業量 30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
が標準作業量は, 粒径処理率 を超え 45%以下 を超え 50%以下 を超え 60%以下 を超え 80%以下 を超え 100%以下	塗装工1名の場合。  作業 E  をびレキ質土であり、 量は、粒径処理後土量を	30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
粒径処理率 6を超え45%以下 6を超え50%以下 6を超え60%以下 6を超え80%以下 6を超え100%以下	作業 を をびレキ質土であり、 こ 量は、粒径処理後土量を	30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
を超え 45%以下 6を超え 50%以下 6を超え 60%以下 6を超え 80%以下 6を超え 100%以下	及びレキ質土であり、 = 量は、粒径処理後土量を	30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
を超え 45%以下 6を超え 50%以下 6を超え 60%以下 6を超え 80%以下 6を超え 100%以下	及びレキ質土であり、 = 量は、粒径処理後土量を	30 m³/日 37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
を超え50%以下 を超え60%以下 を超え80%以下 を超え100%以下	量は,粒径処理後土量を	37 m³/日 47 m³/日 68 m³/日 96 m³/日
を超え60%以下 を超え80%以下 を超え100%以下	量は,粒径処理後土量を	47 m <sup>3</sup> /日 68 m <sup>3</sup> /日 96 m <sup>3</sup> /日
を超え80%以下 を超え100%以下	量は,粒径処理後土量を	68 m³/日 96 m³/日
を超え 100%以下	量は,粒径処理後土量を	96 m³/日
	量は,粒径処理後土量を	, .
土質は、砂質土屋	量は,粒径処理後土量を	上質条件が異なる場合は
処理率は次式に」	よる。 2径処理後土量)/ (粒径対	
	1	
当り標準作業量	1	32 m³/日
材料積込までを含	_ ,	セメント投入, 撹拌混合, 斗量とする。
・締固め		
V( )0 (= )#- /L-1/4 =	4.5m 未満	4.5m以上
当り標準作業量	87 m³/目	128 m³/日
> >   11 > 14 -	量は,敷均し,締固め, の有無にかかわらず適月 ンートで覆うことを標≗	目できる。
	hts to delicate the	
は、施工箇所をジ		数)を参照。
<ul><li>は、施工箇所を</li><li>該当工種の計 用設備設置工,</li></ul>	該当工種の基準内に記	載。
	には,施工箇所を ・・ 該当工種の計 条用設備設置工,	Eは、施工箇所をシートで覆うことを標準 ・・ 該当工種の計算式 (1 基当り施工日

設

## 工種名地すべり防止工(集排水ボーリング工)

① ボーリング

		,	作業日当り標準	進作業量(m/日)	)
施工場所	呼び径	粘性土 砂質土	レキ質土	岩塊玉石	軟岩
	90mm	32	22	16	20
地表	110mm	24	18	14	17
	135mm	20	15	13	15
	90mm	27	19	13	17
集水井	110mm	20	15	12	14
	135mm	17	13	11	13

内

容

定

- (注) 1. 呼び径とは、ドリルパイプ外径 (mm) をいう。
  - 2. 同一足場上での移動を含む。
  - 3. 削孔長が50mを超える場合は全長について20%の削減補正を行う。
- ② 保孔管、ボーリング仮設機材、足場(地表)

② 保扎官, 示	ーリング仮説	77效的, 足	易 (地衣)		
ľ	乍 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要	
	地表部	VP管	150 m/日 500 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
保孔管	地衣印	SGP管	52 m/日 98 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
休九日	<b>集</b> * + + -	VP管	110 m/日 440 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
	集水井内	集水井內	SGP管	37 m/日 56 m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無
ボーリング	地表部		0.89 回/日		
仮設機材	集水井内		0.30 回/日	足場設置撤去含む	
D#1 /1	₩±)	平地	42 空 m³/日		
足場(5	也衣)	傾斜地	32 空 m³/目		

(注)上表の作業日当り標準作業量には、ロータリパーカッション式ボーリングマシンの 据付けから保孔管挿入、足場撤去までの一連作業を含む(ボーリングは除く)。

## 地すべり防止工 (山腹水路工)

- ① 山腹U形側溝,山腹コルゲートフリューム据付,山腹U形側溝明暗渠, 山腹コルゲートフリューム明暗渠,山腹暗渠工 ・・・ 該当工種の基準内に記載。
- ② 集水桝,プレキャスト集水桝

作業名	材料種別	内空積もしくは製品質量	作業日当り標準作業量		
集水桝工		0. 4m³以下	1.7基/日		
	集水桝	0.4を超え0.8m³以下	1.4基/日		
		0.8を超え1.0m³以下	1.1 基/日		
	プレキャスト 集水桝	150 を超え 500kg 以下	2.8 基/日		
		500 を超え 1,000kg 以下	2.3 基/日		
		1,000 を超え 1,500kg 以下	1.9 基/日		
		1,500 を超え1,700kg 以下	1.8 基/日		

(注)集水桝の作業日当り標準作業量には床掘り(仕上げ含む),基礎,型枠,コンクリート 打設,埋戻しまでの一連作業を含む。ただし,養生に要する日数は含まない。

工種名			設				<u></u> 内	2			
地すべり防止工	(1)	かご工	нх	•			1.1	1	=-		
(かご工)			ご種類		かご寸法			F業日当 標準作業			
		د ئ	<b>ゃかご</b>		φ 45cm						
					φ60cm			14 m/日			
		ふとん	んかご・		さ 40cm×幅	-		9 m/日			
					高さ 50cm×幅 120cm			7 m/日			
					高さ 60cm×幅 120cm		6 m/日				
					高さ 100cm×幅 120cm		4 m/日				
					高さ 50cm×幅 200cm			4 m/日			
				高	さ100cm×幅	200cm		2 m/日			
	2	止杭工									
			作業日当り標準作業量			17 本/日					
		(注)作	業日当り標	葉準作業	き量は、普通作	業員1名	の場合。				
集排水ボーリング孔	1	洗浄工	••• 該当	工種の	基準内に記載。	)					
洗浄工	2	② 集水井内足場設置・撤去									
		作業日当り標準作業量						2.5 回/日			
路盤工	1	不陸整正	,下層路盤	ì,上層	路盤						
		抽工	区分		工 種	<del></del>	単位	5 作	(1 日・1 層当 業日当り標準作業量		
		施工区分 車道・路肩部 施工 歩道施工					+111		来ロヨッ保エド来』 1,510 m²/日・層	些	
					下層路盤 上層路盤(粒度調整砕石)				940 m²/日・層	$\dashv$	
				上層					940 m <sup>2</sup> /日・層	$\dashv$	
					下層路盤及び上層路盤				268 m²/日·層	_	
	I							•			
	旅	巨工区分	工	種	平均幅員	1層 平均仕		単位	作業日当り 標準作業量		
					1 4 4 7 7	50mm	以下		250 ㎡/日・層		
	車	道・路肩	上層路盤	<u>.</u>	1.4m未満		を超え mm以下	$\mathtt{m}^2$	230 ㎡/日・層		
	音[	施工	(瀝青安定	処理)	1.4m以上 3.0m以下	_	-	111	1,300 m²/日・層		
					3.0m超				2,300 m²/日・層		
	注		露路盤の一		の仕上り厚さら の仕上り厚さら				理路盤の場合は 10c	em)	
路盤工(ICT)	① 不陸整正(ICT)下層路盤(ICT),上層路盤(ICT)										
		工種						Z 作	(1 日・1 層当 業日当り標準作業』		
		不陸整正 (ICT)         下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)         上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)							1,920 m <sup>2</sup> /日・層		
									1,350 m <sup>2</sup> /日·層	$\neg$	
									1,350 m <sup>2</sup> /日·層		
		(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは15cm までとする。									
		•		,,,		9		. = 0			

工 種 名		設	定	F	为	容		
アスファルト舗装工	1	舗設工						
	Г			1 B V 10	11.1.10	(1日・1層当り)		
		施工区分	平均幅員	1層当り作 平均原	1 111/1	作業日当り 標準作業量		
			1.4m未満	50mml		250 m²/日・層		
		基層(車道・路肩部)		50mmを 70mmり	以下	230 m²/日・層		
		中間層(車道・路肩部 表層(車道・路肩部)	) 1.4m以上 3.0m以下	70mmJ	m <sup>2</sup>	1,300 m²/日·層		
			3.0m超	7 OHIIILE	X I'	2,300 m²/日・層		
		基層(歩道部)	1.4m未満	50mmL		250 m²/日・層		
		中間層(歩道部)表層(歩道部)	1. 4Ⅲ八川町	50mmを 70mmり	m-	230 m²/日・層		
		衣眉(少旭叫)	1.4m以上	70mm以	以下	940 m²/日・層		
	2	アスカーブ						
		作業日当り	漂準作業量		260 m/日			
1/2-1-7.44 (> -18.5)		トルオフェを選挙						
半たわみ性(コンポジット)舗装工	(1)	セメントミルク浸透						
		作業日当り村	票準作業量	作業量 1,050 m <sup>2</sup> /日		1		
排水性アスファルト	(1)	排水性舗装・表層(』	+ ★ . 内巨切()					
舗装工	(I)	孙小注	平坦·昭月刊/		(1 目・	1層当り)		
		平均施工幅員	導水パイプの影	世 作	業日当り標準			
		1.4m未満	有り		170 m <sup>2</sup> /F			
		21 220 1 10 7	無し		190 m <sup>2</sup> / F			
		2.4m 以上	有り		1,500 m <sup>2</sup> /F			
		,	無し	1,700 m <sup>2</sup> /F	∃·層			
透水性アスファルト	(1)	フィルター層						
舗装工	(I)	ノイルケー 僧		(1		し日・1 層当り)		
		作業	名	作業日	当り標準作業	量		
		フィルター材の敷	均し及び締固め	280	O m <sup>2</sup> /日・層			
	2	透水性アスファルト	舗装					
				,,	(1日・1層)			
		平均施工			当り標準作業	量		
		1. 4m=			0 m <sup>2</sup> /日·層			
		1.4m以上2			0 m <sup>2</sup> /日·層			
		2. 4mJ	<u> </u>	620	O m <sup>2</sup> /日・層			
й пропо · !	-14×	レナ廷の世迷よいニュー						
グースアスファルト 舗装工	談	当工種の基準内に記載。						

工 括 夕			<b>=</b> ⊓.	少	h				
工種名       コンクリート舗装工	(I)	コンクリート	設舗装工	定	内	容			
· V / / I IIII ACT	•			別	作業日当り標準作	業量			
			1 直		111 m²/ ⊟				
		機械舗設	2 車		152 m²/日				
			舗設厚	20cm 以上	47 m²/∃				
		人力舗設	舗設厚	20cm 未満	69 m <sup>2</sup> /日				
連続鉄筋コンクリート	(1)	連続鉄筋コン	/クリート舗	 装工					
舗装工			日当り標準作		146 m²/日				
					_ <u> </u> 地切り・清掃の有無にか	 いかわらず適用できる。			
踏掛版	1	踏掛版							
ин JИ/IX		PH 121/10	鉄 筋 量		作業日当り標準作	業量			
		0.08t/	m <sup>3</sup> 以上0.10t/	/m³未満	11 m³/日				
		0. 10t/	m³以上0.14t/	/m³未満	10 m³/日				
			m <sup>3</sup> 以上0.18t		9 m³/日				
			m <sup>3</sup> 以上0.24t		8 m³/日				
		0. 24t/	m³以上0.30t/	/m³未満	7 m³/日				
		0.30t/	m³以上0.34t/	/m³未満	6 m³/日				
		(注) 1. 上表	その作業日当	り標準作業	<u>ー</u> 量には,コンクリート,				
			材の作業を含						
		2. 各作業間の重複作業は考慮していない。							
	(参	:考)各作業単							
			作 業 名		作業日当り標準作	業量			
			目地板設置		14 m²/日				
		錐	失筋加工・組立	<u>V.</u>	3.5 t/日				
			型枠設置		38 m²/日				
		コ	ンクリート打	丁設	69 m³/∃				
ガードケーブル設置工	( <u>1</u> )	ガードケーフ	が心設置工						
		作		IJ	作業日当り標準作業	量			
		- 出土士+ 1	Z由:ス 7。	標準型	5 本/日				
		端末支柱	建込み	耐雪型	5 本/日				
				標準型	44 本/日				
		中間支柱	機械打込	耐雪型	37 本/日				
			コンクリー	・ト建込	25 本/日				
				A種	164 m/日				
				B種	205 m/日				
		, .	ı≓	C種	273 m/日				
		ケーブル	没	S種	137 m/日				
				Am種	102 m/日				
				Bm種	137 m/日				
ワイヤロープ設置工	該当	工種の基準内	引に記載。			<u> </u>			
				<b>学</b>					
落石防止網(繊維網) 設置工	1	落石防止網			10 2/日				
·			当当り標準作		19 m²/日				
					普通作業員1名の場合 量は,上表×2とする。				
		2. JHX	<b>→</b> * /	4 / 1/ホ <del>ー</del> IFオ		1			

工種名			n. X		内	容	
立入り防止柵工	1		管基礎				
		基礎種別	種別		支柱柵高 ・門柱高		作業日当り 標準作業量
			\ √ √⊠∔m			無し	22 基/日
		基礎ブロック	金網柵		_	有り	21 基/日
			門扉		_	無し	21 基/日
				0	N T	有り	20 基/日
		鋼管基礎	_		以下 2.5m 以下		32 基/日 45 基/日
	2	金網・支柱(立入)	方止柵)				
		基礎種別		柵高	支柱間隔	作業日当り 標準作業量	
		基礎ブロック			1.5m	28 m/日	
				_	2m	30 m/日	
			2m	出下	1.5m	28 m/日	
		鋼管基礎	2m 以下		2m	30 m/∃	
		<b>斯日</b>	2m を超え 2.5m 以下		1.5m	25 m/日	
				2m		27 m/日	
	3	支柱(立入防止柵)					
	基	基礎種別	支柱	柵高	作業日当り 標準作業量		
		基礎ブロック		_	74 本/日		
		鋼管基礎	2m 以下		74 本/日		
		對日本院	2m を超え	2.5m 以下	70 本/日		
	4	門扉					
		門扉種別	門村	注高	作業日当り 標準作業量		
		上田ヶ	2m J	以下	7.5 基/日		
		片開き	2m を超え	2.5m 以下	6.1 基/日		
		両開き		_	3.8 基/日		
	5	箱抜き					
		作業日当り	標準作業量		50 m/日		
		(注) 作業日当た	り標準作業	量は、普通作	F業員2名の場	<b>湯</b> 合。	
車止めポスト設置工	1	車止めポスト					
		作業日当り	標準作業量		7.3 本/日	3	
				<b>L</b>			

工種名		設		1	<u></u> 为	容
落下物等防止柵設置工	(1)	落下物等防止柵設置工		ŀ	<u> </u>	台
100 120 1		アンカーボルト設し	置	作業日当た	上り標準作業	量
		有り		27	m/目	
		無し		32	m/日	
しゃ音壁設置工	1	支柱アンカー	_			
		形式	支柱間隔		置高さ	作業日当り標準作業量
			2m		以下	475 m/日
		A型 (押款アンカーキギ)			. 8m 以下	150 m/日
		(埋設アンカー方式)	4m		以下	981 m/日
			0		. 8m 以下	297 m/日
		B型 (穿孔アンカー方式)	2m	+	以下	22 m/日
		(牙孔) クガーガ式)	4m	4m	以下	50 m/日
	2	支柱立込				
		形式	支柱間隔	設置	置高さ	作業日当り標準作業量
			255	4m	以下	72 m/日
		A型	2m	4m 超え	. 8m 以下	28 m/日
		(埋設アンカー方式)	455	4m 以下		148 m/∃
			4m	4m 超え	. 8m 以下	55 m/日
		B型	2m	4m	以下	39 m/∃
		(穿孔アンカー方式)	4m	4m	以下	78 m/日
		L Salerat. / L				
	3	土留板取付	作業日	1 出り挿雑ル	上茶量	
		設置高さ作業日当り標準作業量4m 以下78 m²/日		上未里		
		4m 超え 8m 以下		53 m²/日		
		THI NE /C OH //		00 ш/ н		
	4	しゃ音板・透光板取付				
		作業名	設置			当り標準作業量
		しゃ音板取付	4m L			75 m²/日
			4m 超え 8m 以下			44 m <sup>2</sup> /日
		透光板取付	4m J			99 m²/日
			4m 超え	8m 以下	1	73 m²/日
	(5)	笠木取付				
		作業日当り標準作業	量	2, 000	) m/目	
	6	外装板取付				
		作業日当り標準作業	量	152 m²/日		
	7	水切版取付				
		作業日当り標準作業	量	254	m/日	

工種名	設	 定	内	容	
路側工(据付け)	① 歩車道境界ブロック据付,地先	境界ブロック	′据付		
			作業日当り標	準作業量(m/日	)
	ブロック規格	ブロック 単体	ブロック+ 基礎砕石	ブロック+ 均しコンクリート	ブロック+ 基礎砕石+ 均しコンクリート
	歩車道境界ブロックA種 地先境界ブロックA・B・C種	37	34	23	22
	歩車道境界ブロックB・C種	43	39	25	23
	各種(600mm以下, 50kg未満)	37	34	23	22
	各種(600mm以下, 50kg以上100kg未満)	43	39	25	23
	各種(600mm超1000mm以下, 50kg以上150kg未満)	49	43	27	25
	各種(1000mm超2000mm以下, 150kg以上550kg未満) (注) 1. 上表は,直線部,曲線部)	56	49	29	27
	2. 上表には,敷モルタル,  3. 上表には,ブロックの現場 4. 床掘り,埋戻しは別途計_	場内小運搬を			
路側工(取外し)	① 歩車道境界ブロック撤去,地先				
		作業日当り標	準作業量		
	処 分	200 m/	目		
	再利用	115 m/			
	(注) 1. 上表は,直線部,曲線	!部及び片面月	目,両面用,乗	入れ,すりつけ	用ブロックを
	含む。 2. 上表には,敷モルタル 3. 上表には,ブロックの 4. 基礎コンクリートのと	現場内小運搬	<b>没を含む。</b>	含む。	
特殊ブロック設置工	① 特殊ブロック設置工				
	作業日当り標準作業量		77 m²/目		
	(注) 撤去の作業日当り標準作	 業量は,上表	₹×2 とする。		

工種名		設	定	P	勺	容	
組立歩道工	<ol> <li>組立歩</li> </ol>	道工					
			支柱			当り標準作業	量(m/日)
	形式区分	床版形式	(受桁) 間隔	幅員	支柱受桁 床版据付 高欄据付	支柱受桁 床版据付	高欄据付
				1. Om	17	25	
		プレキュフト	3. Om	1.5m	14	20	
		プレキャスト コンクリート製	3. UM	2.0m	13	17	
	支柱式			2.5m	11	14	
			5.0m	2. Om	13	17	
		TH 1-H 1-T	2.0m	1.5m	13	17	50
		現場打	3. Om	2.0m	11	14	50
		プレキャスト		1. Om	17	25	
			3. Om	1.5m	14	20	
	片持式	フレキャスト コンクリート製		2. Om	13	17	
			4##-1	1.5m	20	33	
			無し	1.5m 2.0m	20 17	33 25	
喬梁付属施設設置工	① 排水桝	排水物	無し 井の種類 <桝 A		17		業量
喬梁付属施設設置工	① 排水桝	排水物	中の種類 <桝 A	2. Om	17	25 日当り標準作	業量
喬梁付属施設設置工		排水 <b>や</b> 排水や	‡の種類 <桝 A 20kg/個未清	2. Om	17	25 日当り標準作 12 箇所/日	業量
香梁付属施設設置工	(注) 1	排水枠 排水桝 B : 排水桝 B : 排水桝 B 20kg/個 . 排水桝 A は、繊維 . 排水桝 B は、FRP	‡の種類 <桝 A 20kg/個未清 以上 110k 強化プラス	2.0m	17 作業 (P) 製とする	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量
喬梁付属施設設置工	(注) 1 2 ② 橋名板	排水物 排水桝 B : 排水桝 B : 排水桝 A は、繊維 ・排水桝 B は、FRP 等取付	#の種類 <桝 A 20kg/個未満 以上 110k 強化プラス 製以外(普遍	5.0m ち g/個以下 チック (FF 通鋳鉄 (ね	作業 作業 (P) 製とする ずみ鋳鉄) 製	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量
喬梁付属施設設置工	(注) 1 2 ② 橋名板	排水枠 排水桝 B : 排水桝 B : 排水桝 B 20kg/個 . 排水桝 A は、繊維 . 排水桝 B は、FRP	#の種類 <桝 A 20kg/個未満 以上 110k 強化プラス 製以外(普遍	5.0m ち g/個以下 チック (FF 通鋳鉄 (ね	17 作業 (P) 製とする	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量
喬梁付属施設設置工	(注) 1 2 ② 橋名板	排水桝 排水桝 B : 排水桝 B : 20kg/個. 排水桝 B は、FRP : 5 乗り付 標準作業: 高欄	#の種類 <桝 A 20kg/個未結 以上 110k 強化プラス 製以外 (普)	ち ち g/個以下 チック (FF 通鋳鉄 (ね 6.6	17 作業 PP) 製とする ずみ鋳鉄) 製 枚/日	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量
<b>喬梁付属施設設置工</b>	(注) 1 2 ② 橋名板	排水桝 排水桝 B 20kg/個 排水桝 B は、緑維 ・排水桝 B は、FRP 等取付 作業日当り標準作業 高欄 設置方法	#の種類 <桝 A 20kg/個未結 以上 110k 強化プラス 製以外 (普)	ちまり (FK 自身) (FK extension (FK ex	17 作業 (P) 製とする ずみ鋳鉄) 製 枚/日	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量
橋梁付属施設設置工	(注) 1 2 ② 橋名板	排水桝 排水桝 B : 排水桝 B : 20kg/個. 排水桝 B は、FRP : 5 乗り付 標準作業: 高欄	#の種類 <桝 A 20kg/個未結 以上 110k 強化プラス 製以外 (普)	ち ち g/個以下 チック (FF 通鋳鉄 (ね 6.6	17 作業 (作業 (P) 製とする ずみ鋳鉄) 製 枚/日	日当り標準作 12 箇所/日 11 箇所/日 10 箇所/日	業量

工種名	設		内	容	
トンネル内装板設置工	①トンネル内装板設置	, <u> </u>	1 3	, LI	
	作業日当り標準	作業量	63.4 m²/∃		
道路付属物設置工	<ul><li>① 距離標</li></ul>				
	形	式	作業日当り根	票準作業量	
			設置	撤去	
	パネル式(アンカ		16 枚/日	40 枚/日	
	パネル式(金具		24 枚/日	60 枚/日	
	パネル式(土中	埋込)	10 枚/日	25 枚/日	
道路植栽工(客土工)	①道路植栽工(客土工)(上)	層 30cm)			
(上層 30cm)	作業日当り標準	作業量	$4.5 \text{ m}^3/\Box$		
	(注) 作業日当り標準	作業量は、普通	作業員1名の場合。		
	<ol> <li>③ 路面切削</li> </ol>				
	施工区分		全面切削		帯状切削
	旭工区万	4,000m <sup>2</sup> 以下	4,000m <sup>2</sup> を超え		市(人列刊
	平均切削深さ(H)	6сі	m以下	6cmを超え 12cm以下	3cm以下
	作業日当り標準作業量	$1,400 \text{ m}^2/\boxminus$	1,800 m <sup>2</sup> /∃	1,340 m <sup>2</sup> /日	1,800 m <sup>2</sup> /日
	2. 全面切削の施工に とする。 3. 上表には,清掃( 4. 平均切削深さは, H= Av ×10 H:1現場 Av:1現場 W:平均り なお,帯状 5. 帯状切削とは,2 6. 帯状切削の施工に	る移動を含むが 区分は、1 工事の 作業を含む。 作業を含む。 次式による。 のの平均切削深さ のの平均切削断面 の別削の場合は、 でといっている。	5、運搬車両による の切削面積のうち全 5 (cm) 11積 (m²) W=2m とする。 が路面切削機の切削	移動は別途考慮 を面切削に係るが が開いない場合	する。 恒工面積を対象

工 種 名	設	定内	容
路面切削工	② 殼運搬(路面切削)	, ,	
	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
		0.2 以下	167
		0.5 以下	143
		1.0 以下	125
		1.5 以下	111
		2.0 以下	91
		2.5 以下	83
		3.0 以下	71
		3.5 以下	67
		4.0 以下	59
		4.5 以下	56
		5.0 以下	50
		5.5 以下	48
		6.5 以下	43
	無し	7.5 以下	38
		9.0 以下	34
		10.5 以下	30
		12.0 以下	28
		13.5 以下	25
		16.0 以下	23
		18.5 以下	20
		21.5 以下	19
		26.0 以下	17
		32.0 以下	15
		39.5 以下	14
		47.0 以下	12
		55.5 以下	11
		60.0 以下	10

工種名	設	定内	容
路面切削工	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
		0.2 以下	167
		0.5 以下	143
		1.0 以下	125
		1.5 以下	111
		2.0 以下	91
		2.5 以下	77
		3.0 以下	71
		3.5 以下	63
		4.0 以下	56
		4.5 以下	53
		5.0 以下	48
		5.5 以下	45
		6.0 以下	42
	有り	6.5 以下	40
	有り	7.5 以下	37
		8.5 以下	33
		9.5 以下	30
		11.0 以下	28
		12.5 以下	25
		14.5 以下	23
		16.5 以下	20
		19.0 以下	19
		22.0 以下	17
		25.5 以下	15
		30.0 以下	14
		36.0 以下	12
		46.0 以下	11
		60.0 以下	10
		用する場合は,別途考慮す  区)は,総務省統計局の国	
切削オーバーレイエ 該	当工種の基準内に記載。		

<b>工任力</b>	1		<b>⊐</b> n,	جئر	-1-	<del>,</del>	
工 種 名 舗装版破砕工	① 舗	装版破砕(	設度生年1	定	内	容	
印度文列以外文化十二。		アスファ					
		障害等	騒音振	制		ヨ当り標準作業量	
		の有無	対策		直接掘削 • 積込作業	舗装版破砕 作業	掘削・積込 作業
				15cm以下	510	_	_
		無し	不要	15cmを超え 40cm以下	_	310	370
		<del>/////</del> C	N III	15cm以下	_	260	490
			必要	15cmを超え 35cm以下	_	180	370
	(2)	コンクリー	ート舗装用	饭			
		F7 1	CI I I Anto	A-bolt-11-		当り標準作業量	
		騒音振動	助対策	舗装版厚	直接掘削 ・積込作業	舗装版破砕 作業	掘削・積込 作業
		不	₩	15cm以下	510	_	_
		小乡	女 ·	15cmを超え 35cm以下	_	230	260
		必要		15cm以下	_	190	320
				15cmを超え 35cm以下	_	150	260
	(3)	コンクリー	ート+アン	スファルト(カバ			
		Co+/	As(カバー	-)舗装による	作業日当り標準		
				卜舗装版厚	舗装版破砕 作業	掘削・積込 作業	
			15cm		230	170	
		150	cmを超え2	22.5㎝以下	230	150	
		装版破砕( アスファ)					
			舗装		作業日当り	標準作業量	]
		舗装版厚	4cm以下			$m^2/\boxminus$	
				え10cm以下		m <sup>2</sup> / 日	
				超え 15cm 以下	16 m²/ 目		
				図え 30cm 以下 への有無にかかわら		m <sup>2</sup> /∃	
		(114) 11-24	, TRK	- ~ 11 W// - W W 42 5	· / Æ/11 C C O		

工 種 名		設	定	内	 容	
舗装版切断工	① 舗装		Æ	L1	47	
11112/10/2011	-	アスファルト舗装版				
		アスファルト舗装版厚	作業日	当り標準作業	量	
		15cm以下		230 m/日		
		15cmを超え30cm以下		130 m/目		
		30cmを超え40cm以下		80 m/日		
	(2)	コンクリート舗装版, コンク コンクリート舗装版厚		スファルト(カ 当り標準作業		
		15cm以下	TERT	<u>ヨり保華旧来</u> 150 m/日	里	
	<del> </del>	15cmを超え30cm以下		, , .		
		注) コンクリート+アスファ	ルト (サバ-	70 m/日 一) 雑壮版の世		ナコンカリート
	(	舗装版のみの厚さである。	)	)開教収り物	7口,	<b>ユーン</b> ク ケート
道路打換え工	(I) il	 首路打換え工				
		当り標準作業量(総施工量1	,000 m <sup>2</sup> 未満	<del>-</del> )		(m <sup>2</sup> /目)
		全体掘削厚	40er	n以下	40cm を超え	80cm を超え
		王/14/14月7/子	4001		80㎝以下	120cm 以下
		復旧層数	2層	3層以上	4層以上	5,6層
		コンクリート圧砕装置		5層以下	6層以下	
		15cm 以下				
	歩	コンクリート圧砕装置・		200		
	掛	大型ブレーカ 15cm を	050		160	1.40
	区	超え 30cm 以下	250			140
	分	コンクリート圧砕装置・				
		大型ブレーカ 30cm を		190		
		超え 40cm 以下				(m <sup>2</sup> /日)
		/hln 🗆 W			3層以上	
		復旧層数 		2層	4層以下	5層
	歩掛	バックホウによる直接掘削	<del>  [                                  </del>			
	掛 区	全体厚 40cm 以下	が見込 * 1店刊	360	270	220
	分	上件子100m以				
		· 復旧層数		2層	3層以上	5層以上
					4層以下	6層以下
	歩	バックホウによる直接掘削		260	210	170
	歩掛区分	全体厚 40cm を超え 80cm じ				
	分分	バックホウによる直接掘削		200	170	140
		全体厚 80cm を超え 120cm	<u> </u>			
	作業日	当り標準作業量(総施工量1	,000 m <sup>2</sup> 以上	)	10 3. 127 3	(m²/日)
		全体掘削厚	40c	m以下	40cm を超え 80cm 以下	80cm を超え 120cm 以下
				3層以上	4層以上	
		復旧層数	2層	5層以下	6層以下	5,6層
		コンクリート圧砕装置		220	180	
	,,,	15cm 以下			100	
	歩   掛	コンクリート圧砕装置・		010		
	街	大型ブレーカ 15cm を 超え 30cm 以下	260	210		150
	分	超え 30cm 以下 コンクリート圧砕装置・			170	
		大型ブレーカ 30cm を		200		
		超え 40cm 以下				
	(注)	1. 復旧層数は、即日復旧を				0
		2. 作業量は, とりこわし~	後旧までの	作業量とする。		

道路打換え工							
.四门天人工						(m <sup>2</sup> /日	
	復	日層数		2層	3 層以上 4 層以下	5層	
	歩 掛 バックホウによる直接掘削積込・ 区 全体厚 40cm 以下			380	300	240	
	復[	日層数		2層	3 層以上 4 層以下	5 層以上 6 層以下	
	ボックホウに よ 歩 全体厚 40cm を	にる直接掘削積込 超え 80cm 以下	・掘削	270	230	180	
	′ਜੀ	よる直接掘削積込 超え 120cm 以下	・掘削	210	1	70	
	参考)各作業単独の場合			R重ごうる。  掘削深さ	作	業日当り	
	作業名	舗装版厚さ		は総施工量		来ロヨリ 準作業量	
			40cm 以下			606 m <sup>2</sup> /目	
	直接掘削積込		40cm を越え 80cm 以下		下	368 m²/日	
				越え120cmリ		258 m²/目	
		15cm 以下	40cm以下			379 m²/日	
			40cm を越え 80cm 以下 80cm を越え 120cm 以下			311 m <sup>2</sup> /日	
		15cm を越え	80cmを越え120cm以下 40cm以下			263 m <sup>2</sup> /日 356 m <sup>2</sup> /日	
	とりこわし掘削積込		40cm を越え 80cm 以下			296 m²/日	
		30㎝以下	80cmを越え120cm以下			253 m <sup>2</sup> /日	
			40cm 以下			318 m²/日	
		30cm を越え	40cm を越え 80cm 以下		下	270 m²/日	
		40㎝以下	80cmを越え120cm以下		下	233 m²/日	
	不陸整正		$1000\text{m}^2$ $\bar{z}$		1,	724 m²/日	
	(路床又は路盤の補足	材敷均し転圧)	$1000 \mathrm{m}^2$ L	以上	2,	000 m <sup>2</sup> /日	
	路盤の敷均し	転圧	1000m <sup>2</sup> =			724 m <sup>2</sup> /日・層	
	- Hamil - 200 G		1000m <sup>2</sup> J			000 m <sup>2</sup> /日・層	
	舗装の敷均し	<b>転</b> 圧	1000m <sup>2</sup> =			351 m <sup>2</sup> /日・層	
L			1000m² L	以上	2,	000 m <sup>2</sup> /日・層	
上路盤再生工 該	当工種の基準内に記載。						
スファルト注入工   該	当工種の基準内に記載。						

工 種 名		設	ı	定	内	容	<b>?</b>	
舗装版クラック補修工	1	舗装版クラック補係	多					_
		作業名	作業日	当り標準作業量	ţ	摘	要	
		クラック補修	6	520 m/日				
		クラック防止 シート張	g	930 m/日				
*************************************		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	:t					
道路付属構造物塗替工	1	道路付属構造物塗物 作業種別			1	<b>化</b> 世 口 业 い	標準作業量	7
		11 未 埋 加		ポール類			m <sup>2</sup> /日	+
		ele tri, amelia		1,7,1				-
		素地調整		防護柵類			m <sup>2</sup> /日	_
			落石防止柵類			73	m²/ ∃	
		4. 民株光粉染料		ポール類			$m^2/$ 日・回	
		付属構造物塗替	防護柵	防護柵類·落石防止柵類			m <sup>2</sup> /日·回	1
		(注)作業日当り村	票準作業量は	,塗装工4名の	り場合。			
張紙防止塗装工	1	張紙防止塗装						
		作 業 種	i 別	作業日当り	標準作業	<b>業量</b>		
		ケレン作	手業 14 m²/日					
		張紙防止塗装(	1 層当り) 32 m <sup>2</sup> /日		n <sup>2</sup> /目			
				1				

工種名			設		定		内	容	
	1	鋼板接着工					L J	- 谷	
		工 種	名	作業 E 標準作				摘	要
		下 地 処	理工	66	m <sup>2</sup> /目	施工量	は、鋼板取	付面積と	する。
		アンカー	設置工	419	本/日	本歩	事には, 罫書	作業を含む	ts.
		鋼 板 取 (スプライス板		39	m <sup>2</sup> /日	本歩打	事には、鋼板	の現場内の	小運搬を含む。
		シー	ルエ	301	m/日		<b>遣</b> は,シール 事には,注入		る。 パイプの設置を含む。
		注 入	エ	59	$m^2/ \Box$	施工量とする		付面積とス	ペプライス板取付面積
		仕 上	エ	144	m <sup>2</sup> /日		量は,鋼板取 事には,注入		する。 パイプの除去を含む。
	2	増桁架設工	 法						
		工 種	名	作業 目標準備			:	摘	要
		既設部材	撤去工	0.4	t/目				
		現場削	孔工	120 箇	所/日				
		下 地 処	理 工	17	$m^2/\exists$		≧は,増桁取 ▶には,罫書		
		増産	害無し	3. 5	t/日		は、主桁、		
		Ⅰ 取 Ⅰ	害 有 り	2. 7	t/目	障害と		,水道管,	反締めを含む。 通信ケーブル等の施 という
	-	ボルト	<del></del> 締 工	310	本/日		THE C 1C 1	<u> П/П/М/П (</u>	L V 00
	•	シー	ルエ		m/日		は、シール		る。 ペイプ設置を含む。
	-	注入	I.	12	m <sup>2</sup> /日		は、増桁取		
	=	仕 上			m/日	施工量	は,シール	延長とする	
	(3)	炭素繊維接	着工法	l		1124	11-100, 110	, , ,,,,,,	is smached
	Ĭ	工	種 名		作業日 標準作			摘	要
	-	下 地	処 耳	里工	52. 1	$m^2/\exists$	施工量は,	補強対象は	面積とする。
	J	プライマ	至	全面貼り	96. 3	$m^2/\exists$	4		党影面積とする。 本歩
				各子貼り	94. 7	m <sup>2</sup> /目	掛には、養	生を含む。	
	7	下陸修 [		全面貼り	49. 7		4		<b>党影面積とする。本歩</b>
				各子貼り	42. 4	m <sup>2</sup> /∃	/日 掛には、養生を含む。		
		炭素繊維シ 妾 着	<u> </u>	全面貼り 各子貼り	36. 3 34. 0	ル上里は、火糸桝桝町女有田慎			
		土上的	TI	装工	88. 7				受影面積とする。

工 種 名		設		定		内	容	
床版補強工	4	クラック処理工		<i>,</i>		, ,		
		作業日当り標準作	作業量		22	m/日		
	(5)	足場工						
		7.2.33.2.3	工 種	名			作業日当り標準作業量	
		足 場	桁高 1.5	5m 以上		-		33 m²/∃
		(板張防護含む)	桁高 1.5	m 未満		-		38 m²/∃
		delt der			両	側設置		227 m²/∃
		朝顔	_		片	側設置		455 m²/日
			I PAR	.1	両	両側設置		278 m²/∃
		H ( +44	板張	万護 -	片	側設置		556 m <sup>2</sup> /日
		防護工			両	側設置		1,250 m <sup>2</sup> /日
			シート	脹防護 -		側設置		2,500 m <sup>2</sup> /日
		(注)作業日当り標準	上 作業量は,	橋梁特殊				
4 Mar   Mar								
橋梁補強工(鋼板巻 立て)(1)(2)	1	橋梁補強工(鋼板巻立	作業	種 別			作类	
L () (1) (2)							72 掛 m²/日	
		鋼板取付	175-00 ( 1 15	17611				10 m <sup>2</sup> /日
		到 <b>时</b> 有又有人下了	オフ	· 肉脚長	6mm			15 m/日
			板型					7 m/日
			板型					3 m/日
		現場溶接	-					
			板原板原					3 m/日
				•				2 m/日
			板區			o. +>#		1 m/日
				削孔深 0.8m以上1.0m未満 削孔深 1.0m以上1.2m未満 削孔深 1.2m以上1.4m未満				46 箇所/日
		フーチングアンカー 削孔・定着	-					40 箇所/日
		FIJTL * Æ/国						36 箇所/日
			削者	削孔深 1.4m以上1.6m未満				32 箇所/日
	(1)	橋梁補強工(コンクリ	ート巻立	7)				
リート巻立て) (1)		作業			作	業日当り標準	作業量	
(2)		足場設置・撤去(枠組		発行型))		72 m <sup>2</sup> /日		
		下地処理				36 m <sup>2</sup> /日		
		一般型枠製作・設置	<ul><li>撤去</li></ul>			26 m <sup>2</sup> /日		
		合板円形型枠製作・	設置・撤去	÷		20 m / □ 13 m²/ 目		
		コンクリートす	打 設			43 m³/日		
			•			10 III / H		
		削孔機械名	電動	動ハンマド	ジル	ハント	ドドリハ	ン(空圧式)
		削 孔 径(mm)	20	) 以上 30 =	未満			50 以下
		H	0 (	2以上0.4	UE	0 2 11 1- 0 6	未満	0.6以上0.9以下
		削 孔 深(m)	0.2	3 以上 0.4	<i>b</i>	[0.3 以上 0.6	/ \T  #J	0.0001

 工 種 名	1		設	定	内			
橋梁地覆補修工	1	とりこわし				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	_	
		作業日	当り標準作業	量	1. 4	$m^3/ \exists$		
		(注)旧高欄	の撤去,鉄筋	の切断,	破砕片除去・集	<b>賃積及び運搬車の</b>	コ の積込みを含む。	
	2	鉄筋		1			_	
		作業日	当り標準作業	量	0.36	t/目		
		(注)現場加	(注) 現場加工及び組立を含む。					
	3	コンクリート			7			
		作業日	作業日当り標準作業量 0.76			$m^3/ \exists$		
					部及び底板部)	の製作, 設置	・撤去, はく離剤	
	(4)	塗布及び養 足場・防護	生作業を含む	o				
			当り煙淮作業	름	21 1	m <sup>2</sup> /日		
		IP <del>*</del> H :	当り標準作業量 31			ш / Н		
橋梁補修工 (大子) (大子) (大子)	1	支承取替(鋼橋	及びPC橋)		サルルを乗り	E /F 2F 12 14.		
(支承取替工)		工種名	鋼橋-鋼製		基 当 り 標 準 50t以下)	上	5 日/基	
			鋼橋ーゴム		50t以下) 50t以下)	_	4 日/基	
			PC橋ーゴム			_	4 日/基	
			T O HIM D .	<i>&gt;</i>		鈑 桁	7 日/基	
		支承取替	鋼橋一鋼製		<del></del> \	1箱桁2沓	8 日/基	
			(150tを超え	2250t以	۲)	1箱桁1沓	11 日/基	
			鋼橋-鋼製支承 (250tを超え320t以下)			鈑 桁	8 日/基	
						1箱桁2沓	11 日/基	
						1箱桁1沓	13 日/基	
	② 水南 - 1 / 2 / 1 / 1 / 2 / 2 / 1 / 1 / 2 / 2 /							
	② 沓座コンクリートはつり(支承直下部以外)							
		1m³当り	) 標準作業日数	汝	3	日/m³		
	3	下効エブラケ	1 版什					
	3	下部エブラケッ	下取刊			) \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<b>3</b> .	
					ノフク	・ット単部材質』 -	<u>E</u>	
		作業日当り	標準作業量	60	00kg 以下	600kg を超:	え 2, 000kg 以下	
				;	3 基/日	2	基/日	
	4	足場					_	
		作業日	当り標準作業	量	20 1	$m^2/$ $\Box$		
		(注) 作業日	当り標準作業	量は,橋	梁特殊工5名の	)場合。	<b>_</b>	
橋梁補修工	1	現場溶接鋼桁補	 強					
(現場溶接鋼桁補強工)			<u>〜</u> 当り標準作業量	ł I	14 1	m/日		
							 −連作業である。	
		(1上/ 上4 (1)	ロオリヨッ保	十二十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	л <i>ь</i> , рнял <i>л</i> чりが		在17末へのる。	

工 種 名	į			内	容	
橋梁補修工(表面被	該当工種の計算式(1 株		参照。			
覆工(塗装工法))						
落橋防止装置工	① コンクリート削孔	T				II Alle and I have
	削孔機械名	削孔径		削孔	深	作業日当り 標準作業量
		50mm 以下		500mm 以下		15 孔/目
	最新士 マギーリ	30IIII 12 T		500mm 超え 1000mm 以下		12 孔/目
	電動式コアボーリングマシン			500mm 以下		11 孔/目
		50mm 超え 110mm 以	下	500mm 超え 1000mm 以下		9 孔/目
					00mm 以下	4 孔/目
	電動ハンマドリル	20mm 以上 30mm 以7	下	200mm 以下		84 孔/目
	さく岩機(ハンドド	20mm 以上 50mm 以下		200mm 超え 500m	mm 以下	48 孔/目
	リル(空圧式))	2011111 5/12. 0011111 5/1	'	500mm 超え 800m	mm 以下	38 孔/目
	② アンカー					
	適用アン	カー材径	-	打込み方向	作業日当	り標準作業量
	アンカー材径 25mm じ	エ		下方向	79	本/日
	フンガー内1至 25mm b	231111 15		横方向	68	本/日
	     アンカー材径 25mm 超	え 40mm 以下		下方向	68	本/日
	7 7 7 円至 20mm 延			横方向	55	本/日
	     アンカー材径 40mm 超	Rネ 55mm 以下				本/日
	7 V 7 17 TOMM /G	27C 00mm 5/( )		横方向 4		本/日
	     アンカー材径 55mm 超	3タ70mm 以下		下方向	42	本/日
	7 7 7 7 17 3 3 1 1 1 2	2,6 ( ) 5 ( )		横方向	26	本/日
	   アンカー材径 70mm 超	3え 85mm 以下		下方向		本/日
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			横方向	12	本/日
	③ 充填補修					
	作業日当り標	準作業量		92 孔/日		
	<ul><li>④ 現場孔明(鋼構造)</li></ul>	<i>\</i>			<u>'</u>	
	(4) 現場孔明 (鋼構造   作 業 条		作業		量	
	10 本以上/		11 /1	80 本/目		
	作業性の悪い			40 本/目		
		I				

T 任 b		<b>⊐</b> n.		⇔	,	p++
工 種 名 道路除草工	1	設 除草		定	内	容
CPUNTAL		作業形態	飛び石防	護の有無	作業日	当り標準作業量
			7	有り	2	, 250 m <sup>2</sup> /目
		肩掛け式	4	無し		, 250 m <sup>2</sup> /目
		ハンドガイド式			6, 120 m <sup>2</sup> /日	
		人力除草				,000 m <sup>2</sup> /日
		八川小平			1	, 000 ш / д
	2	集草				
		作業日当り標準値	乍業量		2, 760	$m^2/\exists$
		Character and the		1		
	_	積込運搬 (1) 積込				
		作業日当り標準	作業量		2, 050	m <sup>2</sup> /日
		17.77				. , .
		(2) 運搬			-	11 MI - M
		運搬機種・規模	各	運搬距离 (km)	雅	作業日当り 標準作業量 (m <sup>2</sup> /円)
				6.5 以	下	(m²/目) 4,917
			-	11.5 以		4, 214
				14.5 以	下	3, 688
				17.5 以	下	3, 278
				19.5 以	下	2, 950
		   ダンプトラック[オ	->/	21.5 以	下	2, 682
		タンノトフック [ス   ド・ディーゼル] 2t		23.5 以	下	2, 458
			_	26.0 以	下	2, 185
				28.0 以	下	1, 967
				30.0 以	下	1, 788
				32.0 以	下	1, 639
				34.5 以	下	1, 475
				35.0 以	下	1, 341
				4.0 以	下	3, 100
				7.0 以	下	2, 818
			Ī	10.0 以	下	2, 583
			F	14.0 以	下	2, 296
		パッカー車[回転式	, T	17.5 以	-	2, 067
		積載容量4m³	-	21.0 以		1,879
			F	25.0 以		1,676
			F	29.0 以	-	1, 512
				33.0 以		1, 348
				35.0 以		1, 216
				22.0		5.9h とする。

工種名		設	定	容			
道路除草工	4	機械除草(肩掛式)・集草・積	込運搬				
		運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)			
			6.5 以下	990			
			11.5 以下	958			
			14.5 以下	928			
			17.5 以下	899			
			19.5 以下	873			
		12° - 12° -	21.5 以下	848			
		ダンプトラック [オンロー ド・ディーゼル] 2t積級	23.5 以下	824			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	26.0 以下	791			
			28.0 以下	760			
			30.0 以下	732			
			32.0 以下	706			
			34.5 以下	674			
			35.0 以下	644			
			4.0 以下	885			
			7.0 以下	861			
			10.0 以下	838			
			14.0 以下	805			
		パッカー車[回転式]	17.5 以下	775			
		積載容量4m³	21.0 以下	747			
			25.0 以下	712			
			29.0 以下	681			
			33.0 以下	646			
			35.0 以下	614			
	5	(注) 1. ダンプトラックの運転日当り運転時間は, 5.9h とする。 2. パッカー車の運転日当り運転時間は, 6.2h とする。 機械除草 (肩掛式)・集草					
		作業日当り標準作業量	1. 24	40 m <sup>2</sup> /日			
			,				

工種名		設		内 容				
道路除草工	(6)			分 谷				
		運搬機種・規格	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (m²/日)				
			6.5 以下 11.5 以下	1, 372 1, 311				
			14.5 以下	1, 255				
			17.5 以下	1, 204				
			19.5 以下	1, 156				
		ガンプトニュカ「ナンコ	21.5 以下	1, 113				
		ダンプトラック [オンロー ド・ディーゼル] 2t積級	23.5 以下	1,072				
			26.0 以下	1,017				
			28.0 以下	967				
			30.0 以下	922				
			32.0 以下	880				
			34.5 以下	831				
			35.0 以下	786				
			4.0 以下	1, 179				
			7.0 以下	1, 136				
			10.0 以下	1, 096				
		パッカー車 [回転式] きおぶよい。	14.0 以下	1, 040				
			17.5 以下	991				
		積載容量4m³	21.0 以下	945				
			25.0 以下	891				
			29.0 以下	842				
			33.0 以下	789				
			35.0 以下	742				
		(注) 1. ダンプトラックの追 2. パッカー車の運転F						
	7	機械除草(ハンドガイド式)・	集草					
		作業日当り標準作業量 1,902 m <sup>2</sup> /日						
路面清掃工	1	路面清掃工 · · · 該当工種の	)計算式を参照。					
(機械清掃)	2	歩道掃き出し						
		作業日当り標準作業量	3.2	2 km/∃				
		(注)作業日当り標準作業		•				

工 種 名		設	定内	容				
路面清掃工	① 人	力清掃工						
(人力清掃工)		作 業	名	作業日当り標準作業量				
			少ない	1.3 km/日				
		路肩部	普通	0.25 km/日				
			多い	0.16 km/日				
			少ない	2,000 m <sup>2</sup> /日				
		歩 道	普通	164 m <sup>2</sup> /日				
			多い	109 m <sup>2</sup> /日				
			少ない	1,000 m <sup>2</sup> /日				
		横断歩道橋・地下道	普通	455 m²/日				
			多い	286 m²/日				
		中央分離帯	普通	3,333 m²/日				
		中大力無市	多い	909 m <sup>2</sup> /日				
		上、岩 (井の加畑)	普通	63 m <sup>2</sup> /日				
		歩道(草の処理)	多い	53 m²/日				
	'	(注) 作業日当り標準作業量に	は,普通作業員1名の	場合。				
ガードパイプ清掃工	① カ							
	_	作業日当り標準作業量 333 m/日						
	(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。							
		(江) 17末日ヨリ保弉17末里は	, 日世IF未貝 I 石の	<b>勿口</b> 。				

工種名		設		内		<u> </u>		
管渠清掃工, 側溝清掃	1	管渠清掃工(機械清						
工及び集水桝清掃工		堆積率	管	径	作業日	当り標準作業量		
(組合せ作業)			φ200mm 以上	φ400mm 未満	2	245 m/∃		
		50%未満	φ400mm 以上	φ800mm 未満	1	35 m/∃		
			φ800mm 以上	φ1,000mm以下		88 m/日		
			φ200mm 以上	φ 400mm 未満	1	63 m/日		
		50%以上	φ 400mm 以上			03 m/日		
		00/05/1		φ 1, 000mm 以下		63 m/日		
		(注) 排水管清掃車				00 ш/ н		
	2	管渠清掃工(機械清	掃)移動					
		作業日当り標準作業量 201 km/日						
		(注)排水管清掃車	の運転日当り運	転時間は, 6.7h	とする。			
	3		構清掃工(機械清掃の組合せ作業)清掃作業					
		堆積率		溝断面積		当り標準作業量		
		50%未満	0.125m <sup>2</sup> 未		1	81 m/∃		
		0 0 /0 / Clied	0.125m²以	上 0.5m²未満	1	19 m/日		
		50%以上	0.125m <sup>2</sup> 未	満	1	32 m/∃		
		30/0Z/L	0.125m <sup>2</sup> 以	上 0.5m²未満		81 m/∃		
		(注) 排水管清掃車	の運転日当り運	転時間は, 6.7h	とする。			
	4	側溝清掃工(機械清	掃の組合せ作業	)移動				
		作業日当り標準	<b></b>	201 km/	目			
		(注) 排水管清掃車	の運転日当り運	転時間は, 6.7h	とする。			
	(5)	集水桝清掃工(機械	清掃の組合せ作	業)清掃作業				
		側溝断面		作業日当り標準	<b></b>			
		0. 125m <sup>2</sup> 末	m <sup>2</sup> 未満 132 個/日		Image: control of the			
		0.125m <sup>2</sup> 以上 0.	5m <sup>2</sup> 未満	56 個/日	]			
		(注)排水管清掃車						
	6	集水桝清掃工(機械活	青掃の組合せ作業	美)移動		٦		
		作業日当り標準	<b>準作業量</b>	201 km/	/目			
		(注)排水管清掃車	の運転日当り運	転時間は, 6.7h	とする。			
側溝清掃工	1	側溝清掃(単独作業	:) 清掃作業 ··	<ul><li>該当工種の計</li></ul>	算式を参照。			
(単独作業)	2	側溝清掃(単独作業	)移動					
		作業日当り標準		195 km	n/日			
		(注) 排水管清掃車		転時間は, 6.5h	とする。			
	3	側溝蓋設置・撤去						
		側溝蓋質	量	作業日当り標	票準作業量			
					·/日			
		80kg を超え 120kg 以下 250 枚/日						
		3 = 12.12.12	<u> </u>					
	<u> </u>							

工 徒 々		±π	<u>u</u>	<b>☆</b>	<del></del>	गंड
工 種 名 側溝清掃工	(1)	設 側溝清掃(人力清排		定	内	容
(人力清掃工)		側溝蓋規		作業日	当り標準作業量	1
O • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		無蓋	/L  I		<u>コッパ平日 / 18</u> 63 m/日	=
		有蓋 コンクリー	- 卜 蓋		26 m/日	
		有蓋 鋼蓋(ボル			23 m/日	
		有蓋鋼蓋(ボル			15 m/日	
		(注)作業日当り村				
		(11)	A. 1 11 214	1.011/10/	_ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
集水桝清掃工 (単独作業)	該当	4工種の計算式を参照	照。			
集水桝清掃工	(1)	集水桝清掃工(人力	清掃工)			
(人力清掃工)		蓋の有無及び		作業日	当り標準作業量	1
		有蓋 25cm	ı 未満		13 箇所/日	
		有蓋 25cm	以上	9.	.9 箇所/日	
		無蓋 25cm	1未満		23 箇所/日	
		無蓋 25cm	以上		12 箇所/日	
		(注) 作業日当り札	票準作業量は,	普通作業員1	名の場合。	
トンネル清掃工	該当	4工種の計算式を参照	照。			
トンネル照明器具	1	トンネル照明器具活				
清掃工			業種別			) 標準作業量
				清掃	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	600 m/日
		人力施工	表面			11 灯/日
			表面及び内面清掃			55 灯/日
		(注)機械施工の加	施工単位は,	トンネル延長と	する。	
トンネル漏水対策工		面導水				
トンイル個小刈泉工			F. VIII. 11 . VIII. 12	Τ .	2 / 🗖	
		作業日当り標	準作業量	3	34 m <sup>2</sup> /日	
		線導水				
	(2)		F. VIII. 11 . VIII. 12		/ 🗆	
		作業日当り標	华作美重		10 m/日	
	1	沓座拡幅工				
		作業名	<u></u>	作業日当	的標準作業量	
		チッピング(厚	2cm 以下)	į	5.3 m <sup>2</sup> /目	
		アンカー館	5挿入		97 本/日	
		鉄筋(沓座加	広幅工)	0	.73 t/目	
		型枠(沓座拡	太幅工)		15 m <sup>2</sup> /日	
		コンクリート(翟	<b>Y</b> 座拡幅工)	,	7.1 m³/日	

工種名			定	内	
	(1)	加熱合材補修工	Λ <u></u>	rı	4
7 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		日施工量	作業	日当り標準作業量	
		1t 未満		1.0 t/目	
		1t 以上 2t 未満		1.6 t/日	
		2t 以上 5t 未満		4.2 t/日	
		5t 以上 20t 未満		9.1 t/目	
	2	常温合材補修工			
		日施工量	作業	日当り標準作業量	
		0.3t 未満		0.3 t/目	
路肩整正	(1)	路肩整正(人力による土はね)	I		
(人力による土はね)		作業日当り標準作業量		37 m <sup>2</sup> /日	
		(注) 作業日当り標準作業量に	は、普通作	業員1名の場合。	
コンクリート接着工	1	コンクリート接着工			
		作業日当り標準作業量		10 m²/∃	
		(注)作業日当り標準作業量に	は, 普通作	業員1名の場合。	
アスファルト舗装版削	1	アスファルト舗装版削孔			
孔工		作業日当り標準作業量		19 孔/日	
道路付属物のコンクリ	<u>(1)</u>	道路付属物のコンクリート面流	<b>全壮</b> 丁		
一ト面塗装工	1	作業名	至衣工	 作業日当り標準作	業量
		コンクリート面清掃		56 m²/日	<b>大工</b>
		下塗り		53 m²/目·回	
		上塗り		50 m²/目·回	
	(注)	)作業日当り標準作業量は,塗			
横断歩道橋補修工	1	横断歩道橋補修工			
		作 業 名		作業日当り標準作	業量
		既設舗装はぎ取り		40 m <sup>2</sup> /日	
		ノンスリップ撤去		277 m/日	
電線共同溝工	1)	舗装版破砕積込			
$(C \cdot C \cdot B O X)$		作業日当り標準作業量		101 m²/∃	
	2	床掘り			
		作業日当り標準作業量		41 m³/日	
	3	埋戻し・締固め			
		作業日当り標準作業量		58 m³/日	

工 種 名			設	定内	容
電線共同溝工	4	運搬(電線共同			
$(C \cdot C \cdot B \circ X)$		積載区分	DID 区間 の有無	運搬距離 (km)	作業日当り標準作業量 (m³/日)
			07有無	0.5 以下	(m / p) 40
				2.0 以下	33
				3.5 以下	29
			無し	6.5 以下	22
			, U	11.5 以下	17
			-	26.5 以下	11
			-	60.0 以下	6
		土砂		0.5 以下	40
			-	2.0 以下	33
			-	3.5 以下	29
			有り	6.0 以下	22
			19.7	10.5 以下	17
			-	22.5 以下	11
				60.0 以下	6
				0.5 以下	31
			2.0 以下	26	
			-	3.5 以下	22
		無し	6.5 以下	17	
		アスファルト		11.5 以下	13
				26.5 以下	9
			-	60.0 以下	4
		カハンカルド 塊		0.5 以下	31
		7_	-	2.0 以下	26
			-	3.5 以下	22
			有り	6.0 以下	17
			НУ	10.5 以下	13
			-	22.5 以下	9
			-	60.0 以下	4
				00.0 201	1
	(5)	軽量鋼矢板設置	置・撤去		
		作業日	当り標準作業量	121 m/日	i
	6	覆工板設置·撤	去		
		作業日	当り標準作業量	206 m <sup>2</sup> / E	1

工 任 4	1	⇒n,	ولم		h #2				
工種名 電線共同溝工	⑦ 管		定	ŀ	内 容				
RM共同傳工   (C・C・BOX)		作業区分	<b>2</b>	设置区分	作業日当り標準作業	<del>                                      </del>			
(C C DOM)		露出部	単管		56 m/日	<u>4</u>			
		りつけて	単管設置		93 m/日				
					99 m/日				
				A管設置 ·(φ200mm)設置					
		埋設部		( \$ 200mm) 改画 や管含む)	63 m/日				
				(φ250mm)設置 や管含む)	∄ 36 m/日				
				多条管	136 m/目				
			1						
	8 7	プレキャストボックスブ							
		ボックスブロック1個当			り標準作業量				
		1, 000kg 以下	<u> </u>	12	2 個/日				
		1,000kg 超~4,000	kg 以下	(	6個/日				
		4,000kg 超~11,000	)kg 以下	4	1個/日				
	(9) <b>‡</b>	9 蓋設置							
	Ф н	蓋1組当り質	量	作業日当	り標準作業量				
		200kg 以下		9	組/日				
		200kg 超~800kg	以下	7	組/日				
		800kg 超~2,000k	g以下	5	組/日	/目			
鋼橋製作工	租坦名	〜件により設定							
	<b>光</b> 物分	31年により放足							
   橋梁塗装工(工場塗	① 資								
装及び塗装前処理)		二次調整の区分	作業	日当り標準作	業量				
		動力工具処理		43 m <sup>2</sup> /日					
		製品ブラスト		16 m <sup>2</sup> /日					
		(注) 作業日当り標準	作業量は,		 呂の場合。				
	② ¬	二場塗装							
		物坐表 箱桁構造内面歩掛	補正	作業日当り	<b>煙淮作業</b>				
		箱桁構造内面(密閉		45 m <sup>2</sup> /					
		上記以外		71 m <sup>2</sup> /					
		(注)作業日当り標準	 作業量は. 🥫						

工 種 名 定 ① 支承工, 地組工, 本締め工 ・・・ 該当工種の計算式(日当り施工量)を参照。 鋼橋架設工 ② 架設工 ・・・ 該当工種の計算式(日当り架設質量)を参照。 ③ 落橋防止装置取付工 ・・・ 該当工種の基準内に記載。 ④ 架設用機械設備据付・解体 ・・・ 該当工種の計算式(所要日数又は日当り施工量)を参照。 ⑤ 検査路架設工 (1) 架設工 ・・・ 該当工種の基準内に記載。 (2) 足場工(検査路)吊足場 作業日当り標準作業量 17 m<sup>2</sup>/日 (注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工1名の場合。 (3) アンカーボルト設置・・・・ 該当工種の基準内に記載。 ⑥ 鋼床版現場溶接工 ・・・ 該当工種の計算式(日当り施工量)を参照。 ⑦ 足場工,防護工及び登り桟橋工 作業日当り標準作業量 作 業 名 設置 プレートガーダ・ボックスガーダ 172 m<sup>2</sup>/日  $250 \text{ m}^2/$ 日 ラーメン  $132 \text{ m}^2/ \Box$  $208 \text{ m}^2/ \Box$ 主体足場 (パイプ吊足場) トラス, アーチ  $89 \text{ m}^2/\exists$  $147 \text{ m}^2/日$ 少数I桁 179 m<sup>2</sup>/日 250  $m^2/$ 日 プレートガーダ・ボックスガーダ  $111 \text{ m}^2/ \Box$  $179 \text{ m}^2/ \Box$ 主体足場(ワイヤー ブリッジ転用足場) トラス、アーチ  $69 \, \text{m}^2/\, \square$ 119  $m^2/$  日 プレートガーダ・ボックスガーダ ラーメン 385 m<sup>2</sup>/日 714 m<sup>2</sup>/日 中段足場 トラス、アーチ  $417 \text{ m}^2/ \boxminus$ 556 m<sup>2</sup>/日 少数Ⅰ桁 プレートガーダ・ボックスガーダ 385 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) ラーメン 192 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) 安全通路 トラス, アーチ 185 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) 385 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) 少数I桁 プレートガーダ・ボックスガーダ 714 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) ラーメン 192 m2/日 (設置・撤去) 部分作業床 トラス, アーチ 172 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) 714 m<sup>2</sup>/日 (設置・撤去) 少数Ⅰ桁  $357 \text{ m}^2/ \boxminus$ 両側朝顔  $500 \text{ m}^2/ \exists$ プレートガーダ・ ボックスガーダ 片側朝顔  $714 \text{ m}^2/$ 日 1,000  $m^2/\Box$  $294~\text{m}^2/\,\boxminus$ 両側朝顔  $385 \text{ m}^2/目$ ラーメン 片側朝顔  $588 \text{ m}^2 / \Box$  $769 \text{ m}^2 / \Box$ 朝顔 両側朝顔  $357 \text{ m}^2/ \Box$ 500 m<sup>2</sup>/日 トラス, アーチ  $714~\text{m}^2/\,\boxminus$ 片側朝顔 1,000  $\text{m}^2/\exists$ 両側朝顔  $417 \text{ m}^2/ \Box$ 625  $m^2/ \Box$ 少数I桁 片側朝顔 833  $m^2/ \Box$  $1,250 \text{ m}^2/\Box$ (注)作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工5名の場合。

工 種 名	設	定 卢	内 容				
鋼橋架設工	pX.	/E r	1 4				
	作美		作業日当り	標準作業量			
	1F 3	た 石 <del></del>	設置	撤去			
	側面塗装足場		278 m²/日(j				
	板張防護工	両側朝顔	185 m <sup>2</sup> /日	417 m²/日			
	1次,从1971反上	片側朝顔	200 m <sup>2</sup> /日	455 m²/日			
	シート張防護工	両側朝顔	833 m²/日	1,667 m <sup>2</sup> /日			
	7 从例及工	片側朝顔	1,000 m <sup>2</sup> /日	1,667 m <sup>2</sup> /日			
	シート張防護工(側面)		1,250 m <sup>2</sup> /日	(設置・撤去)			
	ワイヤーブリッジ防護工		111 m <sup>2</sup> /目	263 m²/日			
	ネット防護工		294 m²/日	385 m²/∃			
	   登り桟橋工	手摺先行工法有り	12 m/日	16 m/日			
	望り技備工	手摺先行工法無し	14 m/日	19 m/日			
	(注) 作業日当り標準作業量は	, 橋梁特殊工5名の場合。					
	9 合成床版架設工		· _				
	作業日当り標準作業	量 66.7 m <sup>2</sup> /					
プレビーム桁 製作工	① プレビーム桁製作台工						
(現場)	作業日当り標準作業量	<u> </u>	2 基/日				
	② _ 主桁製作用足場工						
	作業日当り標準作業は	量 20 m	1/日				
	③ プレビーム桁製作及び架設		<b>火 7. 無途が光</b>				
	工種名	22m 未満	当り標準作業量				
			n 🗆 / 🛝				
	プレビーム桁製作		6 日/本 m 未満 8 日/本				
	主桁応力導入工~	22m 以上~30g					
	主桁応力導入工~ コンクリート工	22m 以上~30 30m 以上~40 40m 以上	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本	1.84.32			
	主桁応力導入工~ コンクリート工 (注)上表は、製作ベース	22m 以上~30 30m 以上~40	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本 量であるので,桁製作	本数が			
	主桁応力導入工~ コンクリート工 (注)上表は、製作ベース	22m 以上~30 30m 以上~40 40m 以上 が1箇所の場合の標準作業	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本 量であるので,桁製作	本数が			
	主桁応力導入工~ コンクリート工 (注)上表は、製作ベース 5~10本の場合は1/2,	22m 以上~30 30m 以上~40 40m 以上 が1箇所の場合の標準作業	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本 量であるので,桁製作 すること。	本数が			
	主桁応力導入エ〜 コンクリートエ (注)上表は、製作ベース 5〜10本の場合は1/2, ④ 主桁解体工(分割工法)	22m 以上〜30 30m 以上〜40 40m 以上 が1箇所の場合の標準作業 ,11〜30本の場合は1/3と 作業日当りれ	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本 量であるので,桁製作 すること。 標準作業量 本/日	本数が			
	主桁応力導入工~ コンクリート工 (注)上表は,製作ベース 5~10本の場合は1/2, ④ 主桁解体工(分割工法) 区間長	22m 以上〜30 30m 以上〜40 40m 以上 が1箇所の場合の標準作業 ,11〜30本の場合は1/3と 作業日当りれ	m 未満 8 日/本 m 未満 9 日/本 10 日/本 量であるので、桁製作 すること。	本数が			

工 種 名	Ĭ	設 定	内	容		
プレビーム桁架設工	<ul><li>② 地組工,本締め</li><li>③ 横桁取付工・・・</li><li>④ 局部プレストレン</li></ul>	架設工 ・・・ 該当工種の基準内に記載。 地組工,本締め工 ・・・ 該当工種の計算式(日当り施工量) ・ 横桁取付工 ・・・ 該当工種の基準内に記載。 局部プレストレス工 作業日当り標準作業量 1 径間/日				
鋼橋床版工	① 鋼橋床版工			# No. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
		作業名		作業日当り標準作業量		
		型枠の補正		20 m²/日		
	型枠(鋼橋床間	反) 型枠の補正	系数 0.05 以下	19 m²/∃		
			系数 0.06 以上 0.10 以下	18 m²/目		
	養生(鋼橋床制	页)		63 m <sup>2</sup> /日		
グレーチング床版架 設工及び足場工	該当工種の計算式(1	00m <sup>2</sup> 当り架設日数)	を参照。			
ポストテンション桁	① ポストテンション	/桁製作工				
製作工		種 名	作業日当り村	作業日当り標準作業量		
		テンション 製作工	1.2 m	m³/日		
	去,鉄筋加工	L・組立, 横組シー	には,軌道設置撤去,主権・ ・ス組立,PCケーブル挿戸 ・グラウト注入を含んでいる	八,型枠設置・撤去,コン		
プレキャストセグメ ント主桁組立工	該当工種の計算式 (1					
PC橋架設工	② 架設桁による架i (1) 桁架設,架設	<sup>没</sup> :設備据付・解体,	該当工種の基準内に記載  ・・・ 該当工種の基準内に			
	作業日当り	標準作業量	3.3 箇所/日			

工 種 名			設	定	内	容		
PC橋架設工	3 P C	C.橋架設工 (横	組工,PCコ	ンポ橋)				
		作業	種 別		作業日当り	) 標準作業量	摘	要
	コンク	ソリートエ			40	m <sup>3</sup> /日	横組工	
	鉄筋コ	鉄筋工				t/目	横組工	
	РСЛ	プレラ	ション桁		155	m/日	横組工	
	FCI	ポスト	、テンション	行	157	m/日	横組工	
	緊張工	<u>.</u>			27	ケーブル/日	横組工	
	PC板	<b>支承工</b>			250	m/日	PCコン	/ポ橋用
	PC板	反假置工			120	枚/日	PCコン	/ポ橋用
	PC板	<b>反敷設工</b>			50	枚/日	PCコン	⁄ポ橋用
	継目コ	-			1,000	m/日	PCコン	⁄ポ橋用
	型枠工	- -			8	$m^2/\boxminus$	PCコン	/ポ橋用
	(注) 」	上表の作業日当	り標準作業量	kは,P	C橋架設工の一	連作業における名	ト作業に適	用する。
	Ø ₽.	こ橋架設工(足	#日 丁 ┰ ァ メワ┼=#	<b>:</b> → \				
	4) P(	が開来収上(た		₹/		 作業日当り	編成	入員
			作業名			標準作業量		持殊工)
			正加胡姑	桁高	1.1≦H<1.5	42 m²/∃	5	人
		ポストテン	両側朝顔	桁高	1.5≦H	36 m²/∃	5	人
	桁下	ション桁	片側朝顔	桁高	1.1≦H<1.5	$67 \text{ m}^2/\Box$	6	人
	足場		月 1則 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別 1別	桁高	1.5≦H	55 m²/日	6	人
		プレテンシ	両側朝顔		-	60 m <sup>2</sup> /∃	6	人
		ョン桁	片側朝顔	顏 -		$64 \text{ m}^2/\boxminus$	6	人
	側部足	2場(スラブ桁	<b>喬</b> )			17 m/∃	4	人
	橋台·	橋脚回り足場フ	ブラケット工			11 m/∃	4	人
	+C3E7H	: <del>:</del> ## ┬*	両側朝顔			$120 \text{ m}^2/\boxminus$	6	人
	板張防	7. 一	片側朝顔			150 m²/日	6	人
	ネット	、防護工				200 m²/∃	4	人
	_						-	
	⑤ 支殖	NT, 落橋防止	工 ・・・ 該	当工種の	)基準内に記載。			

工 種 名	設	定内	容
ポストテンション場所	該当工種の基準内に記載。		
打ホロースラブ橋工			
ポストテンション場所	該当工種の基準内に記載。		
打箱桁橋工			
RC場所打ホロースラ	該当工種の基準内に記載。		
ブ橋工	10000000000000000000000000000000000000		
架設支保工	① 架設支保工 設置・撤去		
术以义体上	作業名	作業日当り標準作業量	摘要
	くさび結合支保設置・撤去	337 空 m³/日	設置 55%,撤去 45%
	基礎用鋼材設置・撤去	119 m²/日	設置 63%,撤去 37%
	支柱支保設置・撤去	286 空 m³/目	設置 54%,撤去 46%
	支柱受台設置・撤去	76 m/日	設置 56%,撤去 44%
伸縮装置工(鋼製)	① 伸縮装置工(鋼製)新設 ・・・ 記	核当工種の基準内に記載。	
	② 伸縮装置工(鋼製)取替工	た光ロルル無鉄	/r
	作 業 名 伸縮装置工(鋼製)取替工	作業日当り標準	作業量摘要
		2.8 m/日	
	伸縮装置工(鋼製)取替工		
	既製品ジョイントの設置	3.6 m/日	
	(注) 上表の作業日当り標準作業	量には、次の作業を含む。	
	<ul><li>鋼フィンガージョイント等の</li></ul>		
		のはつり、旧ジョイント撤去	, .,
	型件設置・撤去,C0 打設, ・既製品ジョイントの設置	はつりから据付に渡って発生	Eする附帯作業
		のはつり、旧ジョイント撤去	新ジョイント据付
	CO打設	THE TIME	-, AZIY ⊶ I Y I I/□ I,

工 種 名			定内	容				
橋梁排水管設置工	1	排水管						
		作業名		標準作業量	摘要			
			足場有り	足場無し	加 安			
		コンクリートアンカーボルト 設置	59 本/日	76 本/日				
		排水管設置	17 m/∃	22 m/日				
歩道橋(側道橋)	(1)	アンカーフレーム据付工、ベン	ト設備設置·撤去丁.					
架設工		架設工(横断歩道橋),手摺設置						
	2	架設工(側道橋)支柱据付工,是 足場工(手摺先行枠組足場)	高欄組立工 ••••••	···· 該当工種の基 	<b>基準内に記載。</b>			
		作業日当り標準作業量	0.34 箇所/日					
		(注) 作業日当り標準作業量は、橋梁特殊工1名の場合。						
	3	足場工(吊足場) ・・・ 現場条件	‡により設定					
Inthe -		/Dul.lat-*						
側板工	(1)	側板工 作 業 名	作業日当り標準作	***				
		側板取付	18 m <sup>2</sup> /日	<del>术里</del>				
		側板取外し	60 m²/目					
		INVIXAX21 C	00 III / H					
鋼製橋脚設置工	② ③	アンカーフレーム架設工 ・・・ 地組工,現場溶接工 ・・・ 該当 架設工 ・・・ 該当工種の計算式 本締め工 ・・・ 該当工種の計算	工種の計算式(日当 (日当り架設質量)	り施工量)を参照。 を参照。				

工種名				容
橋台・橋脚工(1)	① 橋台·橋脚工	(1) (構造物単位)		
(構造物単位)	構造物種別	構造物高さ区分	コンクリート打設量区分 (m³)	作業日当り 標準作業量 (m³/日)
		F. <11 < 10	100m³以上300m³未満	6.6 (6.5)
		5m≦H<10m	300m³以上500m³未満	8.9 (8.8)
			120m³以上220m³未満	5. 6 (5. 5)
	T形橋脚	10m≦H<15m	220m³以上440m³未満	7.8 (7.7)
	7,5,11,44		440m³以上650m³未満	8. 5 (8. 4)
			290m³以上910m³未満	8. 6 (8. 4)
		15m≦H<25m	910m³以上980m³未満	9.9 (9.7)
			100m <sup>3</sup> 以上280m <sup>3</sup> 未満	6. 5 (6. 5)
		5m≦H<15m		
	壁式橋脚		280m³以上700m³未満	9.6 (9.5)
		15m≦H<20m	250m³以上520m³未満	7.4 (7.3)
			520m³以上700m³未満	8.6 (8.5)
		H<5m	50m³以上140m³未満	4.3 (4.3)
			140m³以上260m³未満	6.9 (6.9)
			50m³以上 90m³未満	3. 2 (3. 2)
		5m≦H<7m	90m³以上160m³未満	4.4 (4.3)
			160m³以上310m³未満	6.1 (6.1)
			70m³以上110m³未満	3.9 (3.9)
		7m≦H<9m	110m³以上210m³未満	5. 7 (5. 6)
	逆T式橋台		210m³以上310m³未満	7.4 (7.3)
		9m≦H<10m	130m³以上280m³未満	6. 3 (6. 2)
			280m³以上310m³未満	7.6 (7.5)
		10m≦H<11m	230m³以上370m³未満	7. 5 (7. 4)
			370m³以上650m³未満	9.7 (9.6)
		11m≤H<12m	230m³以上320m³未満	6. 8 (6. 7)
			320m³以上560m³未満	8.9 (8.8)
		11111=11 < 12111	560m³以上650m³未満	10. 5 (10. 3)
	(注) 1 L 丰 $\sigma$	/た業ロ平り種準/た業		10.5 (10.5)
	・基礎し ・均コン ・鉄部 ・足を ・大表の ・上表の になった。 3. 作業の は、コート も、コート 5. 上表の ・ション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財敷均し・転圧 型枠製作設置・撤去・ クリート打設・養生・ 加工・組立 設置・撤去 設置・撤去 でプ設置(橋台のみ) では全数量における では全数量における は無にかかわらず適用 がリート養生は、散水 がリート業日当り標準作業	区分は,1 基当りの全体量を表標準作業量で各現場条件に応 基礎材,均しコンクリート, けできる。また,手摺先行型材	もしており、工程の算出 じ算出するものとする。 足場,水抜きパイプの 枠組足場を使用する場合
橋台・橋脚工 (2)	① 橋台・橋脚工	(2)		Halls in Man
	打設方法	h.		作業日当り 標準作業量
	ポンプ車打	設橋台・橋脚		110 m³/日
	(注)養生工は	は, 現場, 施工条件等に	こより別途考慮する。	

工種名			設		定	内			
公園植栽工	1	公園植栽		栽)					
		作	業	種 別		作業日当り	票準作業量		
		植	(幹周)	15cm 未清	茜	31 本	:/目		
		栽	15cm 以上	: 25cm 未清	莳	19 本	:/目		
		高	25cm 以上	: 40cm 未清	卣	20 本	:/目		
		木	40cm 以上	: 60cm 未清	苟	10 本	:/目		
		)	60cm 以上	: 90cm 未清	莳	6 本	:/日		
	<u></u>	八国444-	r / <del>士}}</del> 元	型/					
	2	公園他秋_	<ul><li>L (支柱設 支柱区)</li></ul>		V	       	作業量		
		二脚	鳥居支柱		'	56 本/日			
			易居支柱()			77 本/日			
			三脚鳥居	支柱		56 本/日			
			十字鳥居	支柱		37 本/日			
			二脚鳥居組	l合せ		28 本/日			
		八:	ッ掛(三脚	)(竹)		77 本/日			
		八	八ッ掛(丸太)L=4m			50 本/日			
		八ッ	掛 (丸太) L=6~7m			32 本/日			
		V = 1+++V+	DTC /164	\ <del></del>					
	③ 公園植栽						当り標準作業量 当り標準作業量	7	
		樹木区	<b>三</b> 分 寸		寸法	法根卷			1
			植	樹高 50cm 未満			333 本/日	500 本/日	
		<b>→</b> In	中低木 樹高 50cm 以		樹高 50cm 以上 100cm 未満		250 本/日	333 本/日	1
		十12	植	村高 100cm 以	上200	200cm 未満 143 本/日		167 本/日	
			植	高 200cm 以	上300	Ocm 未満	59 本/日	71 本/日	
			卓	P周 15cm 未	満		50 本/日	59 本/日	
			卓	清 15cm 以	上 25c	m未満	23 本/日	28 本/日	
		高	木	序周 25cm 以	上 40c	m未満	14 本/日	17 本/日	
			卓	清 40cm 以	上 60c	m未満	10 本/日	11 本/日	Ī
			乾	P周 60cm 以	上 90c	m未満	5.9 本/日	7.1 本/日	
		+4 77 7-							
	(4)	幹巻き	幹周		4	- 作業日当り標準	能作業量		
		25	icm 以上 40	cm 未満	'	91 本/日			
			)cm 以上 60			50 本/日			
			)cm 以上 90			31 本/目			

工種名		設	į.	 定	内	 容
公園植栽工	5 4	公園植栽運搬 (移植)	工 (5km 以			
		樹木区分		寸法		作業日当り標準作業量
			樹高 50cm	未満		88 本/日
		中低木	樹高 50cm」	以上 100cm 未	満	62 本/日
		<b>一大区</b> 人	樹高 100cm 以上 200cm 未満			50 本/目
			樹高 200cm	以上300cm未	満	39 本/日
			幹周 15cm	未満		27 本/日
			幹周 15cm」	以上 25cm 未清	苟	20 本/日
		高木	幹周 25cm」	以上 40cm 未清	苟	67 本/日
			幹周 40cm」	以上 60cm 未清	莳	28 本/日
			幹周 60cm	以上 90cm 未清	莳	12 本/目
		高木の幹居 2. 5km を超え する運転時	み・取卸しを含み, い。 超え 5km 増す毎に加算			
	6 4	公園植栽張芝工 作業日当り標達	準作業量	作業量 500 m²/日		
公園除草工	① 4	☆園除草工 作 業 種 別 人力除草 人力抜根 機械除草 I 機械除草 I 費」	作	業日当り標準 129 m²/ 68 m²/ 788 m²/ 1,859 m²/ 1,238 m²/ 2,304 m²/	日 日 日 日	

公園除草工(	② トラック 2t 🤊	はっしゃり回り				
		<b>漬による公園外</b>	への運搬			
	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)	DID 区間の 有無	運搬距離 (km)	作業日当り 標準作業量 (台/日)
		1.8 以下	47		1.7 以下	47
		3.2 以下	24		3.0 以下	24
		4.6 以下	16		4.3 以下	16
		6.0 以下	12		5.6 以下	12
		7.5 以下	9. 4		7.0 以下	9. 4
		9.1 以下	7.8		8.4 以下	7.8
		10.7 以下	6. 7		9.8 以下	6. 7
	4mr. 1	12.4 以下	5. 9		11.2 以下	5. 9
	無し	14.2 以下	5. 2	+ n	12.8 以下	5. 2
		16.1 以下	4. 7	有り	14.4 以下	4. 7
		18.1 以下	4. 3		16.0 以下	4.3
		20.3 以下	3. 9		17.7 以下	3. 9
		22.7 以下	3. 6		19.4 以下	3. 6
		25.2 以下	3. 4	1	21.4 以下	3. 4
		28.4 以下	3. 1		23.3 以下	3. 1
		30.0 以下	2. 9		25.3 以下	2. 9
					27.6 以下	2.8
				1	30.0 以下	2. 6
公園工(	① 機械土工(ト	・ラクター運転	事)			
	作業	区分			当り標準作業量	
	耕	起 —	砂・砂質土	4	4, 393 m²/日 3, 852 m²/日	
	127	/CE	レキ質土・粘性	主 3		
	<b>松</b> 士	·整地 —	砂•砂質土	6	6,184 m²/∃	
	'H <del>Т</del> *	正地	レキ質土・粘性	:土 5	5,402 m <sup>2</sup> /日	
	肥料	撒布	_	20	20,435 m²/日	
	播	種	-		,368 m <sup>2</sup> /日	
			云日当り運転時間は,4.7h とす		S <sub>o</sub>	
	② コンクリート	·はつり, つつき 仕上げ区		作業口	当り標準作業量	
		コンクリートは			<u>ョッポギド来里</u> 2.6 m <sup>2</sup> /日	<u>`</u>
		コンクリートつ			4.0 m <sup>2</sup> /日	
		ニンフラーフ ほ日当り標準作詞	-		1. 0 m/ H	
	③ レンガ舗装I		K±15, H±1	- H - 2 /// H 0		
	- Amaza	舗装区	分	作業日	当り標準作業量	
		A(平敷			24 m²/∃	
		B(小端立て	〔敷き)		14 m <sup>2</sup> / ∃	

工 種 名		設	定	内	容
園工.	④レンガ縁				
		施工区分	作業日	当り標準作業量	
		A		190 m/日	
		В • С		56 m/目	
		D·E		89 m/∃	
	(5) 硬質塩	化ビニール管工	(排水工)		_
		樹木区分	管径(呼び径)	作業日当り	標準作業量
			100mm	43	m/ 目
			125mm	38	m/ 目
		市街地以外	150mm	36	m/日
			200mm	-	m/日
			250mm		m/日
			100mm	+	m/日
			125mm	+	m/日
		市街地	150mm	+	m/日
			200mm		m/日
			250mm	27	m/ 目
	⑥ 水道用	鋼管敷設(給水コ 内径	_)	- 作業日当り標準作	<b>=</b> 業量
		内径	三) 屋外	作業日当り標準作 配管	F業量 屋内配管
	1/2	内径 インチ (1	三) 屋外 5mm) 60 m	作業日当り標準作配管 n/日	F業量 屋内配管 37 m/日
	1/2 3/4	内径 インチ (1	三) <b>屋外</b> 5mm) 60 m 50mm) 53 m	作業日当り標準作配管 n/日 n/日	F業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日
	1/2 3/4 1	内径 インチ (1 (2	三) <b>屋外</b> 5mm) 60 m 5mm) 53 m 5mm) 43 m	作業日当り標準作配管 n/日 n/日	F業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日
	1/2 3/4 1 1 • 1	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3	三) <b>屋外</b> 5mm) 60 m 53 m 55mm) 43 m 22mm) 35 m	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日	F業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日
	1/2 3/4 1 1 · :	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3 1/2 (4	三) 屋外 5mm) 60 m 5mm) 53 m 5mm) 43 m 2mm) 35 m 0mm) 32 m	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	F業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日 20 m/日
	$   \begin{array}{c}     1/2 \\     3/4 \\     1 \\     1 \cdot 1 \\     2   \end{array} $	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3 1/2 (4	三) <b>屋外</b> 60 m 60 m 53 m 43 m 22mm 35 m 32 m 60mm 25 m 35 m 32 m 60mm 25 m 60mm 25 m 60mm 25 m 60mm 25 m 60mm 25 m 60mm 25 m 60mm 60mm 60mm 60mm 60mm 60mm 60mm 6	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	E 室内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日 20 m/日 16 m/日
	1/2 3/4 1 1 • 1 2 2 • 1	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3 1/2 (4 (5 1/2 (6	<b>屋外</b>	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	E業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日 20 m/日 16 m/日 12 m/日
	$   \begin{array}{c}     1/2 \\     3/4 \\     1 \\     1 \cdot 1 \\     2 \\     2 \cdot 1 \\     3   \end{array} $	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3 1/2 (4 (5 1/2 (8	<b>屋外</b>	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	E業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日 20 m/日 16 m/日 12 m/日 11 m/日
	$   \begin{array}{c}     1/2 \\     3/4 \\     1 \\     1 \cdot 1 \\     2 \\     2 \cdot 1 \\     3 \\     4   \end{array} $	内径 インチ (1 (2 (2 1/4 (3 1/2 (4 (5 1/2 (6 (8	<b>屋外</b>	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	E業量 屋内配管 37 m/目 33 m/目 27 m/目 22 m/目 20 m/目 16 m/目 12 m/目 11 m/目 8.3 m/目
	$   \begin{array}{c}     1/2 \\     3/4 \\     1 \\     1 \cdot 1 \\     2 \\     2 \cdot 1 \\     3   \end{array} $	内径 インチ (1) (2) 1/4 (3) 1/2 (4) (5) 1/2 (6) (10) (12)	<b>屋外</b>	作業日当り標準作配管 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日 n/日	E業量 屋内配管 37 m/日 33 m/日 27 m/日 22 m/日 20 m/日 16 m/日 12 m/日 11 m/日

工種名			 定	内	
公園工	7 1			1.1	~U
		管径(呼び径)	作業日当り	) 標準作業量	
		15mm	125	m/∃	
		20mm	93	m/目	
		25mm	77	m/目	
		30mm	73	m/日	
		40mm	56	m/日	
		50mm	44	m/日	
		65mm	35	m/日	
		75mm	30	m/日	
		(注) 作業日当り標準作	業量は,配管工4名	の場合。	_
	(6)	√√××× /→ T			
	8 7	水栓類取付工 口 径	散水栓(箱共)取作	十 作業日	当り標準作業量
			有り		9.5 個/日
		15mm	<u> 無し</u>		57 個/日
			有り	•	9.3 個/日
		20mm	無し		50 個/日
		25mm	-		44 個/日
		(注)作業日当り標準作	業量は,配管工4名	 の場合。	11 III/ III
	9 -	ベンチ据付			
		質量		当り標準作業量	
			スツール	背なしベンチ	背付きベンチ
		20kg 未満	100	_	-
		20kg 以上 30kg 未満	67	42	36
		30kg 以上 40kg 未満		36	29
		40kg 以上 50kg 未満	_	31	25
		50kg 以上	_	_	22
平石張工	1	平石張		1	
		作業区分	平石の形状区分		り標準作業量
		舗装・床張り	乱形		L m <sup>2</sup> /日
			方 形		B m <sup>2</sup> /日
		   階 段 <del> </del>	乱形		) m <sup>2</sup> /目
		111 1/4	方 形		B m <sup>2</sup> /日
		壁 張 り -	乱形		B m <sup>2</sup> /日
		<u> </u>	方 形	1:	$1 \text{ m}^2/\exists$

# ② 市場単価の1日当り標準施工量(建地-1)(県)

本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。 設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分 考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。

#### 1. 鉄筋工

表 1.1

	規格・仕様	単位	施工数量
1	一般構造物	t	3.5
2	切梁のある構造物	t	3. 0
3	地下構造物	t	5. U
4	橋梁用床版	t	4.0
5	場所打杭用かご筋	t	6.5
6	RC場所打ホロースラブ	t	2.5
7	差筋及び杭頭処理	t	3.5
8	一般構造物 (太径鉄筋混合)	t	5. 0
9	切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0
10	地下構造物 (太径鉄筋混合)	t	4.0
11	場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)	t	9. 0

#### 2. 鉄筋工 (ガス圧接工)

表 2.1

規格・仕様	単位	施工数量	
ガス圧接工	D19+D19	箇所	
手動(半自動)	D22 + D22	箇所	350
	D25 + D25	箇所	
	D29+D29	箇所	310
	D32 + D32	箇所	280
	D35 + D35	箇所	240
	D38 + D38	箇所	160
	D41+D41	箇所	150
	D51+D51	箇所	130

# 3. インターロッキングブロックエ

表 3.1

	規格	・仕様	単位	施工数量
	直線配置	ブロック厚6cm		100
	旦水田里	ブロック厚8cm	$\mathrm{m}^2$	100
設	曲線配置	ブロック厚6cm	$\mathrm{m}^2$	
	四水巴里	ブロック厚8cm	$\mathrm{m}^2$	
	直線配置 3 色以上による色	ブロック厚6cm	$\mathrm{m}^2$	20
置	ひ上による色   合わせ	ブロック厚8cm	$\mathrm{m}^2$	80
	曲線配置 3 色 以上による色	ブロック厚6cm	$\mathrm{m}^2$	
	ひ上による色   合わせ	ブロック厚8cm	$\mathrm{m}^2$	
撤	再使用目的の 撤去	ブロック厚6cm, 8cm	$\mathrm{m}^2$	200
去	とりこわし	ブロック厚6cm, 8cm	$\mathrm{m}^2$	300

# 4. ガードレール設置エ

表 4.1 設置

区 分		規格・仕様	単位	施工数量	
土中建込	塗装品	Gr-A-4E	m		
	・ メッキ品	Gr-B-4E	m	130	
	<b>グラキ</b> 面	Gr-C-4E	m		
		Gr-Am-4E	m	60	
		Gr-Bm-4E	m	00	
コンクリート		Gr-A-2B	m		
建込		Gr-B-2B	m	40	
		Gr-C-2B	m		
		Gr-Am-2B	m	40	
		Gr-Bm-2B	m	40	

# 表 4.2 設置(耐雪型)

区 分		規格・仕様	単位	施工数量
土中建込	塗装品	Gr-A2-4E	m	130
	・ メッキ品	Gr-A3-3E	m	120
	<b>ノツギ</b> 丽	Gr-A4-2E	m	100
		Gr-A5-2E	m	100
		Gr-B2-4E	m	130
		Gr-B3-3E	m	120
		Gr-B4-2E	m	100
		Gr-C2-3E	m	120
		Gr-C3-2E	m	100
コンクリート		Gr-A2-2B	m	
建		Gr-A3-2B	m	
		Gr-A4-2B	m	
		Gr-A5-2B	m	
		Gr-B2-2B	m	40
		Gr-B3-2B	m	
		Gr-B4-2B	m	
		Gr-C2-2B	m	
		Gr-C3-2B	m	

表 4.3 撤 去

区分		規格・仕様	単位	施工数量
土中建込用	塗装品	(旧Gr-S-2E)	m	120
撤去	·	Gr-A-4E		
	メッキ品	Gr-B-4E	m	250
		Gr-C-4E		
		Gr-Am-4E		120
		Gr-Bm-4E	m	120
		(旧Gr-Ap-2E)		
		(旧Gr-Bp-2E)	m	200
		(旧Gr-Cp-2E)		
コンクリート		(旧Gr-S-1B)	m	160
建込用撤去		Gr-A-2B		
		Gr-B-2B	m	200
		Gr-C-2B		
		Gr-Am-2B		120
		Gr-Bm-2B	m	120
		(旧Gr-Ap-2B)		
		(旧Gr-Bp-2B)	m	200
		(旧Gr-Cp-2B)		

(注) 中央分離帯用は(狭) タイプを含む。

表 4.4 撤 去 (耐雪型)

区分		規格・仕様	単位	施工数量
土中建込用	塗装品	(旧Gr-S2-2E)		
撤去	•	(旧Gr-S3-2E)		
	メッキ品	(旧Gr-S4-2E)	m	60
		(旧Gr-S5-2E)		
		Gr-A4-2E		
		Gr-A5-2E		100
		Gr-B4-2E	m	100
		Gr-C3-2E		
		Gr-A3-3E		
		Gr-B3-3E	m	120
		Gr-C2-3E		
		Gr-A2-4E		100
		Gr-B2-4E	m	130
コンクリート		(旧Gr-S2-1B)		
建込用撤去		(旧Gr-S3-1B)		80
		(旧Gr-S4-1B)	m	00
		(旧Gr-S5-1B)		
		Gr-A2-2B		
		Gr-A3-2B		
		Gr-A4-2B		
		Gr-A5-2B		
		Gr-B2-2B	m	100
		Gr-B3-2B		
		Gr-B4-2B		
		Gr-C2-2B		
		Gr-C3-2B		

表 4.5 部材設置

		3X T.U	שואם ניויום		
区 分		規格・	仕 様	単位	施工数量
レール設置	路側用 支柱間隔	A·B·C種 4m		m	130
	路側用 支柱間隔	A·B·C種 2m		m	100
事故復旧を除く	分離帯用 支柱間隔	Am·Bm種 4m		m	60
	分離帯用 支柱間隔	Am·Bm種 2m		m	60

#### 表 4.6 部材撤去

	衣 4.0 即প 撤五		
区 分	規格・仕様	単位	施工数量
レール撤去	(旧路側用 S種 支柱間隔 1m)	m	170
	(旧路側用 S種 支柱間隔 2m)	m	100
	路側用 A·B·C種 支柱間隔 4m	m	250
事故復旧を除く	路側用 A·B·C種 支柱間隔 2m	m	200
	分離帯用 Am·Bm種 支柱間隔 4m	m	130
	分離帯用 Am·Bm種 支柱間隔 2m	m	110
	歩道用 (旧Ap·Bp·Cp種) 支柱間隔 2m	m	200

# 表 4.7 部材設置 (耐雪型)

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
レール設置	路側用 A·B種 支柱間隔 4m	m	130
事故復旧を除く	路側用 A·B·C種 支柱間隔 3m	m	120
	路側用 A·B·C種 支柱間隔 2m	m	100

#### 表 4.8 部材撤去 (耐雪型)

区分	規格・仕様	単位	施工数量
レール撤去	(旧路側用 S種 支柱間隔 2m)	m	120
事故復旧を除く	(旧路側用 S種 支柱間隔 1m)	m	160
	路側用 A·B種 支柱間隔 4m	m	250
	路側用 A·B·C種 支柱間隔 3m	m	200
	路側用 A·B·C種 支柱間隔 2m	m	200

# 5. ガードパイプ設置エ

表 5.1 設置

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
		Gp-Ap-2E	m	
土中建込		Gp-Bp-2E	m	70
	塗装品	Gp-Cp-2E	m	
	・ メッキ品	Gp-Ap-2B	m	
コンクリート建込	, , , , , ,	Gp-Bp-2B	m	40
		Gp-Cp-2B	m	

# 表 5.2 撤 去

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
[ <del></del>		Gp-Ap-2E	m	
土中建込用     撤   去	24.44	Gp-Bp-2E	m	135
1版 五	塗装品	Gp-Cp-2E	m	
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	・ メッキ品	Gp-Ap-2B	m	
コンクリート建込用 撤 去	, , , the	Gp-Bp-2B	m	80
1HX \(\triangle \triangle		Gp-Cp-2B	m	

#### 表 5.3 部材設置

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
パイプ設置	歩車道境界用 Ap·Bp·Cp種 支柱間隔 2m	m	80

#### 表 5.4 部材撤去

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
パイプ撤去	歩車道境界用 Ap·Bp·Cp種 支柱間隔 2m	m	150

# 6. 横断·転落防止柵設置工

# 表 6.1

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
土中建込	ビーム式	支柱間隔 1m	m	55
		支柱間隔 1.5m	m	75
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	100
	パネル式	支柱間隔 3m	m	140

#### 表 6.2

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
プレキャスト コンクリート	ビーム式	支柱間隔 1m	m	25
ブロック建込		支柱間隔 1.5m	m	40
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	55
	パネル式	支柱間隔 3m	m	75
	門 型	支柱間隔 3m	m	95

表 6.3

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
コンクリート建設	ビーム式	支柱間隔 1m	m	55
		支柱間隔 1.5m	m	70
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	100
	パネル式	支柱間隔 3m	m	140
	門 型	支柱間隔 3m	m	175

# 表 6.4

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
アンカーボルト	ビーム式	支柱間隔 1m	m	30
固定		支柱間隔 1.5m	m	45
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	60
	パネル式	支柱間隔 3m	m	80

#### 表 6.5

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
部材設置	ビーム設置	支柱間隔 1m	m	50
		支柱間隔 1.5m	m	65
	ビームまた	支柱間隔 2m	m	95
	はパネルの 設置	支柱間隔 3m	m	130

# 表 6.6

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
根巻き		箇所	CO
コンクリート設置		箇別	60

#### 表 6.7

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
土中建込撤去	ビーム式	支柱間隔 1m	m	105
		支柱間隔 1.5m	m	145
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	195
	パネル式	支柱間隔 3m	m	275

#### 表 6.8

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
プレキャスト コンクリート	ビーム式	支柱間隔 1m	m	45
ブロック		支柱間隔 1.5m	m	70
建込撤去	ビーム式	支柱間隔 2m	m	100
	パネル式	支柱間隔 3m	m	145
	門 型	支柱間隔 3m	m	180

表 6.9

区 分	規	格・仕 様	単位	施工数量
コンクリート	ビーム式	支柱間隔 1m	m	100
建込撤去		支柱間隔 1.5m	m	135
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	190
	パネル式	支柱間隔 3m	m	270
	門 型	支柱間隔 3m	m	340

#### 表 6.10

区分	規	格・仕様	単位	施工数量
アンカーボルト	ビーム式	支柱間隔 1m	m	55
固定撤去		支柱間隔 1.5m	m	80
	ビーム式	支柱間隔 2m	m	110
	パネル式	支柱間隔 3m	m	160

#### 表 6.11

区分	規	格・仕様	単位	施工数量
部材撤去	ビーム撤去	支柱間隔 1m	m	95
		支柱間隔 1.5m	m	125
	ビームまたは	支柱間隔 2m	m	185
	パネルの撤去	支柱間隔 3m	m	250

#### 7. 防護柵設置工 (落石防護柵)

表 7.1 落石防護柵 (ロープ・金網設置工 間隔保持材付き)

级 / 1 / A T D 设					
区	分	規格・仕様	単位	施工数量	
	77	兄俗・1上塚	中世	設置	撤去
柵高	1.50m	ロープ本数 5本	m	20	40
柵高	2.00m	ロープ本数 7本	m	15	30
柵高	2.50m	ロープ本数 8本	m	10	20
柵高	3.00m	ロープ本数10本	m	9	18
柵高	3.50m	ロープ本数12本	m	8	16
柵高	4.00m	ロープ本数13本	m	6	12

# 表 7.2 耐雪型落石防護柵 (ロープ・金網設置工 上弦材付き)

	1111	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		~E	,,,,,,,
区	分	規格・仕様	単位	施工数量	
	77	兄俗・仏塚	中亚	設置	撤去
柵高	1.50m	ロープ本数 5本	m	15	30
柵高	2.00m	ロープ本数 7本	m	12	24
柵高	2.50m	ロープ本数 8本	m	8	16
柵高	3.00m	ロープ本数10本	m	7	14

表 7.3 ステーロープ設置工

区	分	規格・仕様	単位	施工数量
ステーロ	ュープ	岩盤用アンカー込み	本	15

# 8. 防護柵設置工 (落石防止網)

# 表 8.1 金網・ロープ設置

規格・仕様	単位	施工数量
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径2.6mm	$\mathrm{m}^2$	130
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS 3,4) 線径 3.2mm	$\mathrm{m}^2$	110
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径4.0mm	$\mathrm{m}^2$	90
亜鉛メッキ3,4種(Z-GS3,4) 線径5.0mm	$\mathrm{m}^2$	75

# 表 8.2 アンカー設置

規格・仕様			単位	施工数量
	D 22mm × 長 1,000mm		箇所	
岩盤用	D 25mm × 長 1,0	000mm	箇所	16
岩盤用	D 29mm × 長 1,0	000mm	箇所	15
	D 32mm × 長 1,000mm		箇所	
	羽根付アンカー	径25mm×長 1,500mm	箇所	18
	高耐力アンカー (プレート羽付)	アンカー有効長 1,500mm	箇所	- 6
土中用		アンカー有効長 2,000mm	箇所	
	高耐力アンカー	アンカー有効長 1,500mm	箇所	4
	(溝形鋼羽付)	アンカー有効長 2,000mm	箇所	4

# 表 8.3 支柱設置

	単位	施工数量	
	支柱高 2.0m	箇所	
101 1	支柱高 2.5m	箇所	
ポケット式支柱 (アンカー固定式)	支柱高 3.0m	箇所	6
	支柱高 3.5m	箇所	
	支柱高 4.0m	箇所	

# 9. 法面工

表 9.1

区	分	規格・仕様	単位	施工数量
		厚 5cm	$\mathbf{m}^2$	
モル		厚 6cm	${\tt m}^2$	120
タル		厚 7cm	$\mathbf{m}^2$	
モルタル吹付		厚 8cm	$\mathbf{m}^2$	
付   工		厚 9cm	$\mathbf{m}^2$	100
		厚10cm	$\mathbf{m}^2$	

表 9.2

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
コンク	厚10cm	$\mathrm{m}^2$	100
́У - ŀ	厚15cm	$\mathrm{m}^2$	60
·吹 付 工	厚20cm	$\mathrm{m}^2$	50

表 9.3

	致 0.0		
区 分	規格・仕様	単位	施工数量
	厚 3cm	$\mathbf{m}^2$	
	厚 4cm	$\mathrm{m}^2$	140
	厚 5cm	$\mathbf{m}^2$	
植生基材吹付工	厚 6cm	$\mathbf{m}^2$	
	厚 7cm	$\mathrm{m}^2$	110
	厚 8cm	$\mathrm{m}^2$	
	厚10cm	$\mathrm{m}^2$	100
	厚 1cm	$\mathrm{m}^2$	
客土吹付工	厚 2cm	$\mathrm{m}^2$	400
	厚 3cm	$\mathbf{m}^2$	
種子散布工	_	$\mathbf{m}^2$	1, 100

表 9.4

区 分	規格・	規格・仕様		施工数量	
植生マット工	肥料	袋付	$\mathrm{m}^2$	200	
植生シートエ	肥料袋	標準品	$\mathbf{m}^2$	250	
他生ノートエ	無	特殊品	$\mathrm{m}^2$	250	
植生筋工	人工筋芝 (種子帯)		$\mathrm{m}^2$	100	
筋 芝 工	野芝・	野芝・高麗芝		90	
張芝工	野芝・i (全面		$\mathrm{m}^2$	300	

表 9.5

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
繊維ネットエ	肥料袋無	$\mathbf{m}^2$	250
救稚不ツトエ	肥料袋付	$\mathbf{m}^2$	200

# 10. 吹付枠工

表 10.1

区 分		規格	・仕	様	単位	施工数量
	梁断面	$150\times150$			m	98
	梁断面	200×200			m	77
<ul><li>吹付枠工</li><li>(モルタル・</li></ul>	梁断面	$300 \times 300$			m	51
コンクリート)	梁断面	$400 \times 400$			m	30
	梁断面	$500 \times 500$			m	26
	梁断面	$600 \times 600$			m	20

表 10.2

	<u>X</u>	分	•	規格・仕様	単位	施工数量
ラ	ス	張	工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	$\mathbf{m}^2$	140

# 11. 道路植栽工

表 11.1 植樹工

区	分	規格・仕様	単位	施工数量
	椞	樹 高 60cm未満	本	1,000
		樹 高 60cm以上 100cm未満	本	440
植	中木	樹 高 100cm以上 200cm未満	本	120
樹		樹 高 200cm以上 300cm未満	本	60
竹		幹 周 20cm未満	本	30
エ	高	幹 周 20cm以上 40cm未満	本	20
	木	幹 周 40cm以上 60cm未満	本	10
		幹 周 60cm以上 90cm未満	本	6

表 11.2 支柱設置

<b>—</b>	/\	衣 11.2 文柱改画	224 /-	<b></b>
区	分	規格・仕様	単位	施工数量
		二脚鳥居 添木付 樹 高 250cm以上	本	60
	中	八ッ掛 (竹) 樹 高 100cm以上	本	110
		布掛 (竹) 樹高 100cm以上	m	180
支	木	添柱形 (1本形・竹) 樹 高 100cm以上	本	200
		生垣形 樹 高 100cm以上	m	130
柱		二脚鳥居 添木付 幹 周 30cm未満	本	60
設		二脚鳥居 添木無 幹周 30cm以上40cm未満	本	110
	高	三脚鳥居 幹周 30cm以上60cm未満	本	100
置		十字鳥居 幹 周 30cm以上	本	40
	木	二脚鳥居組合せ 幹 周 50cm以上	本	45
		八ッ掛 幹 周 40cm未満	本	35
		八ッ掛 幹 周 40cm以上	本	35

表 11.3 支柱撤去

区	分	規格・仕様	単位	施工数量
支柱撤	中木	二脚鳥居,添木付,八ッ掛 (竹),添柱形(1本形・竹)	本	450
撤		布掛(竹), 生垣形	m	450
去	高木	各種	本	200

表 11.4 地被類植付工

区分	規格・仕様	単位	施工数量
地被類植付工	各 種	鉢	3,500

表 11.5 植樹管理 (せん定)

区	分	夫	見格・仕様	単位	施工数量
植		夏期	幹周 60cm未満	本	90
樹	高	せ	幹周		
管		夏期せん定	60cm以上 120cm未満	本	30
理			幹周		
せ		冬期せん定	<sup>幹周</sup> 60cm未満	本	80
$\lambda$	木	がせっ	幹周		
定		ん定	60cm以上 120cm未満	本	30

表 11.7 植樹管理 (施肥,除草,芝刈,灌水)

区	分	規格·	仕様	単位	施工数量
植	施	高木		本	200
		中木,低木		本	600
樹		寄植		$\mathrm{m}^2$	2,000
<i>5</i> 25:	肥	芝		$\mathrm{m}^2$	5,000
管	除	除根除草	植込み地	$\mathrm{m}^2$	500
理	草	桥似桥中	芝生	$\mathbf{m}^2$	350
せ	赵刘	芝刈		$\mathrm{m}^2$	800
ん	灌	トラック使用		$\mathbf{m}^2$	1,000
定	水	散水車使用	(貸与車)	$\mathrm{m}^2$	5,000

表 11.9 移植工 (掘取工)

区	分	規格	各・仕様	Ì	単位	施工数量
移	低米	樹高 6	0cm未満		本	400
植	中		0cm以上 0cm未満		本	120
工 (	·		0cm以上 0cm未満		本	80
掘	木		0cm以上 0cm未満		本	60
取	高	幹周 3	0cm未満		本	20
エ	木		0cm以上 0cm未満		本	5
)	$\wedge$		0cm以上 0cm未満		本	3

表 11.6 植樹管理 (せん定)

区分		,	規格・仕様	単位	施工数量
		球	樹高 100cm未満	本	430
			樹高 100cm以上 200cm未満	本	120
植樹管	低木	形	樹高 200cm以上 300cm未満	本	45
理せ	中	円	樹高 100cm未満	本	1,000
し ん 定	木	筒	樹高 100cm以上 200cm未満	本	290
		形	樹高 200cm以上 300cm未満	本	110
	寄	低	木	$\mathrm{m}^2$	1,000
(注)	植	中	木	$\mathbf{m}^2$	700

(注) せん定枝焼却については施工数量を定めていない。

表 11.8 植樹管理(防除)

区	分	#8	格・仕様	単位	施工数量
	低木	樹高	60cm未満	本	5,000
	中	樹高	60cm以上 100cm未満	本	5, 000
防	木	樹高	100cm以上 200cm未満	本	2,000
	\ <u>\</u>	樹高	200cm以上 300cm未満	本	1, 300
除	高	幹周	60cm未満	本	400
	木	幹周	60cm以上 120cm未満	本	300
	寄	低木		$\mathrm{m}^2$	2,000
	植	中木		$\mathrm{m}^2$	1,000
	芝	•		$\mathrm{m}^2$	6,000

# 12. 橋梁用伸縮継手装置設置工

表 12.1

区分		単位	施工数量						
新	軽量型	1.8m当り50k	m	7. 2					
設	普通型	1.8m当り50k	1.8m当り50kg以上180kg以下						
	軽量型	1車線相当	1.8m当り50kg未満	m	3. 6				
補	牲里空	2車線相当	1.8m当り50kg未満	m	7. 2				
修	普通型	1車線相当	m	3.6					
	日世生	2車線相当	1.8m当り50kg以上180kg以下	m	7. 2				

# 13. 橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工

表 13.1

	2 10.1									
区分	規格	<ul><li>仕様</li></ul>	単位	施工数量						
新	舗装厚内型	後付工法	m	7. 2						
	床版箱抜型	先付工法	m	7. 2						
設	<b>水</b>	後付工法	m	7. 2						
	舗装厚内型	1車線相当	m	3.6						
補	· 胡农序/7至	2車線相当	m	7. 2						
修	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1車線相当	m	3.6						
	床版箱抜型	2車線相当	m	7. 2						

#### 14. 薄層カラー舗装工

表 14.1

<b>双 14.1</b> 区 公 相 枚 · 什 垟									
区 分	規格・仕様	単位	施工数量						
樹脂モルタル	厚 6mm以下	$m^2$							
付加モルダル 舗装工	厚 6mm超え 8mm以下	$\mathbf{m}^2$							
丽衣工	厚 8mm超え10mm以下	$\mathrm{m}^2$	60						
景観透水性	厚10mm以下	$\mathrm{m}^2$							
舗装工	厚10mm超え15mm以下	$\mathrm{m}^2$							
	RPN-101	$\mathbf{m}^2$	050						
	RPN-102	$m^2$	350						
	RPN-103	$m^2$	000						
	RPN-104	$m^2$	200						
	RPN-201	$m^2$	050						
	RPN-202	$\mathbf{m}^2$	350						
	RPN-203	$\mathbf{m}^2$	200						
	RPN-204	$\mathbf{m}^2$							
樹脂系	RPN-301	$\mathrm{m}^2$	050						
すべり止め 舗装工	RPN-302	$\mathbf{m}^2$	250						
丽衣工	RPN-303	$\mathbf{m}^2$	150						
	RPN-304	$\mathbf{m}^2$	150						
	RPN-401	$m^2$	100						
	RPN-402	$m^2$	120						
	RPN-501	$\mathrm{m}^2$	150						
	RPN-502	$\mathrm{m}^2$	150						
	RPN-601	$m^2$	160						
	RPN-602	$\mathrm{m}^2$	120						

#### 15. 道路標識設置工

表 15.1 標識柱設置 (路側式[単柱式])

区 分	規格・仕	様	単位	施工数量
路側式		柱径φ60.5	基	
単柱式	メッキ品	φ 76. 3	基	
基礎含む   標識板		φ 89. 1	基	
設置除く		φ 101. 6	基	
		柱径φ60.5	基	4
	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装	φ 76. 3	基	4
		φ 89. 1	基	
		柱径φ60.5	基	
	静電粉体塗装	φ 76. 3	基	
		φ 89. 1	基	

# 表 15.2 標識柱設置 (路側式 [複柱式])

区分	規格・仕	様	単位	施工数量
路側式		柱径φ60.5	基	
複柱式	<del></del>	φ 76. 3	基	
基礎含む   標識板	メッキ品	φ 89. 1	基	
設置除く		φ 101. 6	基	
		柱径φ60.5	基	2
	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装	φ 76. 3	基	2
		φ 89. 1	基	
		柱径φ60.5	基	
	静電粉体塗装	φ 76. 3	基	
		φ 89. 1	基	

#### 表 15.3 標識柱設置 (片持式)

区分		規	格	•	仕	様	単位	施工数量
標識柱設置	·					400kg未満	基	4
片持式 基礎別途	1基当り総質量					400kg以上	基	3

#### 表 15.4 標識柱設置 (門型式)

区 分		規	格	•	仕	様	単位	施工数量
標識柱設置						10m未満	基	
門型式	1スパンの長さ					10m以上20m未満	基	1
基礎別途						20m以上	基	

#### 表 15.5 標識板設置 (案内標識 [路線番号除く])

Z									
区 分	規 构	各・ 仕 様			単位	施工数量			
標識板設置	路側式	広角プリズム		2.0m <sup>2</sup> 未満	$\mathbf{m}^2$				
(案内標識)	片持式	四角ノリハム	1	2.0m <sup>2</sup> 以上	$\mathbf{m}^2$				
路線番号は除く	門型式 添架式	カプセルプリズム	枚当	2.0m <sup>2</sup> 未満	$\mathbf{m}^2$	20			
121.	取付金具(クランプ型	カプセルレンズ	り	2.0m²以上	$\mathbf{m}^2$	20			
	ブラケットを除く)を含む	封入プリズム・封	面積	2.0m <sup>2</sup> 未満	$\mathbf{m}^2$				
		入レンズ		2.0m <sup>2</sup> 以上	$\mathrm{m}^2$				

#### 表 15.6 標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)

区 分	規	柞	各・仕	様	単位	施工数量
標識板設置	警戒・規制・指示・ 路線番号標識		板の枚数,	補助板の有無を問わず	基	20

#### 表 15.7 添架式標識板取付金具設置

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
77 40 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	信号アーム部に取付	組	10
添架式標識板 取付金具設置	照明柱・既設標識柱に取付	組	10
水门亚六队巨	歩道橋に取付	組	2

#### 表 15.8 標識基礎設置 (片持式・門型式)

区 分	規格	<ul><li>仕様</li></ul>	単位	施工数量
基礎設置	Tank Day that to be	4. 0m³ 未満	基	2
コンクリート基礎アン	神歌本   中 4 () (/ )		基	1
カーボルトの設置含む	を映 コン ノ ケード 仕里	6.0m³以上	基	1

#### 表 15.9 標識柱・基礎撤去 (路側式 〔単柱式・複柱式〕)

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
路側式	単柱式(基礎含む)	柱径 $\phi$ 60. 5, $\phi$ 76. 3, $\phi$ 89. 1, $\phi$ 101. 6	基	8
的則式	複柱式(基礎含む)	柱径 $\phi$ 60. 5, $\phi$ 76. 3, $\phi$ 89. 1, $\phi$ 101. 6	基	4

# 表 15.10 標識柱撤去 (片持式・門型式)

区 分	規	格・仕様	単位	施工数量
片持式	1 基当りの総質量	400kg 未満	基	6
	(支柱のみ)	400kg 以上	基	4
		10m 未満	基	
門型式	1 スパン当りの長さ (支柱のみ)	10m 以上 20m 未満	基	1
		20m 以上	基	

#### 表 15.11 標識板撤去 (路側式, 片持式・門型式)

区 分		規	単位	施工数量	
標識板撤去 (添架式は除く)	案内標識以外	路側式(警戒・規制・指示・路線番号標識)		基	30
	案内標識	1枚当りの面積	2.0m <sup>2</sup> 未満	$\mathrm{m}^2$	20
	(片持式・門型式)	1次ヨりの囲傾	2.0m <sup>2</sup> 以上	$\mathbf{m}^2$	25

### 表 15.12 標識板撤去 (添架式標識板)

区分	規格・仕様	単位	施工数量
標識板撤去	信号アーム部	組	10
添架式標識板	照明柱・既製標識柱	組	10
取付金具撤去含む	歩道橋	組	2

#### 表 15.13 基礎 (コンクリート基礎) 撤去

	区	分	規格・仕様	単位	施工数量
基礎撤:	去		コンクリート基礎	基	1

# 16. 道路付属物工

表 16.1 視線誘導標設置

	区 分	T	表 16.1 視線誘導標設置 規 格 ・ 仕 様		単位	施工数量
			一	支柱径 φ 34	本	旭上奴里
			   反射体径 φ 100以下	支柱径 φ 60. 5	本	
		両面反射	及新种生 4 100以下	支柱径 φ 89	本	
			反射体径 φ 300	支柱径 φ 60. 5	本	
	土中建込用		区别评任 Φ 300		本	40
			E 自 体	支柱径 φ 34		
		片面反射	反射体径φ100以下	支柱径 φ 60.5	本	
			F-61/11/77 000	支柱径 φ 89	本	
			反射体径 φ 300	支柱径 φ 60.5	本	
				支柱径 ø 34	本	
		両面反射	反射体径φ100以下	支柱径 φ 60.5	本	
				支柱径 φ 89	本	
	コンクリート 建込用		反射体径φ300	支柱径 φ 60.5	本	25
	(穿孔含む)			支柱径 φ 34	本	20
		片面反射	反射体径φ100以下	支柱径 φ 60.5	本	
		/ 田/久初		支柱径 φ 89	本	
			反射体径 φ 300	支柱径 φ 60.5	本	
視		建込用 ————		支柱径 φ 34	本	
線			反射体径φ100以下	支柱径 φ 60.5	本	
誘				支柱径 φ 89	本	
導	コンクリート		反射体径 φ 300	支柱径 φ 60.5	本	000
標設	建込用 (穿孔含まない)			支柱径 φ 34	本	200
置	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	U	反射体径φ100以下	支柱径 φ 60.5	本	
<u>р.</u>		片面反射		支柱径 φ 89	本	
			反射体径 φ 300	支柱径 φ 60.5	本	
				バンド式	本	
			反射体径φ100以下	ボルト式	本	
		両面反射		かぶせ式	本	
			反射体径φ300	バンド式	本	
	防護柵取付用			バンド式	本	100
			反射体径φ100以下	ボルト式	本	
		片面反射		かぶせ式	本	
			反射体径φ300	バンド式	本	
				側壁用	本	
		両面反射	反射体径φ100以下	ベースプレート式	本	1
		1. 1 111/2/11		ベースプレート式	本	
	構造物取付用		S-3111 17 4 200	側壁用	本	40
		片面反射	反射体径φ100以下	ベースプレート式	本	
		/   mi/////	反射体径 φ 300	ベースプレート式	本	
		<u> </u>	√√11 IT. IT. Φ 000	1 1 1 1 1	/T'	

表 16.2 スノーポール併用型視線誘導標設置

		10.2 ///	小 アリカモル豚の子	**		
区	分		規格・仕様	•	単位	施工数量
視線誘導標	土中建込式	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	
設置 スノーポール	(2段式)	片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	40
併用型	(スライド式)	月面及豹	及射冲生Φ100以下	反射体数1個	本	
	コンクリート建込用	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	
	(穿孔含む) (2段式)	片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	25
	(スライド式)		及射冲生Φ100以下	反射体数1個	本	
	コンクリート建込用	両面反射	反射体径φ100以下	反射体数1個	本	
	(穿孔含まない) (2段式)	片面反射	反射体径φ100以下	反射体数2個	本	200
	(スライド式)	月曲及豹	[ X3] [中] 主 Ψ 100以 [	反射体数1個	本	

# 表 16.3 境界杭設置

区分	規格・仕様	単位	施工数量
境 界 杭	コンクリート製 (根巻基礎あり)	本	20
境界杭	コンクリート製 (根巻基礎なし)	本	20

# 表 16.4 道路鋲設置

区	分		規格	· 仕	様	単位	施工数量
		両面反射	7≒7l <del>-1`</del>	アルミ製	設置幅30cm	個	
大型鋲 高さ30mm超え 50mm以下 小型鋲 高さ30mm以下	門面区別	穿孔式	ノルミ製	設置幅20cm	個	GO.	
		片面反射	穿孔式	つ , 、	設置幅30cm	個	60
				アルミ製	設置幅20cm	個	
	I	両面・片面	穿孔式	アルミ製	設置幅15cm	個	120
		門田・万田	貼付式	樹脂製	設置幅10cm	個	150

# 表 16.5 車線分離標設置(ラバーポール)

区 分	規 格 ・	仕 様	単位	施工数量
	可変式 (穿孔式・1本脚)	本体(柱)径 φ80 ベース径 φ250	本	40
車線分離標設置 (ラバーポール)	着脱式 (穿孔式・3本脚)	本体(柱)径 φ80 ベース径 φ250	本	30
	固定式(貼付式)	本体(柱)径 φ80 ベース径 φ250	本	80

#### 表 16.6 境界鋲設置

区 分		規	格	•	仕	様	単位	施工数量
境 界 鋲	金属製						枚	150

表 16.7 道路付属物撤去

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
	土中建込用	本	100
視線誘導標撤去	コンクリート建込用	本	100
(スノーポール併用型含む)	防護柵取付用	本	200
	構造物取付用	本	100
境界杭撤去		本	60
道路鋲撤去	穿孔式	個	120
但邱珙ম五	貼付式	個	240
十分八世(三世)	可変式 (穿孔式・1本脚)	本	60
車線分離標撤去 (ラバーポール)	着脱式 (穿孔式・3本脚)	本	45
()// (///)	固定式(貼付式)	本	100
境界鋲撤去		枚	300

# 17. 公園植栽工

表 17.1 植樹工

区	分		規格・	仕 様	単位	施工数量
低 (株物, 一本	木 ¤立を含む)	樹高	60cm未満		本	500
		樹高	60cm以上	100cm未満	本	330
中	木	樹高	100cm以上	200cm未満	本	100
		樹高	200cm以上	300cm未満	本	30

# 表 17.2 支柱設置

区	分	規格・	仕 様	単位	施工数量
		二脚鳥居 添木付	樹高 250cm以上	本	30
		八ツ掛 (竹)	樹高 100cm以上	本	40
中	木	添柱形 (1本形・竹)	樹高 100cm以上	本	200
		布掛 (竹)	樹高 100cm以上	m	60
		生垣形	樹高 100cm以上	m	90

表 17.3 地被類植付工

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
地被類植付工	各種	鉢	4,000

# 18. 軟弱地盤処理工

表 18.1

区 分	規格・数量	単位	施工数量
	打設長 10m未満	m	440
サンドドレーンエ	打設長 10m以上20m未満	m	390
	打設長 20m以上35m未満	m	390
all y alson y and b	打設長 10m未満	m	180
サンドコンパク ションパイルエ	打設長 10m以上20m未満	m	170
<b>7</b>	打設長 20m以上35m未満	m	170

# 19. 橋面防水工

# 表19.1

区 分	規格・仕様	単位	施工数量
シート系防水(アスファルト系)	新 設	$\mathrm{m}^2$	220
プード示例水(テベノテルド示)	補修	$\mathrm{m}^2$	150
塗膜系防水(アスファルト系)	新設	$\mathrm{m}^2$	250
空展示例小(ノ ヘノ ア ルトボ)	補修	$\mathrm{m}^2$	170

# 20. グルービングエ

# 表20.1

区 分	規格・仕様		単位	施工数量
	縦方向	幅 9mm-深さ 6mm-間隔60mm	$\mathrm{m}^2$	300
グルービングエ	利定ノノ「中」	幅 9mm-深さ 4mm-間隔60mm	$m^2$	300
	7 / - 1 / - 1	幅 9mm-深さ 6mm-間隔60mm	$m^2$	150
横方向		幅36mm-深さ10mm(路面排水用)	$\mathrm{m}^2$	150

# 21. 鉄筋挿入工

#### 表21.1

	2		
区 分	規格・仕様	単 位	施工数量
TH 1H 夕 /4- T	$L \leq 2.0 m$	本	14
現場条件I	$2.0 \text{m} < L \leqq 5.0 \text{m}$	本	7
現場条件 Ⅱ	L ≦2.0m	本	8
	$2.0 \text{m} < L \leq 5.0 \text{m}$	本	4
	削孔機械の上下移動	口	2
	仮設足場の設置・撤去	空m³	40
現場条件Ⅲ	L ≦2.0m	本	8

# 22. コンクリート表面処理工

# 表22.1

区 分	規格・仕様	単 位	施工数量
コンクリート表面処理		$\mathrm{m}^2$	150